

**明和町男女共同参画
基本計画策定促進アンケート調査
報告書**

平成22年12月

目 次

調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び調査方法	1
3 回収の結果	1
4 分析上の留意点	1
5 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	3
(3) 家族構成	4
(4) 職業	6
(5) 婚姻状況	8
調査結果	10
1 男女平等について	10
(1) 各分野での男女の地位	10
(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	28
2 家庭生活について	31
(1) 男女のしつけや教育	31
(2) 子育てについて	33
(3) 乳児や就学前の幼児について	48
(4) 手助けが必要な高齢者の有無	50
(5) 介護が必要になった場合の介護者	52
(6) 家庭生活の現実と希望	54
(7) 家庭内の仕事の分担	60
3 職業生活について	87
(1) 女性の職業で望ましい形態	87
(2) 女性は働きやすい状況にあるか	89
(3) 働きやすい理由	92
(4) 制度の認知状況及び取得状況	93
(5) 職場での男女の地位	103
(6) 男女平等だと思わない理由	105
4 社会活動等について	106
(1) 地域活動の参加状況	106
(2) 男性の参加促進に必要なこと	107
5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について	108
(1) DV防止法の認知	108
(2) 発見した際の通報の認知	110
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容	112
(4) 暴力を受けた際の相談先	139
(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由	140
(6) 知っているDV相談窓口	141
6 自由意見	142

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の目的

本調査は、明和町の男女共同参画社会の形成に関する住民の考え等を把握し、明和町の男女共同参画基本計画策定等の基礎資料とするために実施した。

2 調査対象及び調査方法

調査方法：平成 22 年 6 月現在、明和町に居住する 20 歳以上の男女 1,500 名

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法

調査方法：郵送により配布・回収

調査期間：平成 22 年 8 月

3 回収の結果

配布数：1,500 件

有効回収数：791 件

回収率：52.7%

4 分析上の留意点

回答は全て百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合がある。

表作成において、無回答の処理により、性合計と性年齢別の合計が合致しない箇所がある。

「複数回答」の設問は回答比率の合計が 100% を超える。

集計結果の表やグラフでは、スペース等の都合上、回答の選択肢の言葉を簡略化して表現している場合がある。

今回の調査は、標本調査であるため、回答者のデータが町民の意識として充分信頼のおけるものであるかどうかをみる。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみるが、信頼度 95% レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられる。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

E：標本誤差

N：母集団の大きさ

n：標本の大きさ

P：あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率 P が、標本調査で得られた比率 P の前後 ±E の範囲に入っていると判断して 95% 間違いがないということである。

主な標本における比率の標本誤差 E（信頼度 95% レベル）

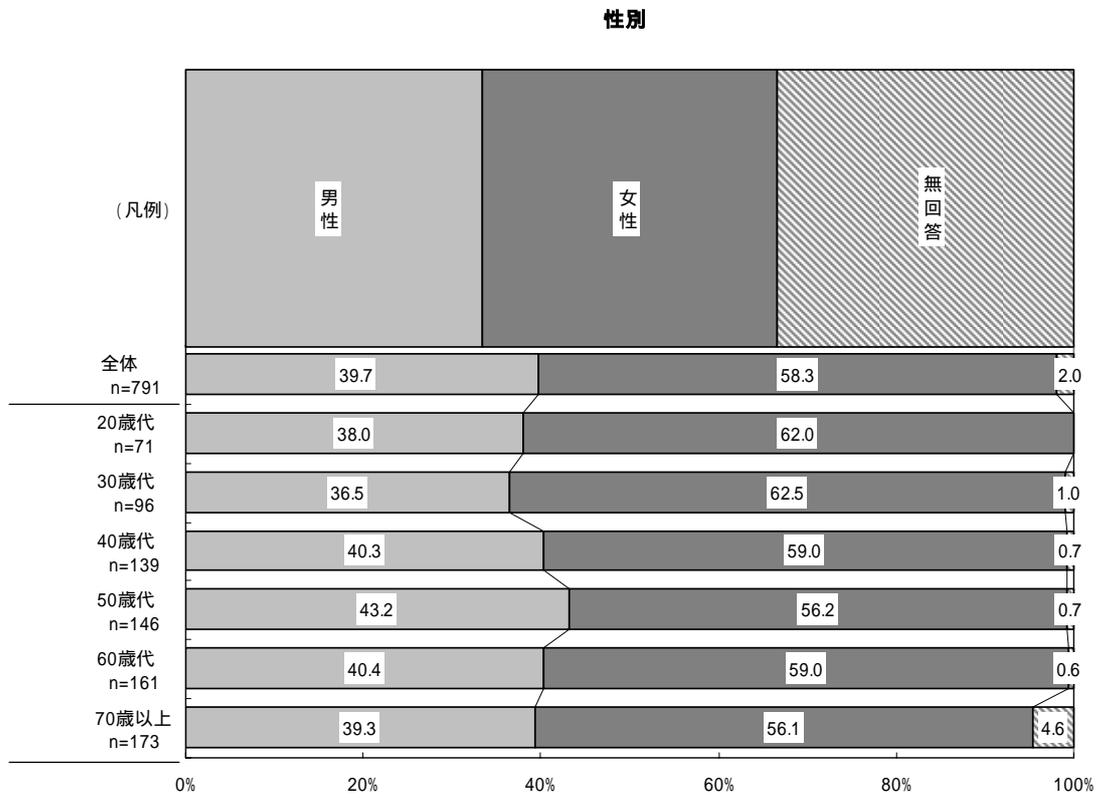
回答比率(p) 標本数(n)	5.0% (95.0%)	10.0% (90.0%)	15.0% (85.0%)	20.0% (80.0%)	25.0% (75.0%)	30.0% (70.0%)	35.0% (65.0%)	40.0% (60.0%)	45.0% (55.0%)	50.0%
791	± 1.5	± 2.1	± 2.5	± 2.8	± 3.1	± 3.3	± 3.4	± 3.5	± 3.5	± 3.6

5 回答者の属性

あなたご自身のことについておたずねします。

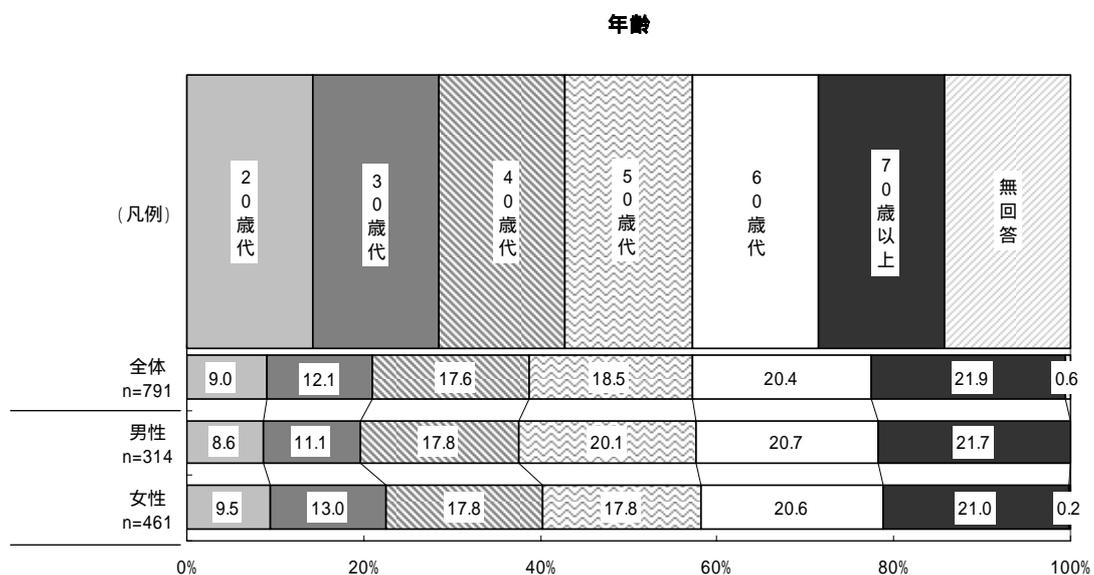
(1) 性別

- 「女性」が58.3%、「男性」が39.7%である。



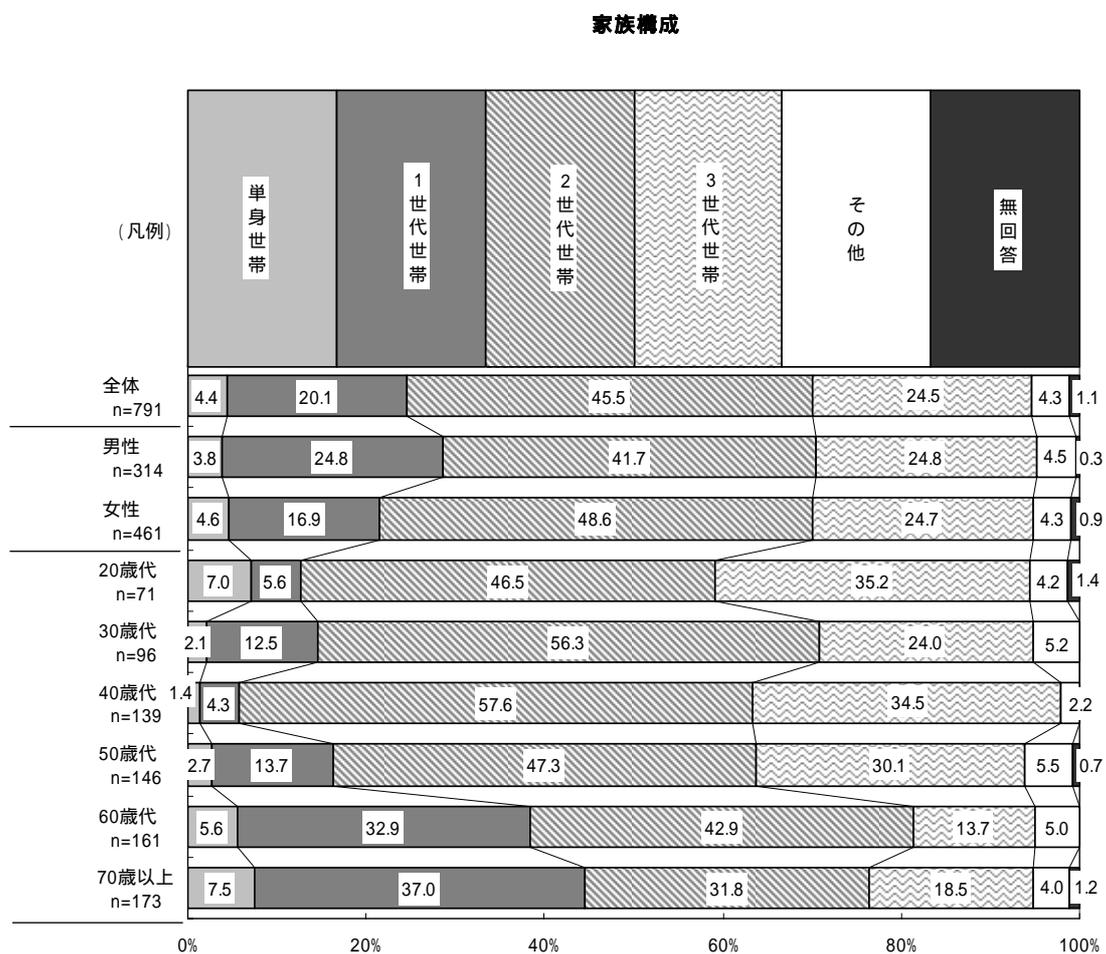
(2) 年齢

- 「70歳以上」が21.9%と最も高く、以下「60歳代」(20.4%)、「50歳代」(18.5%)、「40歳代」(17.6%)、「30歳代」(12.1%)、「20歳代」(9.0%)である。



(3) 家族構成

- 「2世代世帯」が45.5%と最も高く、以下「3世代世帯」(24.5%)、「1世代世帯」(20.1%)、「単身世帯」(4.4%)である。

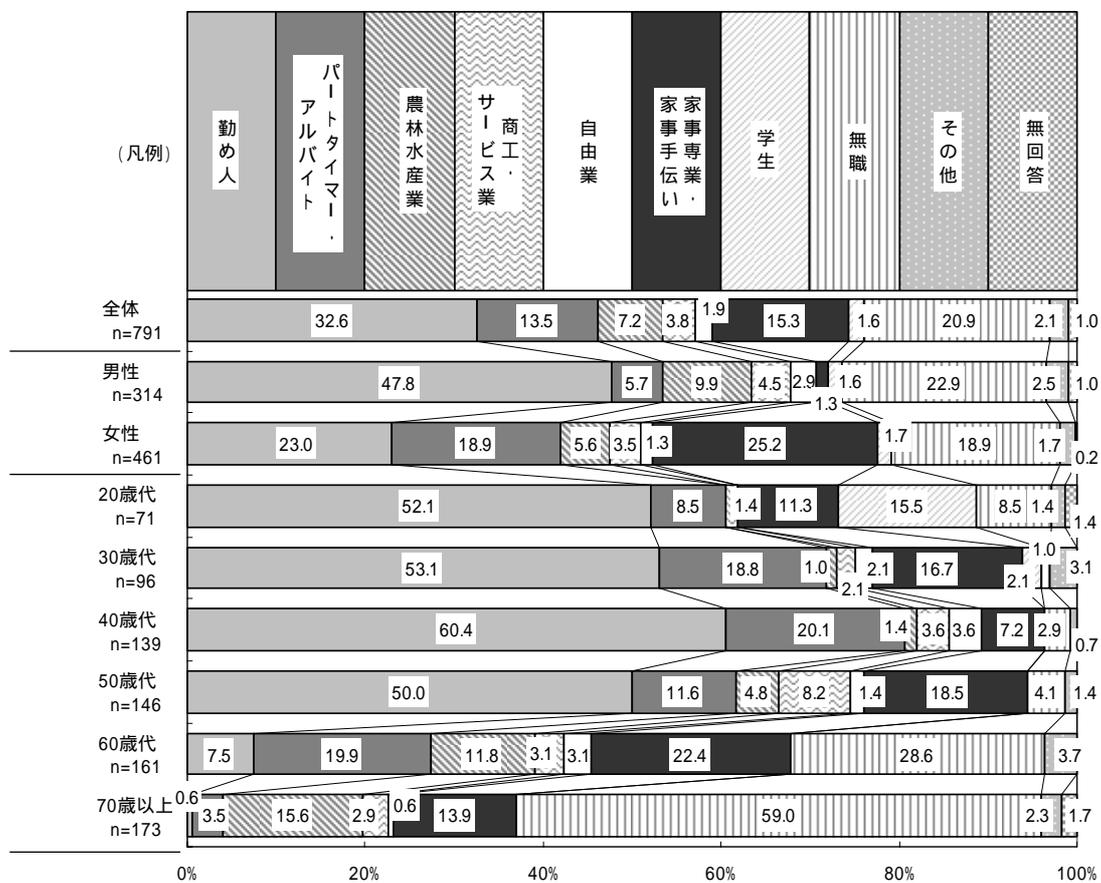


		家族構成 (%)						
		全体	単身世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他	無回答
全体		791	35	159	360	194	34	9
		100.0	4.4	20.1	45.5	24.5	4.3	1.1
性 年 齢 別	男性計	314	12	78	131	78	14	1
		100.0	3.8	24.8	41.7	24.8	4.5	0.3
	20歳代	27	3	2	9	11	1	1
		100.0	11.1	7.4	33.3	40.7	3.7	3.7
	30歳代	35	1	4	19	9	2	-
		100.0	2.9	11.4	54.3	25.7	5.7	-
	40歳代	56	2	1	34	17	2	-
		100.0	3.6	1.8	60.7	30.4	3.6	-
	50歳代	63	2	10	29	17	5	-
		100.0	3.2	15.9	46.0	27.0	7.9	-
	60歳代	65	1	26	25	10	3	-
		100.0	1.5	40.0	38.5	15.4	4.6	-
	70歳以上	68	3	35	15	14	1	-
		100.0	4.4	51.5	22.1	20.6	1.5	-
	女性計	461	21	78	224	114	20	4
		100.0	4.6	16.9	48.6	24.7	4.3	0.9
	20歳代	44	2	2	24	14	2	-
		100.0	4.5	4.5	54.5	31.8	4.5	-
	30歳代	60	-	8	35	14	3	-
		100.0	-	13.3	58.3	23.3	5.0	-
40歳代	82	-	5	46	30	1	-	
	100.0	-	6.1	56.1	36.6	1.2	-	
50歳代	82	2	10	39	27	3	1	
	100.0	2.4	12.2	47.6	32.9	3.7	1.2	
60歳代	95	8	26	44	12	5	-	
	100.0	8.4	27.4	46.3	12.6	5.3	-	
70歳以上	97	9	27	36	17	6	2	
	100.0	9.3	27.8	37.1	17.5	6.2	2.1	

(4) 職業

- 「勤め人」が32.6%と最も高く、以下「無職」(20.9%)、「家事専業・家事手伝い」(15.3%)、「パートタイマー・アルバイト」(13.5%)、「農林水産業」(7.2%)である。
- 性別では、男性は「勤め人」が47.8%と最も高く、以下「無職」(22.9%)、「農林水産業」(9.9%)である。女性は「家事専業・家事手伝い」が25.2%と最も高く、「勤め人」(23.0%)、「パートタイマー・アルバイト」(18.9%)、「無職」(18.9%)となっている。また、男性は「勤め人」の割合が女性よりも24.8ポイント高くなっており、女性は「パートタイマー・アルバイト」が男性(5.7%)よりも13.2ポイント高くなっている。
- 年齢別では、20歳代から50歳代は「勤め人」の割合が最も高く、60歳代以上は「無職」の割合が最も高い。

職業

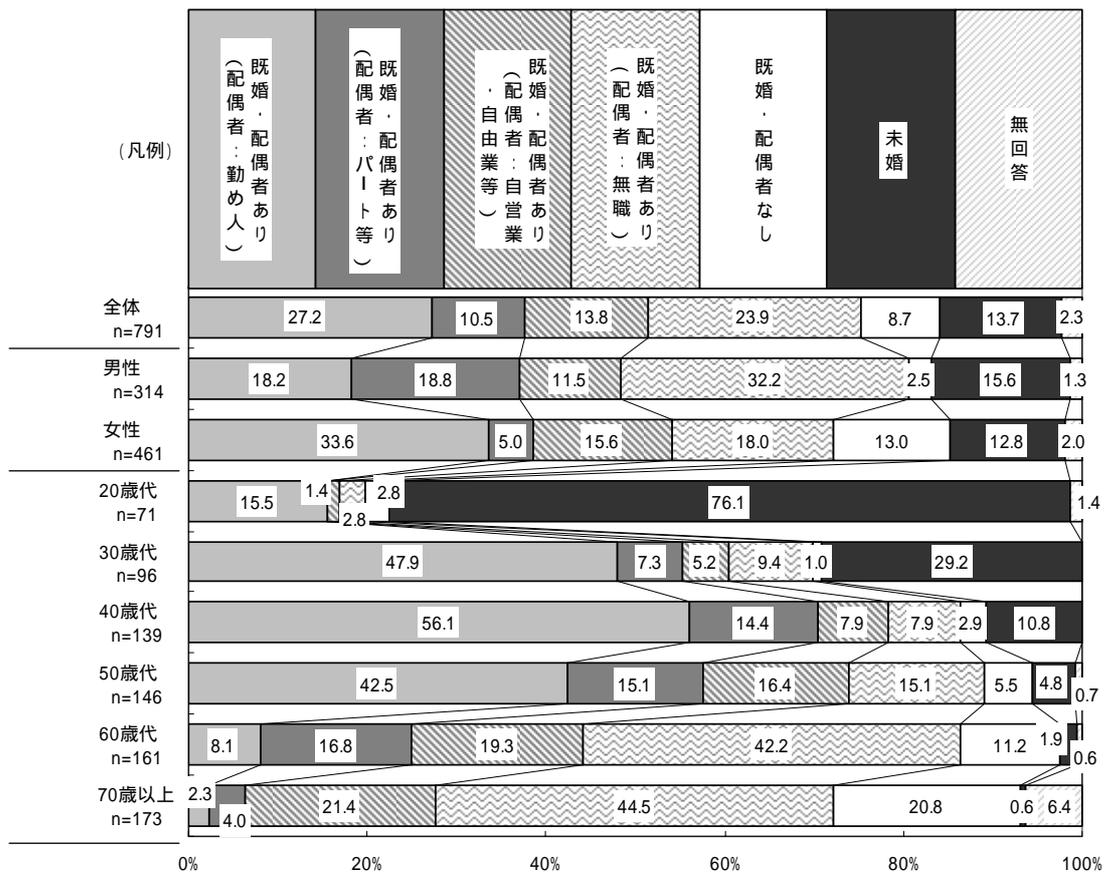


		職業〔%〕										
		全体	勤め人	パートタイ マー・アル バイト	農林水産業	商工・サー ビス業	自由業	家事専業・ 家事手伝い	学生	無職	その他	無回答
全体		791	258	107	57	30	15	121	13	165	17	8
		100.0	32.6	13.5	7.2	3.8	1.9	15.3	1.6	20.9	2.1	1.0
性 年 齢 別	男性計	314	150	18	31	14	9	4	5	72	8	3
		100.0	47.8	5.7	9.9	4.5	2.9	1.3	1.6	22.9	2.5	1.0
	20歳代	27	17	-	-	-	-	1	4	4	-	1
		100.0	63.0	-	-	-	-	3.7	14.8	14.8	-	3.7
	30歳代	35	31	-	-	1	-	-	1	1	1	-
		100.0	88.6	-	-	2.9	-	-	2.9	2.9	2.9	-
	40歳代	56	47	-	-	3	2	-	-	3	1	-
		100.0	83.9	-	-	5.4	3.6	-	-	5.4	1.8	-
	50歳代	63	47	1	5	6	2	-	-	1	1	-
		100.0	74.6	1.6	7.9	9.5	3.2	-	-	1.6	1.6	-
	60歳代	65	7	16	12	1	4	-	-	22	3	-
		100.0	10.8	24.6	18.5	1.5	6.2	-	-	33.8	4.6	-
	70歳以上	68	1	1	14	3	1	3	-	41	2	2
		100.0	1.5	1.5	20.6	4.4	1.5	4.4	-	60.3	2.9	2.9
	女性計	461	106	87	26	16	6	116	8	87	8	1
		100.0	23.0	18.9	5.6	3.5	1.3	25.2	1.7	18.9	1.7	0.2
	20歳代	44	20	6	-	1	-	7	7	2	1	-
		100.0	45.5	13.6	-	2.3	-	15.9	15.9	4.5	2.3	-
	30歳代	60	19	18	1	1	2	16	1	-	2	-
		100.0	31.7	30.0	1.7	1.7	3.3	26.7	1.7	-	3.3	-
40歳代	82	36	28	2	2	3	10	-	1	-	-	
	100.0	43.9	34.1	2.4	2.4	3.7	12.2	-	1.2	-	-	
50歳代	82	26	16	2	6	-	26	-	5	1	-	
	100.0	31.7	19.5	2.4	7.3	-	31.7	-	6.1	1.2	-	
60歳代	95	5	15	7	4	1	36	-	24	3	-	
	100.0	5.3	15.8	7.4	4.2	1.1	37.9	-	25.3	3.2	-	
70歳以上	97	-	4	13	2	-	21	-	55	1	1	
	100.0	-	4.1	13.4	2.1	-	21.6	-	56.7	1.0	1.0	

(5) 婚姻状況

- 「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」が27.2%と最も高く、以下「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」(23.9%)、「既婚・配偶者あり(配偶者：自営業・自由業等)」(13.8%)である。
- 性別では、男性は「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が32.2%と最も高く、女性は「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」が33.6%と高い。
- 年齢別では、「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」は40歳代(56.1%)で最も高くなっており、60歳代以上では「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が4割以上と高くなっている。

婚姻状況



		婚姻状況 (%)							
		全体	既婚・配偶者あり(配偶者:勤め人)	既婚・配偶者あり(配偶者:パート等)	既婚・配偶者あり(配偶者:自営業・自由業等)	既婚・配偶者あり(配偶者:無職)	既婚・配偶者なし	未婚	無回答
全体		791	215	83	109	189	69	108	18
		100.0	27.2	10.5	13.8	23.9	8.7	13.7	2.3
性 年 齢 別	男性計	314	57	59	36	101	8	49	4
		100.0	18.2	18.8	11.5	32.2	2.5	15.6	1.3
	20歳代	27	1	-	-	1	1	24	-
		100.0	3.7	-	-	3.7	3.7	88.9	-
	30歳代	35	11	4	-	9	-	11	-
		100.0	31.4	11.4	-	25.7	-	31.4	-
	40歳代	56	19	16	1	11	1	8	-
		100.0	33.9	28.6	1.8	19.6	1.8	14.3	-
	50歳代	63	18	18	8	13	1	4	1
		100.0	28.6	28.6	12.7	20.6	1.6	6.3	1.6
	60歳代	65	6	16	10	29	2	2	-
		100.0	9.2	24.6	15.4	44.6	3.1	3.1	-
	70歳以上	68	2	5	17	38	3	-	3
		100.0	2.9	7.4	25.0	55.9	4.4	-	4.4
	女性計	461	155	23	72	83	60	59	9
		100.0	33.6	5.0	15.6	18.0	13.0	12.8	2.0
	20歳代	44	10	-	1	1	1	30	1
		100.0	22.7	-	2.3	2.3	2.3	68.2	2.3
	30歳代	60	35	3	5	-	-	17	-
		100.0	58.3	5.0	8.3	-	-	28.3	-
40歳代	82	58	4	10	-	3	7	-	
	100.0	70.7	4.9	12.2	-	3.7	8.5	-	
50歳代	82	44	4	16	8	7	3	-	
	100.0	53.7	4.9	19.5	9.8	8.5	3.7	-	
60歳代	95	7	10	21	39	16	1	1	
	100.0	7.4	10.5	22.1	41.1	16.8	1.1	1.1	
70歳以上	97	-	2	19	35	33	1	7	
	100.0	-	2.1	19.6	36.1	34.0	1.0	7.2	

調査結果

1 男女平等について

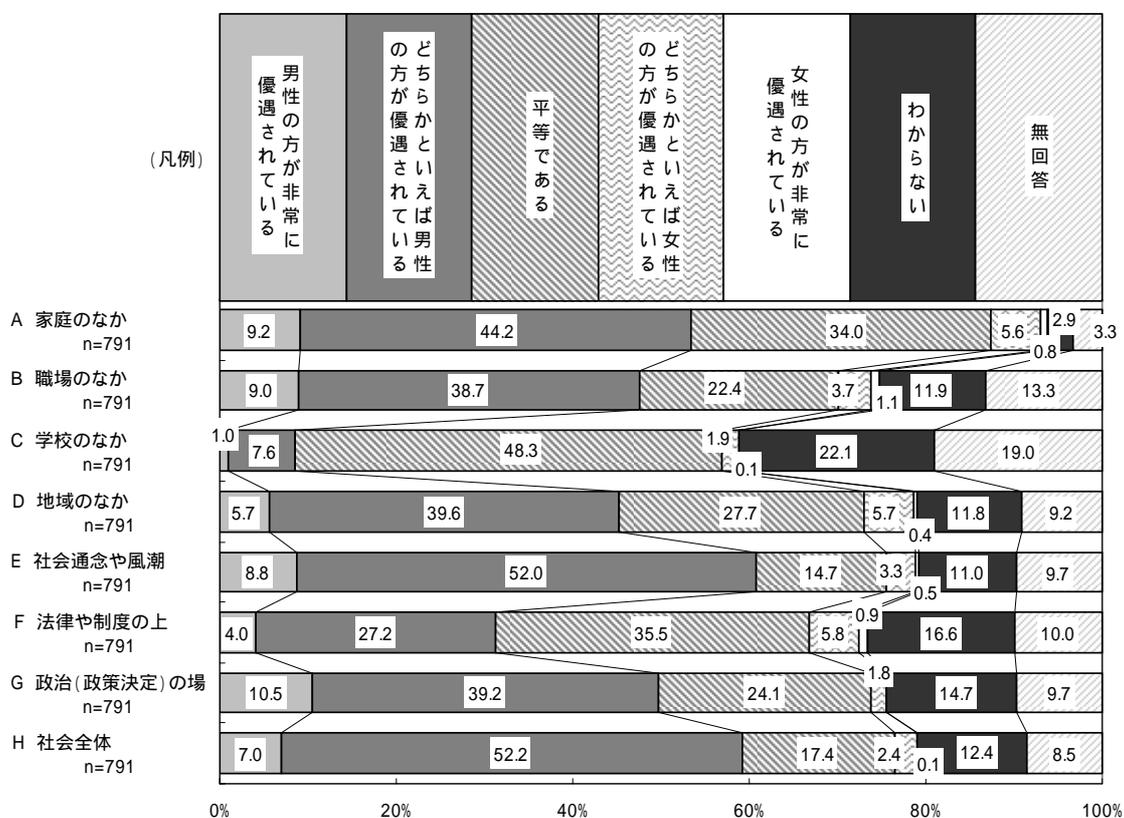
問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(1) 各分野での男女の地位

【全体】(A～H)

- 「平等である」は、「C 学校のなか」が48.3%と最も高く、「F 法律や制度の上」(35.5%)、「A 家庭のなか」(34.0%)と続いている。一方、「E 社会通念や風潮」(14.7%)、「H 社会全体」(17.4%)では低くなっており、『男性の方が優遇されている』がそれぞれ60.8%、59.2%とやや高くなっている。

各分野での男女の地位【全体】(A～H)

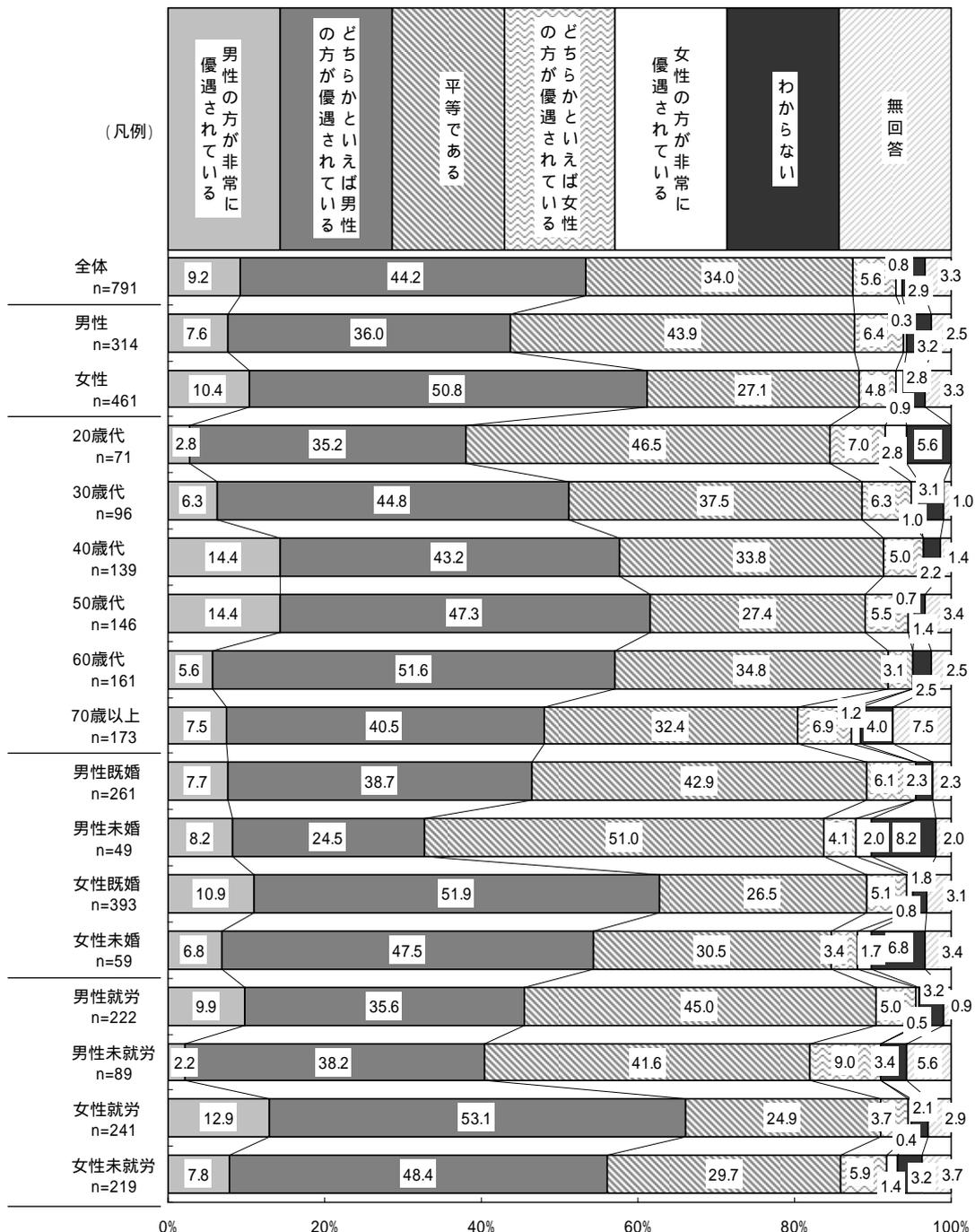


『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計している。『女性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 家庭のなか】

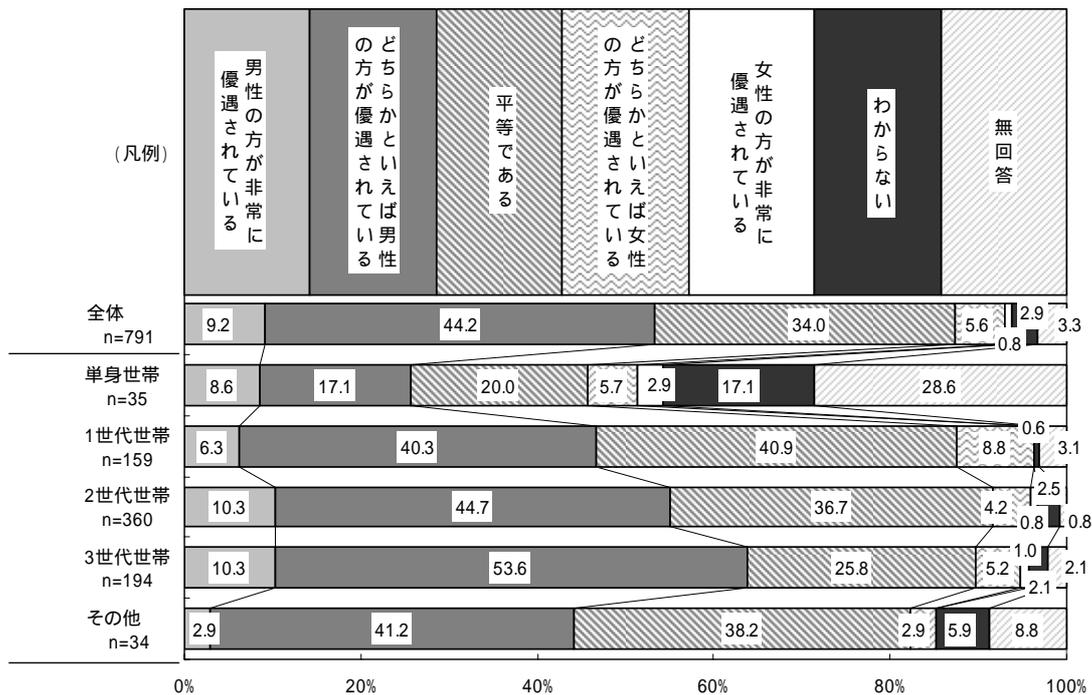
- 「平等である」が34.0%となり、『男性の方が優遇されている』は53.4%である。
- 性別では、男性は「平等である」が43.9%と女性（27.1%）よりも16.8ポイント高い。
- 年齢別では、20歳代は「平等である」の割合が46.5%と高い。50歳代は『男性の方が優遇されている』が61.7%に上る。
- 婚姻状況別では、『男性の方が優遇されている』は女性既婚者が62.8%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』の割合が66.0%と高い。
- 世帯別では、『男性の方が優遇されている』は3世代世帯が63.9%と最も高く、2世代世帯でも5割を超えている。

A 家庭のなか



		A 家庭のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	73	350	269	44	6	23	26
		100.0	9.2	44.2	34.0	5.6	0.8	2.9	3.3
男性計		314	24	113	138	20	1	10	8
		100.0	7.6	36.0	43.9	6.4	0.3	3.2	2.5
20歳代		27	2	4	15	3	-	3	-
		100.0	7.4	14.8	55.6	11.1	-	11.1	-
30歳代		35	2	12	17	2	1	1	-
		100.0	5.7	34.3	48.6	5.7	2.9	2.9	-
40歳代		56	7	19	24	4	-	2	-
		100.0	12.5	33.9	42.9	7.1	-	3.6	-
50歳代		63	5	22	29	3	-	2	2
		100.0	7.9	34.9	46.0	4.8	-	3.2	3.2
60歳代		65	4	28	28	2	-	1	2
		100.0	6.2	43.1	43.1	3.1	-	1.5	3.1
70歳以上		68	4	28	25	6	-	1	4
		100.0	5.9	41.2	36.8	8.8	-	1.5	5.9
女性計		461	48	234	125	22	4	13	15
		100.0	10.4	50.8	27.1	4.8	0.9	2.8	3.3
20歳代		44	-	21	18	2	2	1	-
		100.0	-	47.7	40.9	4.5	4.5	2.3	-
30歳代		60	4	30	19	4	-	2	1
		100.0	6.7	50.0	31.7	6.7	-	3.3	1.7
40歳代		82	13	41	22	3	-	1	2
		100.0	15.9	50.0	26.8	3.7	-	1.2	2.4
50歳代		82	16	47	11	5	1	-	2
		100.0	19.5	57.3	13.4	6.1	1.2	-	2.4
60歳代		95	5	54	28	3	-	3	2
		100.0	5.3	56.8	29.5	3.2	-	3.2	2.1
70歳以上		97	9	41	27	5	1	6	8
		100.0	9.3	42.3	27.8	5.2	1.0	6.2	8.2

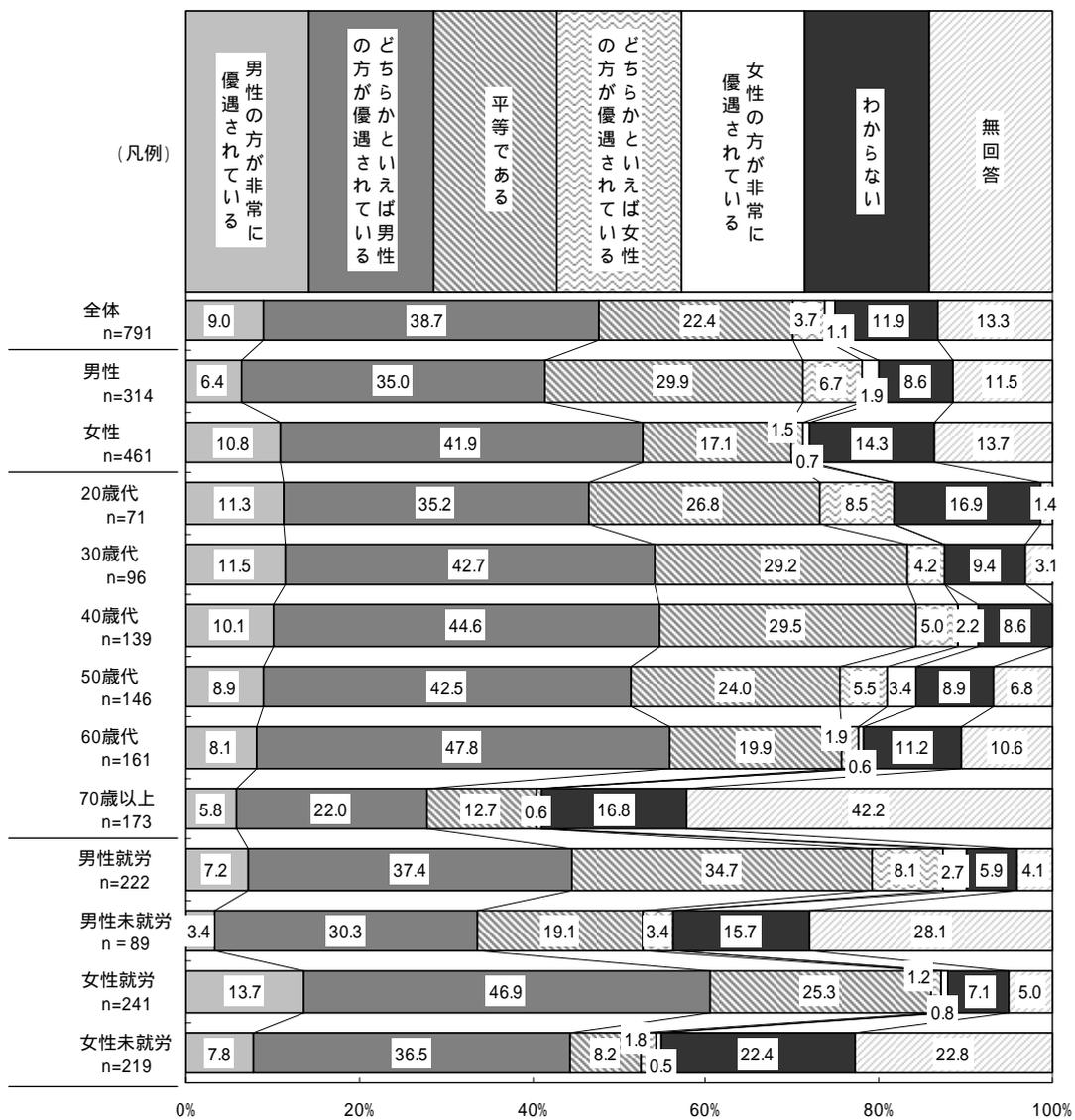
A 家庭のなか



【B 職場のなか】

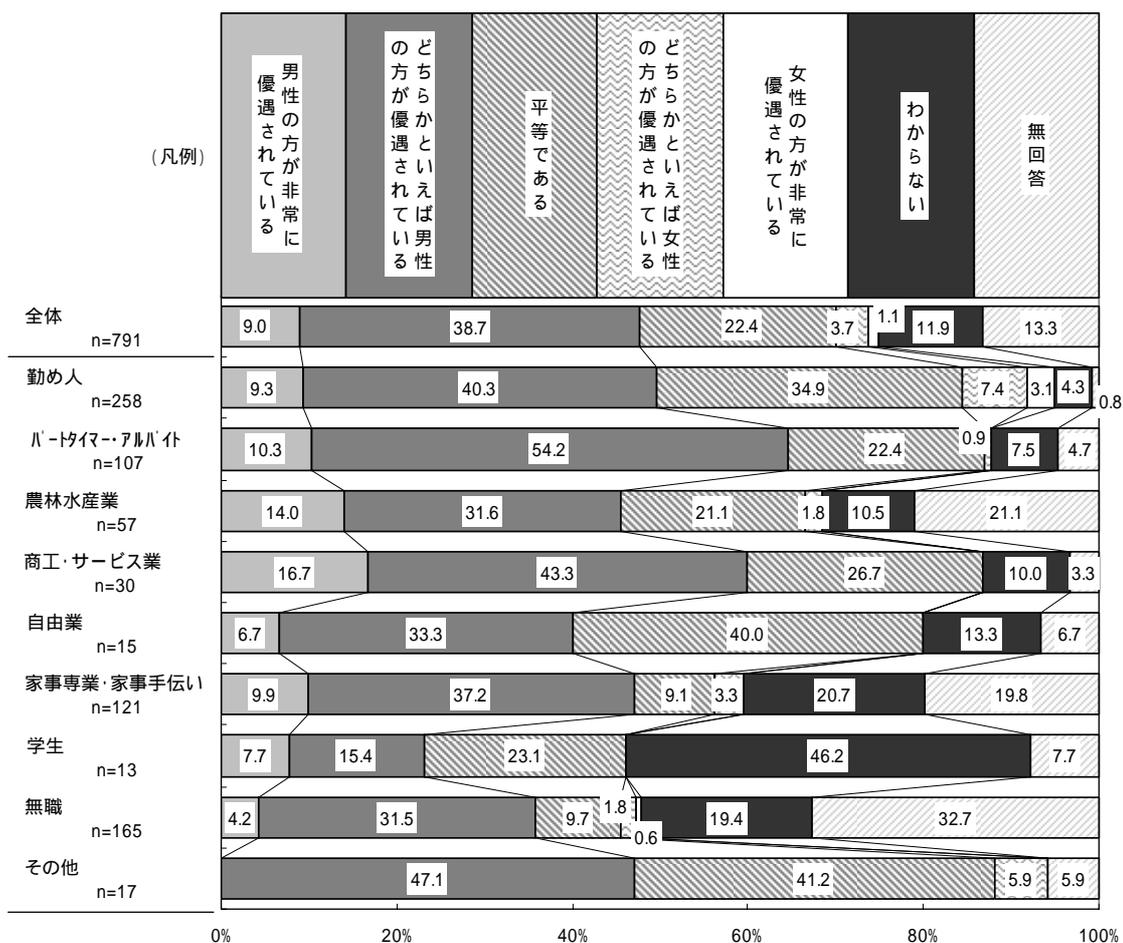
- 「平等である」が22.4%となり、『男性の方が優遇されている』は47.7%である。
- 性別では、男性は「平等である」が29.9%と女性（17.1%）よりも12.8ポイント高い。
- 年齢別では、20歳代と70歳以上を除く年齢層で『男性の方が優遇されている』が5割を超えて高くなっている。また、「平等である」は40歳代（29.5%）、30歳代（29.2%）がやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が60.6%と特に高く、そのうち「男性の方が非常に優遇されている」は13.7%である。
- 職業別では、「平等である」は勤め人が34.9%と最も高くなっている。また、パートタイム・アルバイト、商工・サービス業では『男性の方が優遇されている』がそれぞれ64.5%、60.0%と特に高い。

B 職場のなか



		B 職場のなか(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	71	306	177	29	9	94	105
		100.0	9.0	38.7	22.4	3.7	1.1	11.9	13.3
性 年 齢 別	男性計	314	20	110	94	21	6	27	36
		100.0	6.4	35.0	29.9	6.7	1.9	8.6	11.5
	20歳代	27	2	12	6	3	-	4	-
		100.0	7.4	44.4	22.2	11.1	-	14.8	-
	30歳代	35	1	12	13	4	-	5	-
		100.0	2.9	34.3	37.1	11.4	-	14.3	-
	40歳代	56	3	20	25	4	1	3	-
		100.0	5.4	35.7	44.6	7.1	1.8	5.4	-
	50歳代	63	4	22	19	8	5	3	2
		100.0	6.3	34.9	30.2	12.7	7.9	4.8	3.2
	60歳代	65	4	32	19	2	-	2	6
		100.0	6.2	49.2	29.2	3.1	-	3.1	9.2
	70歳以上	68	6	12	12	-	-	10	28
		100.0	8.8	17.6	17.6	-	-	14.7	41.2
	女性計	461	50	193	79	7	3	66	63
		100.0	10.8	41.9	17.1	1.5	0.7	14.3	13.7
	20歳代	44	6	13	13	3	-	8	1
		100.0	13.6	29.5	29.5	6.8	-	18.2	2.3
	30歳代	60	10	28	15	-	-	4	3
		100.0	16.7	46.7	25.0	-	-	6.7	5.0
40歳代	82	11	42	15	3	2	9	-	
	100.0	13.4	51.2	18.3	3.7	2.4	11.0	-	
50歳代	82	9	40	16	-	-	10	7	
	100.0	11.0	48.8	19.5	-	-	12.2	8.5	
60歳代	95	9	44	13	1	1	16	11	
	100.0	9.5	46.3	13.7	1.1	1.1	16.8	11.6	
70歳以上	97	4	26	7	-	-	19	41	
	100.0	4.1	26.8	7.2	-	-	19.6	42.3	

B 職場のなか

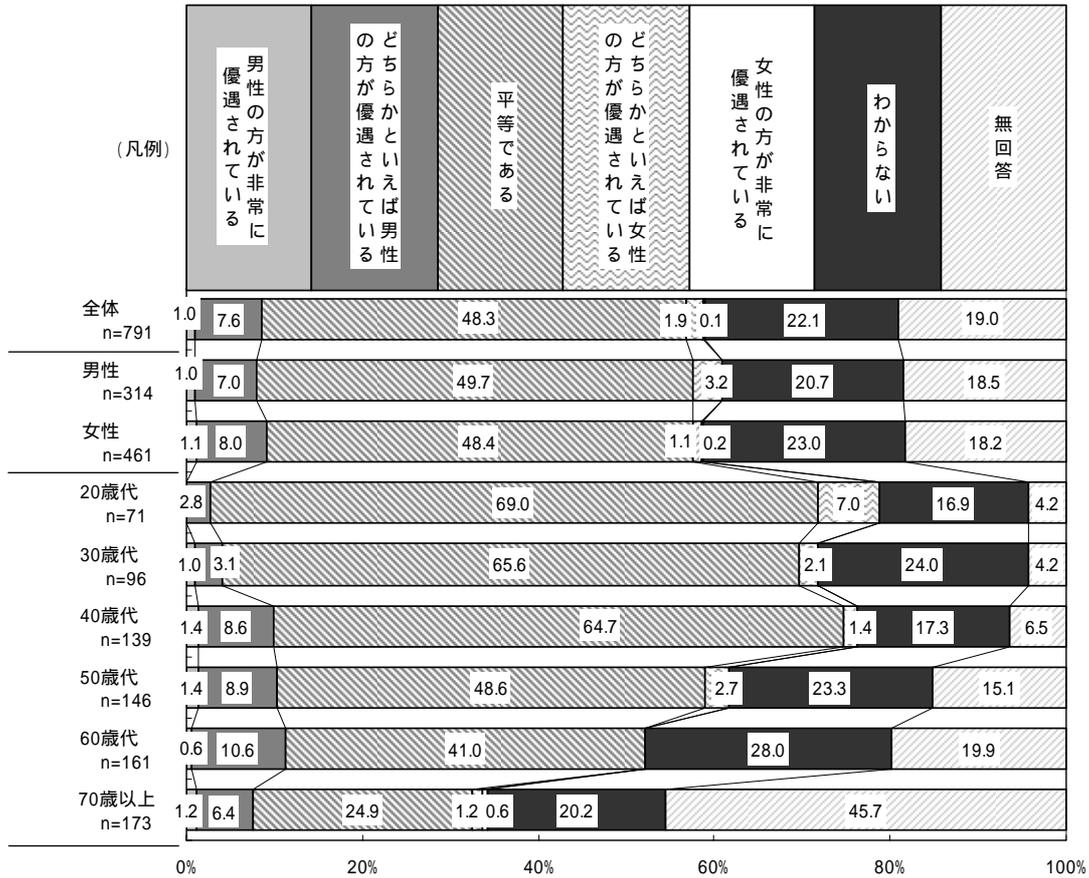


自由業、学生、その他の回答者は少数のため分析から除いている。

【C 学校のなか】

- 「平等である」が48.3%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は8.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が49.7%と女性（48.4%）をわずかに上回る。
- 年齢別では、「平等である」は20歳代が69.0%と最も高くなっており、年齢層が上がるほどその割合が低くなっている。

C 学校のなか

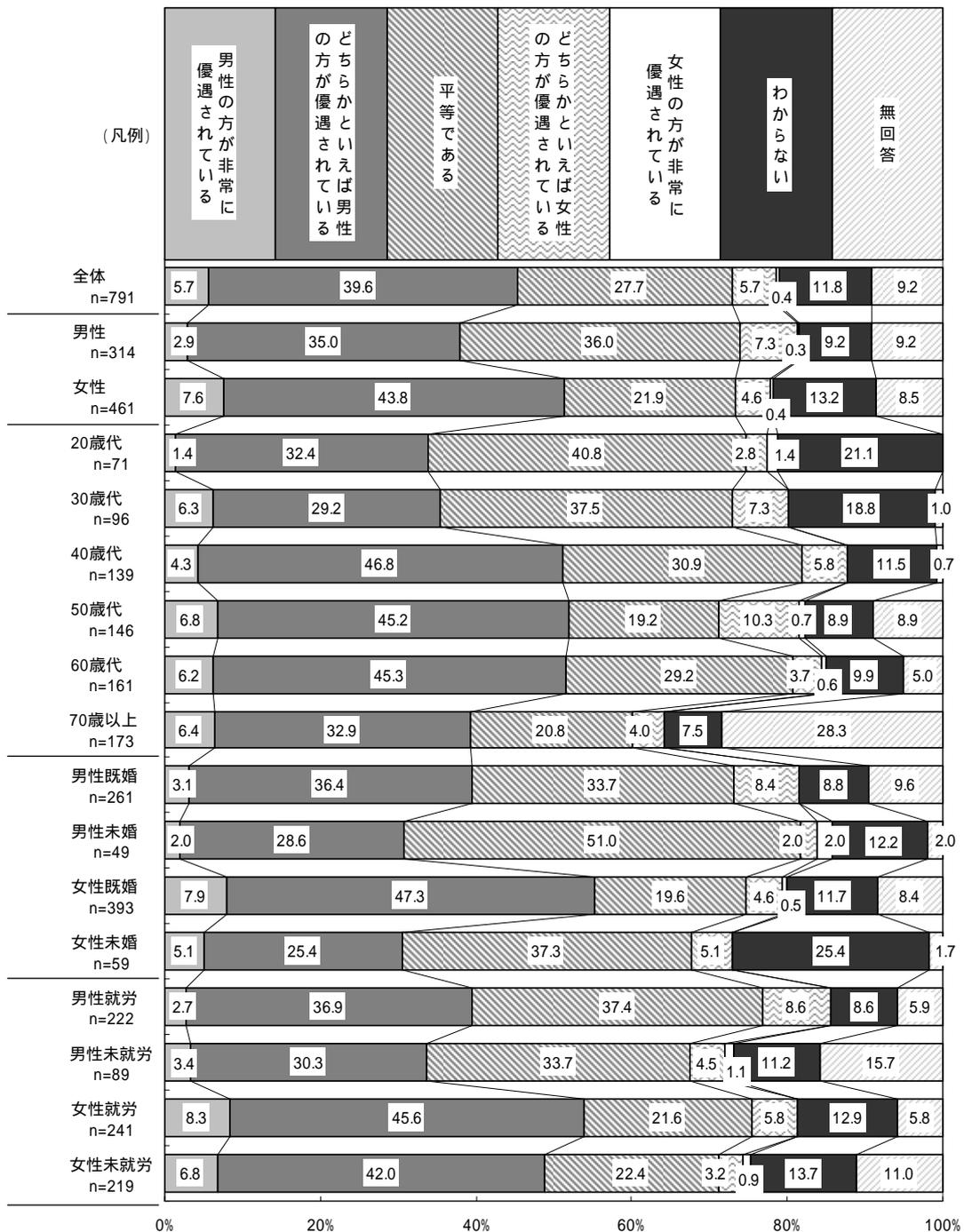


		C 学校のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	8	60	382	15	1	175	150
		100.0	1.0	7.6	48.3	1.9	0.1	22.1	19.0
男性計		314	3	22	156	10	-	65	58
		100.0	1.0	7.0	49.7	3.2	-	20.7	18.5
20歳代		27	-	-	18	3	-	5	1
		100.0	-	-	66.7	11.1	-	18.5	3.7
30歳代		35	-	1	26	2	-	6	-
		100.0	-	2.9	74.3	5.7	-	17.1	-
40歳代		56	1	6	36	1	-	8	4
		100.0	1.8	10.7	64.3	1.8	-	14.3	7.1
50歳代		63	1	5	30	3	-	17	7
		100.0	1.6	7.9	47.6	4.8	-	27.0	11.1
60歳代		65	-	4	29	-	-	15	17
		100.0	-	6.2	44.6	-	-	23.1	26.2
70歳以上		68	1	6	17	1	-	14	29
		100.0	1.5	8.8	25.0	1.5	-	20.6	42.6
女性計		461	5	37	223	5	1	106	84
		100.0	1.1	8.0	48.4	1.1	0.2	23.0	18.2
20歳代		44	-	2	31	2	-	7	2
		100.0	-	4.5	70.5	4.5	-	15.9	4.5
30歳代		60	1	2	37	-	-	17	3
		100.0	1.7	3.3	61.7	-	-	28.3	5.0
40歳代		82	1	6	54	1	-	15	5
		100.0	1.2	7.3	65.9	1.2	-	18.3	6.1
50歳代		82	1	8	41	1	-	17	14
		100.0	1.2	9.8	50.0	1.2	-	20.7	17.1
60歳代		95	1	13	36	-	-	30	15
		100.0	1.1	13.7	37.9	-	-	31.6	15.8
70歳以上		97	1	5	24	1	1	20	45
		100.0	1.0	5.2	24.7	1.0	1.0	20.6	46.4

【D 地域のなか】

- 「平等である」が27.7%となり、『男性の方が優遇されている』は45.3%である。
- 性別では、男性は「平等である」が36.0%と女性（21.9%）よりも14.1ポイント高い。
- 年齢別では、「平等である」は20歳代が40.8%と最も高い。40歳代、50歳代、60歳代は『男性の方が優遇されている』が5割を超えている。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は『男性の方が優遇されている』の割合が55.2%と特に高く、また、「平等である」が19.6%と低くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』の割合が53.9%と過半数を占めている。

D 地域のなか

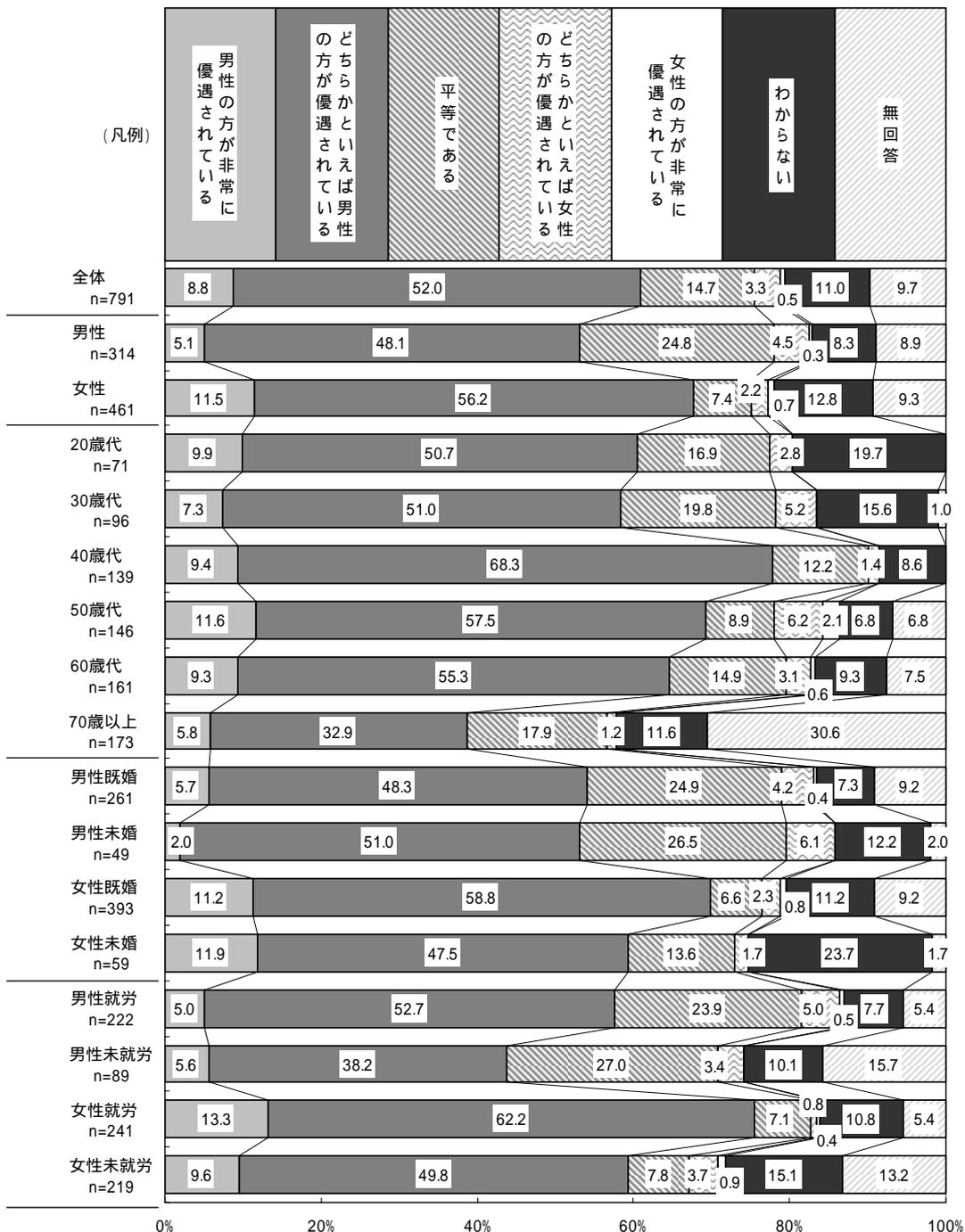


		D 地域のなか(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	45	313	219	45	3	93	73
		100.0	5.7	39.6	27.7	5.7	0.4	11.8	9.2
男性計		314	9	110	113	23	1	29	29
		100.0	2.9	35.0	36.0	7.3	0.3	9.2	9.2
20歳代		27	-	8	12	1	1	5	-
		100.0	-	29.6	44.4	3.7	3.7	18.5	-
30歳代		35	2	10	14	5	-	4	-
		100.0	5.7	28.6	40.0	14.3	-	11.4	-
40歳代		56	1	21	24	3	-	7	-
		100.0	1.8	37.5	42.9	5.4	-	12.5	-
50歳代		63	1	24	20	8	-	4	6
		100.0	1.6	38.1	31.7	12.7	-	6.3	9.5
60歳代		65	1	29	25	2	-	4	4
		100.0	1.5	44.6	38.5	3.1	-	6.2	6.2
70歳以上		68	4	18	18	4	-	5	19
		100.0	5.9	26.5	26.5	5.9	-	7.4	27.9
女性計		461	35	202	101	21	2	61	39
		100.0	7.6	43.8	21.9	4.6	0.4	13.2	8.5
20歳代		44	1	15	17	1	-	10	-
		100.0	2.3	34.1	38.6	2.3	-	22.7	-
30歳代		60	4	17	22	2	-	14	1
		100.0	6.7	28.3	36.7	3.3	-	23.3	1.7
40歳代		82	5	44	18	5	-	9	1
		100.0	6.1	53.7	22.0	6.1	-	11.0	1.2
50歳代		82	9	42	8	7	1	9	6
		100.0	11.0	51.2	9.8	8.5	1.2	11.0	7.3
60歳代		95	9	44	21	4	1	12	4
		100.0	9.5	46.3	22.1	4.2	1.1	12.6	4.2
70歳以上		97	7	39	15	2	-	7	27
		100.0	7.2	40.2	15.5	2.1	-	7.2	27.8

【E 社会通念や風潮】

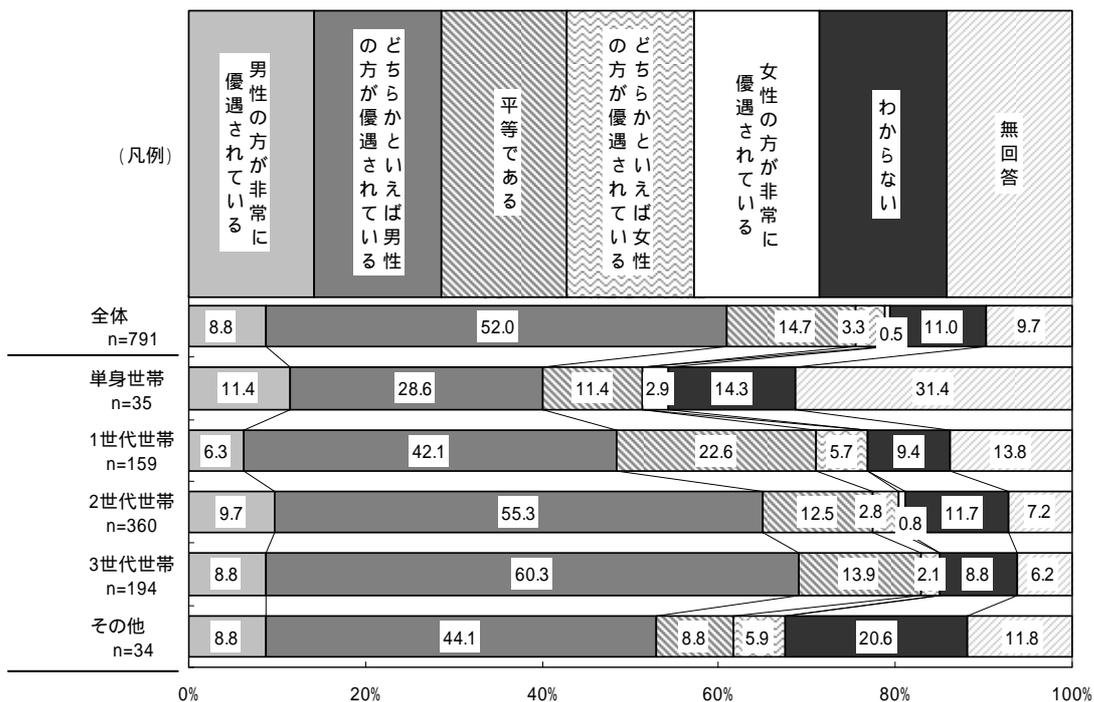
- 「平等である」が14.7%となり、『男性の方が優遇されている』は60.8%である。
- 性別では、男性は「平等である」が24.8%と女性（7.4%）よりも17.4ポイント高い。
- 年齢別では、40歳代は『男性の方が優遇されている』が77.7%と高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は『男性の方が優遇されている』が70.0%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が75.5%に上る。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等である」が22.6%とやや高く、『男性の方が優遇されている』が48.4%とやや低い。

E 社会通念や風潮



		E 社会通念や風潮(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	70	411	116	26	4	87	77
		100.0	8.8	52.0	14.7	3.3	0.5	11.0	9.7
男性計		314	16	151	78	14	1	26	28
		100.0	5.1	48.1	24.8	4.5	0.3	8.3	8.9
20歳代		27	2	12	8	2	-	3	-
		100.0	7.4	44.4	29.6	7.4	-	11.1	-
30歳代		35	1	14	11	3	-	6	-
		100.0	2.9	40.0	31.4	8.6	-	17.1	-
40歳代		56	4	33	13	1	-	5	-
		100.0	7.1	58.9	23.2	1.8	-	8.9	-
50歳代		63	3	32	12	6	1	5	4
		100.0	4.8	50.8	19.0	9.5	1.6	7.9	6.3
60歳代		65	2	39	17	1	-	2	4
		100.0	3.1	60.0	26.2	1.5	-	3.1	6.2
70歳以上		68	4	21	17	1	-	5	20
		100.0	5.9	30.9	25.0	1.5	-	7.4	29.4
女性計		461	53	259	34	10	3	59	43
		100.0	11.5	56.2	7.4	2.2	0.7	12.8	9.3
20歳代		44	5	24	4	-	-	11	-
		100.0	11.4	54.5	9.1	-	-	25.0	-
30歳代		60	6	34	8	2	-	9	1
		100.0	10.0	56.7	13.3	3.3	-	15.0	1.7
40歳代		82	9	62	3	1	-	7	-
		100.0	11.0	75.6	3.7	1.2	-	8.5	-
50歳代		82	14	52	1	3	2	5	5
		100.0	17.1	63.4	1.2	3.7	2.4	6.1	6.1
60歳代		95	13	50	7	3	1	13	8
		100.0	13.7	52.6	7.4	3.2	1.1	13.7	8.4
70歳以上		97	6	36	11	1	-	14	29
		100.0	6.2	37.1	11.3	1.0	-	14.4	29.9

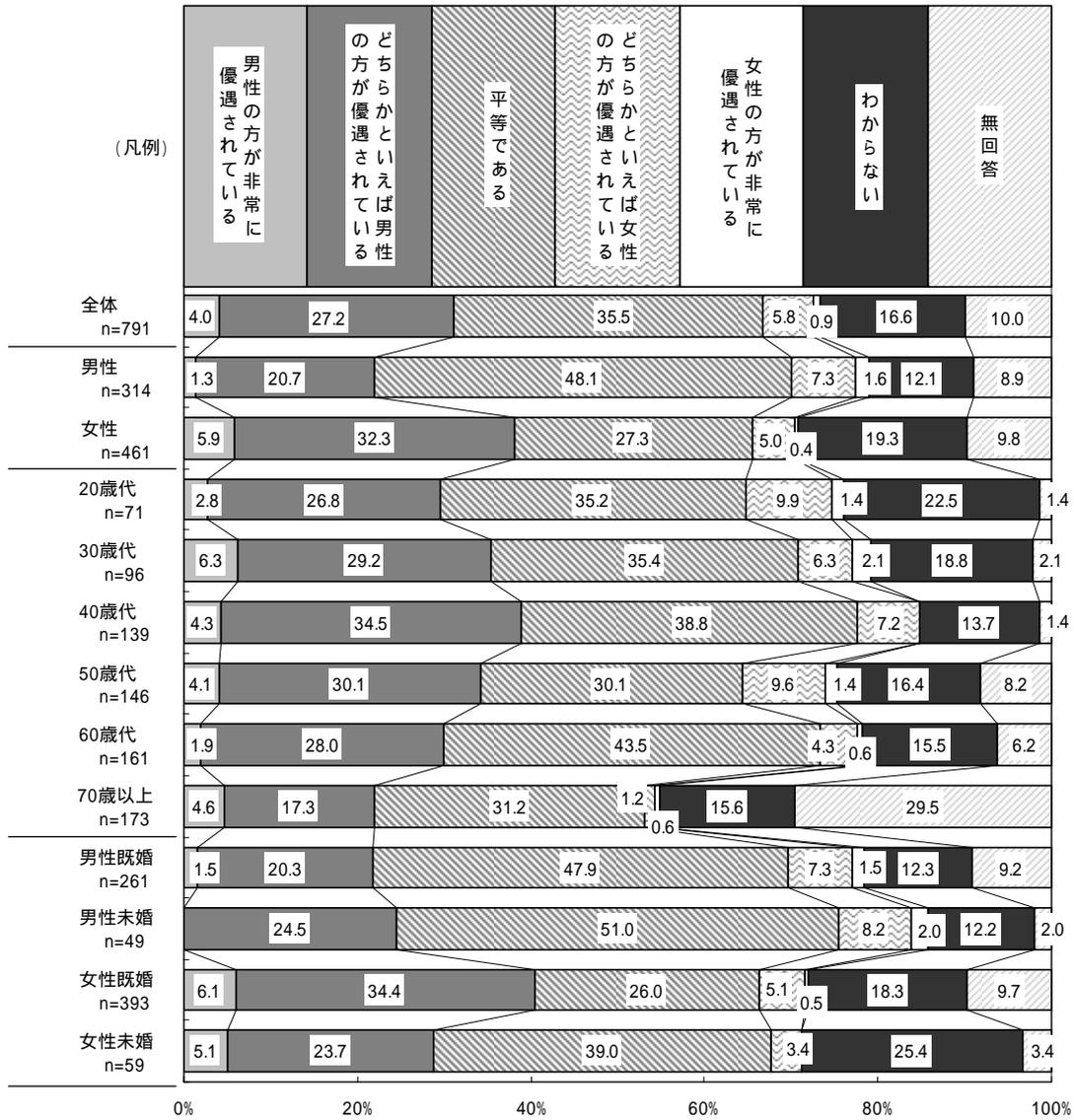
E 社会通念や風潮



【F 法律や制度の上】

- 「平等である」が35.5%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は31.2%となっている。
- 性別では、男性は「平等である」が48.1%と女性（27.3%）よりも20.8ポイント高い。
- 年齢別では、60歳代は「平等である」が43.5%とやや高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「平等である」が26.0%と低く、『男性の方が優遇されている』が40.5%と高くなっている。

F 法律や制度の上

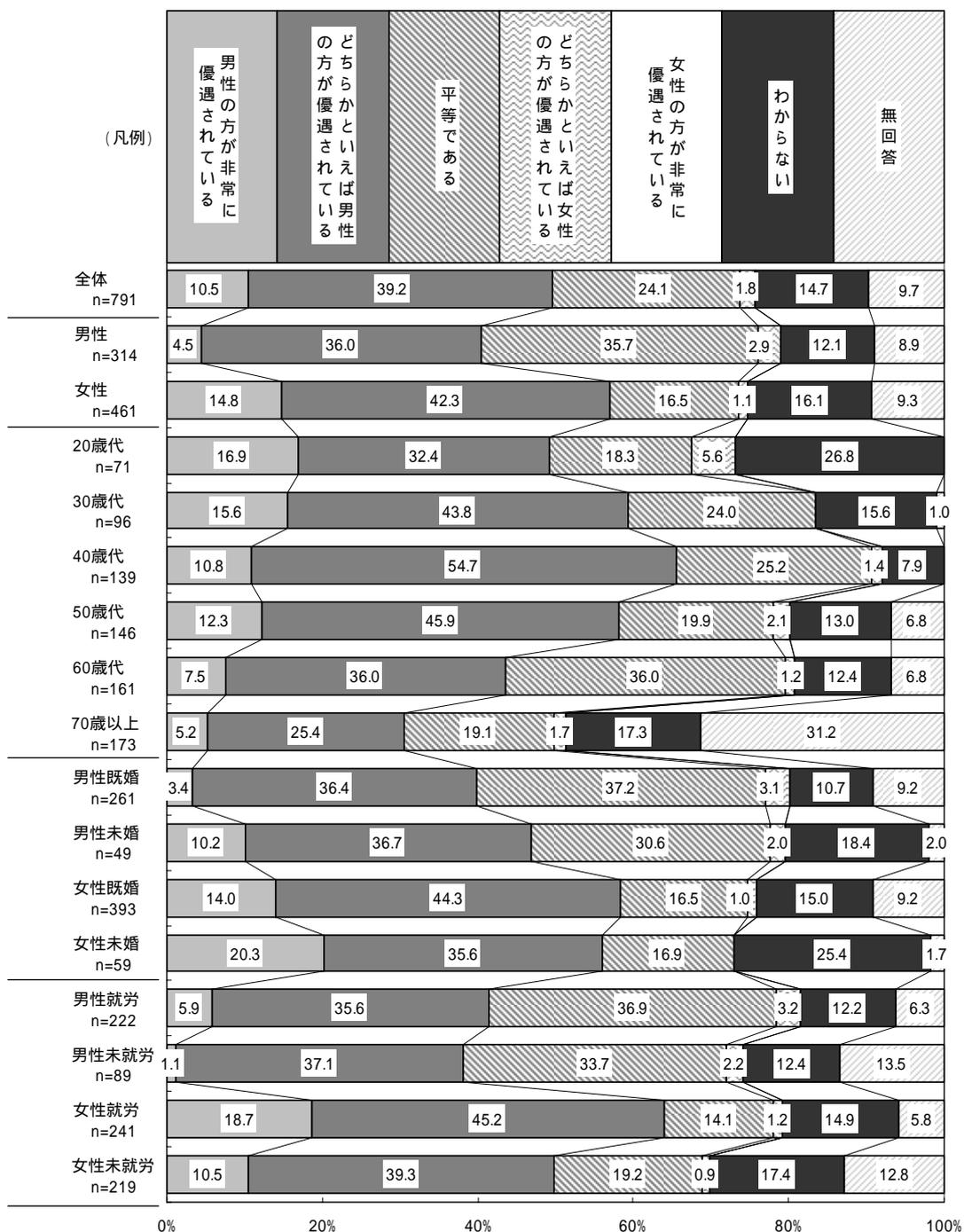


		F 法律や制度の上(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	32	215	281	46	7	131	79
		100.0	4.0	27.2	35.5	5.8	0.9	16.6	10.0
性 年 齢 別	男性計	314	4	65	151	23	5	38	28
		100.0	1.3	20.7	48.1	7.3	1.6	12.1	8.9
	20歳代	27	-	6	13	3	1	4	-
		100.0	-	22.2	48.1	11.1	3.7	14.8	-
	30歳代	35	-	9	16	2	2	5	1
		100.0	-	25.7	45.7	5.7	5.7	14.3	2.9
	40歳代	56	2	13	29	6	-	6	-
		100.0	3.6	23.2	51.8	10.7	-	10.7	-
	50歳代	63	1	15	27	7	1	8	4
		100.0	1.6	23.8	42.9	11.1	1.6	12.7	6.3
	60歳代	65	-	13	38	3	-	7	4
		100.0	-	20.0	58.5	4.6	-	10.8	6.2
	70歳以上	68	1	9	28	2	1	8	19
		100.0	1.5	13.2	41.2	2.9	1.5	11.8	27.9
	女性計	461	27	149	126	23	2	89	45
		100.0	5.9	32.3	27.3	5.0	0.4	19.3	9.8
	20歳代	44	2	13	12	4	-	12	1
		100.0	4.5	29.5	27.3	9.1	-	27.3	2.3
	30歳代	60	6	19	17	4	-	13	1
		100.0	10.0	31.7	28.3	6.7	-	21.7	1.7
40歳代	82	4	34	25	4	-	13	2	
	100.0	4.9	41.5	30.5	4.9	-	15.9	2.4	
50歳代	82	5	29	17	7	1	16	7	
	100.0	6.1	35.4	20.7	8.5	1.2	19.5	8.5	
60歳代	95	3	32	31	4	1	18	6	
	100.0	3.2	33.7	32.6	4.2	1.1	18.9	6.3	
70歳以上	97	7	21	24	-	-	17	28	
	100.0	7.2	21.6	24.7	-	-	17.5	28.9	

【G 政治（政策決定）の場】

- 「平等である」が24.1%となり、『男性の方が優遇されている』は49.7%である。
- 性別では、男性は「平等である」が35.7%と女性（16.5%）よりも19.2ポイント高い。
- 年齢別では、『男性の方が優遇されている』は40歳代が65.5%と6割を超えており、30歳代（59.4%）、50歳代（58.2%）でも高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「平等である」が16.5%にとどまり、男性既婚者（37.2%）よりも20.7ポイント低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が63.9%と高く、そのうち「男性の方が非常に優遇されている」が18.7%を占める。一方、男性就労者は「平等である」が36.9%と女性就労者（14.1%）を22.8ポイント上回る。

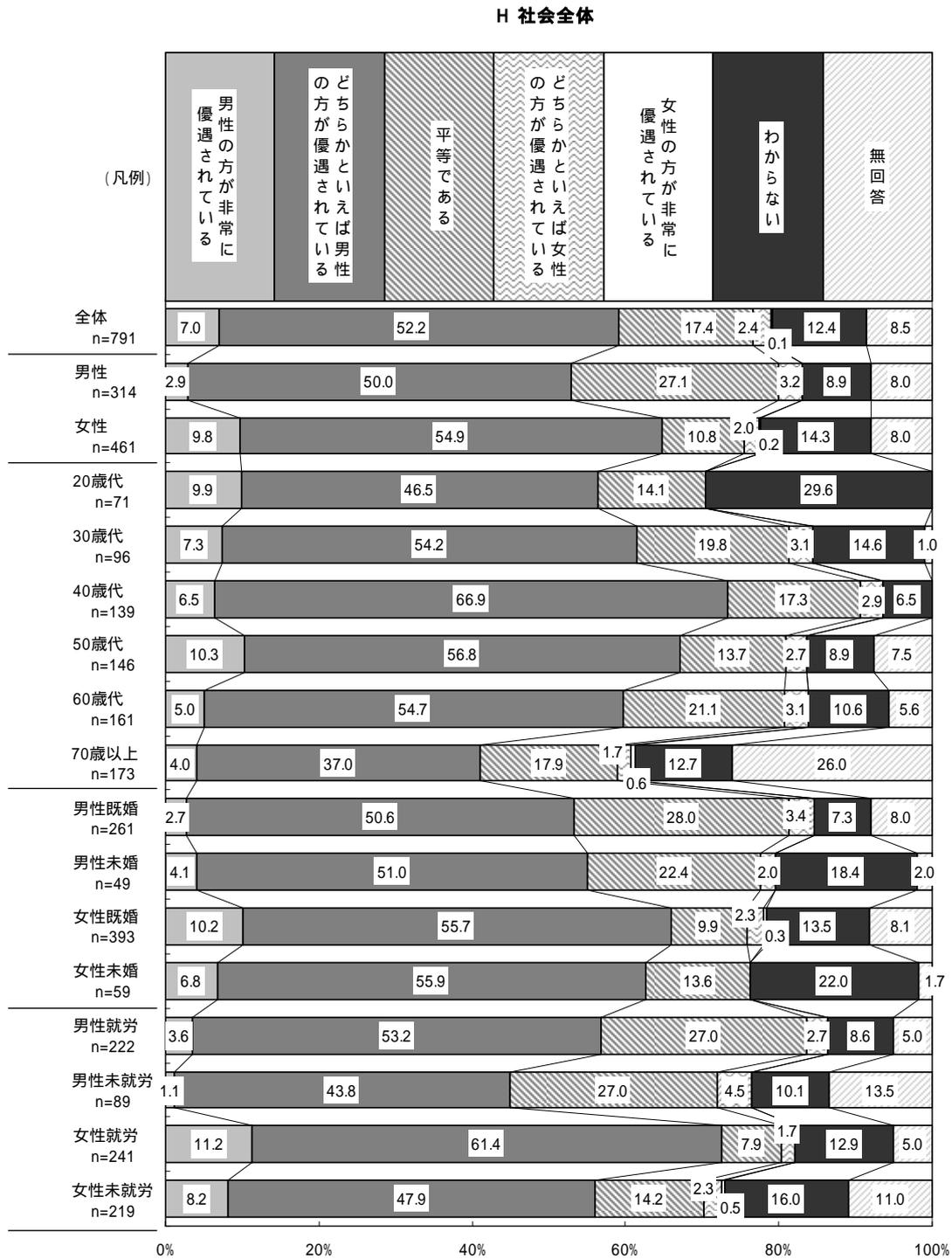
G 政治（政策決定）の場



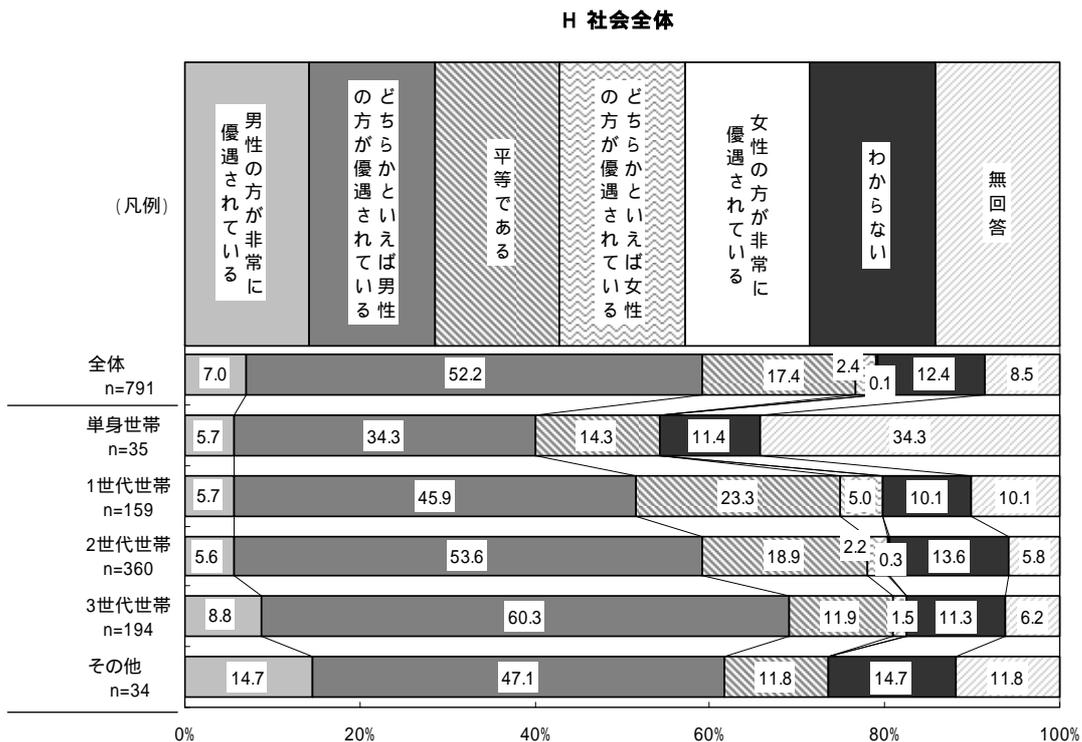
		G 政治(政策決定)の場[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	83	310	191	14	0	116	77
		100.0	10.5	39.2	24.1	1.8	0.0	14.7	9.7
性 年 齢 別	男性計	314	14	113	112	9	-	38	28
		100.0	4.5	36.0	35.7	2.9	-	12.1	8.9
	20歳代	27	4	8	7	2	-	6	-
		100.0	14.8	29.6	25.9	7.4	-	22.2	-
	30歳代	35	2	12	15	-	-	6	-
		100.0	5.7	34.3	42.9	-	-	17.1	-
	40歳代	56	3	28	19	1	-	5	-
		100.0	5.4	50.0	33.9	1.8	-	8.9	-
	50歳代	63	4	24	19	3	-	9	4
		100.0	6.3	38.1	30.2	4.8	-	14.3	6.3
	60歳代	65	-	22	32	1	-	4	6
		100.0	-	33.8	49.2	1.5	-	6.2	9.2
	70歳以上	68	1	19	20	2	-	8	18
		100.0	1.5	27.9	29.4	2.9	-	11.8	26.5
	女性計	461	68	195	76	5	-	74	43
		100.0	14.8	42.3	16.5	1.1	-	16.1	9.3
	20歳代	44	8	15	6	2	-	13	-
		100.0	18.2	34.1	13.6	4.5	-	29.5	-
	30歳代	60	13	30	7	-	-	9	1
		100.0	21.7	50.0	11.7	-	-	15.0	1.7
40歳代	82	12	47	16	1	-	6	-	
	100.0	14.6	57.3	19.5	1.2	-	7.3	-	
50歳代	82	14	43	10	-	-	10	5	
	100.0	17.1	52.4	12.2	-	-	12.2	6.1	
60歳代	95	12	35	26	1	-	16	5	
	100.0	12.6	36.8	27.4	1.1	-	16.8	5.3	
70歳以上	97	8	25	11	1	-	20	32	
	100.0	8.2	25.8	11.3	1.0	-	20.6	33.0	

【H 社会全体】

- 「平等である」が17.4%となり、『男性の方が優遇されている』は59.2%である。
- 性別では、男性は「平等である」が27.1%と女性（10.8%）よりも16.3ポイント高い。
- 年齢別では、70歳以上を除くいずれの年齢層でも『男性の方が優遇されている』が5割を超え、そのうち40歳代は73.4%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が72.6%と特に高い。
- 世帯別では、「平等である」は1世代世帯が23.3%とやや高い。また、3世代世帯は『男性の方が優遇されている』が69.1%と高い。



		H 社会全体[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		791	55	413	138	19	1	98	67
		100.0	7.0	52.2	17.4	2.4	0.1	12.4	8.5
男性計		314	9	157	85	10	-	28	25
		100.0	2.9	50.0	27.1	3.2	-	8.9	8.0
20歳代		27	1	12	6	-	-	8	-
		100.0	3.7	44.4	22.2	-	-	29.6	-
30歳代		35	1	18	10	2	-	4	-
		100.0	2.9	51.4	28.6	5.7	-	11.4	-
40歳代		56	1	31	19	2	-	3	-
		100.0	1.8	55.4	33.9	3.6	-	5.4	-
50歳代		63	4	30	18	2	-	6	3
		100.0	6.3	47.6	28.6	3.2	-	9.5	4.8
60歳代		65	1	40	16	2	-	2	4
		100.0	1.5	61.5	24.6	3.1	-	3.1	6.2
70歳以上		68	1	26	16	2	-	5	18
		100.0	1.5	38.2	23.5	2.9	-	7.4	26.5
女性計		461	45	253	50	9	1	66	37
		100.0	9.8	54.9	10.8	2.0	0.2	14.3	8.0
20歳代		44	6	21	4	-	-	13	-
		100.0	13.6	47.7	9.1	-	-	29.5	-
30歳代		60	6	33	9	1	-	10	1
		100.0	10.0	55.0	15.0	1.7	-	16.7	1.7
40歳代		82	8	62	4	2	-	6	-
		100.0	9.8	75.6	4.9	2.4	-	7.3	-
50歳代		82	11	53	2	2	-	7	7
		100.0	13.4	64.6	2.4	2.4	-	8.5	8.5
60歳代		95	7	47	18	3	-	15	5
		100.0	7.4	49.5	18.9	3.2	-	15.8	5.3
70歳以上		97	6	37	13	1	1	15	24
		100.0	6.2	38.1	13.4	1.0	1.0	15.5	24.7

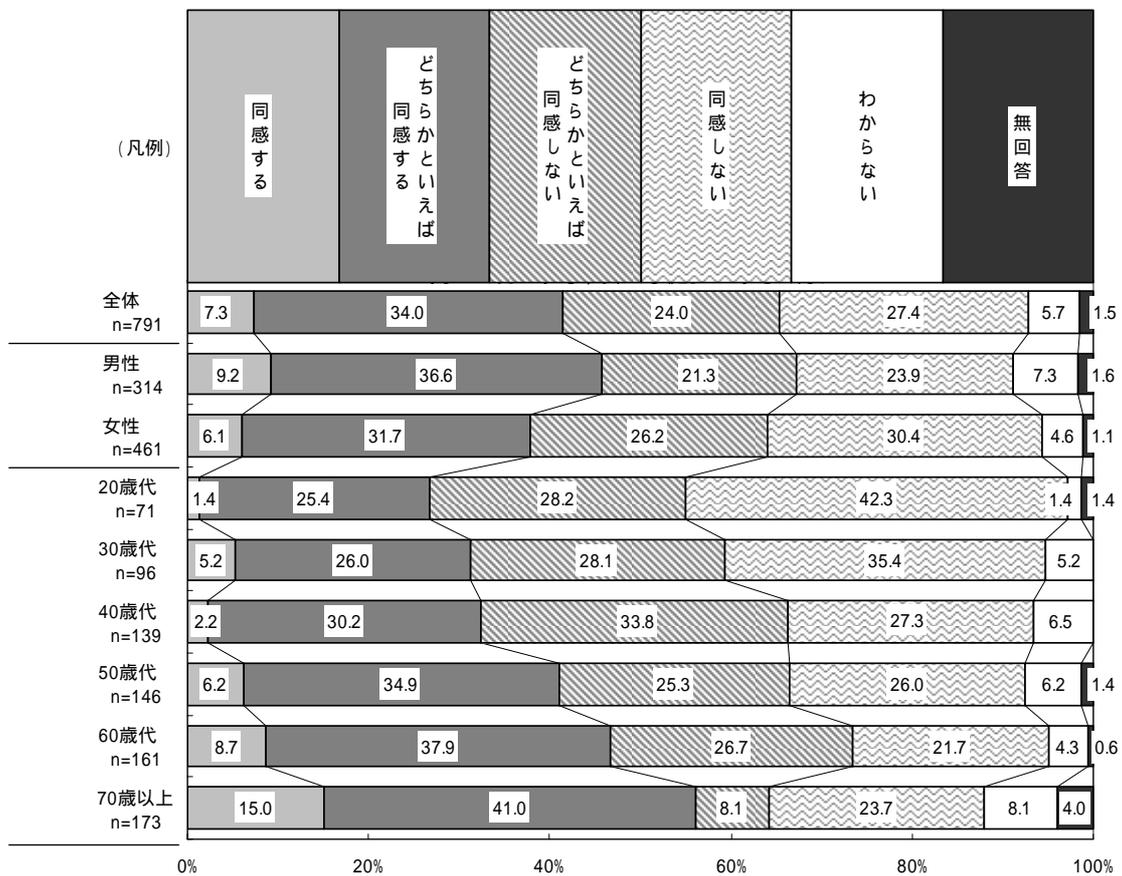


(2)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

- 「どちらかといえば同感する」が34.0%と最も高く、「同感する」(7.3%)と合わせた『同感する』は41.3%となる。一方、『同感しない』は51.4%である。
- 性別では、女性は『同感しない』が56.6%と男性(45.2%)よりも11.4ポイント高い。
- 年齢別では、『同感する』は70歳以上が56.0%と最も高く、年齢層が下がるほどその割合は低くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『同感しない』が72.9%と特に高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『同感しない』が66.8%と高い。
- 職業別では、『同感する』は勤め人(31.0%)、パートタイマー・アルバイト(34.6%)で低く、商工・サービス業(56.7%)、農林水産業(54.4%)、家事専業・家事手伝い(52.9%)では5割を超え高くなっている。
- 世帯別では、1世代世帯で『同感する』が52.8%と他の世帯に比べやや高い。

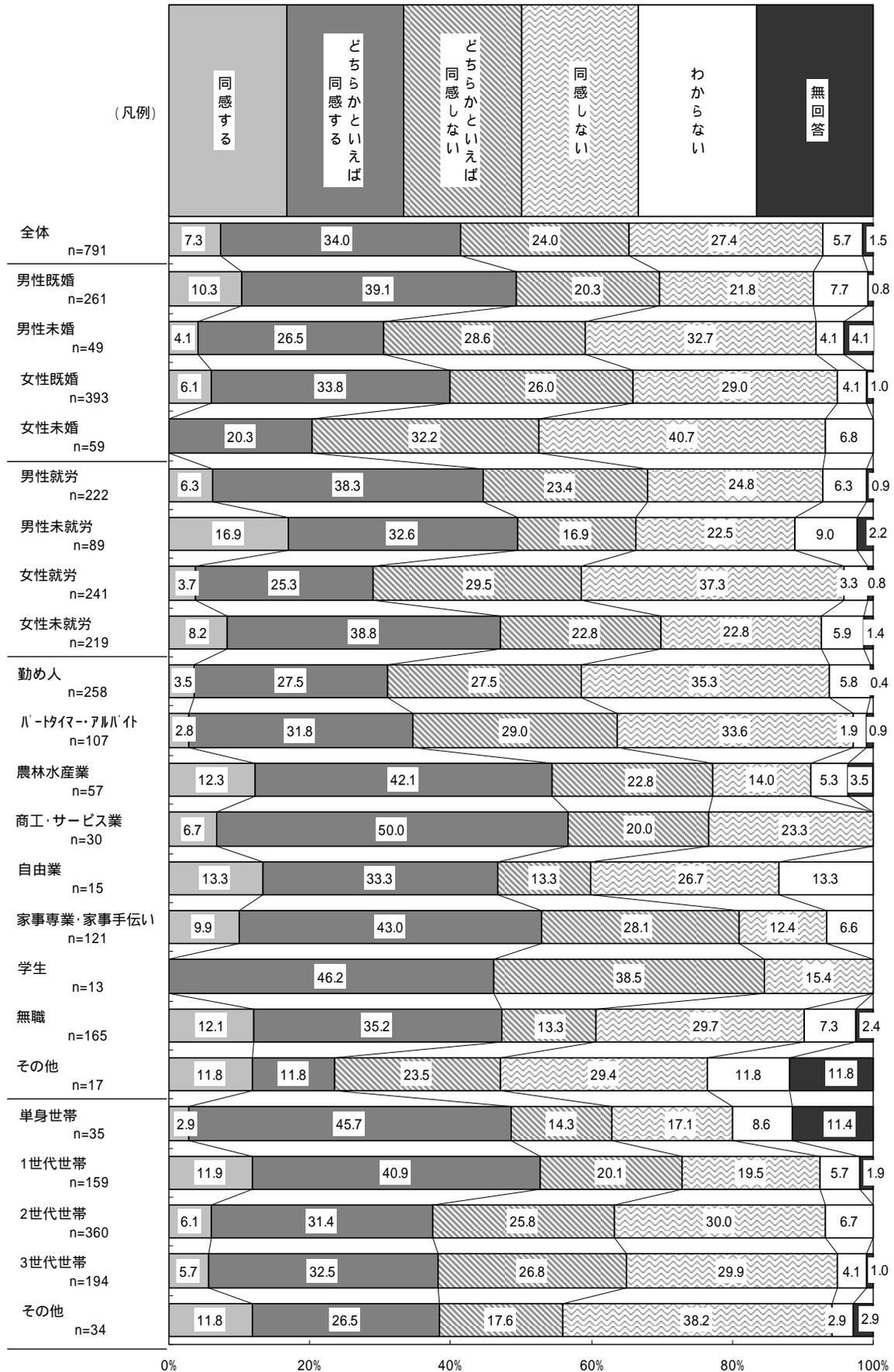
「男は仕事、女は家庭」という考え方について



『同感する』は、本来の選択肢の「同感する」と「どちらかといえば同感する」の割合を合計したものである。『同感しない』は、本来の選択肢の「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

		「男は仕事、女は家庭」という考え方について〔%〕						
		全体	同感する	どちらかといえは同感する	どちらかといえは同感しない	同感しない	わからない	無回答
全体		791	58	269	190	217	45	12
		100.0	7.3	34.0	24.0	27.4	5.7	1.5
性 年 齢 別	男性計	314	29	115	67	75	23	5
		100.0	9.2	36.6	21.3	23.9	7.3	1.6
	20歳代	27	1	7	7	10	1	1
		100.0	3.7	25.9	25.9	37.0	3.7	3.7
	30歳代	35	3	7	12	10	3	-
		100.0	8.6	20.0	34.3	28.6	8.6	-
	40歳代	56	2	23	12	15	4	-
		100.0	3.6	41.1	21.4	26.8	7.1	-
	50歳代	63	4	28	11	13	6	1
		100.0	6.3	44.4	17.5	20.6	9.5	1.6
	60歳代	65	9	20	18	13	4	1
		100.0	13.8	30.8	27.7	20.0	6.2	1.5
	70歳以上	68	10	30	7	14	5	2
		100.0	14.7	44.1	10.3	20.6	7.4	2.9
	女性計	461	28	146	121	140	21	5
		100.0	6.1	31.7	26.2	30.4	4.6	1.1
	20歳代	44	-	11	13	20	-	-
		100.0	-	25.0	29.5	45.5	-	-
	30歳代	60	2	17	15	24	2	-
		100.0	3.3	28.3	25.0	40.0	3.3	-
	40歳代	82	1	18	35	23	5	-
		100.0	1.2	22.0	42.7	28.0	6.1	-
	50歳代	82	5	22	26	25	3	1
		100.0	6.1	26.8	31.7	30.5	3.7	1.2
60歳代	95	5	41	25	21	3	-	
	100.0	5.3	43.2	26.3	22.1	3.2	-	
70歳以上	97	15	37	7	26	8	4	
	100.0	15.5	38.1	7.2	26.8	8.2	4.1	

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



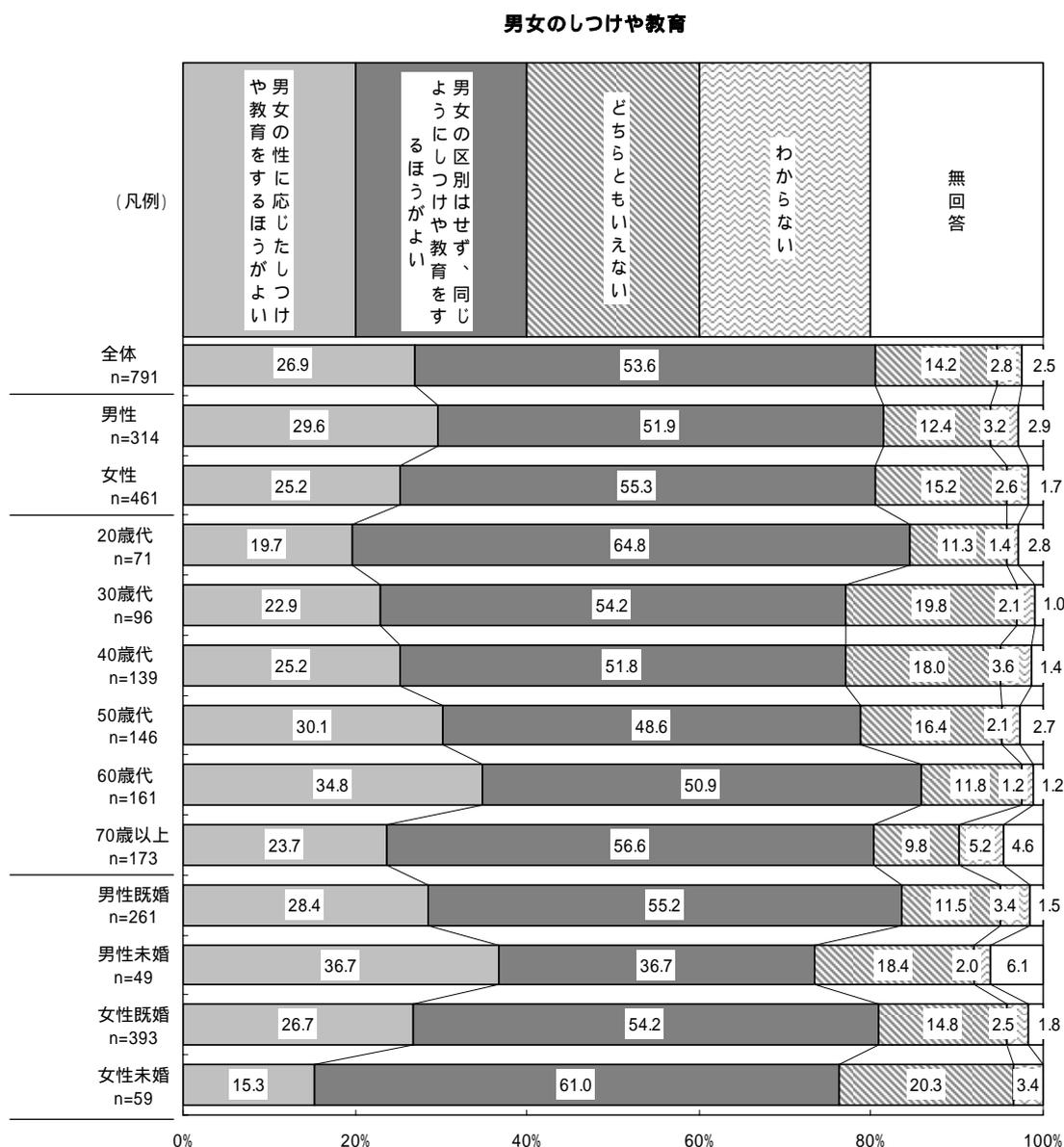
自由業、学生、その他（職業）の回答者は少数のため、分析から除いている。

2 家庭生活について

(1) 男女のしつけや教育

問3. あなたは、男の子と女の子のしつけや教育についてどう思いますか。

- 「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が53.6%と過半数を占め、以下「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」(26.9%)、「どちらともいえない」(14.2%)である。
- 性別では、女性は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が55.3%と男性(51.9%)よりもやや高い。
- 年齢別では、20歳代は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が64.8%と高く、「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が19.7%と低い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が61.0%と高くなっている。一方、男性未婚者は「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が36.7%と高い。



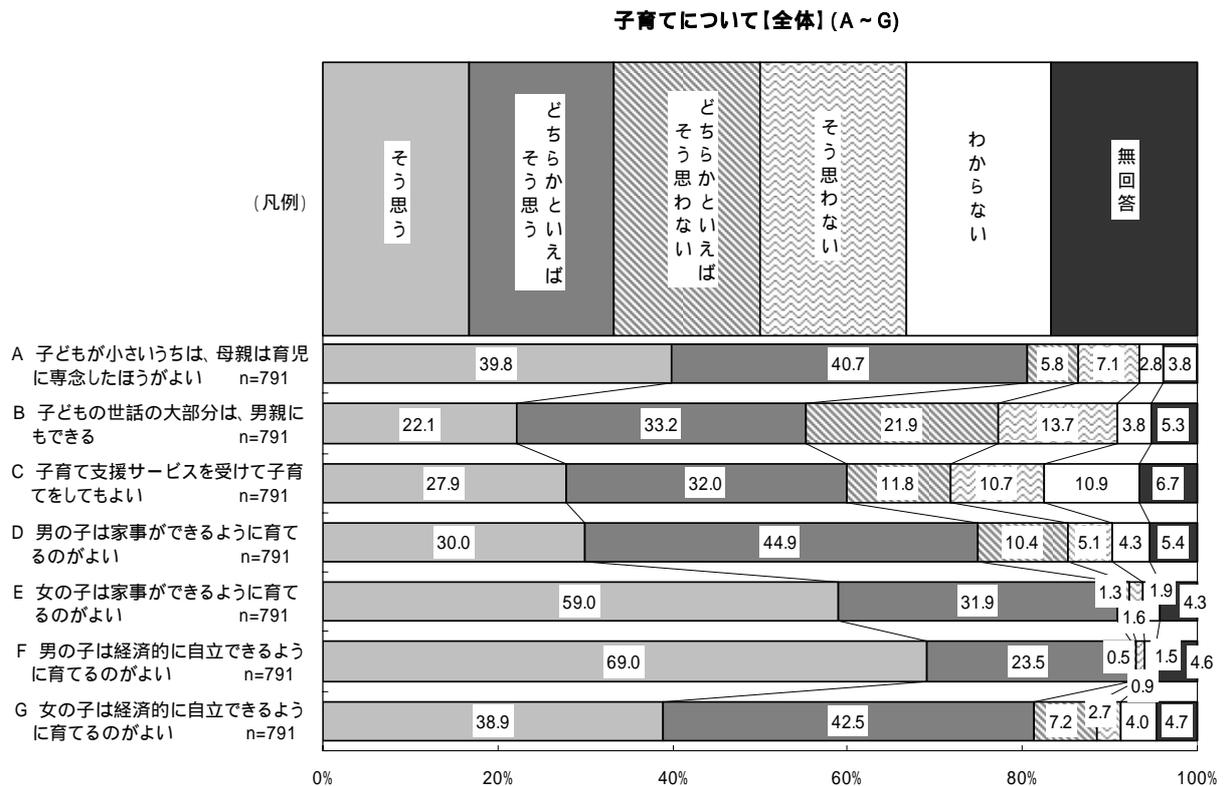
		男女のしつけや教育 [%]					
		全体	男女の性に 応じたしつ けや教育を するほうが よい	男女の区別 はせず、同 じようにしつ けや教育を するほうが よい	どちらともい えない	わからない	無回答
全体		791	213	424	112	22	20
		100.0	26.9	53.6	14.2	2.8	2.5
男性計		314	93	163	39	10	9
		100.0	29.6	51.9	12.4	3.2	2.9
20歳代		27	7	12	5	1	2
		100.0	25.9	44.4	18.5	3.7	7.4
30歳代		35	9	18	7	-	1
		100.0	25.7	51.4	20.0	-	2.9
40歳代		56	15	28	10	2	1
		100.0	26.8	50.0	17.9	3.6	1.8
50歳代		63	25	28	6	3	1
		100.0	39.7	44.4	9.5	4.8	1.6
60歳代		65	25	33	4	2	1
		100.0	38.5	50.8	6.2	3.1	1.5
70歳以上		68	12	44	7	2	3
		100.0	17.6	64.7	10.3	2.9	4.4
女性計		461	116	255	70	12	8
		100.0	25.2	55.3	15.2	2.6	1.7
20歳代		44	7	34	3	-	-
		100.0	15.9	77.3	6.8	-	-
30歳代		60	13	33	12	2	-
		100.0	21.7	55.0	20.0	3.3	-
40歳代		82	19	44	15	3	1
		100.0	23.2	53.7	18.3	3.7	1.2
50歳代		82	19	42	18	-	3
		100.0	23.2	51.2	22.0	-	3.7
60歳代		95	31	49	14	-	1
		100.0	32.6	51.6	14.7	-	1.1
70歳以上		97	27	52	8	7	3
		100.0	27.8	53.6	8.2	7.2	3.1

(2) 子育てについて

問4. 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。

【全体】(A~G)

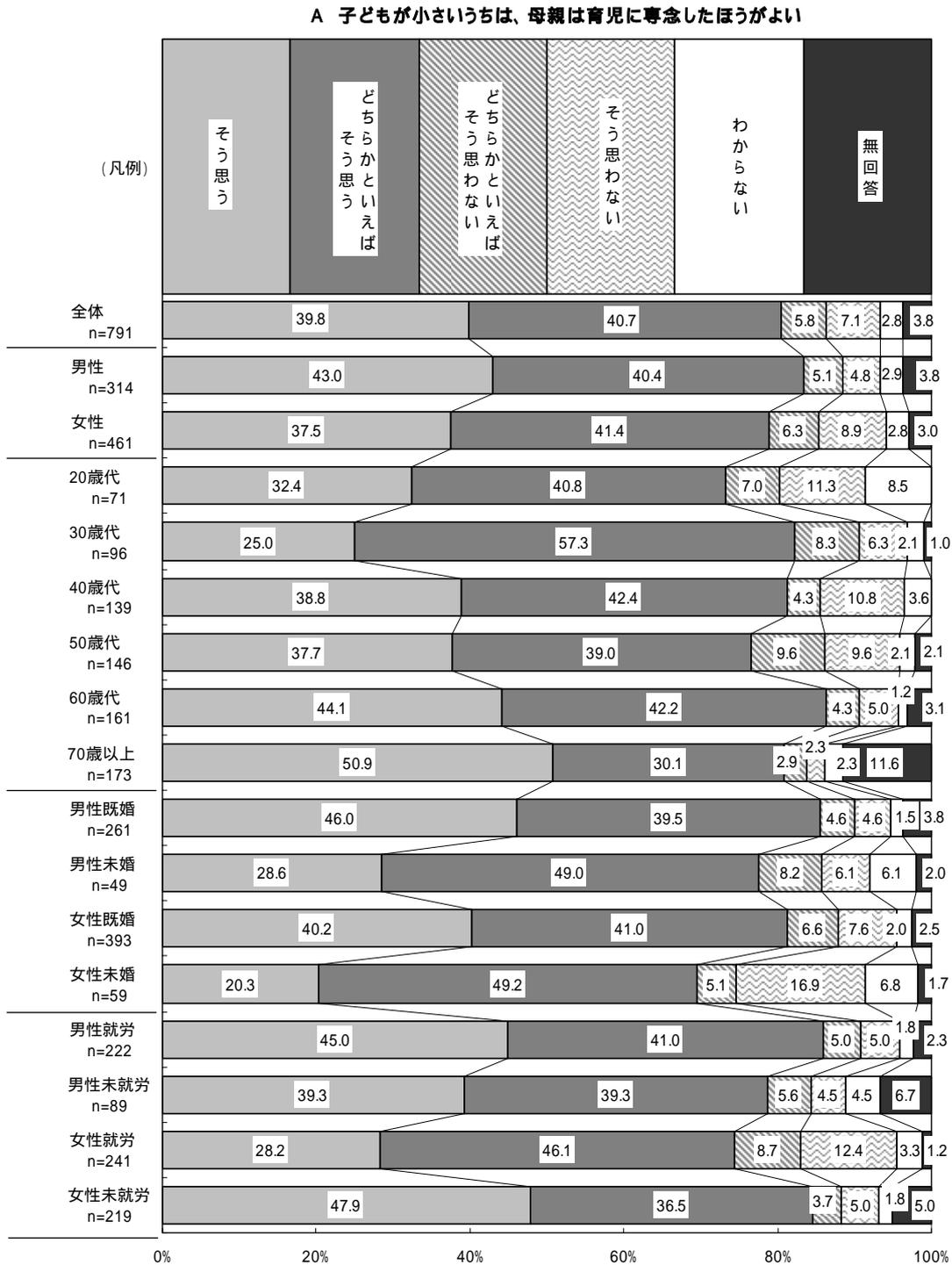
- 「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」、「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」は「そう思う」がそれぞれ 69.0%、59.0%と特に高く、「どちらかといえばそう思う」を加えるとそれぞれ 92.5%、90.9%に上る。また、「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」は、「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(30.0%)に比べ 29.0ポイント高く、大きな差がみられる。「B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」は『そう思う』がそれぞれ 55.3%、59.9%と他の項目に比べて低い。



『そう思う』は、本来の選択肢の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものである。また、『そう思わない』は、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい】

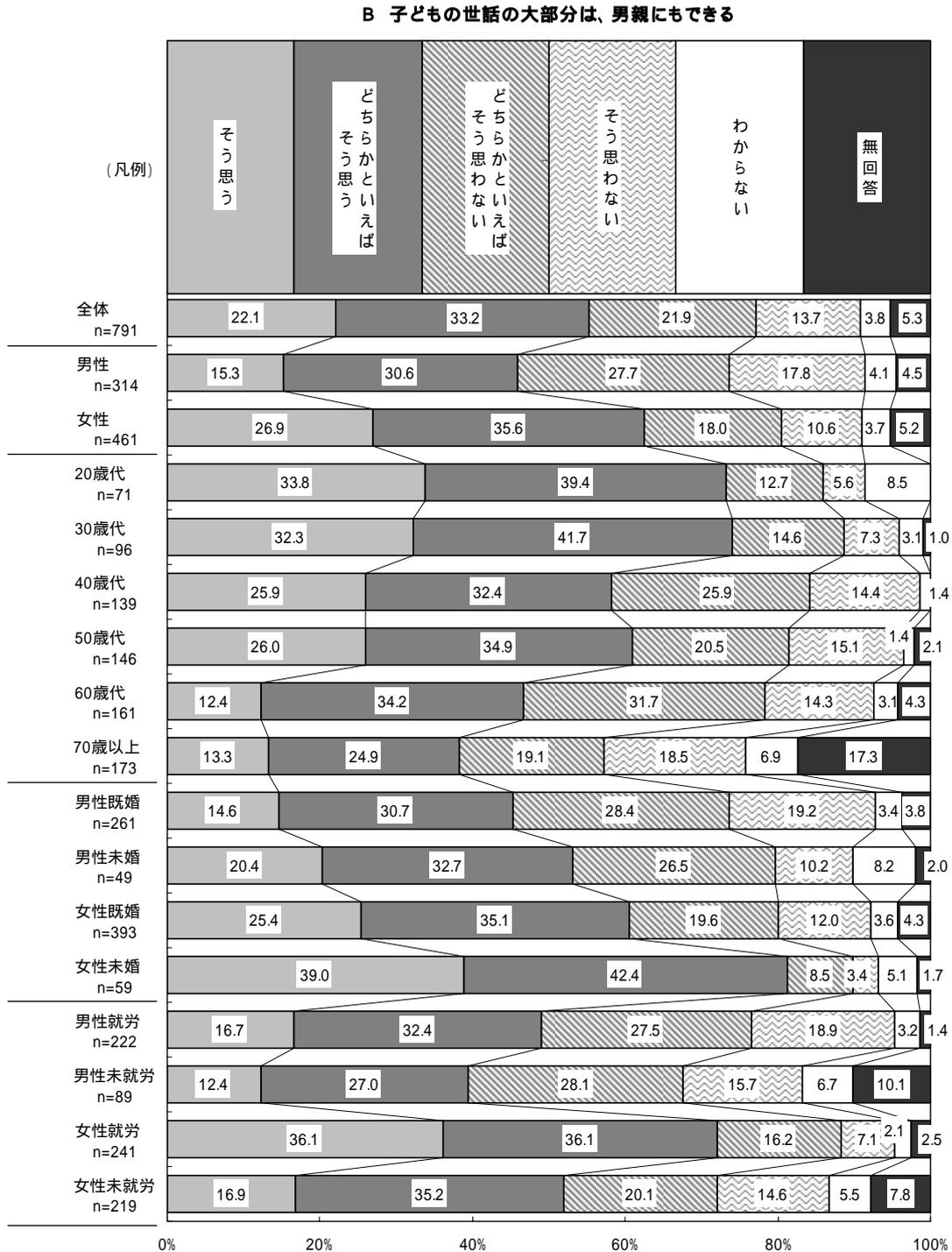
- 『そう思う』が80.5%と高く、『そう思わない』は12.9%である。
- 性別では、男性は『そう思う』が83.4%と女性（78.9%）よりも高い。
- 年齢別では、「そう思う」は30歳代が25.0%と特に低く、一方、70歳以上は50.9%と過半数を占める。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『そう思う』が69.5%と低く、「そう思わない」が16.9%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が74.3%と最も低い。



		A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	315	322	46	56	22	30
		100.0	39.8	40.7	5.8	7.1	2.8	3.8
性 年 齢 別	男性計	314	135	127	16	15	9	12
		100.0	43.0	40.4	5.1	4.8	2.9	3.8
	20歳代	27	9	11	2	2	3	-
		100.0	33.3	40.7	7.4	7.4	11.1	-
	30歳代	35	12	16	4	2	1	-
		100.0	34.3	45.7	11.4	5.7	2.9	-
	40歳代	56	25	23	2	5	1	-
		100.0	44.6	41.1	3.6	8.9	1.8	-
	50歳代	63	29	25	4	2	1	2
		100.0	46.0	39.7	6.3	3.2	1.6	3.2
	60歳代	65	29	26	2	2	1	5
		100.0	44.6	40.0	3.1	3.1	1.5	7.7
	70歳以上	68	31	26	2	2	2	5
		100.0	45.6	38.2	2.9	2.9	2.9	7.4
	女性計	461	173	191	29	41	13	14
		100.0	37.5	41.4	6.3	8.9	2.8	3.0
	20歳代	44	14	18	3	6	3	-
		100.0	31.8	40.9	6.8	13.6	6.8	-
	30歳代	60	11	39	4	4	1	1
		100.0	18.3	65.0	6.7	6.7	1.7	1.7
40歳代	82	29	35	4	10	4	-	
	100.0	35.4	42.7	4.9	12.2	4.9	-	
50歳代	82	26	32	10	12	2	-	
	100.0	31.7	39.0	12.2	14.6	2.4	-	
60歳代	95	41	42	5	6	1	-	
	100.0	43.2	44.2	5.3	6.3	1.1	-	
70歳以上	97	52	25	3	2	2	13	
	100.0	53.6	25.8	3.1	2.1	2.1	13.4	

【B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる】

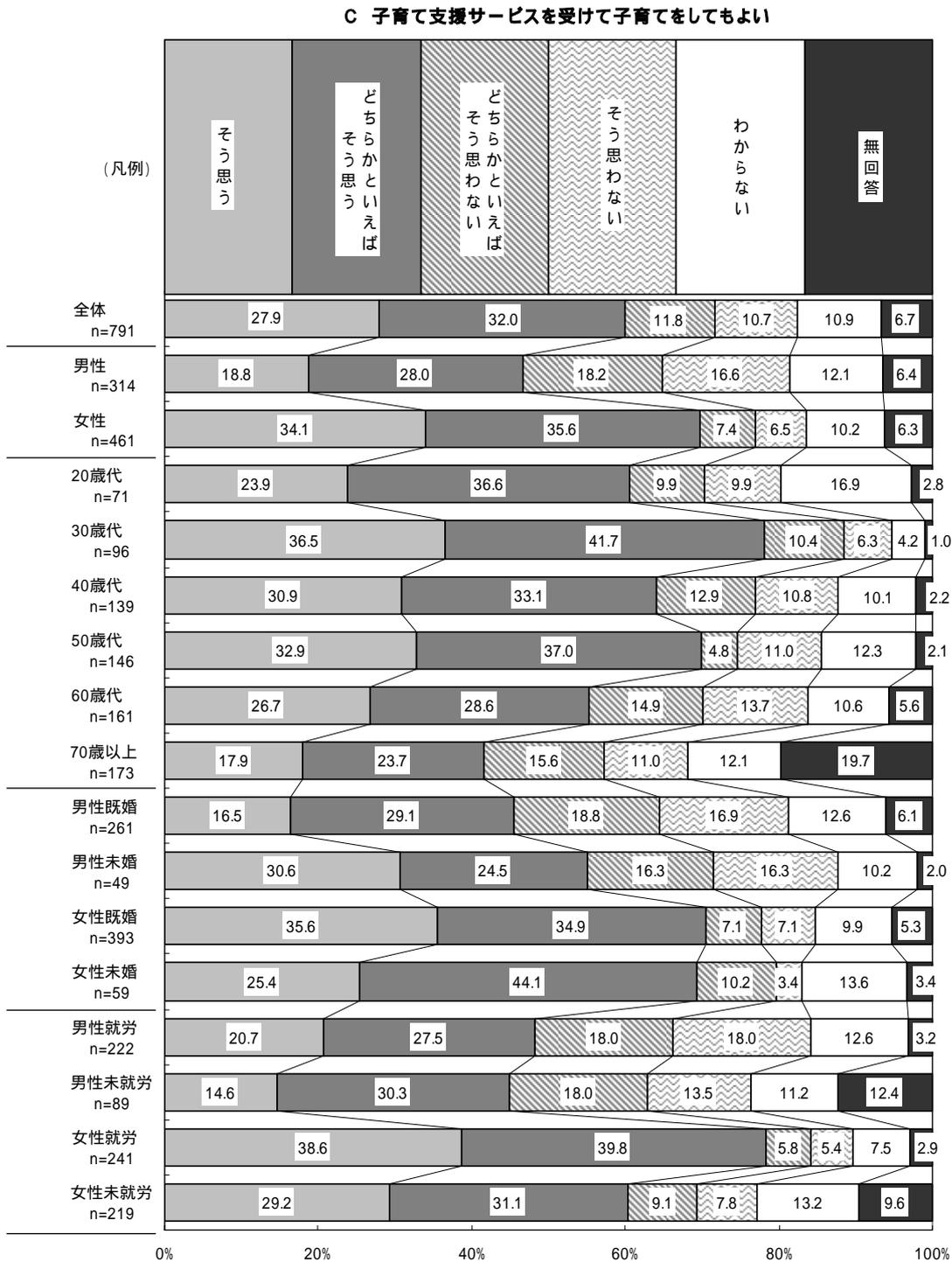
- 『そう思う』が55.3%と過半数を占め、『そう思わない』は35.6%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が62.5%と男性（45.9%）よりも16.6ポイント高い。
- 年齢別では、『そう思う』は30歳代（74.0%）、20歳代（73.2%）で7割を超えて高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『そう思う』が81.4%と特に高い。一方、男性既婚者は『そう思わない』が47.6%と高く、そのうち「そう思わない」が19.2%となっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』の割合が72.2%と特に高い。



		B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる〔%〕						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	175	263	173	108	30	42
		100.0	22.1	33.2	21.9	13.7	3.8	5.3
性 年 齢 別	男性計	314	48	96	87	56	13	14
		100.0	15.3	30.6	27.7	17.8	4.1	4.5
	20歳代	27	7	8	6	2	4	-
		100.0	25.9	29.6	22.2	7.4	14.8	-
	30歳代	35	6	16	8	4	1	-
		100.0	17.1	45.7	22.9	11.4	2.9	-
	40歳代	56	8	12	20	15	1	-
		100.0	14.3	21.4	35.7	26.8	1.8	-
	50歳代	63	8	23	15	16	-	1
		100.0	12.7	36.5	23.8	25.4	-	1.6
	60歳代	65	10	18	20	11	2	4
		100.0	15.4	27.7	30.8	16.9	3.1	6.2
	70歳以上	68	9	19	18	8	5	9
		100.0	13.2	27.9	26.5	11.8	7.4	13.2
	女性計	461	124	164	83	49	17	24
		100.0	26.9	35.6	18.0	10.6	3.7	5.2
	20歳代	44	17	20	3	2	2	-
		100.0	38.6	45.5	6.8	4.5	4.5	-
	30歳代	60	25	24	5	3	2	1
		100.0	41.7	40.0	8.3	5.0	3.3	1.7
40歳代	82	28	32	16	5	1	-	
	100.0	34.1	39.0	19.5	6.1	1.2	-	
50歳代	82	30	28	15	6	2	1	
	100.0	36.6	34.1	18.3	7.3	2.4	1.2	
60歳代	95	10	36	31	12	3	3	
	100.0	10.5	37.9	32.6	12.6	3.2	3.2	
70歳以上	97	13	24	13	21	7	19	
	100.0	13.4	24.7	13.4	21.6	7.2	19.6	

【C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい】

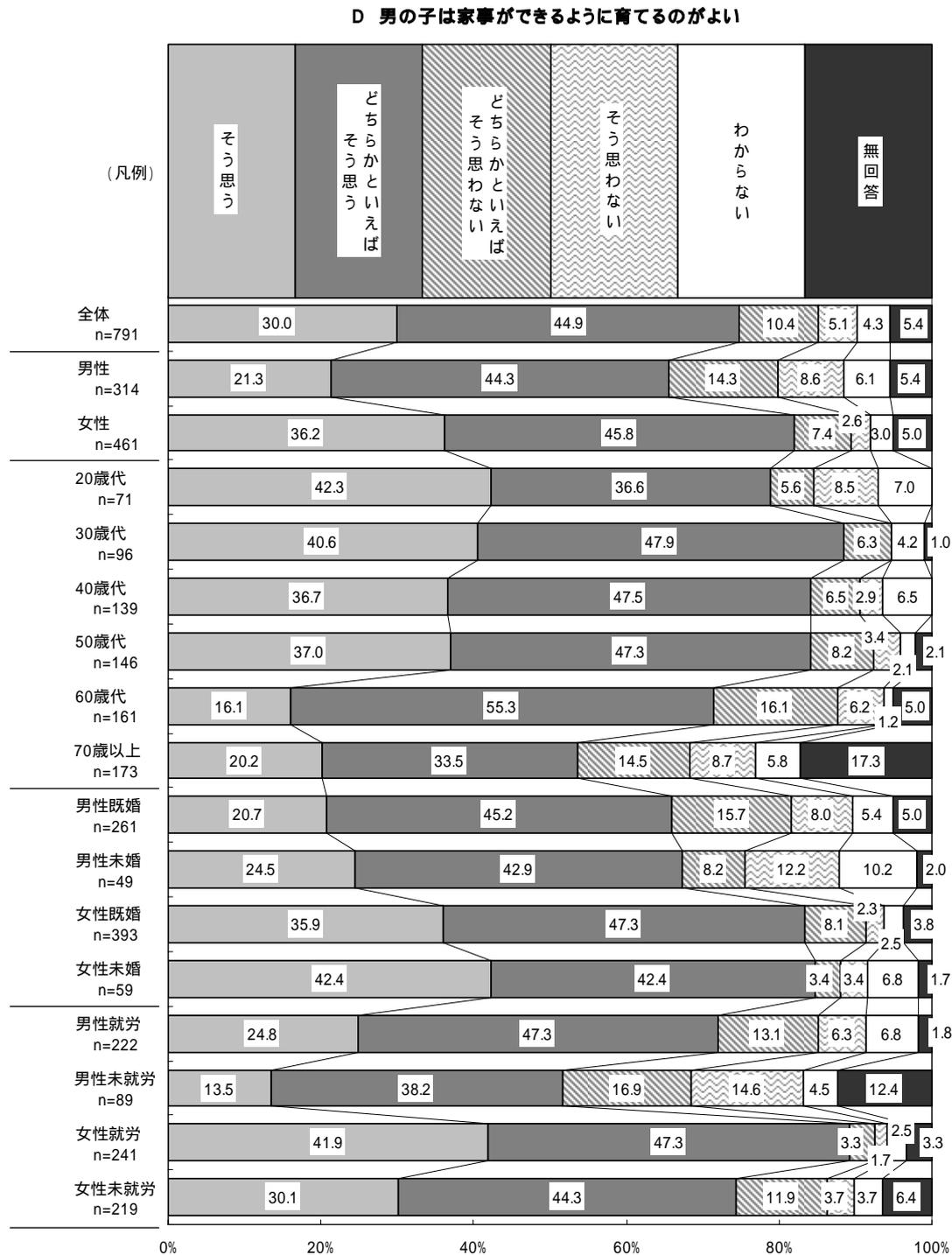
- 『そう思う』が59.9%と過半数を占め、『そう思わない』は22.5%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が69.7%と男性（46.8%）よりも22.9ポイント高い。
- 年齢別では、『そう思う』は30歳代が78.2%と最も高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は『そう思う』の割合が45.6%と最も低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が78.4%と特に高い。



		C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい[%]						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	221	253	93	85	86	53
		100.0	27.9	32.0	11.8	10.7	10.9	6.7
性 年 齢 別	男性計	314	59	88	57	52	38	20
		100.0	18.8	28.0	18.2	16.6	12.1	6.4
	20歳代	27	8	7	5	4	3	-
		100.0	29.6	25.9	18.5	14.8	11.1	-
	30歳代	35	10	12	6	5	2	-
		100.0	28.6	34.3	17.1	14.3	5.7	-
	40歳代	56	9	15	11	12	7	2
		100.0	16.1	26.8	19.6	21.4	12.5	3.6
	50歳代	63	11	25	7	8	11	1
		100.0	17.5	39.7	11.1	12.7	17.5	1.6
	60歳代	65	12	11	14	14	9	5
		100.0	18.5	16.9	21.5	21.5	13.8	7.7
	70歳以上	68	9	18	14	9	6	12
		100.0	13.2	26.5	20.6	13.2	8.8	17.6
	女性計	461	157	164	34	30	47	29
		100.0	34.1	35.6	7.4	6.5	10.2	6.3
	20歳代	44	9	19	2	3	9	2
		100.0	20.5	43.2	4.5	6.8	20.5	4.5
	30歳代	60	25	27	4	1	2	1
		100.0	41.7	45.0	6.7	1.7	3.3	1.7
40歳代	82	34	31	6	3	7	1	
	100.0	41.5	37.8	7.3	3.7	8.5	1.2	
50歳代	82	37	29	-	8	7	1	
	100.0	45.1	35.4	-	9.8	8.5	1.2	
60歳代	95	30	35	10	8	8	4	
	100.0	31.6	36.8	10.5	8.4	8.4	4.2	
70歳以上	97	21	23	12	7	14	20	
	100.0	21.6	23.7	12.4	7.2	14.4	20.6	

【D 男の子は家事ができるように育てるのがよい】

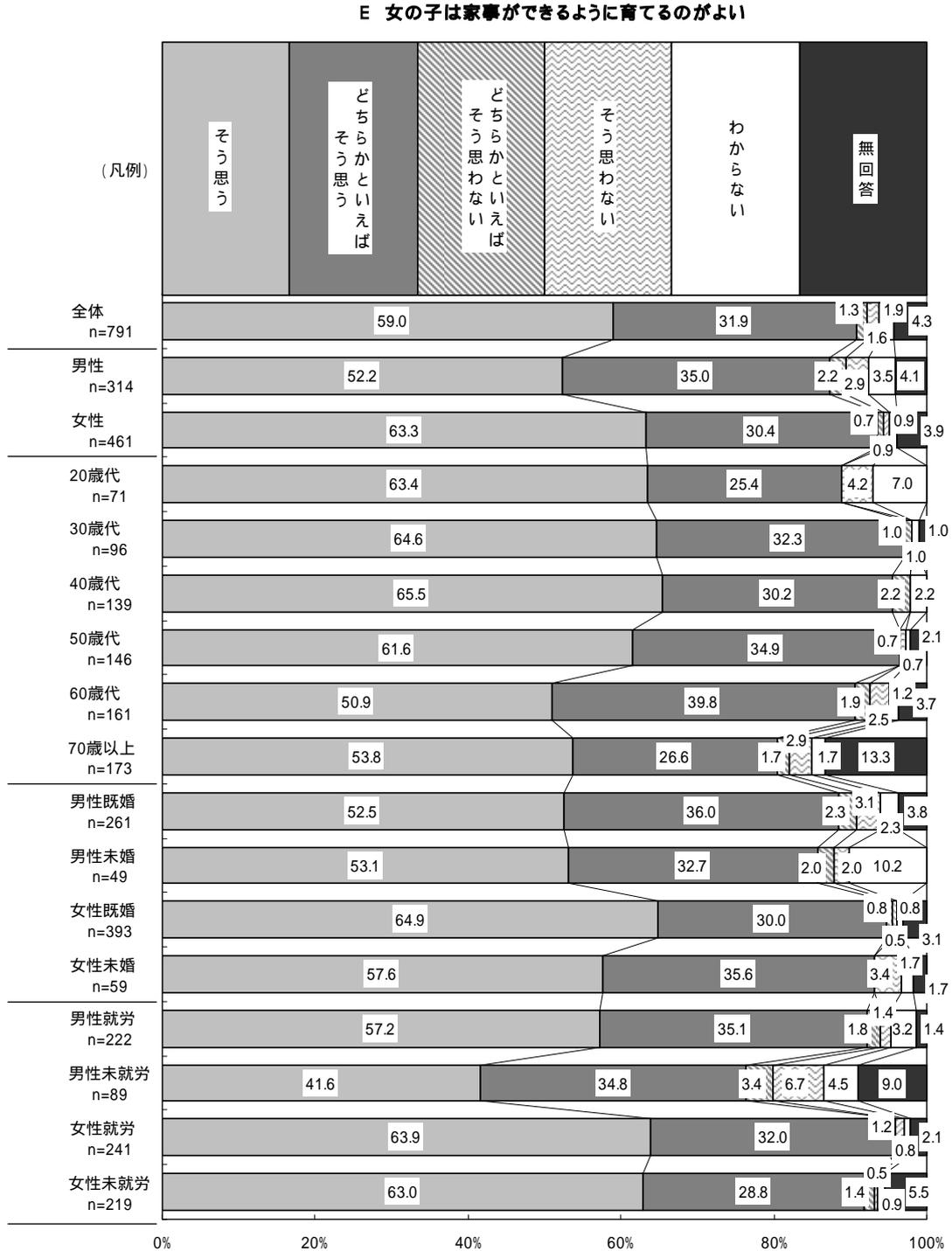
- 『そう思う』が74.9%と高く、『そう思わない』は15.5%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が82.0%と男性（65.6%）よりも16.4ポイント高い。
- 年齢別では、『そう思う』は30歳代が88.5%と最も高く、50歳代（84.3%）、40歳代（84.2%）でも8割を超える。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は『そう思わない』が23.7%とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が89.2%と特に高く、そのうち「そう思う」は41.9%となっている。



		D 男の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	237	355	82	40	34	43
		100.0	30.0	44.9	10.4	5.1	4.3	5.4
性 年 齢 別	男性計	314	67	139	45	27	19	17
		100.0	21.3	44.3	14.3	8.6	6.1	5.4
	20歳代	27	8	10	2	3	4	-
		100.0	29.6	37.0	7.4	11.1	14.8	-
	30歳代	35	12	18	4	-	1	-
		100.0	34.3	51.4	11.4	-	2.9	-
	40歳代	56	11	30	5	4	6	-
		100.0	19.6	53.6	8.9	7.1	10.7	-
	50歳代	63	18	29	8	5	2	1
		100.0	28.6	46.0	12.7	7.9	3.2	1.6
	60歳代	65	8	27	16	7	2	5
		100.0	12.3	41.5	24.6	10.8	3.1	7.7
	70歳以上	68	10	25	10	8	4	11
		100.0	14.7	36.8	14.7	11.8	5.9	16.2
	女性計	461	167	211	34	12	14	23
		100.0	36.2	45.8	7.4	2.6	3.0	5.0
	20歳代	44	22	16	2	3	1	-
		100.0	50.0	36.4	4.5	6.8	2.3	-
	30歳代	60	27	27	2	-	3	1
		100.0	45.0	45.0	3.3	-	5.0	1.7
40歳代	82	40	36	3	-	3	-	
	100.0	48.8	43.9	3.7	-	3.7	-	
50歳代	82	36	40	4	-	1	1	
	100.0	43.9	48.8	4.9	-	1.2	1.2	
60歳代	95	18	61	10	3	-	3	
	100.0	18.9	64.2	10.5	3.2	-	3.2	
70歳以上	97	23	31	13	6	6	18	
	100.0	23.7	32.0	13.4	6.2	6.2	18.6	

【E 女の子は家事ができるように育てるのがよい】

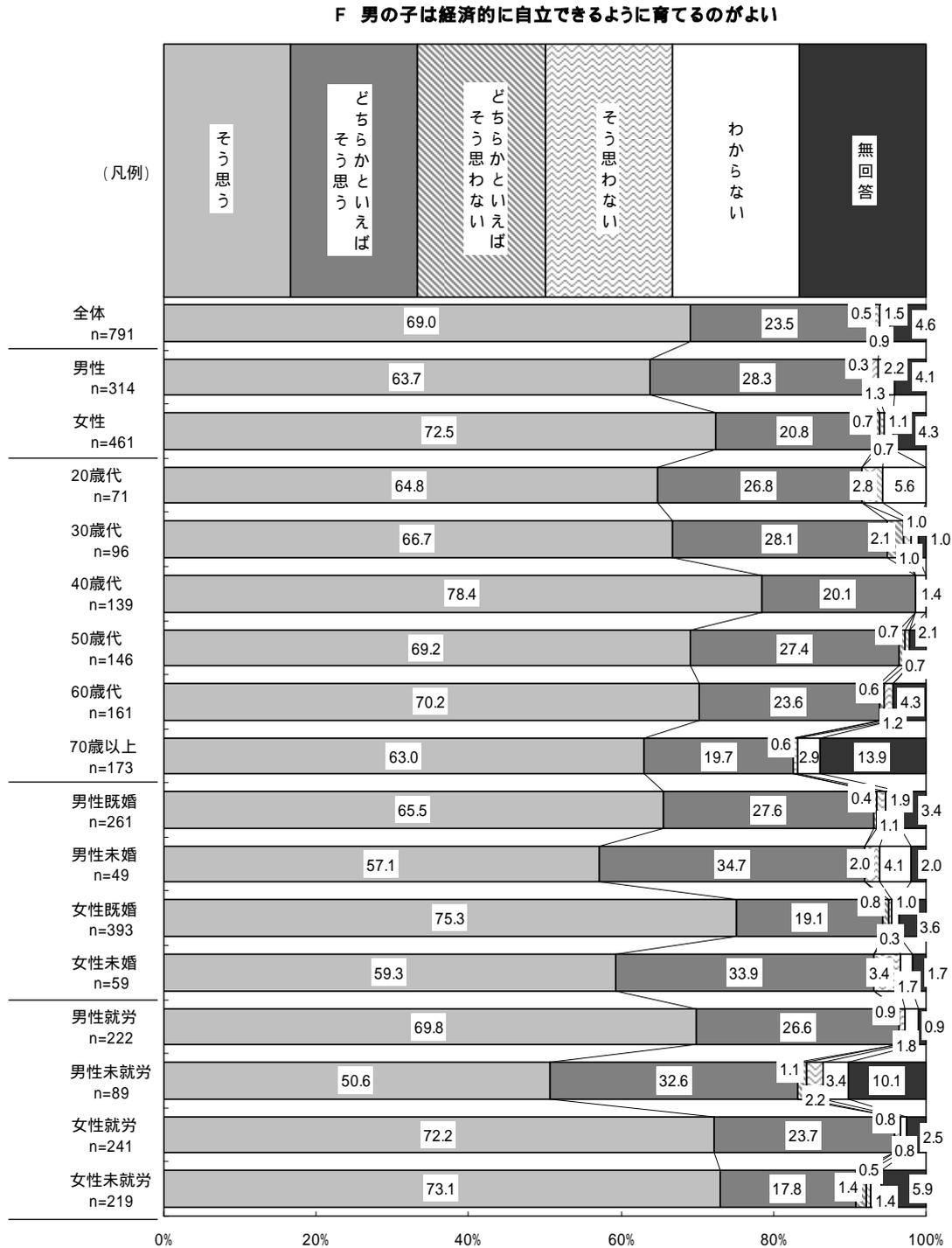
- 『そう思う』が90.9%を占め、『そう思わない』は2.9%にとどまっている。
- 性別では、女性は「そう思う」が63.3%と男性（52.2%）よりも11.1ポイント高い。
- 年齢別では、70歳以上は『そう思う』が80.4%と他の年代に比べて低くなっている。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「そう思う」が64.9%と高い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は『そう思う』が76.4%と低くなっている。



		E 女の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	467	252	10	13	15	34
		100.0	59.0	31.9	1.3	1.6	1.9	4.3
性 年 齢 別	男性計	314	164	110	7	9	11	13
		100.0	52.2	35.0	2.2	2.9	3.5	4.1
	20歳代	27	14	8	-	1	4	-
		100.0	51.9	29.6	-	3.7	14.8	-
	30歳代	35	21	13	-	-	1	-
		100.0	60.0	37.1	-	-	2.9	-
	40歳代	56	34	18	2	-	2	-
		100.0	60.7	32.1	3.6	-	3.6	-
	50歳代	63	36	24	-	1	1	1
		100.0	57.1	38.1	-	1.6	1.6	1.6
	60歳代	65	27	28	2	3	2	3
		100.0	41.5	43.1	3.1	4.6	3.1	4.6
	70歳以上	68	32	19	3	4	1	9
		100.0	47.1	27.9	4.4	5.9	1.5	13.2
	女性計	461	292	140	3	4	4	18
		100.0	63.3	30.4	0.7	0.9	0.9	3.9
	20歳代	44	31	10	-	2	1	-
		100.0	70.5	22.7	-	4.5	2.3	-
	30歳代	60	41	17	1	-	-	1
		100.0	68.3	28.3	1.7	-	-	1.7
40歳代	82	56	24	1	-	1	-	
	100.0	68.3	29.3	1.2	-	1.2	-	
50歳代	82	54	27	-	-	-	1	
	100.0	65.9	32.9	-	-	-	1.2	
60歳代	95	54	36	1	1	-	3	
	100.0	56.8	37.9	1.1	1.1	-	3.2	
70歳以上	97	55	26	-	1	2	13	
	100.0	56.7	26.8	-	1.0	2.1	13.4	

【 F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

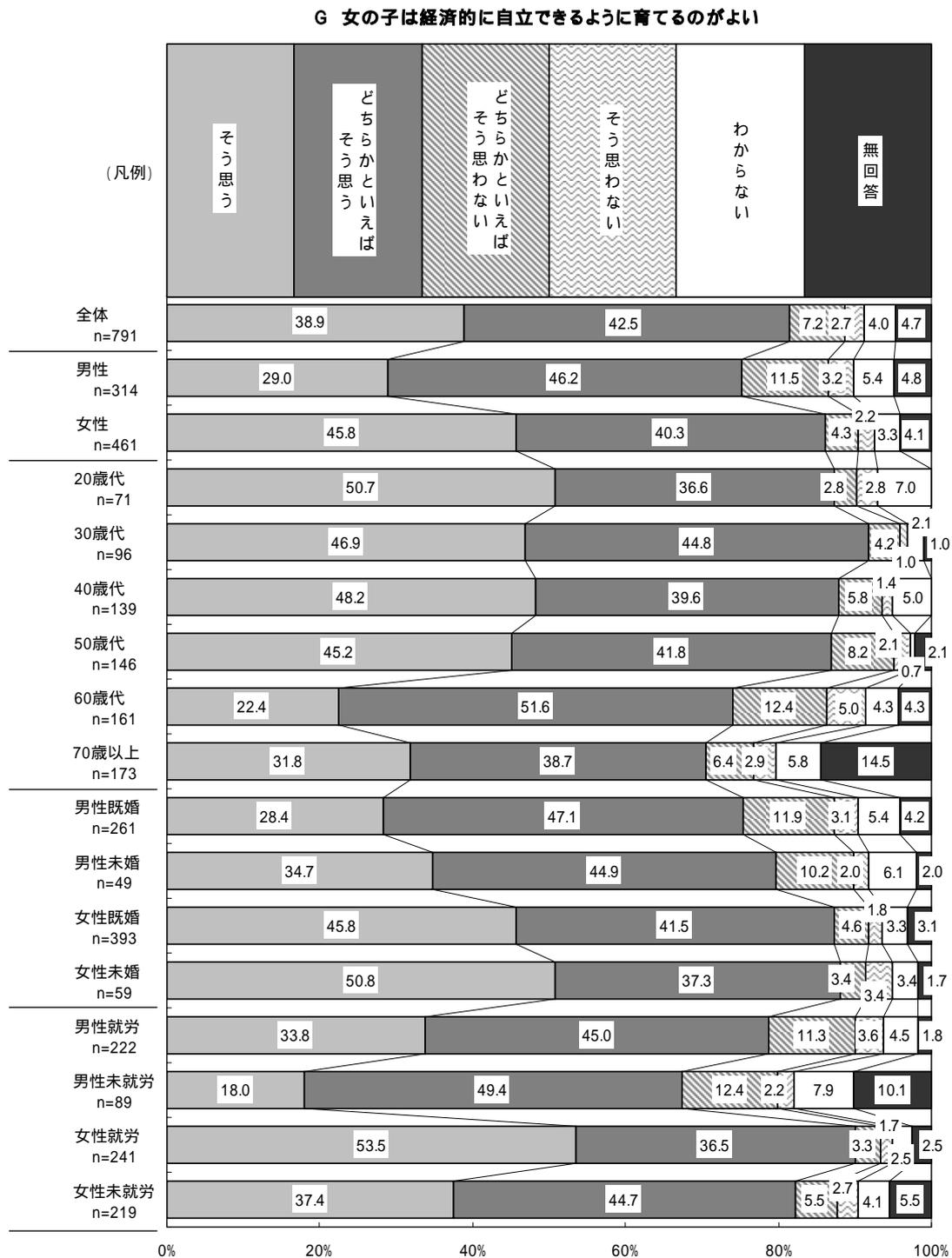
- 『そう思う』が92.5%を占め、『そう思わない』は1.4%にとどまっている。
- 性別では、女性は『そう思う』が93.3%と男性（92.0%）をわずかに上回っている。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で『そう思う』が9割以上を占めている。特に40歳代は「そう思う」が78.4%と高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「そう思う」が75.3%と高い。
- 性別・就労別では、『そう思う』は男性就労者が96.4%、女性就労者が95.9%となっており、就労者が未就労者に比べ高くなっている。



		F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	546	186	4	7	12	36
		100.0	69.0	23.5	0.5	0.9	1.5	4.6
性 年 齢 別	男性計	314	200	89	1	4	7	13
		100.0	63.7	28.3	0.3	1.3	2.2	4.1
	20歳代	27	16	9	-	-	2	-
		100.0	59.3	33.3	-	-	7.4	-
	30歳代	35	22	11	-	1	1	-
		100.0	62.9	31.4	-	2.9	2.9	-
	40歳代	56	40	15	-	-	1	-
		100.0	71.4	26.8	-	-	1.8	-
	50歳代	63	42	19	-	1	-	1
		100.0	66.7	30.2	-	1.6	-	1.6
	60歳代	65	43	16	1	1	-	4
		100.0	66.2	24.6	1.5	1.5	-	6.2
	70歳以上	68	37	19	-	1	3	8
		100.0	54.4	27.9	-	1.5	4.4	11.8
	女性計	461	334	96	3	3	5	20
		100.0	72.5	20.8	0.7	0.7	1.1	4.3
	20歳代	44	30	10	-	2	2	-
		100.0	68.2	22.7	-	4.5	4.5	-
	30歳代	60	41	16	2	-	-	1
		100.0	68.3	26.7	3.3	-	-	1.7
40歳代	82	68	13	-	-	1	-	
	100.0	82.9	15.9	-	-	1.2	-	
50歳代	82	59	21	1	-	-	1	
	100.0	72.0	25.6	1.2	-	-	1.2	
60歳代	95	70	21	-	1	-	3	
	100.0	73.7	22.1	-	1.1	-	3.2	
70歳以上	97	65	15	-	-	2	15	
	100.0	67.0	15.5	-	-	2.1	15.5	

【G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が81.4%を占め、『そう思わない』は9.9%である。
- 年齢別では、60歳未満の年齢層で『そう思う』が8割以上を占めており、30歳代が91.7%と最も高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」が、50.8%と過半数を占める。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』の割合が90.0%と特に高く、そのうち「そう思う」は53.5%を占める。



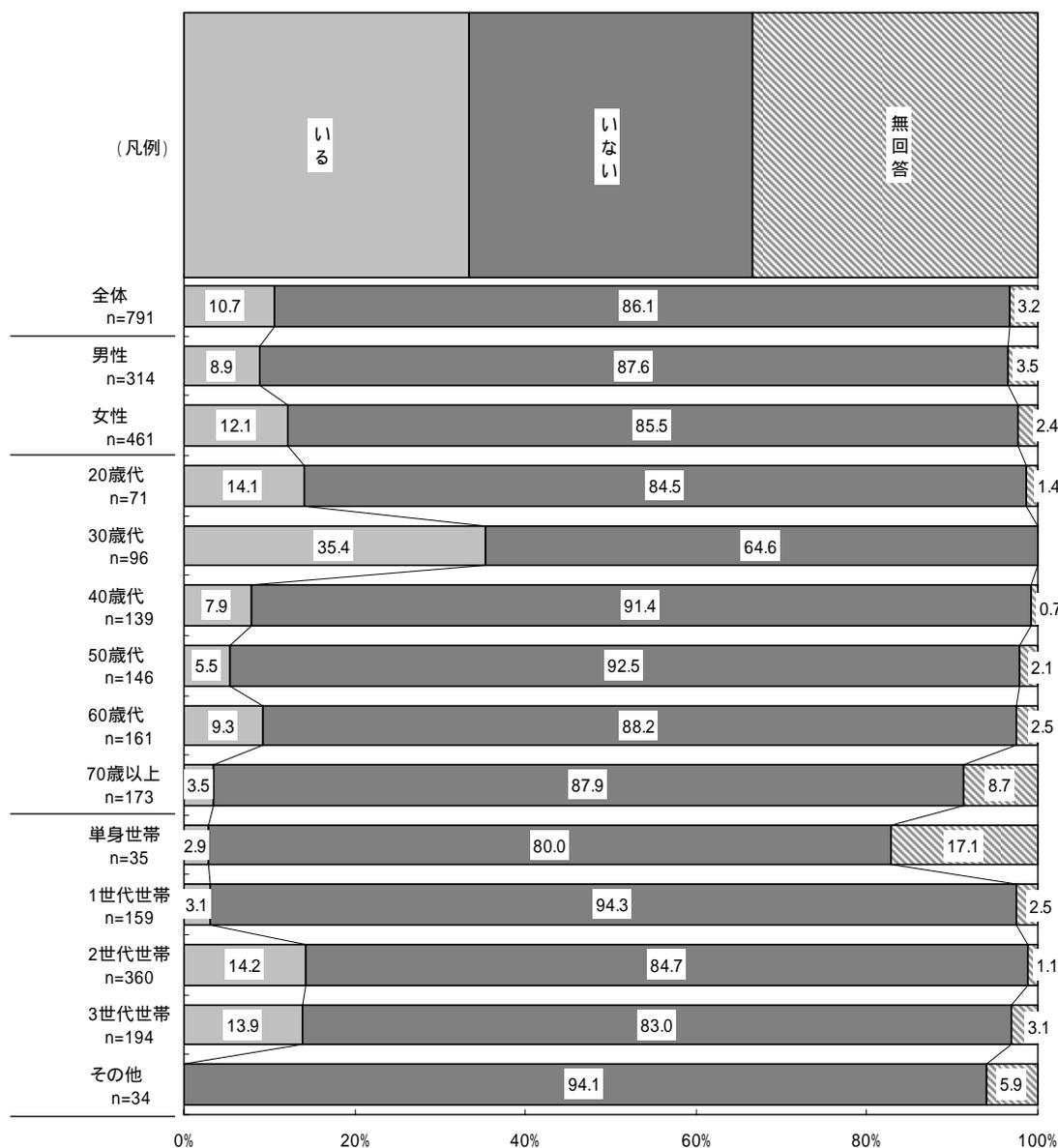
		G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	308	336	57	21	32	37
		100.0	38.9	42.5	7.2	2.7	4.0	4.7
性 年 齢 別	男性計	314	91	145	36	10	17	15
		100.0	29.0	46.2	11.5	3.2	5.4	4.8
	20歳代	27	13	11	1	-	2	-
		100.0	48.1	40.7	3.7	-	7.4	-
	30歳代	35	15	16	2	1	1	-
		100.0	42.9	45.7	5.7	2.9	2.9	-
	40歳代	56	18	27	5	2	4	-
		100.0	32.1	48.2	8.9	3.6	7.1	-
	50歳代	63	19	32	8	2	1	1
		100.0	30.2	50.8	12.7	3.2	1.6	1.6
	60歳代	65	9	33	11	3	5	4
		100.0	13.8	50.8	16.9	4.6	7.7	6.2
	70歳以上	68	17	26	9	2	4	10
		100.0	25.0	38.2	13.2	2.9	5.9	14.7
	女性計	461	211	186	20	10	15	19
		100.0	45.8	40.3	4.3	2.2	3.3	4.1
	20歳代	44	23	15	1	2	3	-
		100.0	52.3	34.1	2.3	4.5	6.8	-
	30歳代	60	29	27	2	-	1	1
		100.0	48.3	45.0	3.3	-	1.7	1.7
40歳代	82	49	28	2	-	3	-	
	100.0	59.8	34.1	2.4	-	3.7	-	
50歳代	82	47	29	4	1	-	1	
	100.0	57.3	35.4	4.9	1.2	-	1.2	
60歳代	95	27	49	9	5	2	3	
	100.0	28.4	51.6	9.5	5.3	2.1	3.2	
70歳以上	97	35	38	2	2	6	14	
	100.0	36.1	39.2	2.1	2.1	6.2	14.4	

(3) 乳児や就学前の幼児について

問5. あなたの家庭には、乳児や就学前の幼児がいますか。

- 「いない」が86.1%を占め、「いる」は10.7%となっている。
- 年齢別では、「いる」は30歳代が35.4%と最も高い。
- 世帯別では、「いる」は2世代世帯(14.2%)、3世代世帯(13.9%)が高くなっている。

乳児・就学前児童

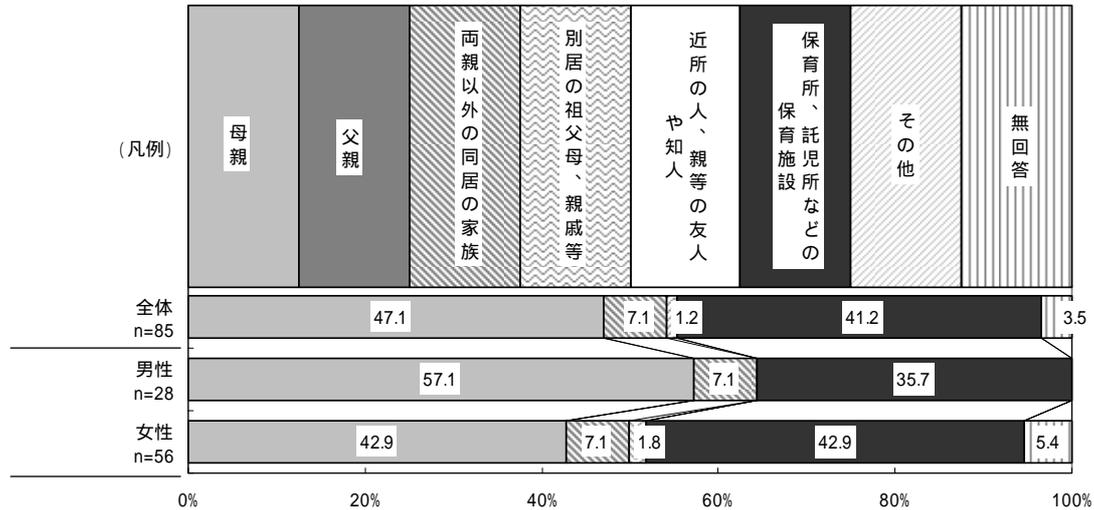


前問で「いる」と回答した方を対象

問5 - 1. 平日の日中、その乳幼児の世話は主に誰がしていますか。

- 「母親」が 47.1%と最も高く、以下「保育所、託児所などの保育施設」(41.2%)、「両親以外の同居の家族」(7.1%)と続く。

乳幼児の主な育児者

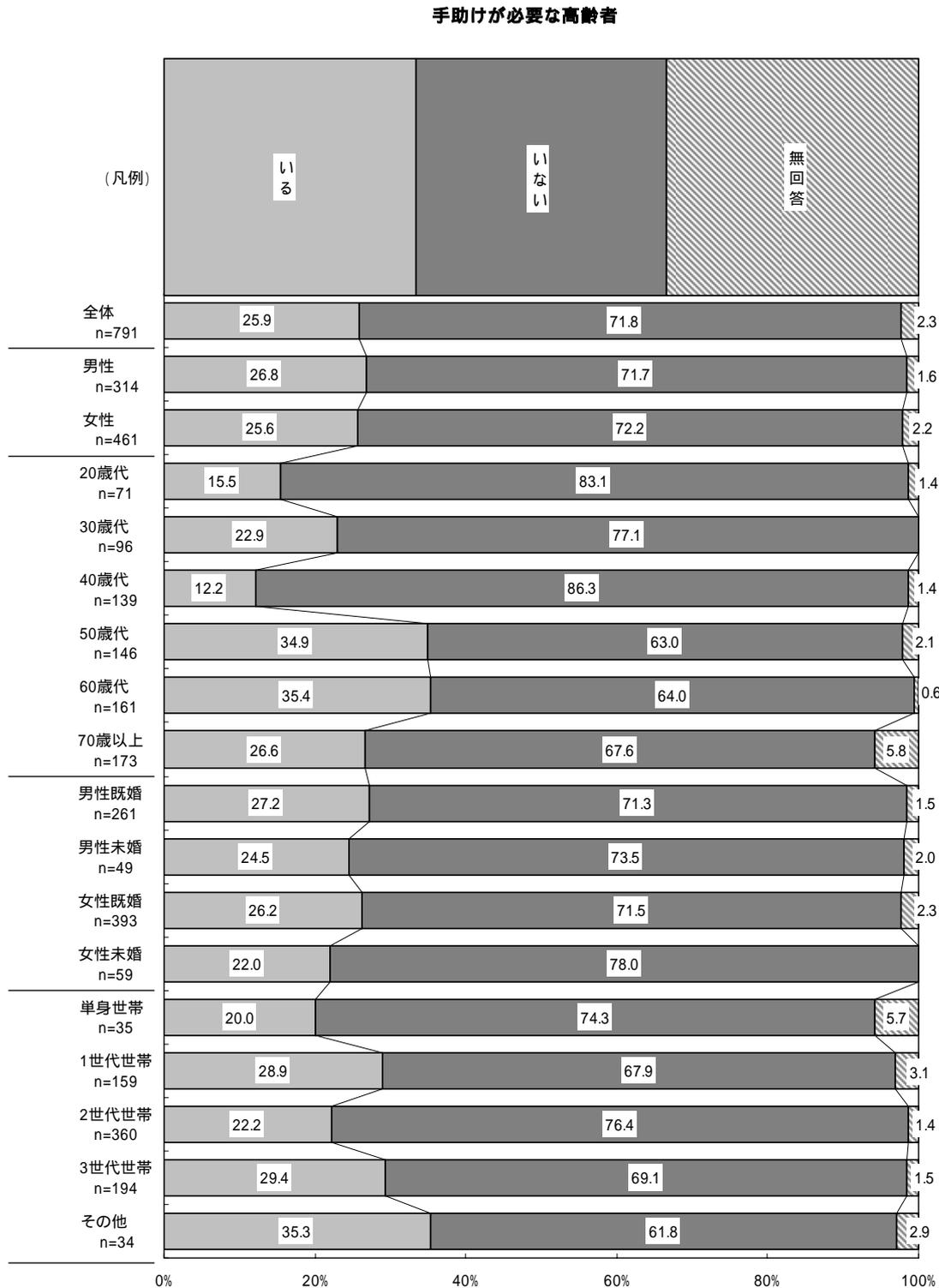


		乳幼児の主な育児者 (%)								
		全体	母親	父親	両親以外の同居の家族	別居の祖父母、親戚等	近所の人、親等の友人や知人	保育所、託児所などの保育施設	その他	無回答
全体	全体	85	40	0	6	1	0	35	0	3
		100.0	47.1	0.0	7.1	1.2	0.0	41.2	0.0	3.5
男性計	男性計	28	16	-	2	-	-	10	-	-
		100.0	57.1	-	7.1	-	-	35.7	-	-
20歳代	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	30歳代	15	9	-	-	-	-	6	-	-
		100.0	60.0	-	-	-	-	40.0	-	-
40歳代	40歳代	6	3	-	-	-	-	3	-	-
		100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
50歳代	50歳代	2	1	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
60歳代	60歳代	2	-	-	2	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
70歳以上	70歳以上	3	3	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
女性計	女性計	56	24	-	4	1	-	24	-	3
		100.0	42.9	-	7.1	1.8	-	42.9	-	5.4
20歳代	20歳代	10	6	-	1	-	-	3	-	-
		100.0	60.0	-	10.0	-	-	30.0	-	-
30歳代	30歳代	19	6	-	-	1	-	10	-	2
		100.0	31.6	-	-	5.3	-	52.6	-	10.5
40歳代	40歳代	5	3	-	-	-	-	2	-	-
		100.0	60.0	-	-	-	-	40.0	-	-
50歳代	50歳代	6	2	-	1	-	-	3	-	-
		100.0	33.3	-	16.7	-	-	50.0	-	-
60歳代	60歳代	13	6	-	-	-	-	6	-	1
		100.0	46.2	-	-	-	-	46.2	-	7.7
70歳以上	70歳以上	3	1	-	2	-	-	-	-	-
		100.0	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-

(4) 手助けが必要な高齢者の有無

問6. あなたの身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいますか。

- 「いない」が71.8%となり、「いる」は25.9%となっている。
- 年齢別では、「いる」は60歳代(35.4%)、50歳代(34.9%)が3割を超えてやや高くなっており、一方、40歳代(12.2%)、20歳代(15.5%)で低くなっている。
- 世帯別では、「いる」は単身世帯、2世代世帯でそれぞれ20.0%、22.2%とやや低い。

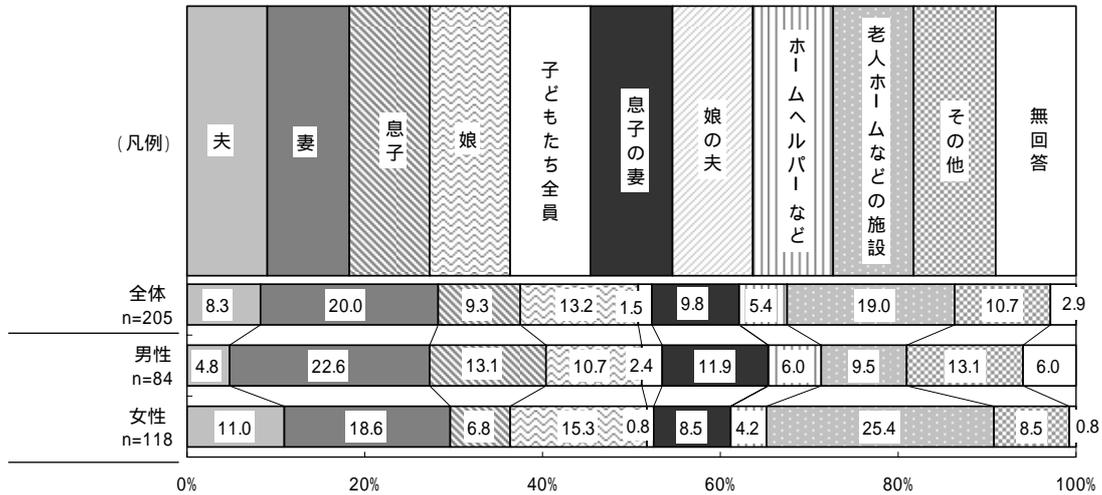


前問で「いる」と回答した方を対象

問6 - 1. その高齢者等の世話は、主に誰がしていますか。

- 「妻」が20.0%と最も高く、以下「老人ホームなどの施設」(19.0%)、「娘」(13.2%)と続く。

高齢者の主な介護者



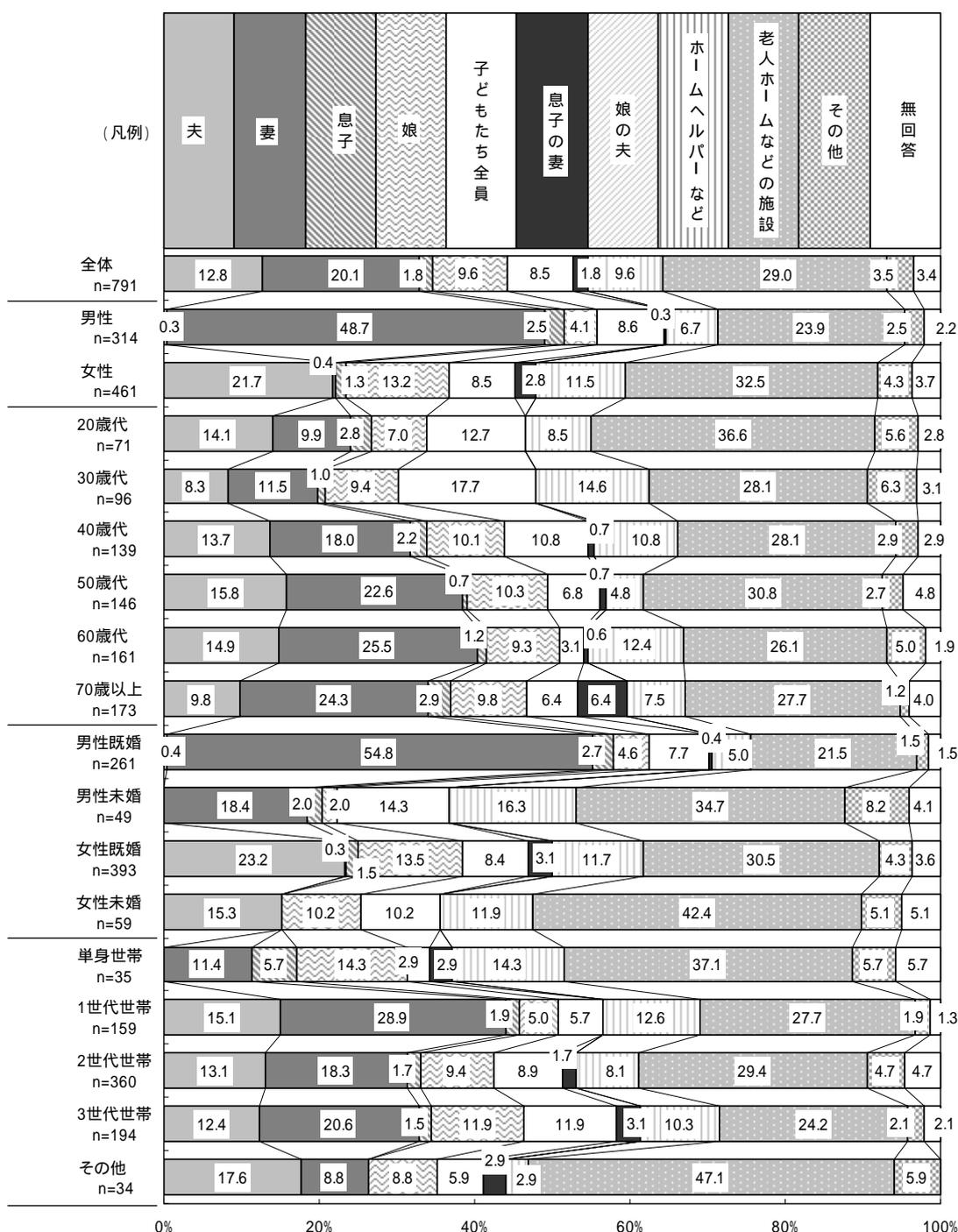
		高齢者の主な介護者 [%]											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘルパーなど	老人ホームなどの施設	その他	無回答
性 年 齢 別	全体	205	17	41	19	27	3	20	0	11	39	22	6
		100.0	8.3	20.0	9.3	13.2	1.5	9.8	0.0	5.4	19.0	10.7	2.9
	男性計	84	4	19	11	9	2	10	-	5	8	11	5
		100.0	4.8	22.6	13.1	10.7	2.4	11.9	-	6.0	9.5	13.1	6.0
	20歳代	6	1	-	-	2	-	1	-	1	1	-	-
		100.0	16.7	-	-	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	-	-
	30歳代	8	-	-	1	1	-	3	-	2	-	1	-
		100.0	-	-	12.5	12.5	-	37.5	-	25.0	-	12.5	-
	40歳代	7	1	1	-	-	-	1	-	-	1	2	1
		100.0	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-	14.3	28.6	14.3
	50歳代	21	1	7	3	3	1	1	-	1	1	3	-
		100.0	4.8	33.3	14.3	14.3	4.8	4.8	-	4.8	4.8	14.3	-
	60歳代	24	-	4	4	2	1	4	-	1	3	3	2
		100.0	-	16.7	16.7	8.3	4.2	16.7	-	4.2	12.5	12.5	8.3
	70歳以上	18	1	7	3	1	-	-	-	-	2	2	2
		100.0	5.6	38.9	16.7	5.6	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1
	女性計	118	13	22	8	18	1	10	-	5	30	10	1
		100.0	11.0	18.6	6.8	15.3	0.8	8.5	-	4.2	25.4	8.5	0.8
	20歳代	5	1	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	
30歳代	14	-	2	-	5	-	1	-	-	5	1	-	
	100.0	-	14.3	-	35.7	-	7.1	-	-	35.7	7.1	-	
40歳代	10	1	2	-	-	1	1	-	-	4	1	-	
	100.0	10.0	20.0	-	-	10.0	10.0	-	-	40.0	10.0	-	
50歳代	30	4	7	2	6	-	4	-	1	5	1	-	
	100.0	13.3	23.3	6.7	20.0	-	13.3	-	3.3	16.7	3.3	-	
60歳代	33	3	5	2	4	-	2	-	2	9	5	1	
	100.0	9.1	15.2	6.1	12.1	-	6.1	-	6.1	27.3	15.2	3.0	
70歳以上	26	4	4	4	2	-	2	-	2	6	2	-	
	100.0	15.4	15.4	15.4	7.7	-	7.7	-	7.7	23.1	7.7	-	

(5) 介護が必要になった場合の介護者

問7. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。

- 「老人ホームなどの施設」(29.0%) が最も高く、以下「妻」(20.1%) 「夫」(12.8%) である。
- 性別では、男性は「妻」が 48.7% を占めるのに対して、女性は「老人ホームなどの施設」(32.5%) 「夫」(21.7%) の割合が高い。
- 年齢別では、20歳代は「老人ホームなどの施設」が 36.6% と高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「妻」が 54.8% を占め、「老人ホームなどの施設」(21.5%) の割合が低い。
- 世帯別では、単身世帯で「老人ホームなどの施設」が 37.1% とやや高い。また、1世代世帯では「妻」(28.9%) の割合も高くなっている。

介護が必要になった場合の介護者

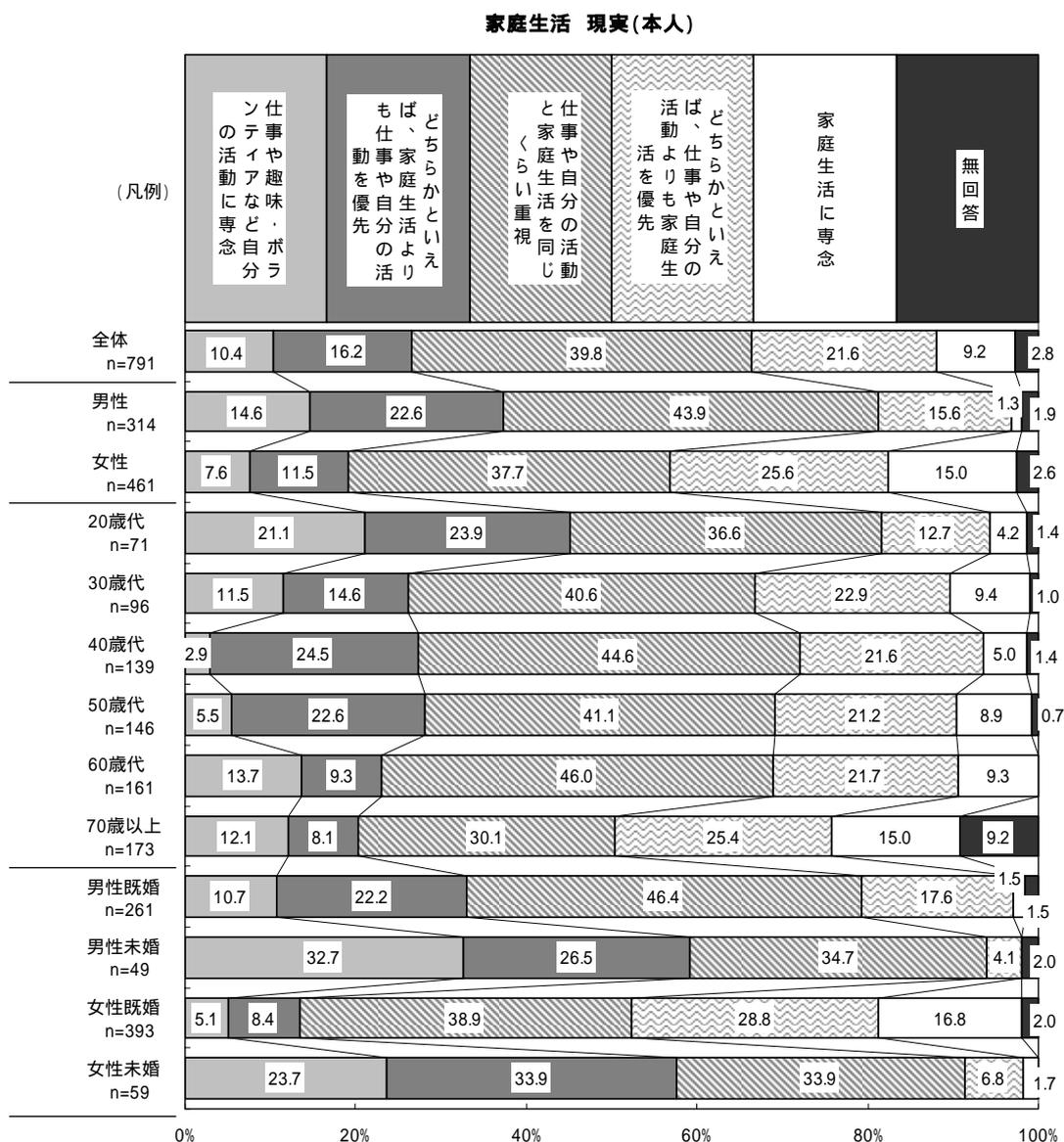


		介護が必要になった場合の介護者〔%〕											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
全体		791	101	159	14	76	67	14	0	76	229	28	27
		100.0	12.8	20.1	1.8	9.6	8.5	1.8	0.0	9.6	29.0	3.5	3.4
性 年 齢 別	男性計	314	1	153	8	13	27	1	-	21	75	8	7
		100.0	0.3	48.7	2.5	4.1	8.6	0.3	-	6.7	23.9	2.5	2.2
	20歳代	27	-	7	1	-	3	-	-	2	9	3	2
		100.0	-	25.9	3.7	-	11.1	-	-	7.4	33.3	11.1	7.4
	30歳代	35	-	11	1	2	8	-	-	4	7	2	-
		100.0	-	31.4	2.9	5.7	22.9	-	-	11.4	20.0	5.7	-
	40歳代	56	-	24	3	5	5	-	-	5	12	1	1
		100.0	-	42.9	5.4	8.9	8.9	-	-	8.9	21.4	1.8	1.8
	50歳代	63	-	33	-	2	6	-	-	3	18	1	-
		100.0	-	52.4	-	3.2	9.5	-	-	4.8	28.6	1.6	-
	60歳代	65	-	39	1	2	3	-	-	4	14	1	1
		100.0	-	60.0	1.5	3.1	4.6	-	-	6.2	21.5	1.5	1.5
	70歳以上	68	1	39	2	2	2	1	-	3	15	-	3
		100.0	1.5	57.4	2.9	2.9	2.9	1.5	-	4.4	22.1	-	4.4
	女性計	461	100	2	6	61	39	13	-	53	150	20	17
		100.0	21.7	0.4	1.3	13.2	8.5	2.8	-	11.5	32.5	4.3	3.7
	20歳代	44	10	-	1	5	6	-	-	4	17	1	-
		100.0	22.7	-	2.3	11.4	13.6	-	-	9.1	38.6	2.3	-
	30歳代	60	8	-	-	7	9	-	-	10	19	4	3
		100.0	13.3	-	-	11.7	15.0	-	-	16.7	31.7	6.7	5.0
40歳代	82	19	-	-	9	10	1	-	10	27	3	3	
	100.0	23.2	-	-	11.0	12.2	1.2	-	12.2	32.9	3.7	3.7	
50歳代	82	23	-	1	13	4	1	-	4	27	3	6	
	100.0	28.0	-	1.2	15.9	4.9	1.2	-	4.9	32.9	3.7	7.3	
60歳代	95	24	1	1	13	2	1	-	16	28	7	2	
	100.0	25.3	1.1	1.1	13.7	2.1	1.1	-	16.8	29.5	7.4	2.1	
70歳以上	97	16	1	3	14	8	10	-	9	31	2	3	
	100.0	16.5	1.0	3.1	14.4	8.2	10.3	-	9.3	32.0	2.1	3.1	

(6) 家庭生活の現実と希望

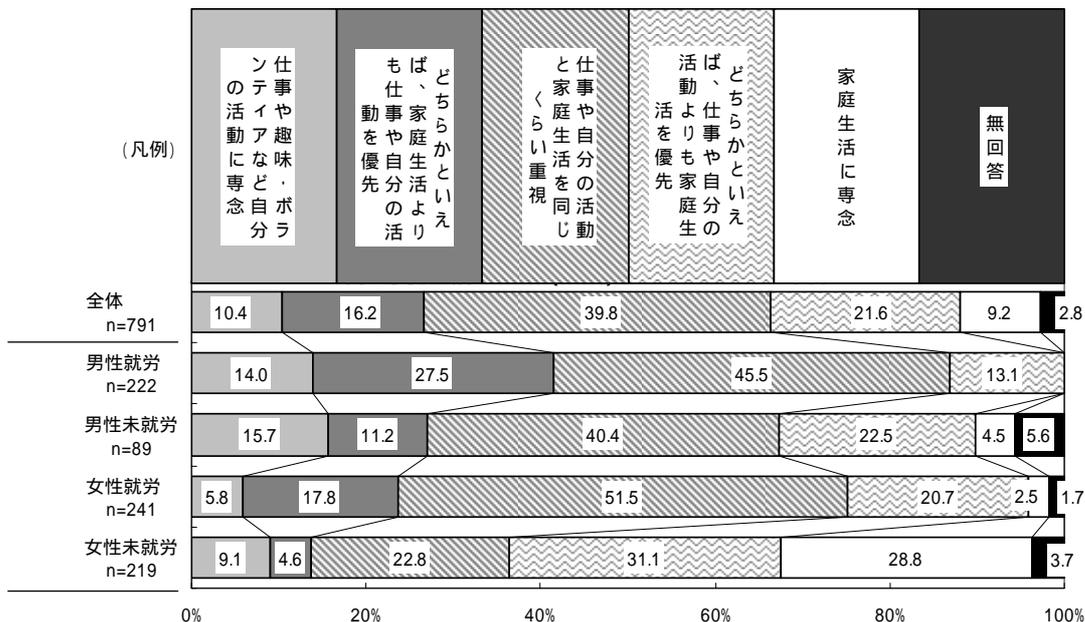
問8. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「現実」に最も近いものを選んでください。

- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が39.8%と最も高く、以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(21.6%)、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(16.2%)である。
- 性別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が男女ともに最も高い。また、男性は「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(22.6%)、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」(14.6%)の割合が女性に比べ高く、一方、女性は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(25.6%)「家庭生活に専念」(15.0%)の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は、60歳代(46.0%)で最も高く、40歳代(44.6%)、50歳代(41.1%)、30歳代(40.6%)でも4割を超える。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(28.8%)「家庭生活に専念」(16.8%)の割合が高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「家庭生活に専念」が28.8%と特に高く、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が22.8%と低い。



		家庭生活 現実(本人) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		791	82	128	315	171	73	22
		100.0	10.4	16.2	39.8	21.6	9.2	2.8
男性計		314	46	71	138	49	4	6
		100.0	14.6	22.6	43.9	15.6	1.3	1.9
20歳代		27	9	5	12	1	-	-
		100.0	33.3	18.5	44.4	3.7	-	-
30歳代		35	6	8	16	5	-	-
		100.0	17.1	22.9	45.7	14.3	-	-
40歳代		56	3	18	27	7	-	1
		100.0	5.4	32.1	48.2	12.5	-	1.8
50歳代		63	3	24	25	11	-	-
		100.0	4.8	38.1	39.7	17.5	-	-
60歳代		65	12	9	35	8	1	-
		100.0	18.5	13.8	53.8	12.3	1.5	-
70歳以上		68	13	7	23	17	3	5
		100.0	19.1	10.3	33.8	25.0	4.4	7.4
女性計		461	35	53	174	118	69	12
		100.0	7.6	11.5	37.7	25.6	15.0	2.6
20歳代		44	6	12	14	8	3	1
		100.0	13.6	27.3	31.8	18.2	6.8	2.3
30歳代		60	5	6	23	17	9	-
		100.0	8.3	10.0	38.3	28.3	15.0	-
40歳代		82	1	15	35	23	7	1
		100.0	1.2	18.3	42.7	28.0	8.5	1.2
50歳代		82	5	9	35	19	13	1
		100.0	6.1	11.0	42.7	23.2	15.9	1.2
60歳代		95	10	6	38	27	14	-
		100.0	10.5	6.3	40.0	28.4	14.7	-
70歳以上		97	8	5	28	24	23	9
		100.0	8.2	5.2	28.9	24.7	23.7	9.3

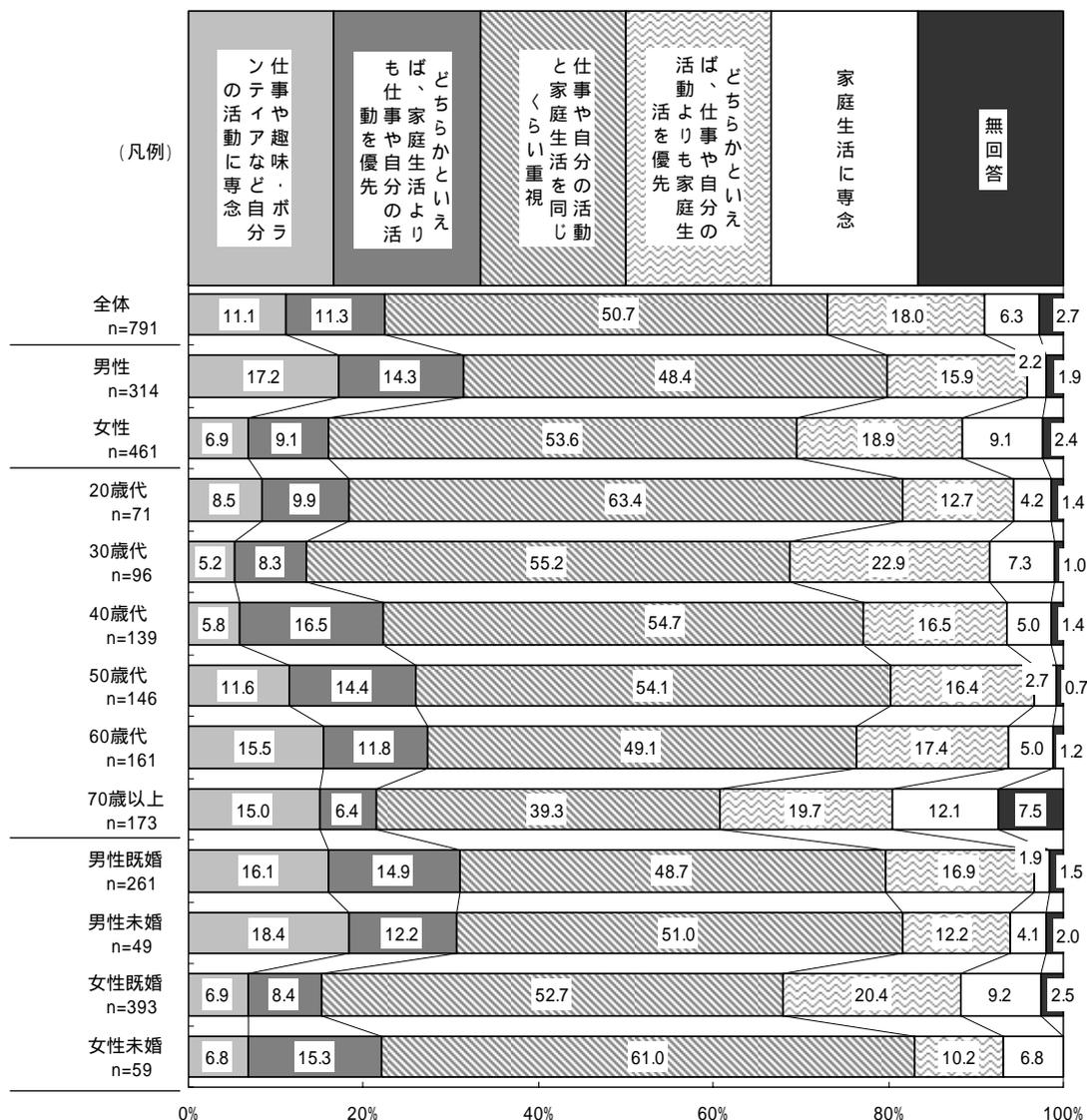
家庭生活 現実(本人)



問8 - 1. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「希望」に最も近いものを選んでください。

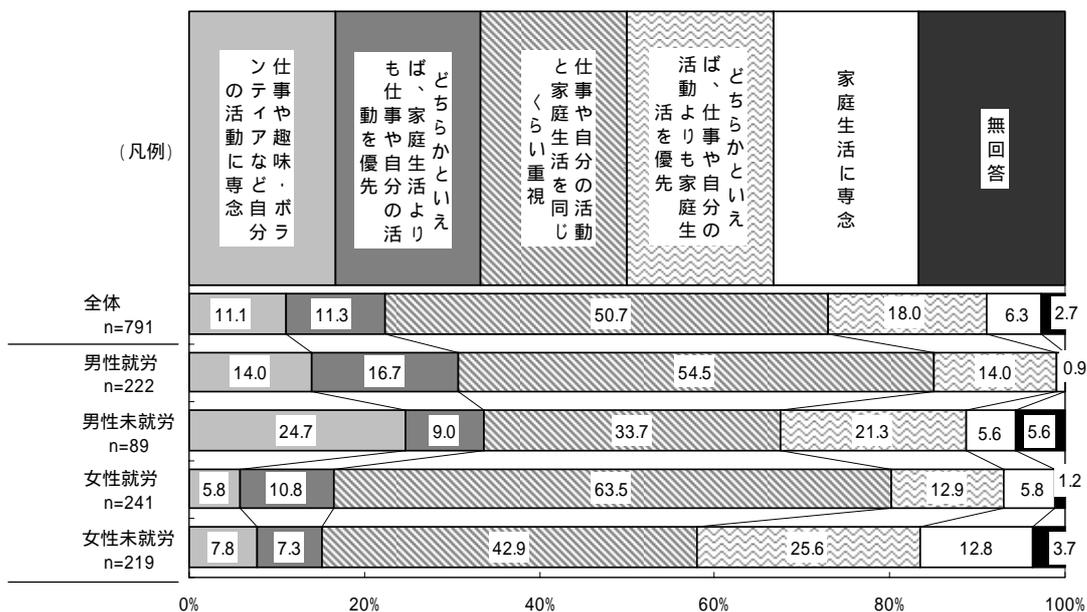
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が50.7%と最も高く、前述の【問8 家庭生活の現実】と比べると、10.9ポイント高い。以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(18.0%)、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(11.3%)である。
- 年齢別では、20歳代は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(63.4%)が【現実】より26.8ポイント高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(61.0%)が【現実】より27.1ポイント高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」の割合が63.5%と高く、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」が12.9%と低い。

家庭生活 希望(本人)



		家庭生活 希望(本人) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		791	88	89	401	142	50	21
		100.0	11.1	11.3	50.7	18.0	6.3	2.7
性 年 齢 別	男性計	314	54	45	152	50	7	6
		100.0	17.2	14.3	48.4	15.9	2.2	1.9
	20歳代	27	5	3	16	3	-	-
		100.0	18.5	11.1	59.3	11.1	-	-
	30歳代	35	4	3	16	11	1	-
		100.0	11.4	8.6	45.7	31.4	2.9	-
	40歳代	56	4	12	29	9	1	1
		100.0	7.1	21.4	51.8	16.1	1.8	1.8
	50歳代	63	8	12	34	9	-	-
		100.0	12.7	19.0	54.0	14.3	-	-
	60歳代	65	16	11	30	7	1	-
		100.0	24.6	16.9	46.2	10.8	1.5	-
	70歳以上	68	17	4	27	11	4	5
		100.0	25.0	5.9	39.7	16.2	5.9	7.4
	女性計	461	32	42	247	87	42	11
		100.0	6.9	9.1	53.6	18.9	9.1	2.4
	20歳代	44	1	4	29	6	3	1
		100.0	2.3	9.1	65.9	13.6	6.8	2.3
	30歳代	60	1	5	37	11	6	-
		100.0	1.7	8.3	61.7	18.3	10.0	-
40歳代	82	3	11	47	14	6	1	
	100.0	3.7	13.4	57.3	17.1	7.3	1.2	
50歳代	82	9	9	45	14	4	1	
	100.0	11.0	11.0	54.9	17.1	4.9	1.2	
60歳代	95	9	8	48	21	7	2	
	100.0	9.5	8.4	50.5	22.1	7.4	2.1	
70歳以上	97	8	5	41	21	16	6	
	100.0	8.2	5.2	42.3	21.6	16.5	6.2	

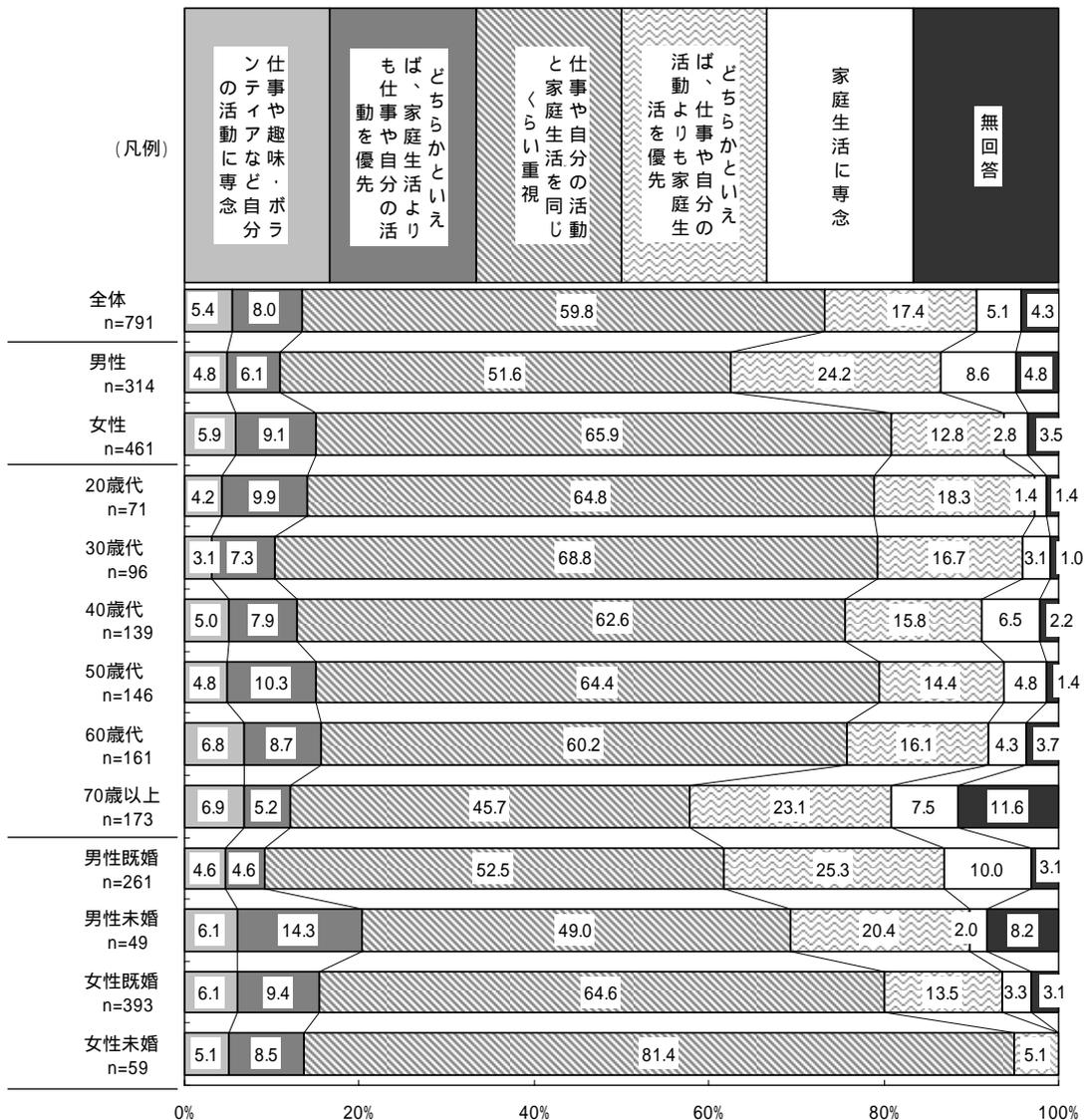
家庭生活 希望(本人)



問8 - 2. 配偶者・パートナーにどのような家庭生活を望むか、未婚・既婚にかかわらずお答えください。

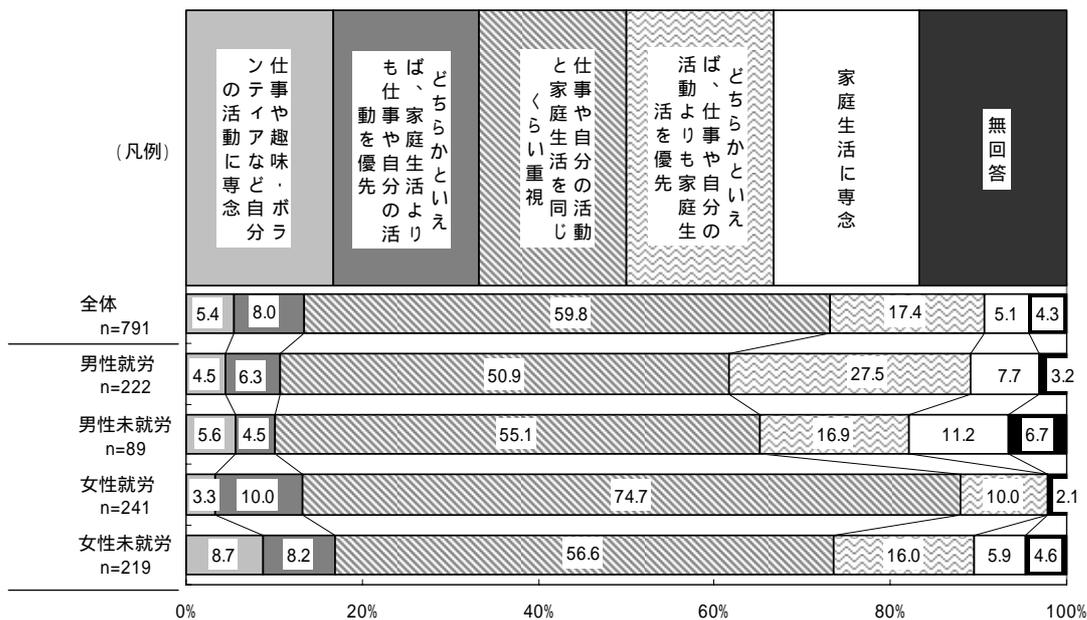
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が59.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(17.4%)である。
- 性別では、女性は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が65.9%と男性(51.6%)よりも14.3ポイント高い。一方、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」は男性(24.2%)が女性(12.8%)よりも11.4ポイント高い。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は30歳代が68.8%とやや高く、一方、70歳以上は45.7%と低い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が81.4%と特に高い。また、男性既婚者は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(25.3%)、「家庭生活に専念」(10.0%)の割合が高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が74.7%と特に高い。

家庭生活 希望(配偶者)



		家庭生活 希望(配偶者) [%]						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		791	43	63	473	138	40	34
		100.0	5.4	8.0	59.8	17.4	5.1	4.3
男性計		314	15	19	162	76	27	15
		100.0	4.8	6.1	51.6	24.2	8.6	4.8
20歳代		27	2	3	14	6	1	1
		100.0	7.4	11.1	51.9	22.2	3.7	3.7
30歳代		35	2	-	17	14	1	1
		100.0	5.7	-	48.6	40.0	2.9	2.9
40歳代		56	2	3	23	17	9	2
		100.0	3.6	5.4	41.1	30.4	16.1	3.6
50歳代		63	1	4	38	12	7	1
		100.0	1.6	6.3	60.3	19.0	11.1	1.6
60歳代		65	4	5	34	15	4	3
		100.0	6.2	7.7	52.3	23.1	6.2	4.6
70歳以上		68	4	4	36	12	5	7
		100.0	5.9	5.9	52.9	17.6	7.4	10.3
女性計		461	27	42	304	59	13	16
		100.0	5.9	9.1	65.9	12.8	2.8	3.5
20歳代		44	1	4	32	7	-	-
		100.0	2.3	9.1	72.7	15.9	-	-
30歳代		60	1	6	49	2	2	-
		100.0	1.7	10.0	81.7	3.3	3.3	-
40歳代		82	4	8	64	5	-	1
		100.0	4.9	9.8	78.0	6.1	-	1.2
50歳代		82	6	11	55	9	-	1
		100.0	7.3	13.4	67.1	11.0	-	1.2
60歳代		95	7	9	62	11	3	3
		100.0	7.4	9.5	65.3	11.6	3.2	3.2
70歳以上		97	8	4	41	25	8	11
		100.0	8.2	4.1	42.3	25.8	8.2	11.3

家庭生活 希望(配偶者)



(7) 家庭内の仕事の分担

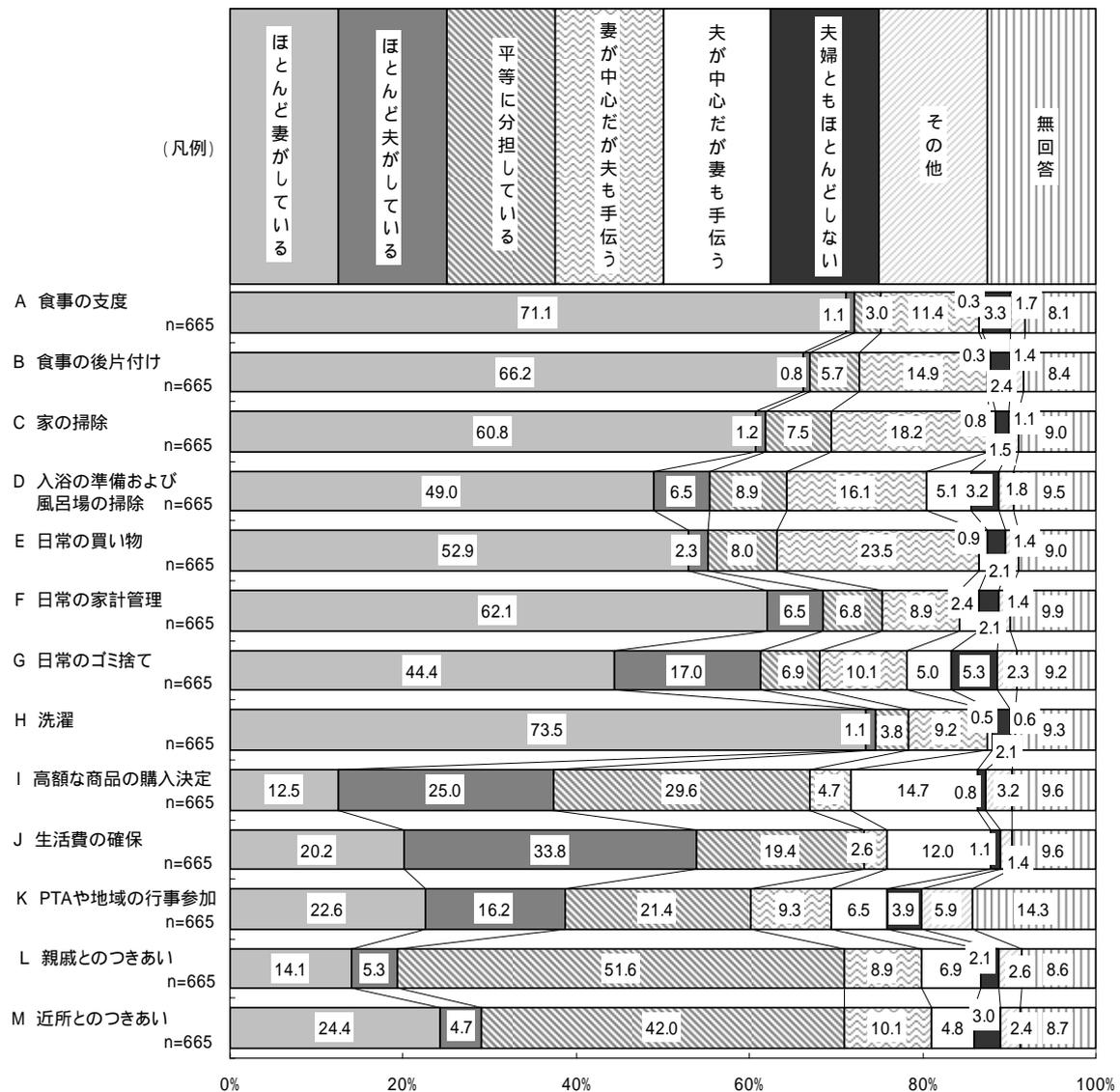
現在、結婚している方を対象

問9. あなたの家庭では、A～Mのそれぞれについて、夫婦の間でどのように行っていますか。

【全体】(A～M)

- A～Hの日常的な家事等の項目は「ほとんど妻がしている」の割合が高く、なかでも「H 洗濯」(73.5%)、「A 食事の支度」(71.1%)が高い。一方、「L 親戚とのつきあい」(51.6%)、「M 近所とのつきあい」(42.0%)は「平等に分担している」の割合が高い。また、「ほとんど夫がしている」割合は、「J 生活費の確保」(33.8%)、「I 高額な商品の購入決定」(25.0%)では「ほとんど妻がしている」より高くなっている。

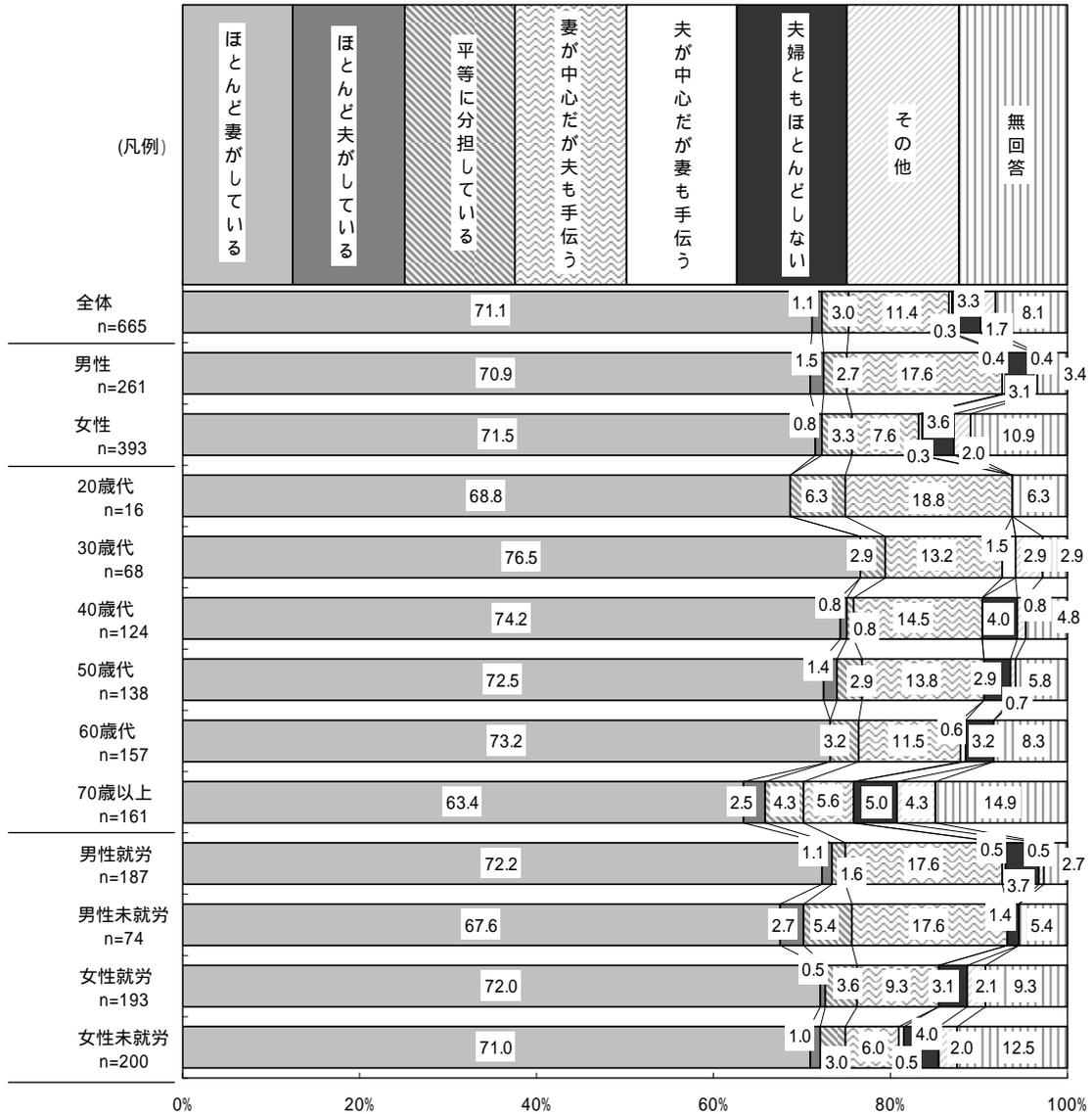
家庭内の仕事の分担【全体】(A～M)



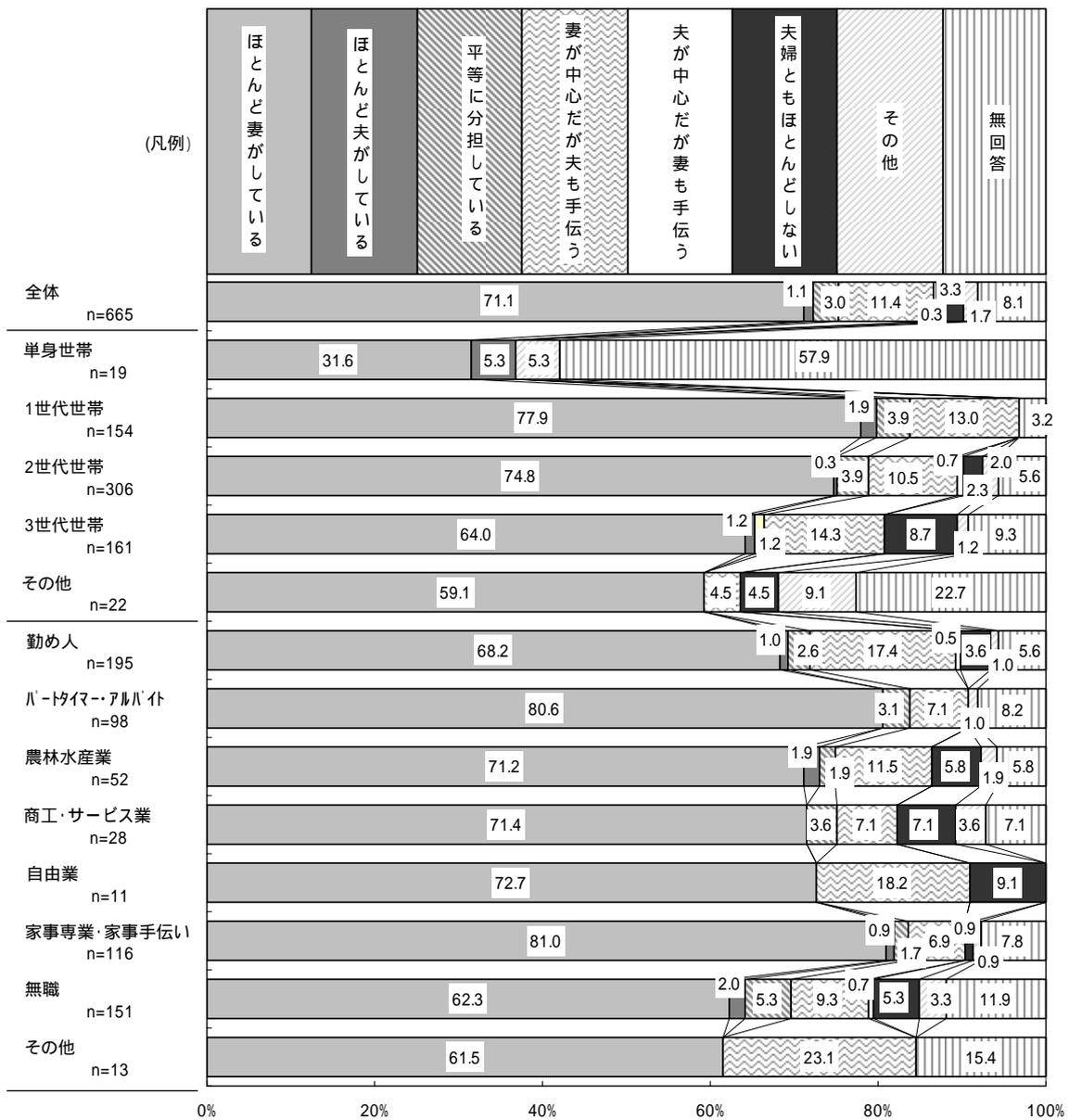
【A 食事の支度】

- 「ほとんど妻がしている」が71.1%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(11.4%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が63.4%とやや低い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が67.6%とやや低い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝い(81.0%)、パートタイマー・アルバイト(80.6%)で「ほとんど妻がしている」が8割を超えて高くなっている。

A 食事の支度



A 食事の支度

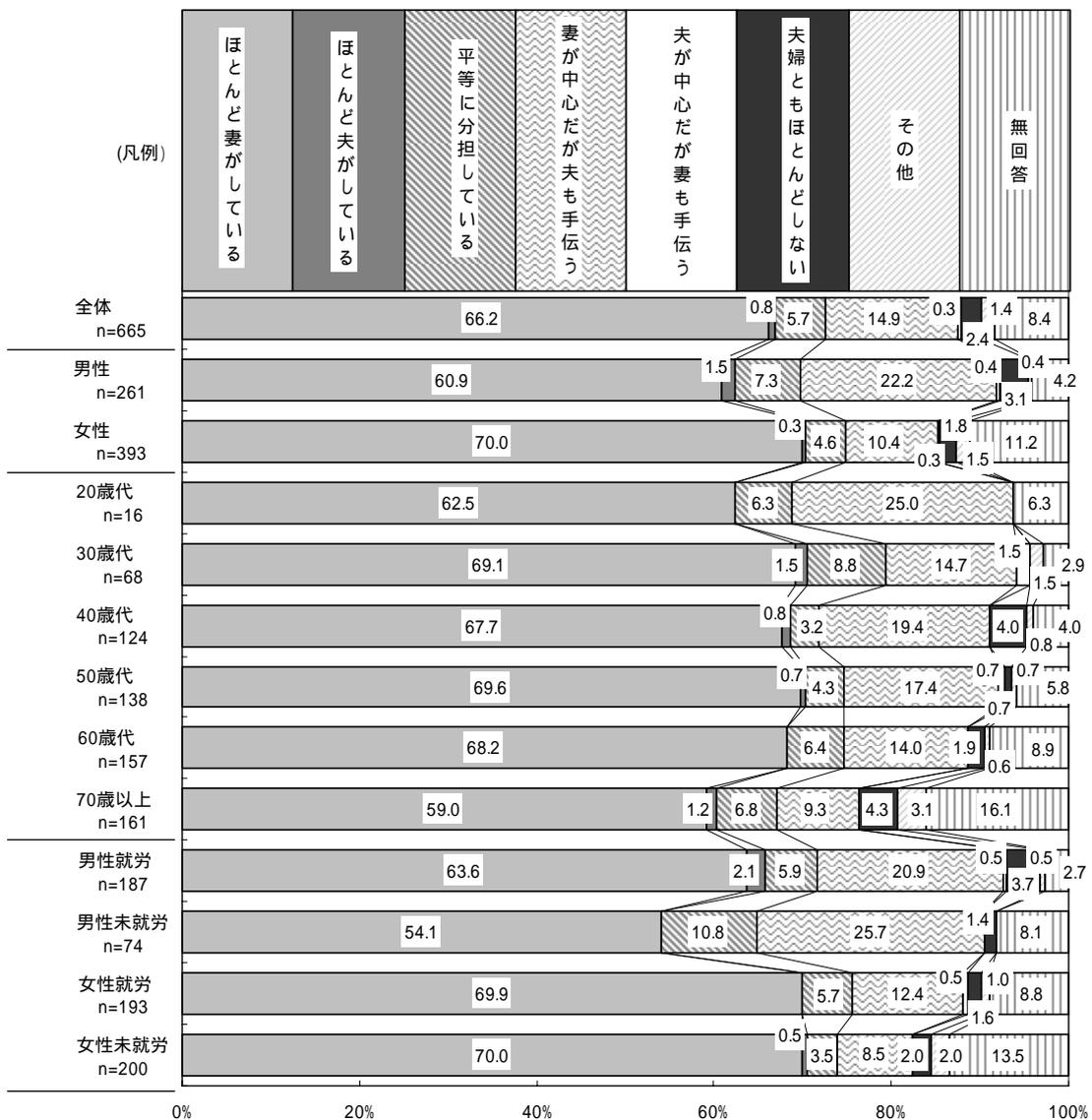


20歳代、単身世帯、その他（世帯）、自由業、その他（職業）の回答者は少数のため、分析から除いている。学生は回答数が0件のため、表記していない。以降のページも同様。

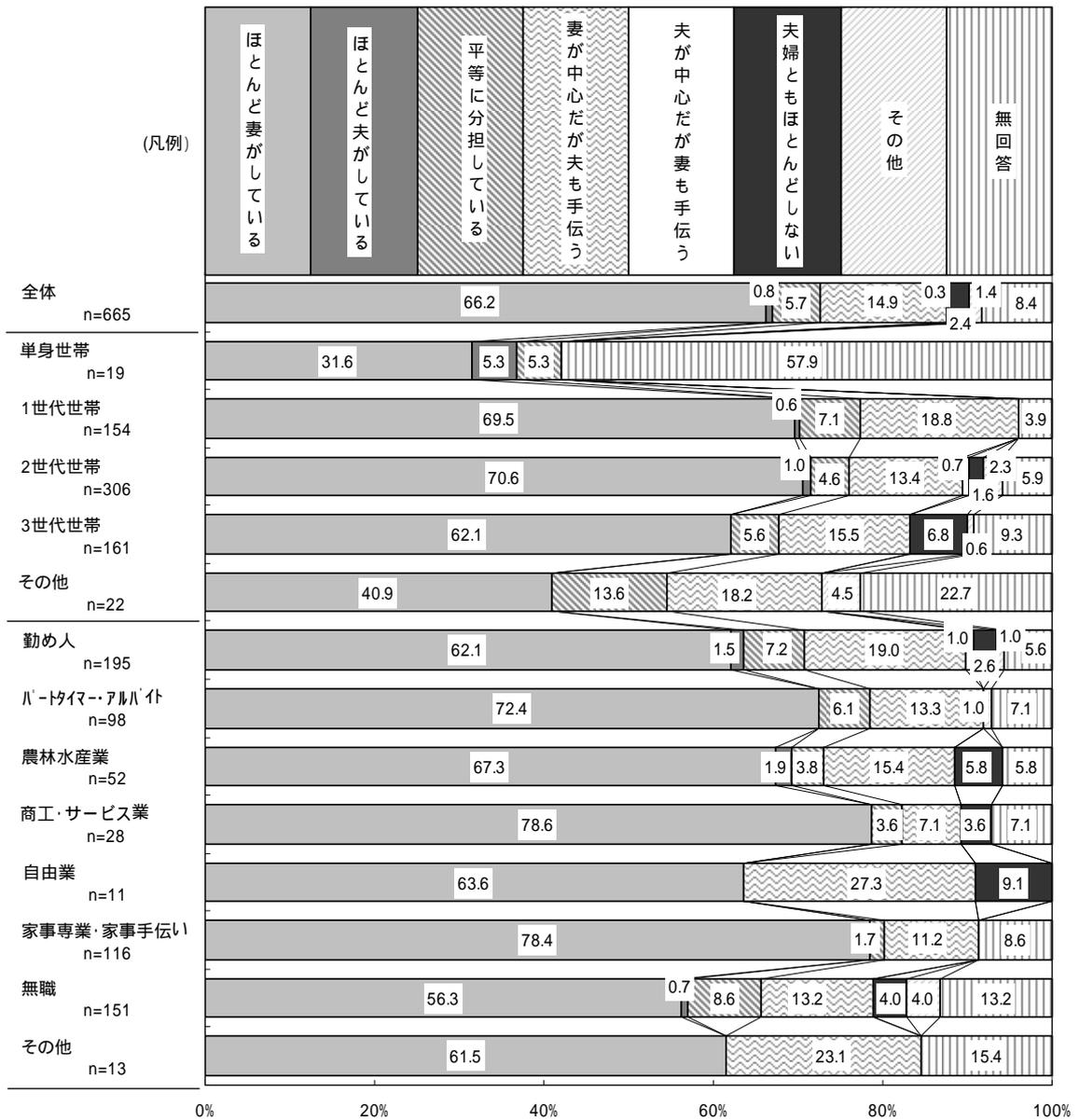
【B 食事の後片付け】

- 「ほとんど妻がしている」が66.2%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(14.9%)である。
- 性別では、「ほとんど妻がしている」は女性が70.0%と男性(60.9%)を上回っている一方、「妻が中心だが夫も手伝う」は男性が22.2%とやや高い。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が59.0%とやや低い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が54.1%とやや低く、「妻が中心だが夫も手伝う」(25.7%)が高くなっている。
- 職業別では、無職は「ほとんど妻がしている」が56.3%と低く、勤め人(62.1%)もやや低くなっている。

B 食事の後片付け



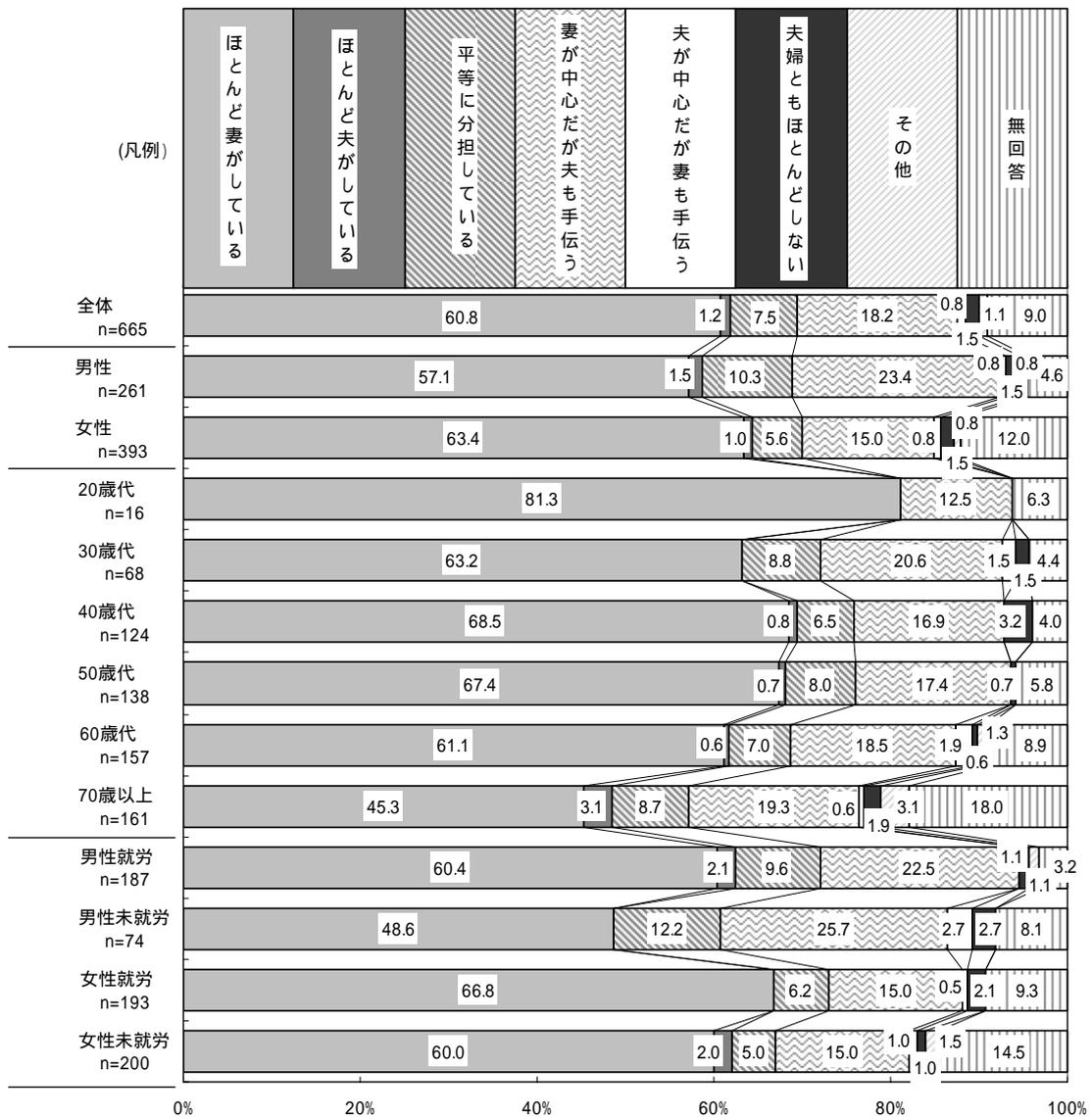
B 食事の後片付け



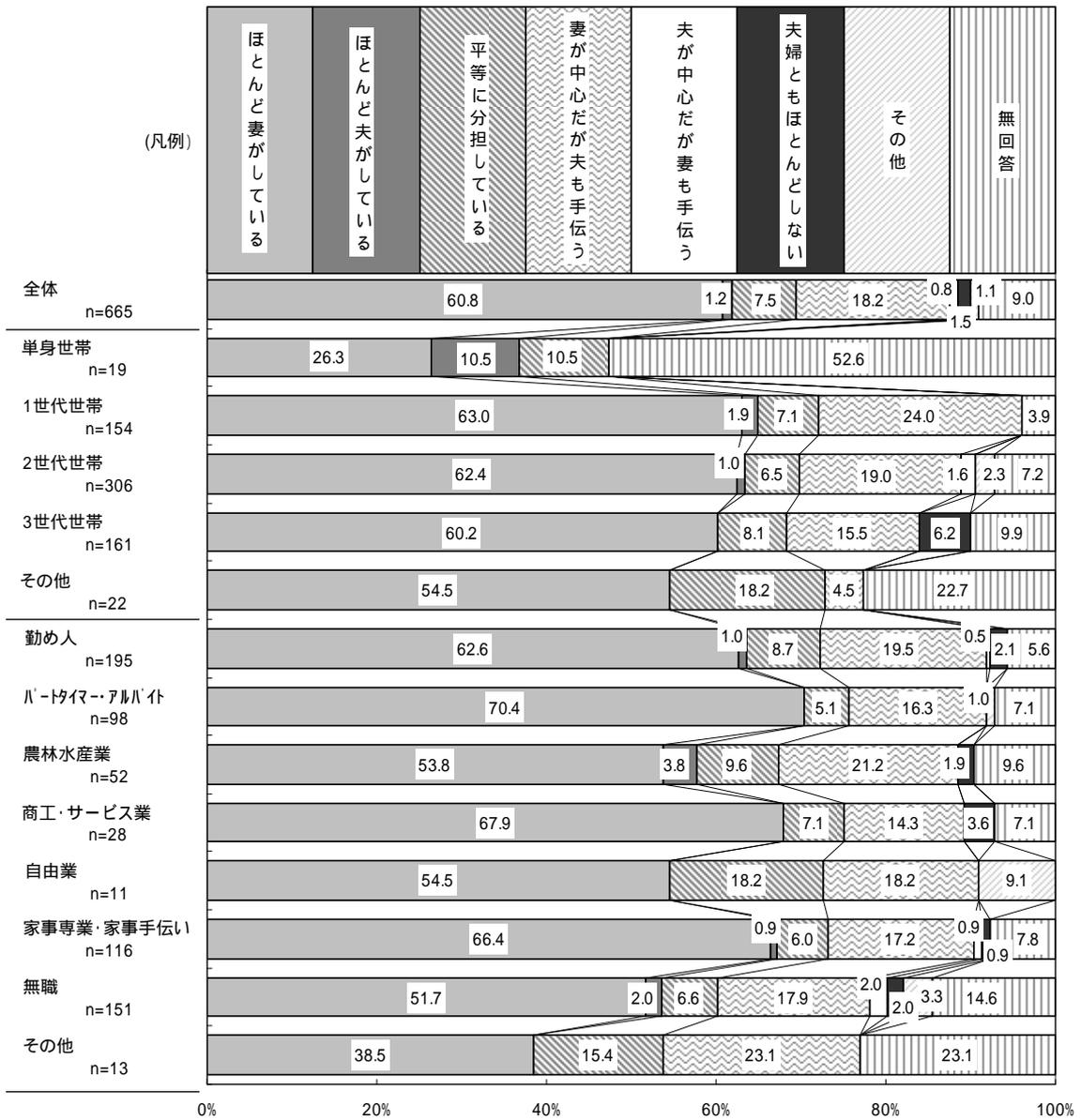
【C 家の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が60.8%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(18.2%)、「平等に分担している」(7.5%)である。
- 性別では、男性は「妻が中心だが夫も手伝う」が23.4%、「平等に分担している」が10.3%となり、いずれも女性を上回っている。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が45.3%と低い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が48.6%と低い。
- 職業別では、無職と農林水産業は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ51.7%、53.8%とやや低くなっている。

C 家の掃除



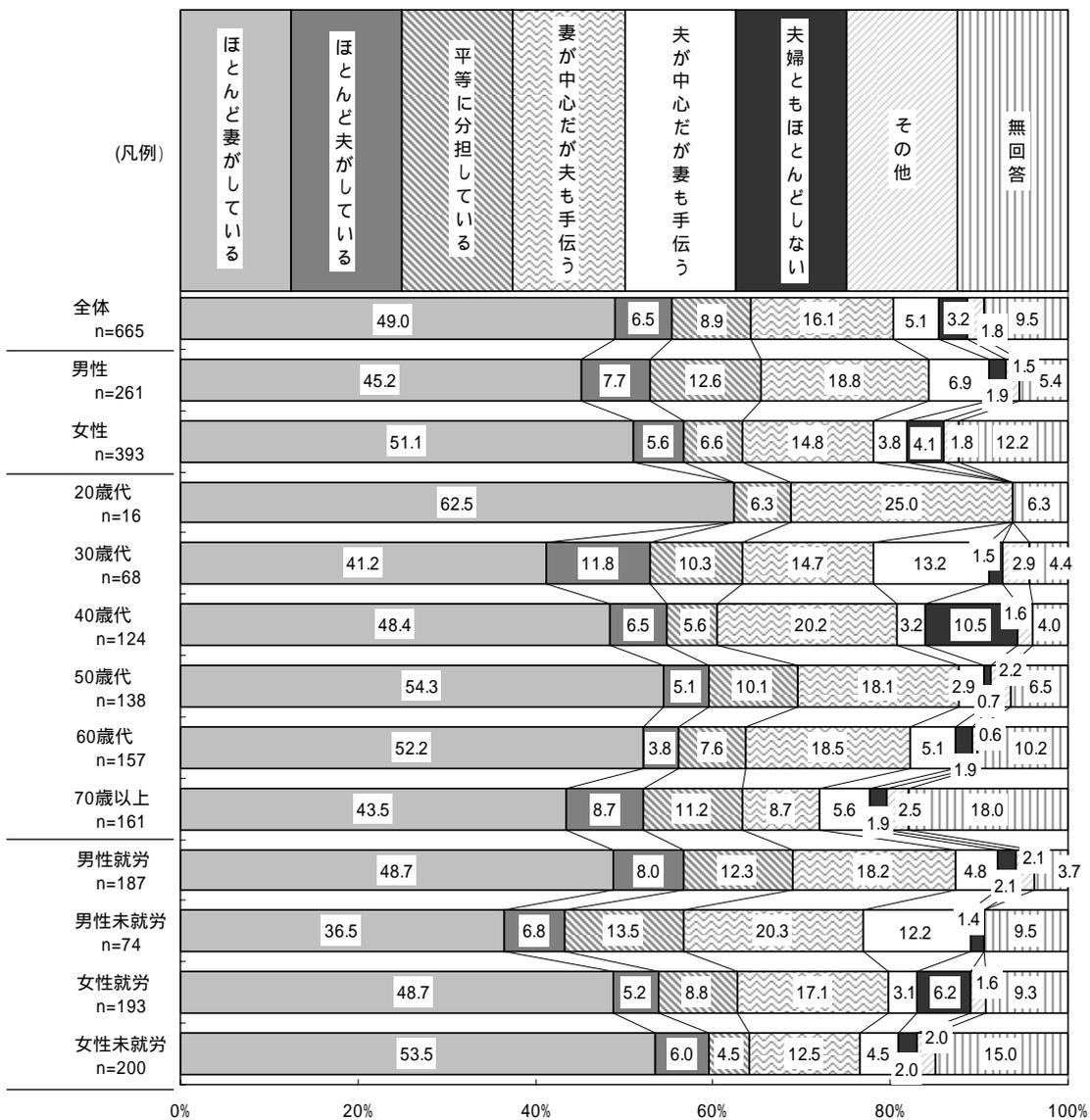
C 家の掃除



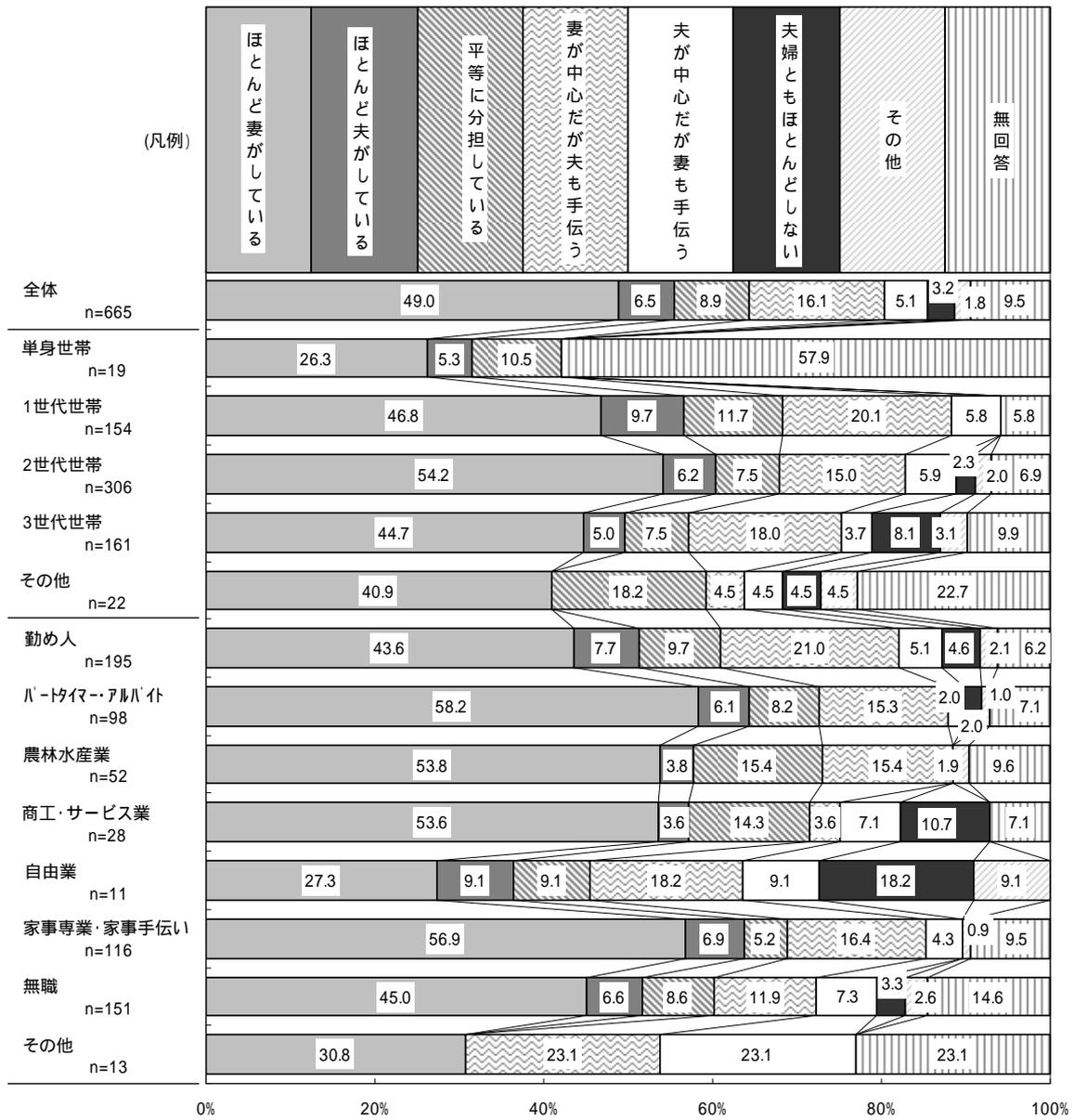
【D 入浴の準備および風呂場の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が49.0%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(16.1%)、「平等に分担している」(8.9%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が45.2%と女性(51.1%)を下回っているが、「妻が中心だが夫も手伝う」、「平等に分担している」、「ほとんど夫がしている」、「夫が中心だが妻も手伝う」のいずれにおいても、女性を上回っている。
- 年齢別では、50歳代、60歳代は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ54.3%、52.2%と過半数を越えている。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が36.5%と低い。
- 職業別では、勤め人、無職は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ43.6%、45.0%とやや低くなっている。

D 入浴の準備および風呂場の掃除



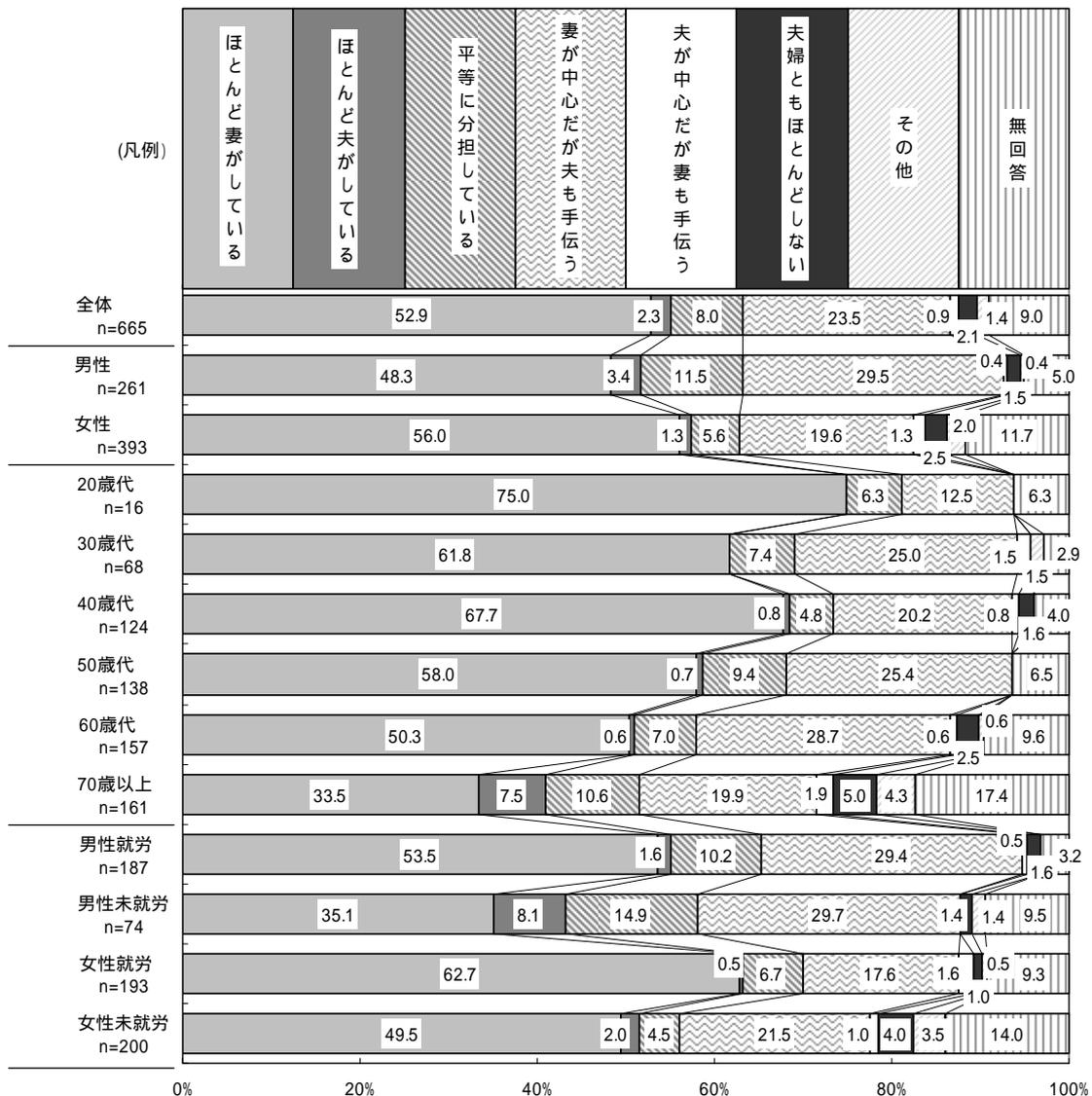
D 入浴の準備および風呂場の掃除



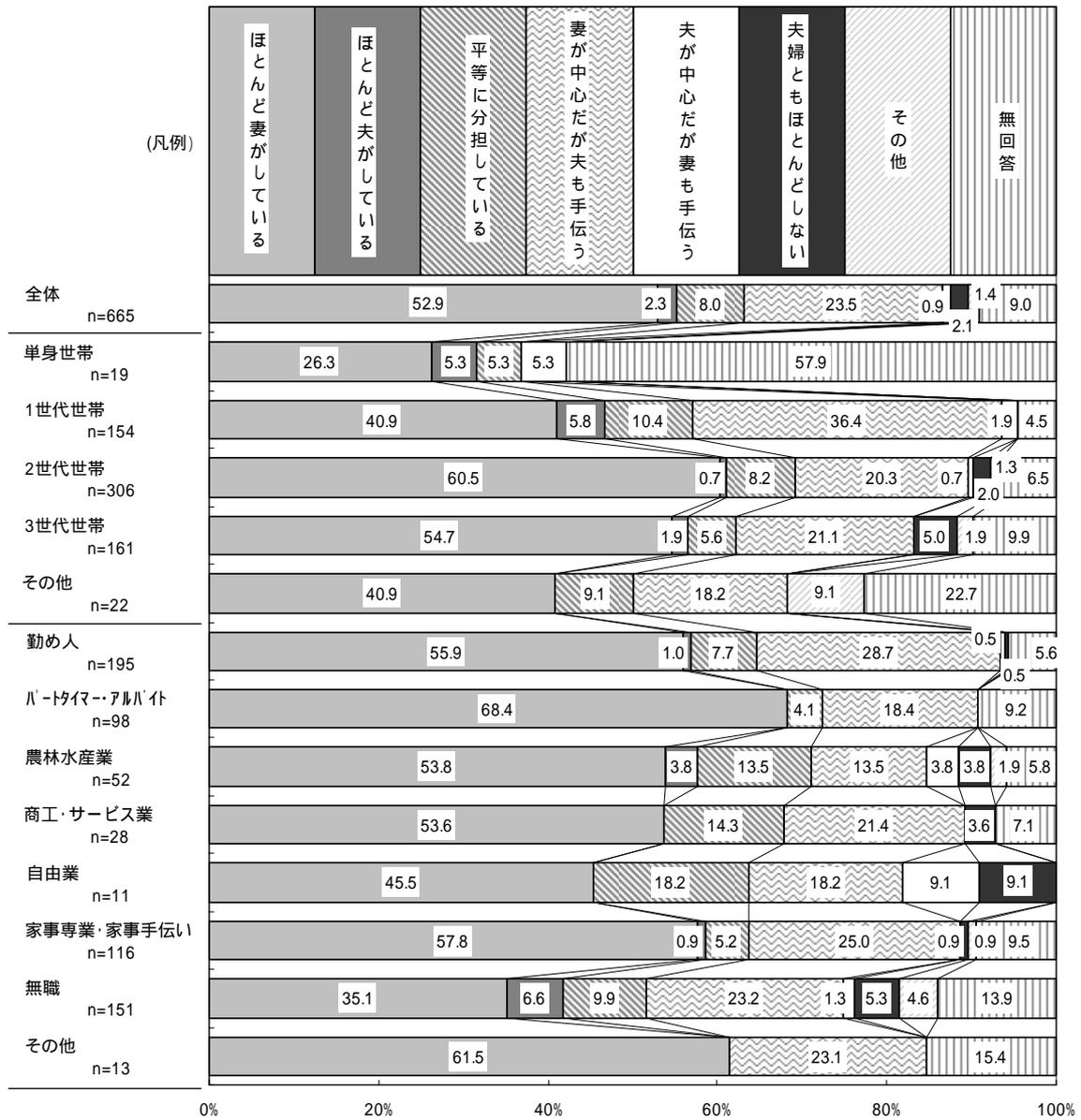
【E 日常の買い物】

- 「ほとんど妻がしている」が52.9%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(23.5%)、「平等に分担している」(8.0%)である。
- 性別では、男性は「妻が中心だが夫も手伝う」が29.5%と女性(19.6%)を上回る。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」は40歳代が67.7%と最も高く、70歳以上で33.5%と低い。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は男性未就労者が35.1%と最も低く、男女ともに就労者が未就労者を上回っている。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」が68.4%と高い。

E 日常の買い物



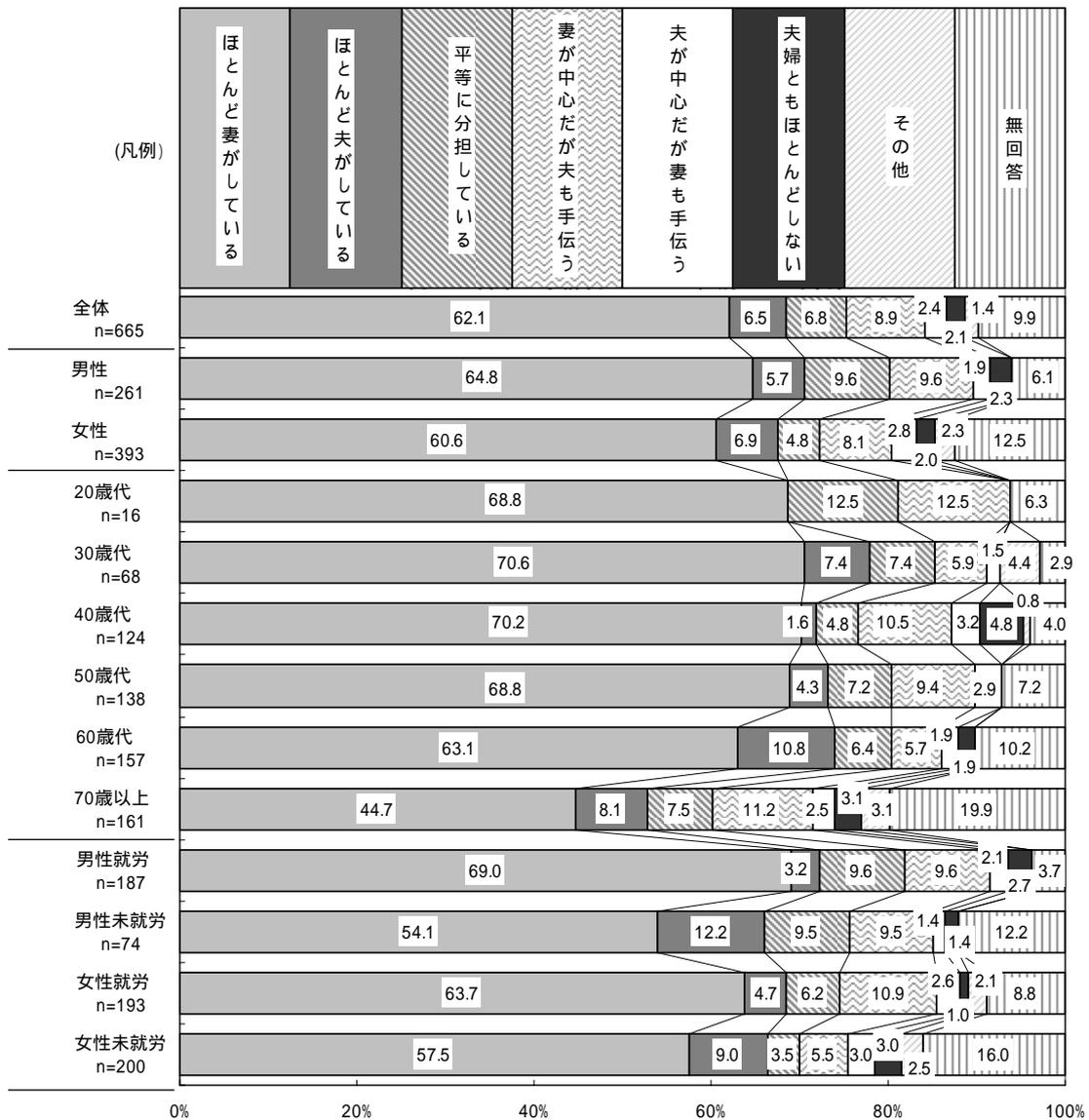
E 日常の買い物



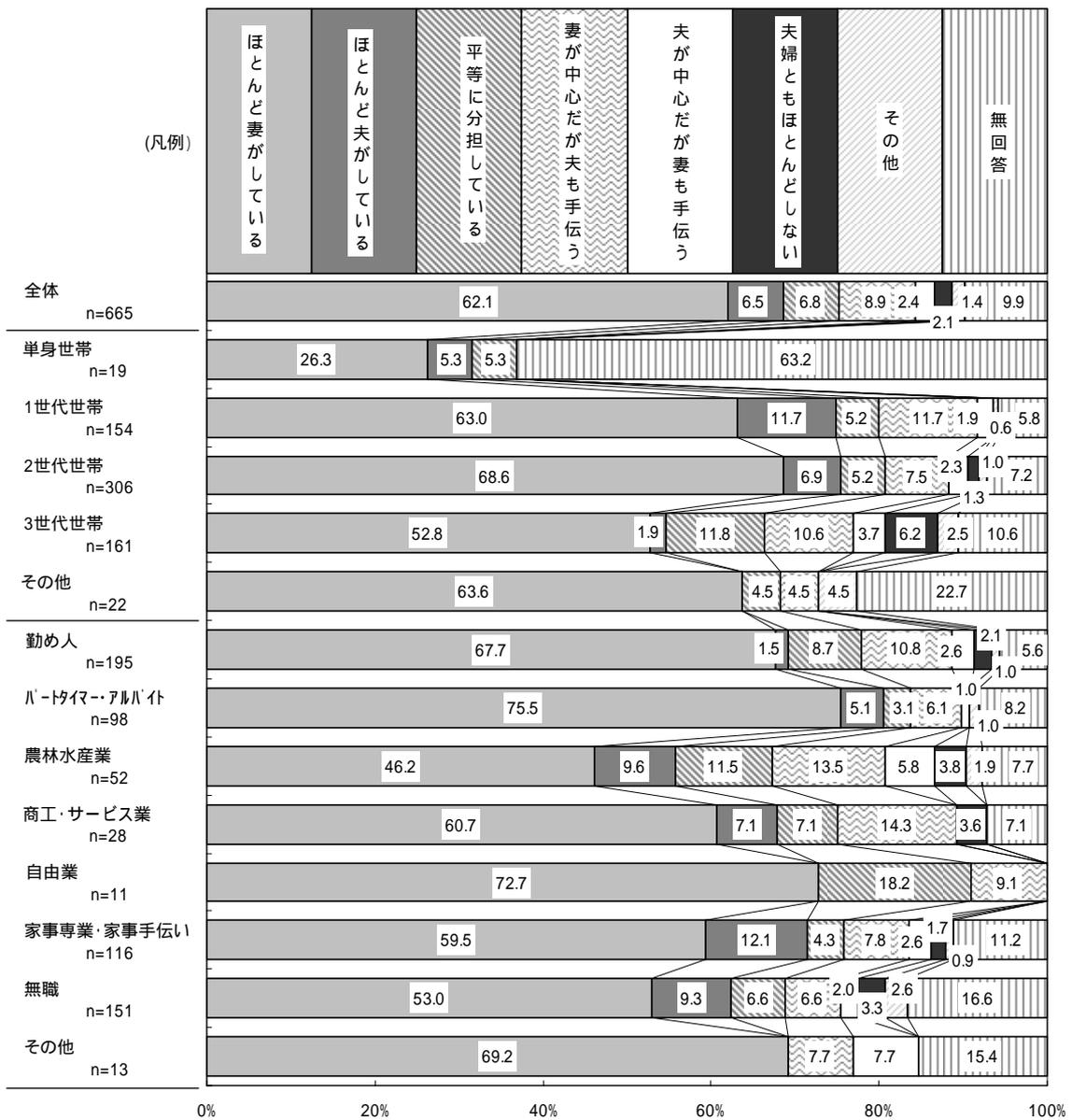
【F 日常の家計管理】

- 「ほとんど妻がしている」が62.1%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(8.9%)、「平等に分担している」(6.8%)、「ほとんど夫がしている」(6.5%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が44.7%と低い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が69.0%と高く、男性未就労者(54.1%)を上回っている。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」はパートタイマー・アルバイトが75.5%と高く、農林水産業で46.2%と低くなっている。

F 日常の家計管理



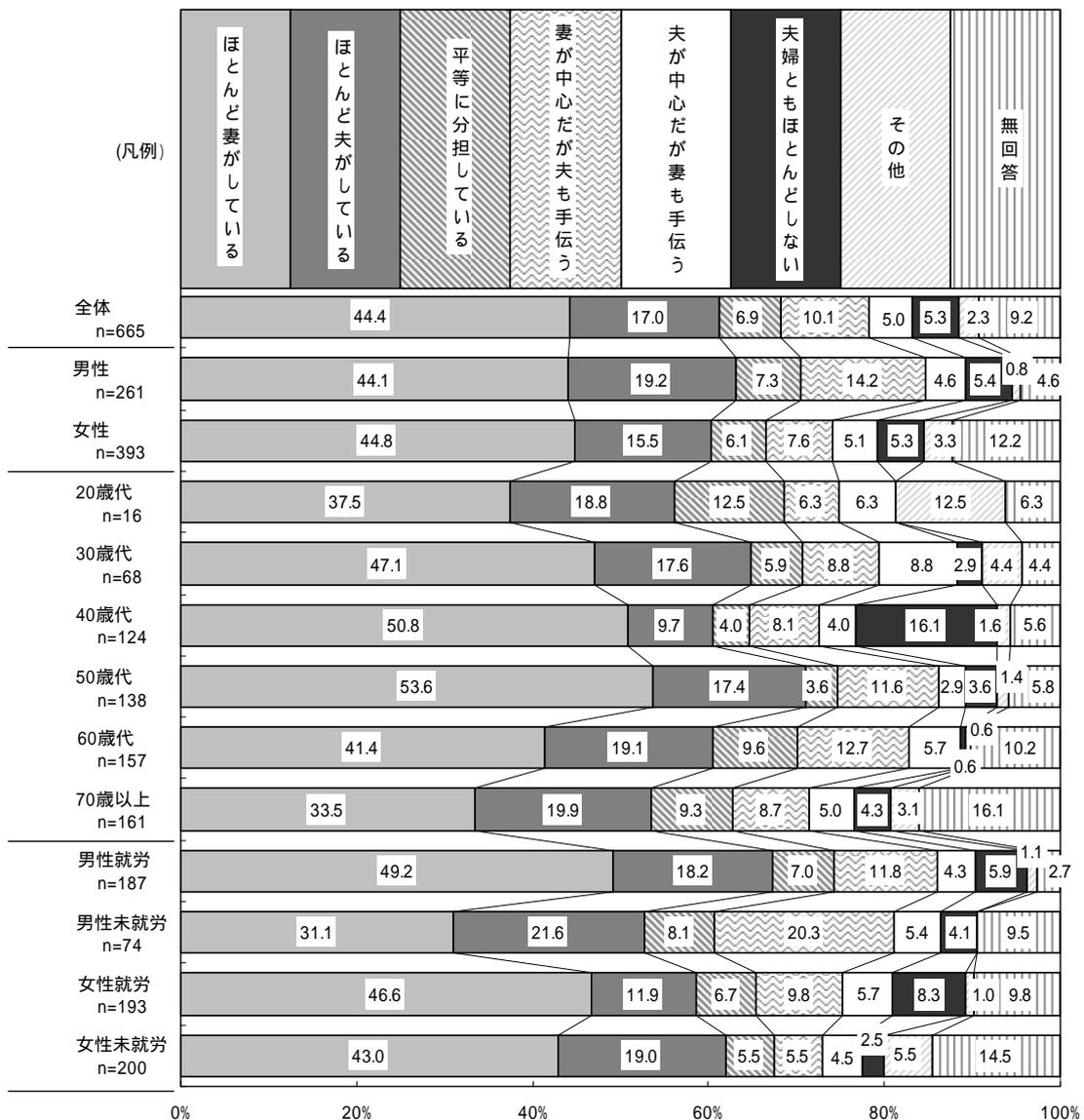
F 日常の家計管理



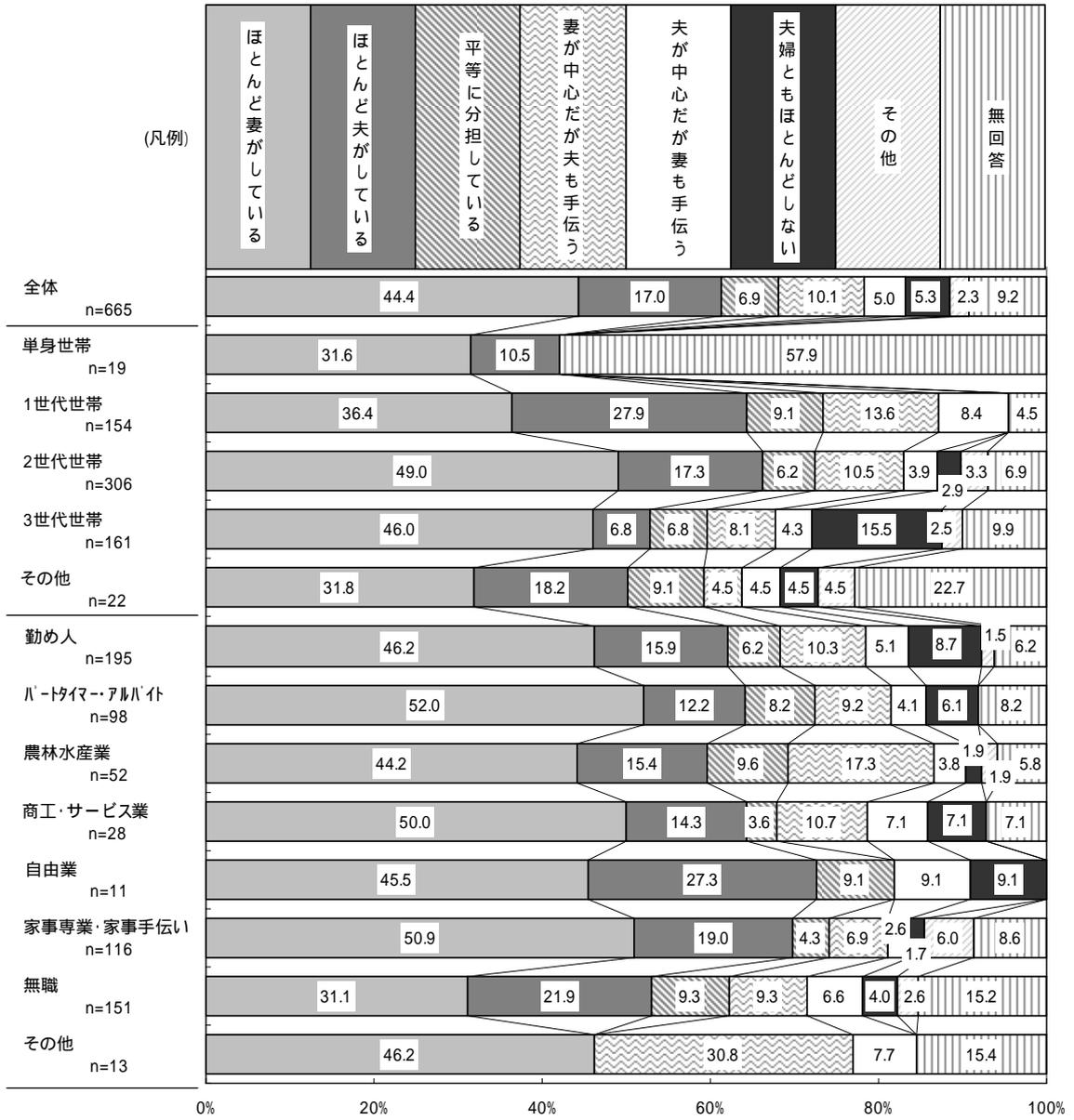
【G 日常のゴミ捨て】

- 「ほとんど妻がしている」が 44.4%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(17.0%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(10.1%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が 44.1%と女性(44.8%)をわずかに下回っており、「ほとんど夫がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」、「平等に分担している」のいずれにおいても、女性を上回っている。
- 年齢別では、50歳代、40歳代は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ 53.6%、50.8%と5割を超えており、他の年代に比べてやや高い。また、40歳代で「ほとんど夫がしている」(9.7%)が低く、「夫婦ともほとんどしない」(16.1%)が高い。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は、男性未就労者で 31.1%とやや低く、「妻が中心だが夫も手伝う」が 20.3%とやや高い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイト、家事専業・家事手伝いで「ほとんど妻がしている」がそれぞれ 52.0%、50.9%と5割を超えている。

G 日常のゴミ捨て



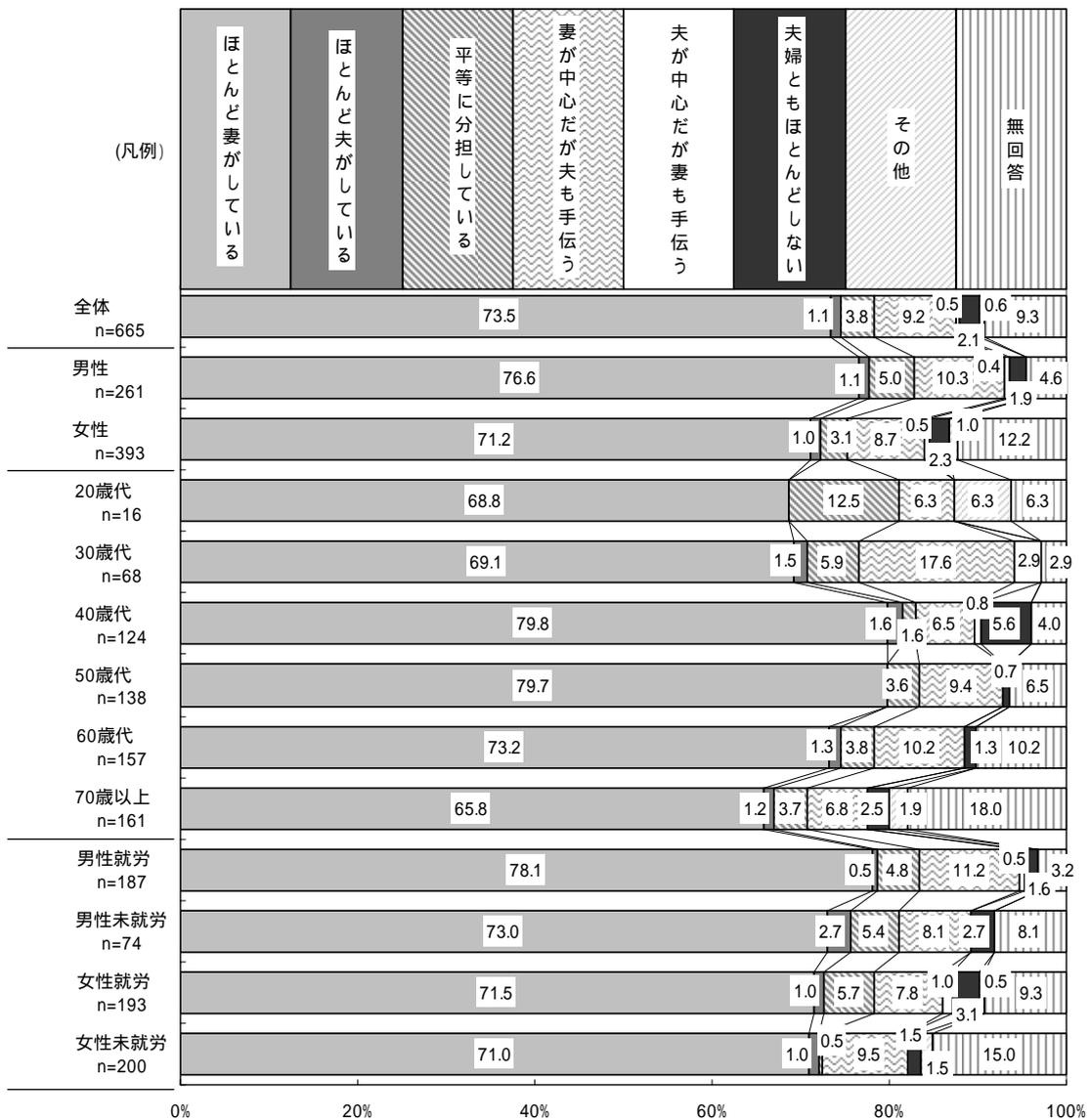
G 日常のゴミ捨て



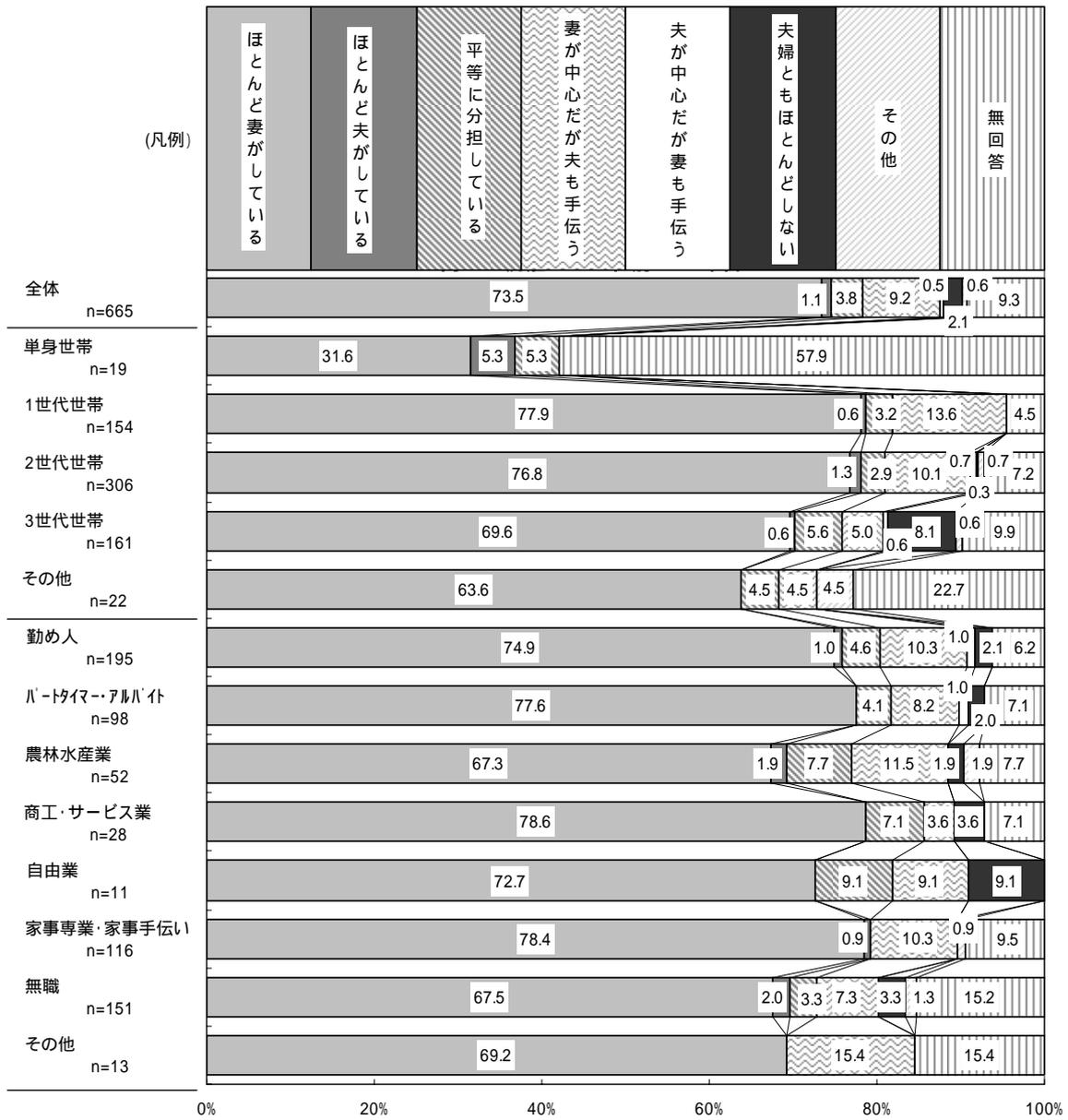
【H 洗濯】

- 「ほとんど妻がしている」が73.5%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(9.2%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が76.6%と女性(71.2%)よりもやや高い。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」は40歳代(79.8%)、50歳代(79.7%)が高く、一方、70歳以上で65.8%と低くなっている。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は男性就労者が78.1%と最も高い。
- 職業別では、農林水産業、無職は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ67.3%、67.5%とやや低くなっている。

H 洗濯



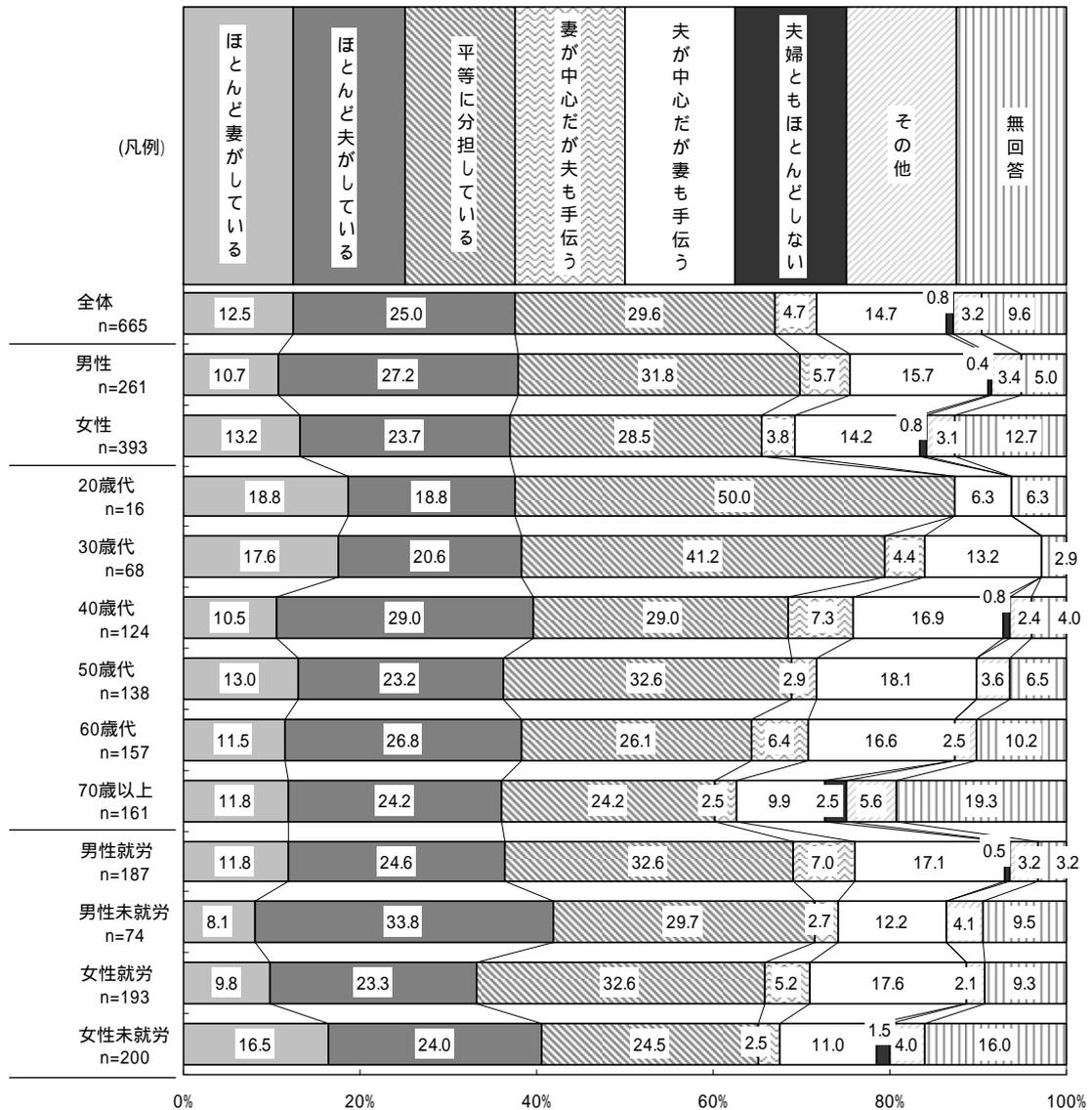
H 洗濯



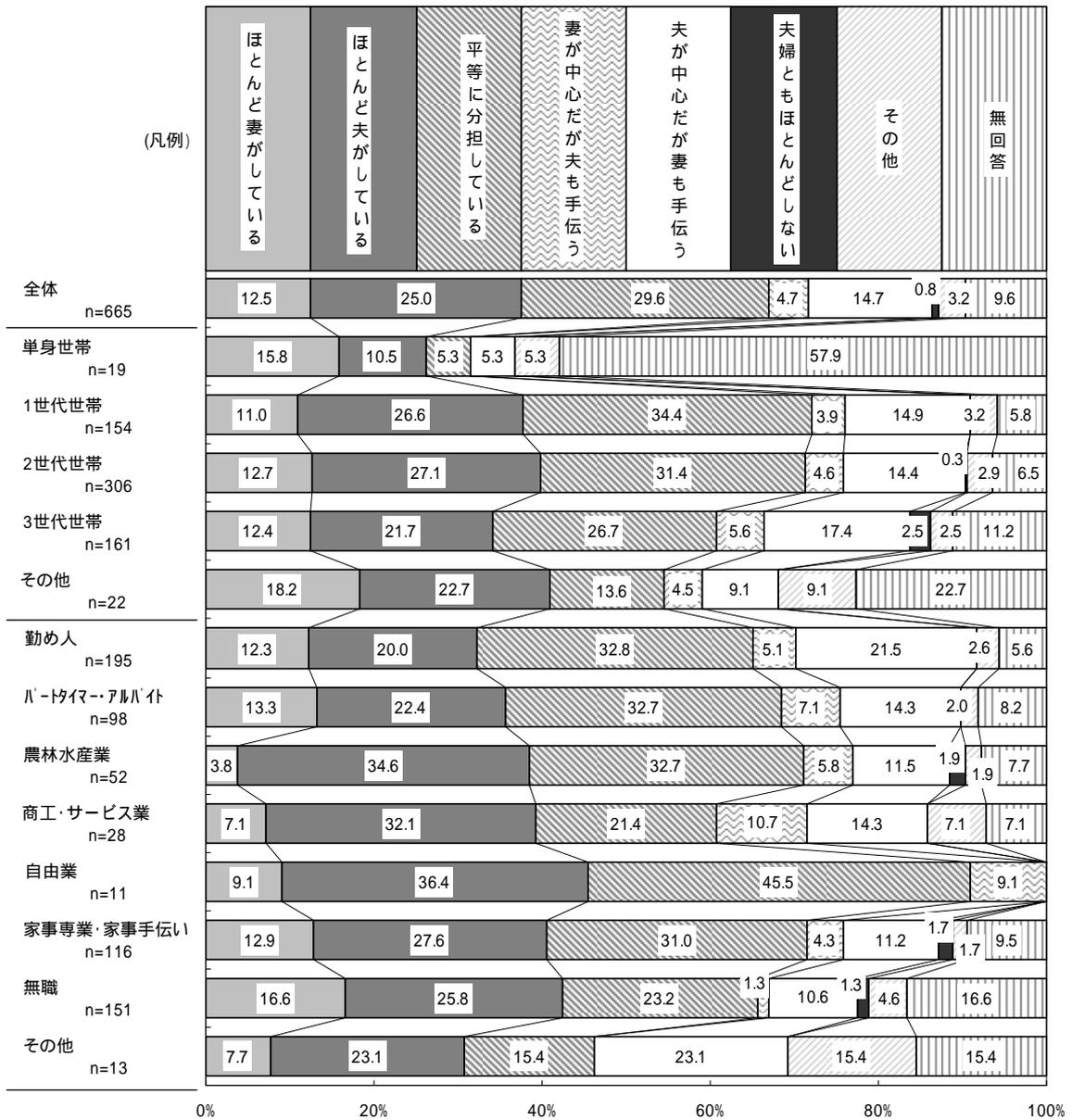
【 I 高額な商品の購入決定】

- 「平等に分担している」が29.6%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(25.0%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(14.7%)、「ほとんど妻がしている」(12.5%)である。
- 年齢別では、30歳代は「平等に分担している」が41.2%と高くなっている。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど夫がしている」が33.8%とやや高い。
- 世帯別では、3世代世帯は「平等に分担している」が26.7%とやや低く、「夫が中心だが妻も手伝う」が17.4%とやや高くなっている。

I 高額な商品の購入決定



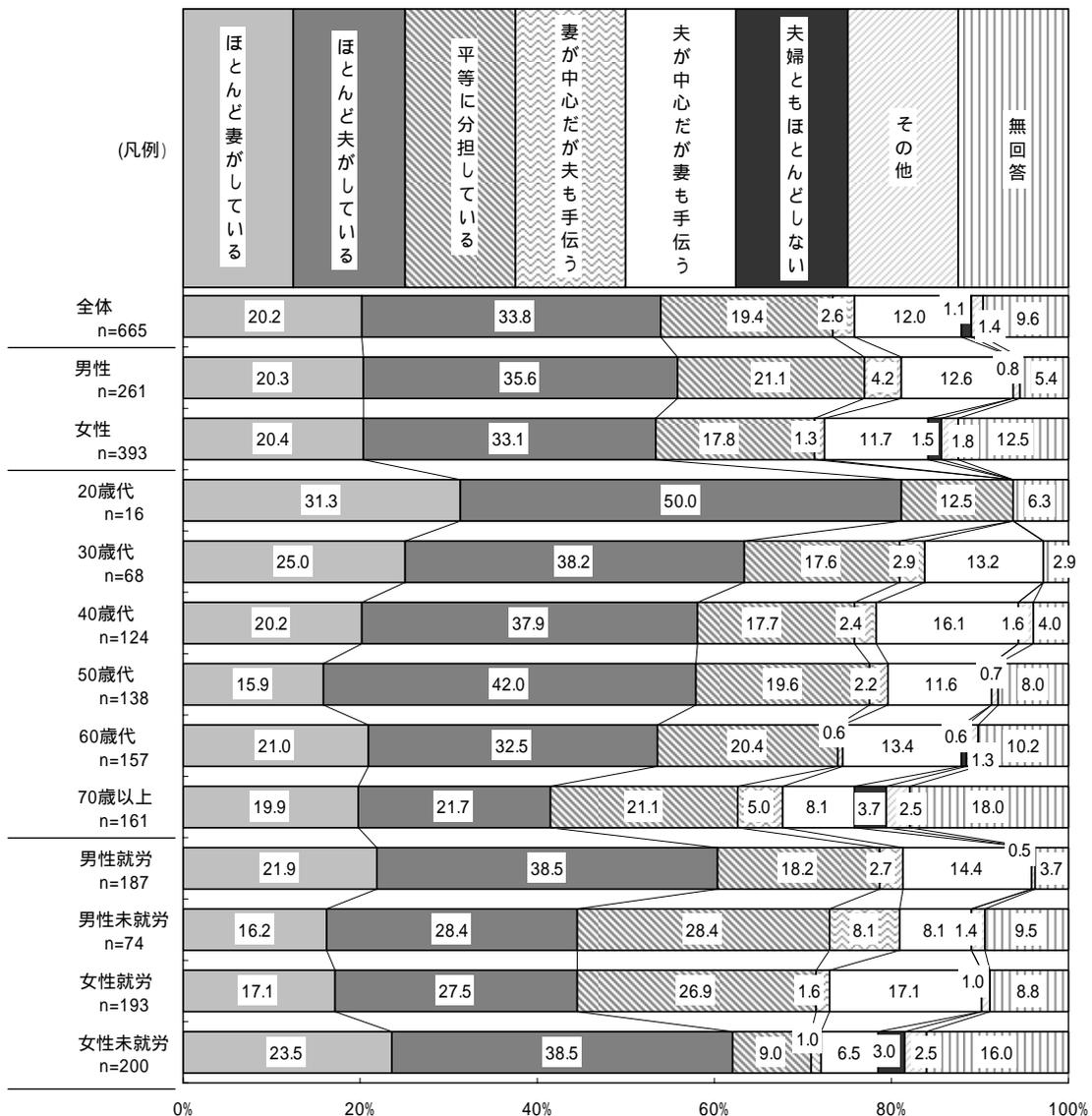
Ⅰ 高価な商品の購入決定



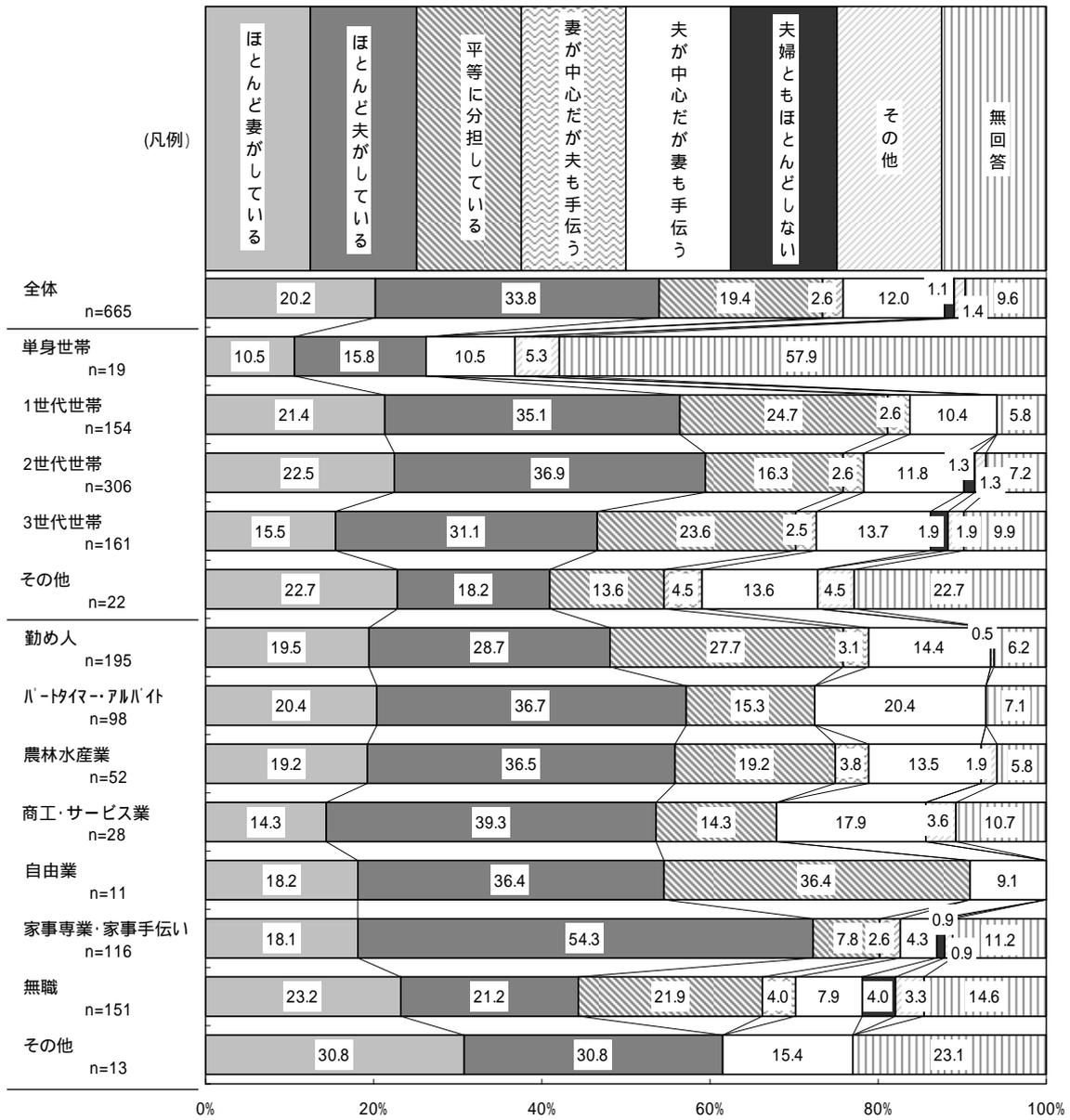
【 J 生活費の確保】

- 「ほとんど夫がしている」が 33.8%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(20.2%)、「平等に分担している」(19.4%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(12.0%)となっている。
- 年齢別では、50歳代は「ほとんど夫がしている」が42.0%と高く、「ほとんど妻がしている」が15.9%と低い。また、「平等に分担している」は年齢層が上がるほど高くなっている。
- 性別・就労別では、男性就労者、女性未就労者は「ほとんど夫がしている」がいずれも38.5%と高い。また、「平等に分担している」が低く、女性未就労者は9.0%と特に低くなっている。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いは「ほとんど夫がしている」が54.3%と高く、一方、勤め人は「平等に分担している」が27.7%とやや高くなっている。

J 生活費の確保



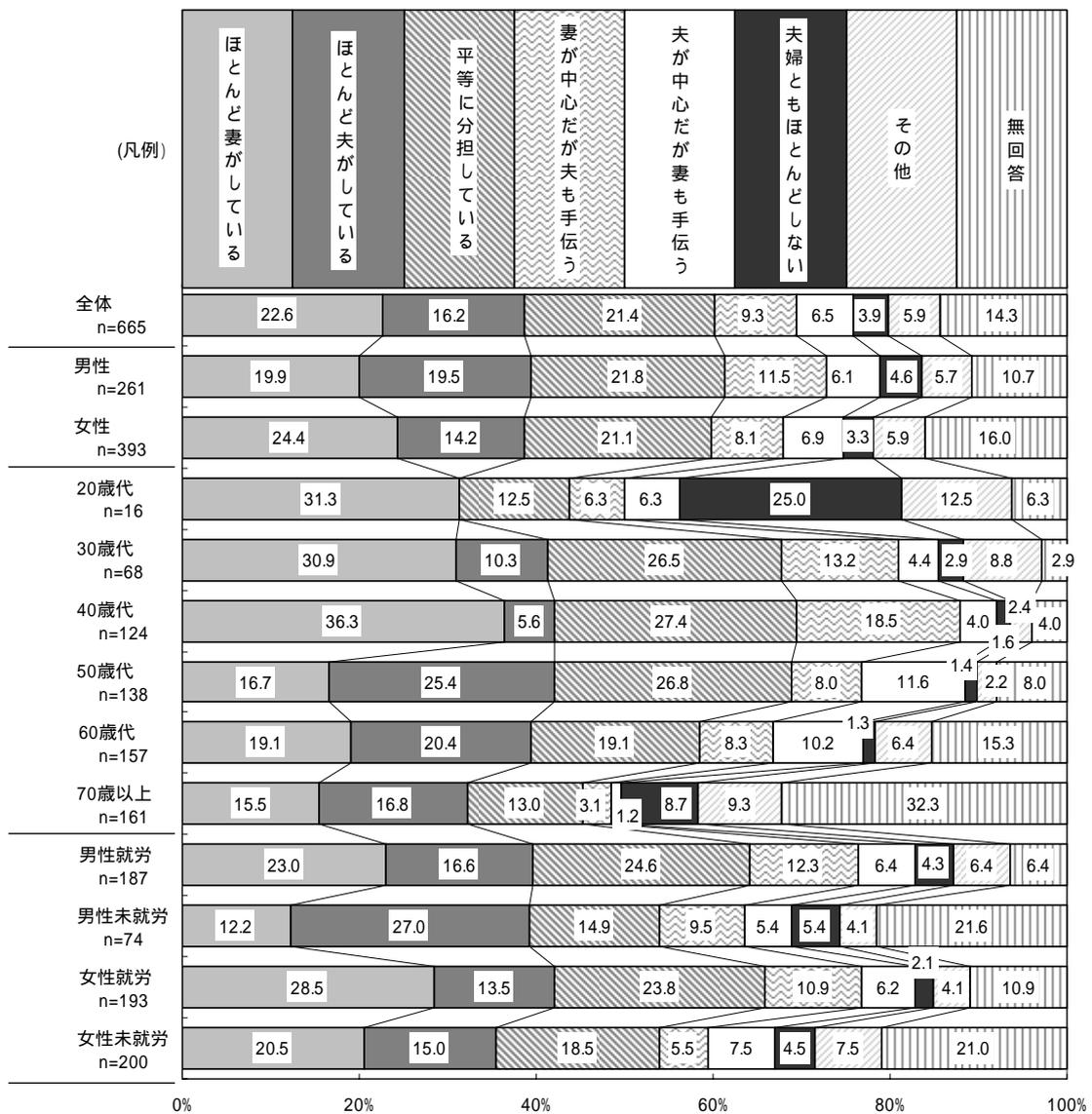
J 生活費の確保



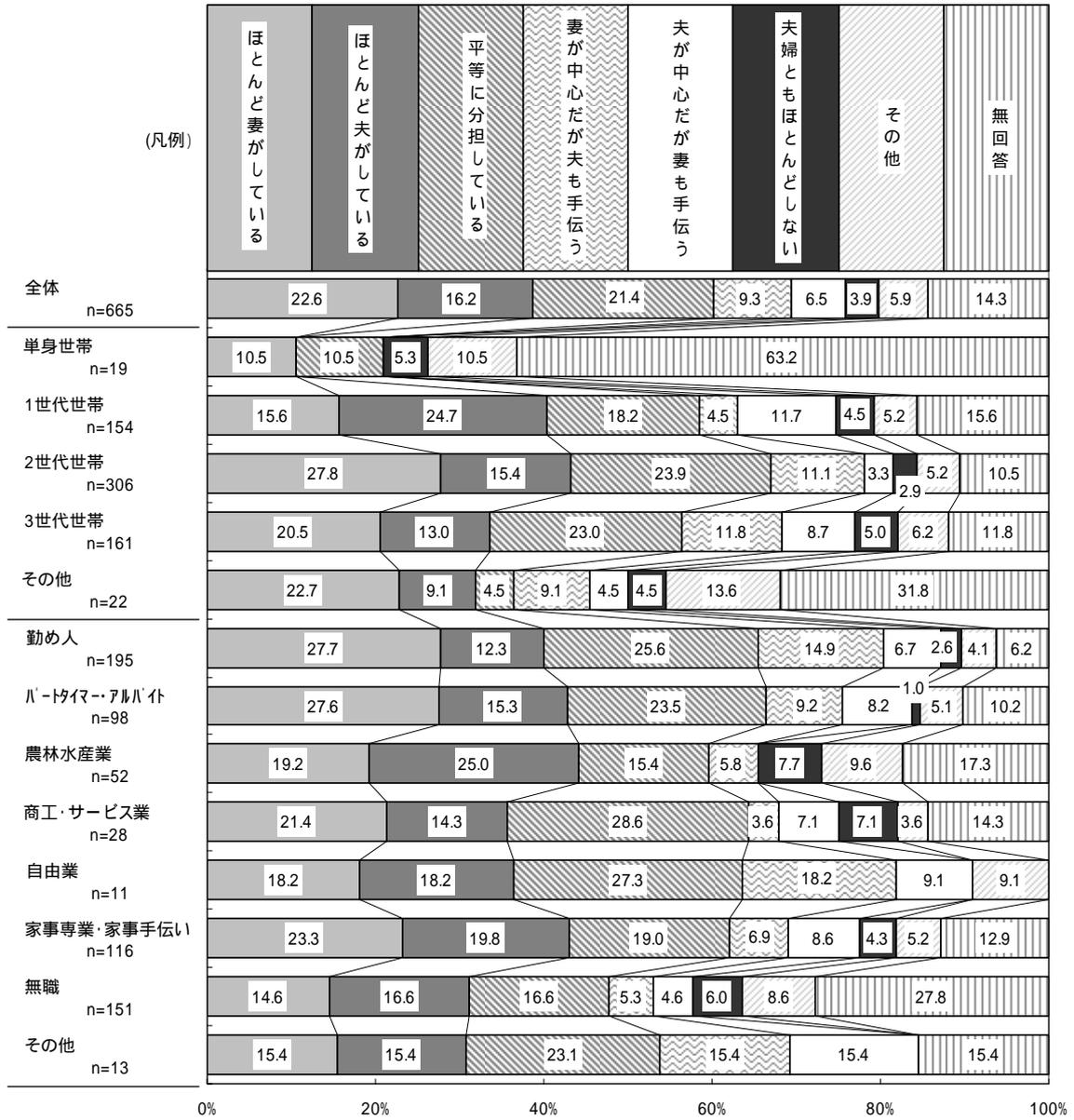
【K PTAや地域の行事参加】

- 「ほとんど妻がしている」が22.6%と最も高く、以下、「平等に分担している」(21.4%)、「ほとんど夫がしている」(16.2%)となっている。
- 年齢別では、40歳代、30歳代は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ36.3%、30.9%と高く、50歳代以上では「ほとんど夫がしている」の割合が高い。また、30歳代から50歳代は「平等に分担している」も高くなっている。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど夫がしている」が27.0%と高い。また、男女ともに就労者は「平等に分担している」がそれぞれ24.6%、23.8%と高い。
- 世帯別では、1世代世帯は「ほとんど夫がしている」が24.7%と高く、「ほとんど妻がしている」(15.6%)、「平等に分担している」(18.2%)がやや低い。
- 職業別では、勤め人、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」がそれぞれ27.7%、27.6%とやや高い。

K PTAや地域の行事参加



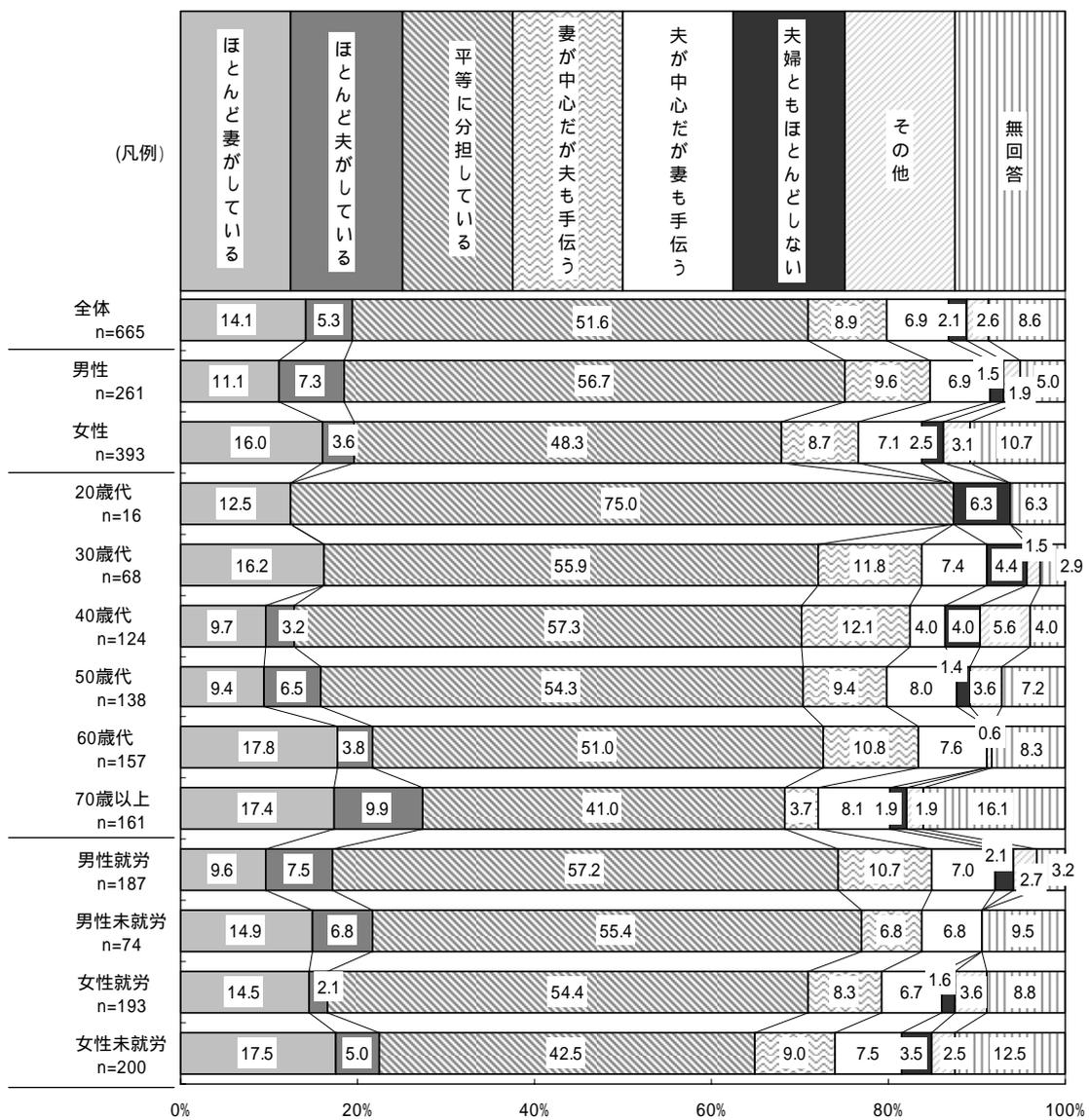
K PTAや地域の行事参加



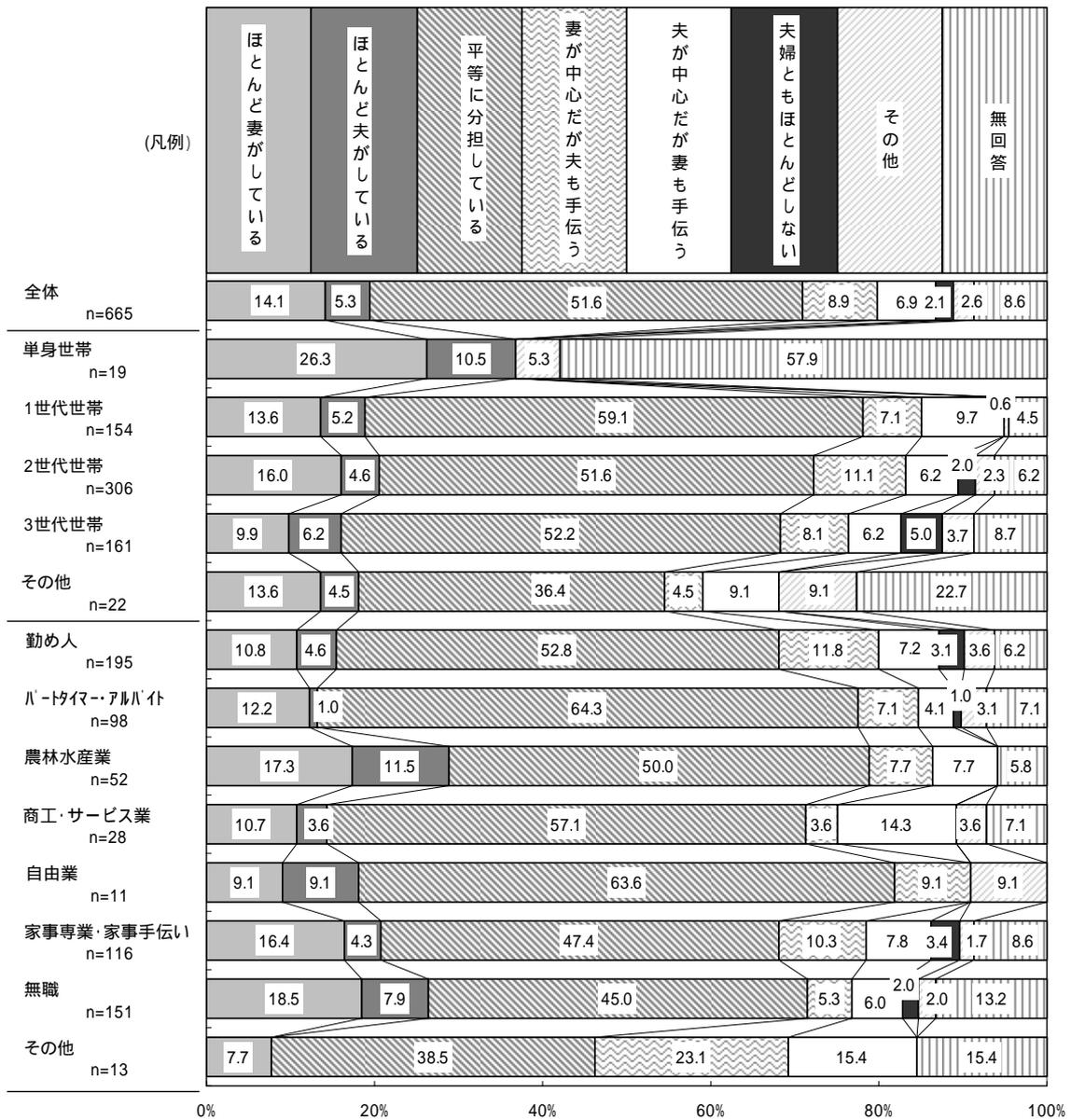
【L 親戚とのつきあい】

- 「平等に分担している」が51.6%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(14.1%)、「平等に分担している」(8.9%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「平等に分担している」が41.0%と低い。また、40歳代、50歳代は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ9.7%、9.4%と1割以下となっている。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「平等に分担している」が42.5%と低い。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」が59.1%と高い。また、3世代世帯は「ほとんど妻がしている」が9.9%とやや低くなっている。
- 職業別では、無職、農林水産業は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ18.5%、17.3%と高い。また、無職、家事専業・家事手伝いは「平等に分担している」が5割を下回り低くなっている。

L 親戚とのつきあい



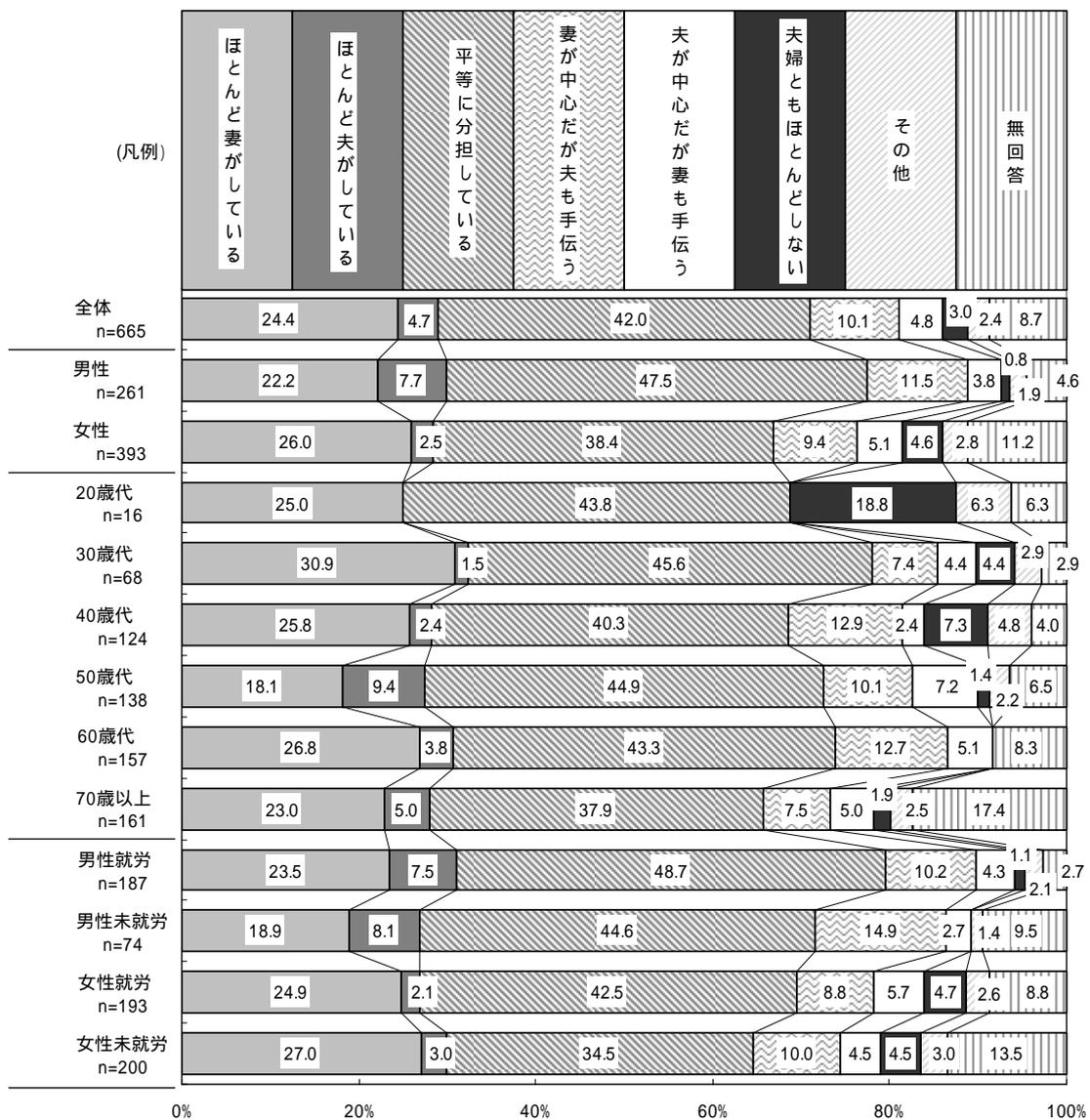
L 親戚とのつきあい



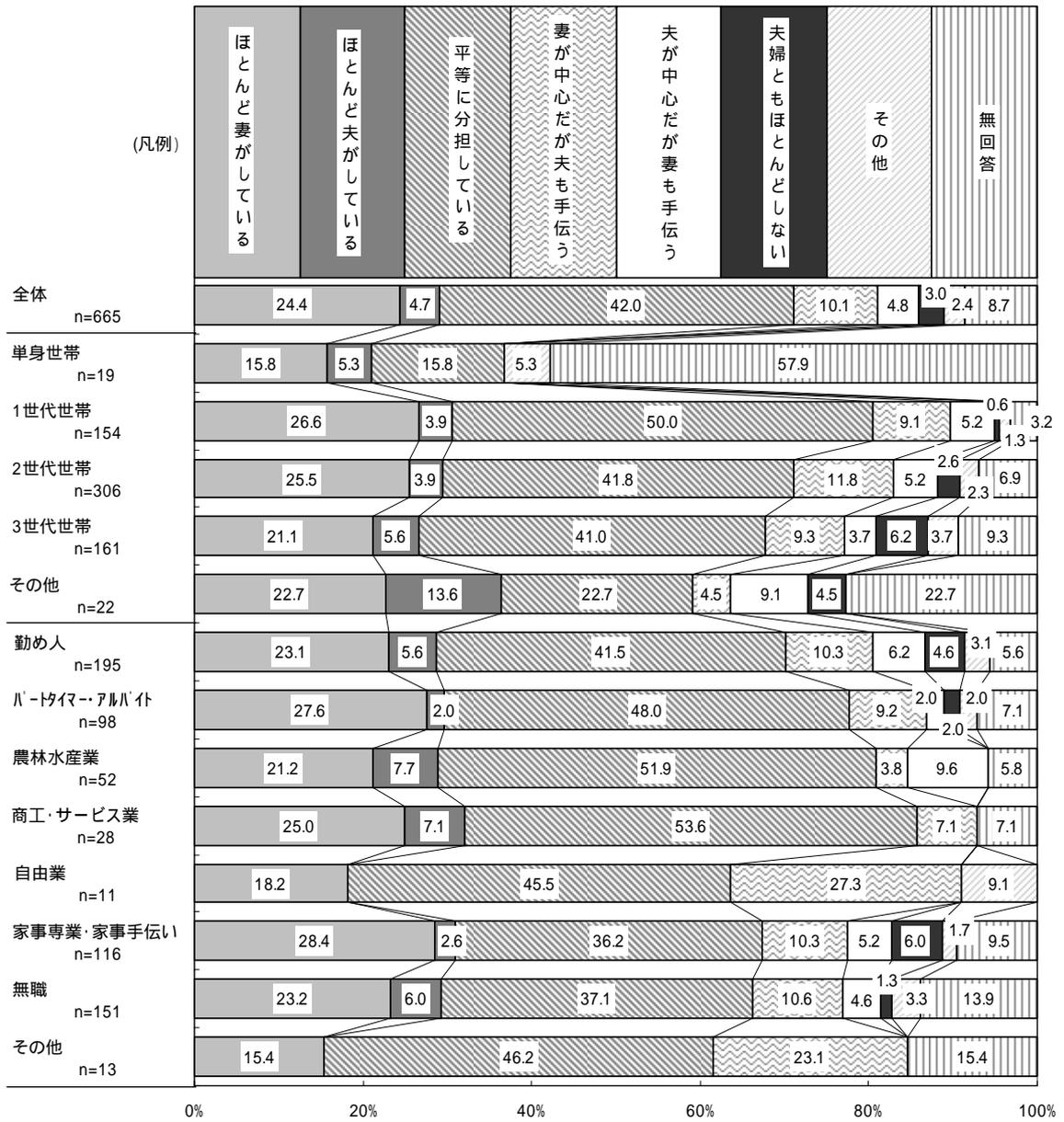
【M 近所とのつきあい】

- 「平等に分担している」が42.0%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(24.4%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(10.1%)である。
- 性別では、男性は「平等に分担している」が47.5%と女性(38.4%)よりも高い。
- 年齢別では、50歳代は「ほとんど妻がしている」が18.1%とやや低い。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」が50.0%と高い。
- 職業別では、商工・サービス業、農林水産業は「平等に分担している」がそれぞれ53.6%、51.9%と高くなっている。

M 近所とのつきあい



M 近所とのつきあい



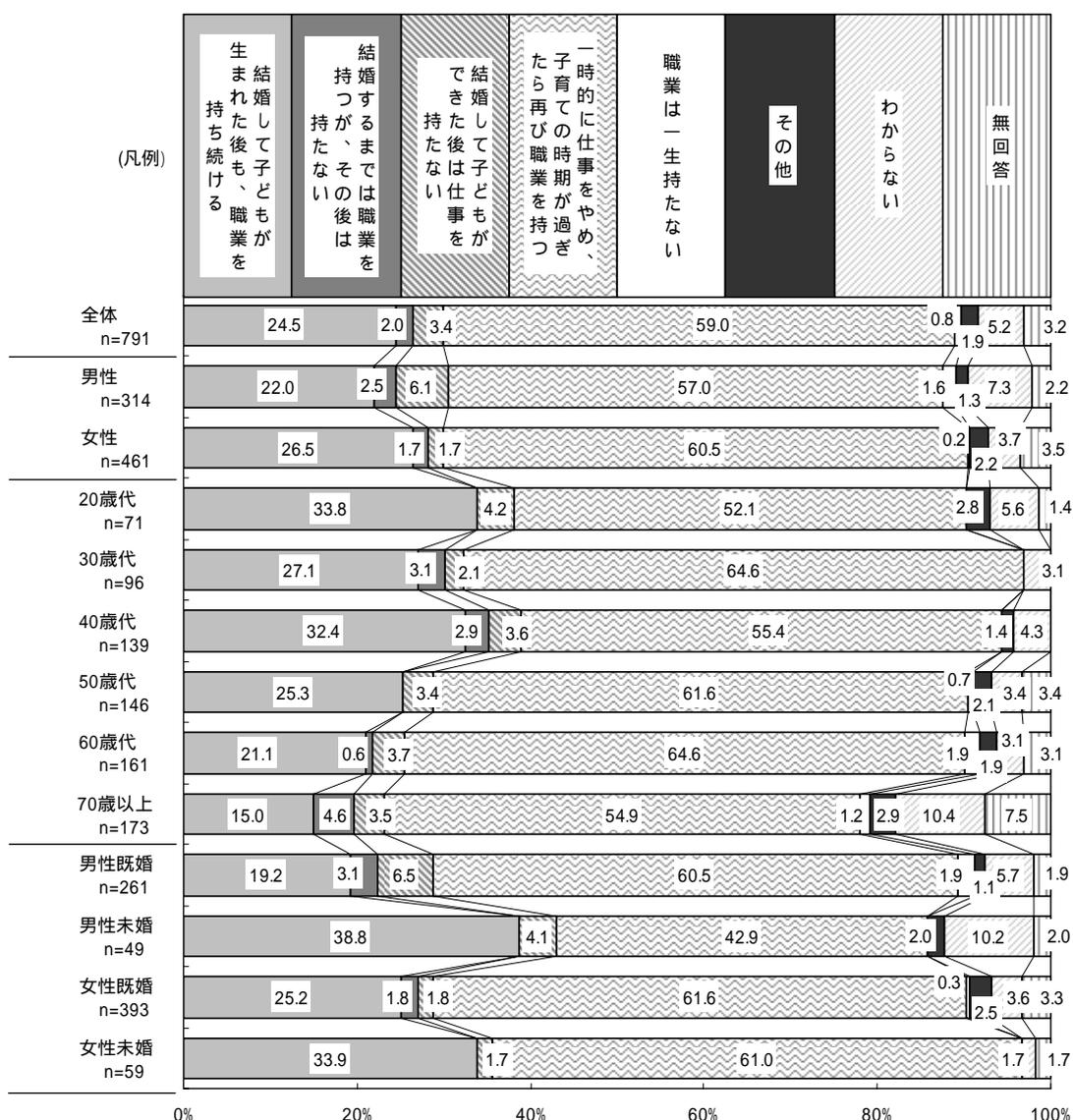
3 職業生活について

(1) 女性の職業で望ましい形態

問10. 女性の職業へのかかり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。

- 「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が59.0%と過半数を占め、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」(24.5%)となっている。
- 年齢別では、20歳代、40歳代は「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」がそれぞれ33.8%、32.4%と3割を超えて高くなっている。
- 婚姻状況別では、男性未婚者は「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が42.9%と低く、「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」が38.8%と高い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が48.3%と低い。

女性の職業で望ましい形態

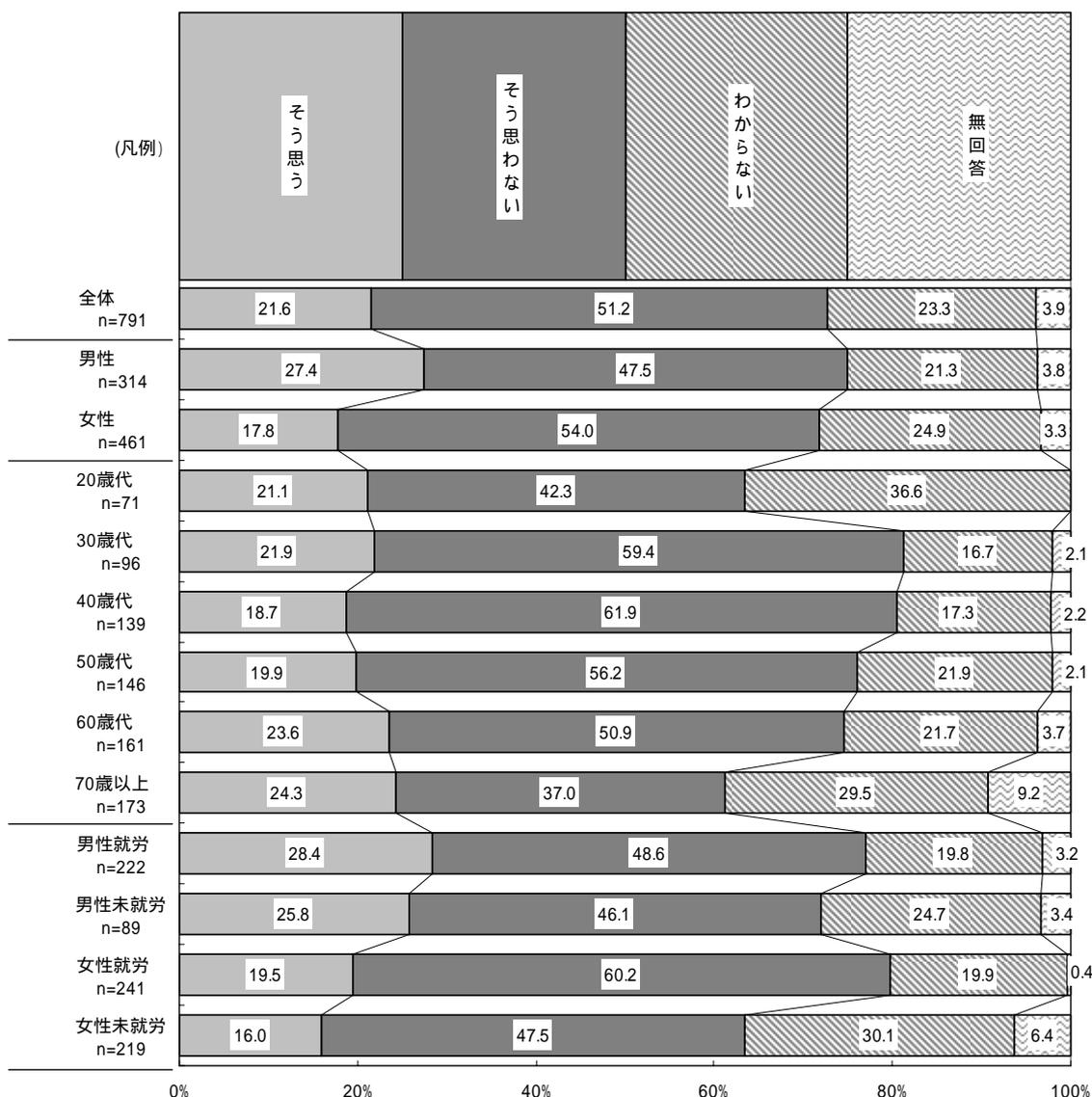


(2) 女性は働きやすい状況にあるか

問11. あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。

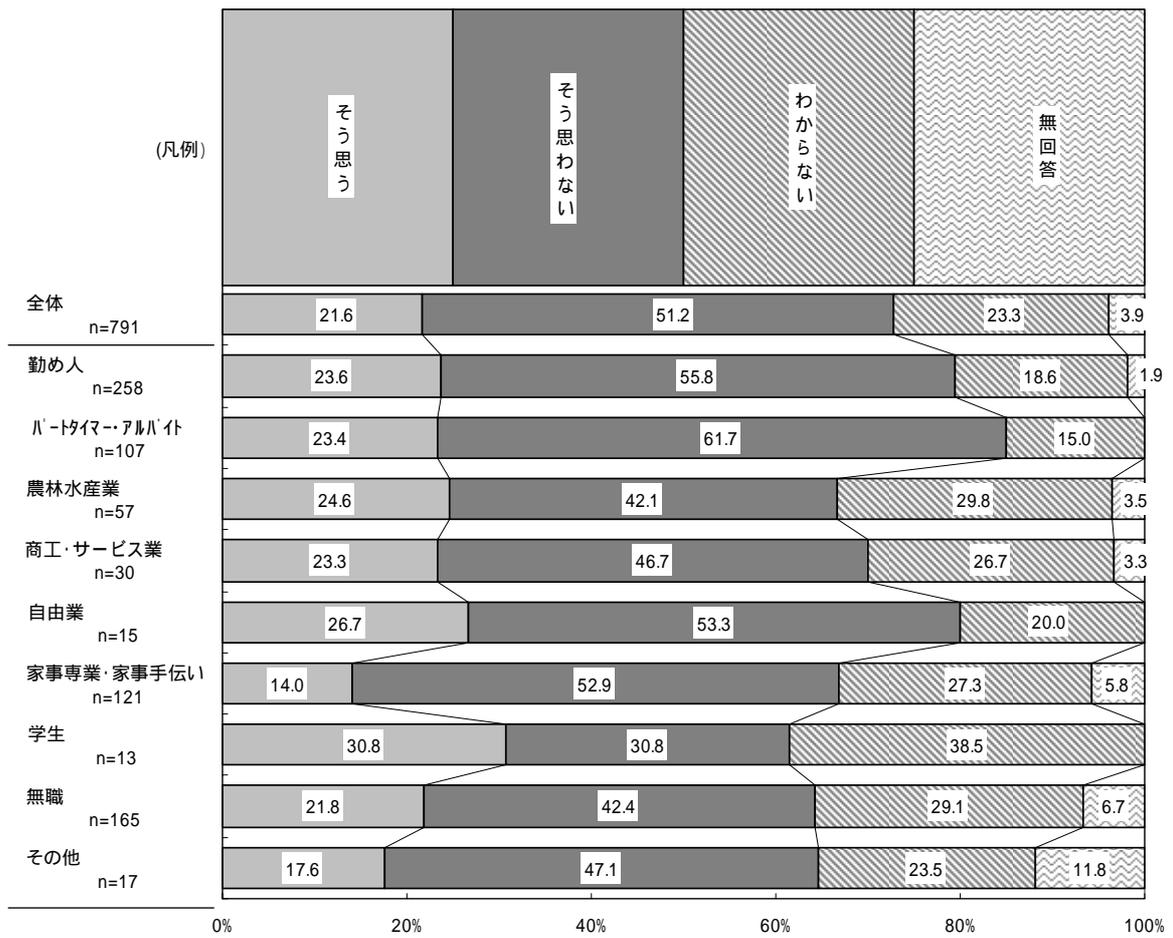
- 「そう思う」は21.6%にとどまり、「そう思わない」が51.2%となっている。
- 年齢別では、「そう思わない」は40歳代が61.9%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「そう思わない」が60.2%と特に高い。
- 職業別では、「そう思わない」はパートタイマー・アルバイトが61.7%と特に高い。また、「そう思う」は家事専業・家事手伝いが14.0%と最も低い。

女性は働きやすい状況にあるか



		女性は働きやすい状況にあるか[%]				
		全体	そう思う	そう思わない	わからない	無回答
全体		791	171	405	184	31
		100.0	21.6	51.2	23.3	3.9
性 年 齢 別	男性計	314	86	149	67	12
		100.0	27.4	47.5	21.3	3.8
	20歳代	27	6	10	11	-
		100.0	22.2	37.0	40.7	-
	30歳代	35	12	17	4	2
		100.0	34.3	48.6	11.4	5.7
	40歳代	56	12	29	12	3
		100.0	21.4	51.8	21.4	5.4
	50歳代	63	18	30	14	1
		100.0	28.6	47.6	22.2	1.6
	60歳代	65	21	31	10	3
		100.0	32.3	47.7	15.4	4.6
	70歳以上	68	17	32	16	3
		100.0	25.0	47.1	23.5	4.4
	女性計	461	82	249	115	15
		100.0	17.8	54.0	24.9	3.3
	20歳代	44	9	20	15	-
		100.0	20.5	45.5	34.1	-
	30歳代	60	8	40	12	-
		100.0	13.3	66.7	20.0	-
40歳代	82	14	56	12	-	
	100.0	17.1	68.3	14.6	-	
50歳代	82	11	52	18	1	
	100.0	13.4	63.4	22.0	1.2	
60歳代	95	17	50	25	3	
	100.0	17.9	52.6	26.3	3.2	
70歳以上	97	23	30	33	11	
	100.0	23.7	30.9	34.0	11.3	

女性は働きやすい状況にあるか



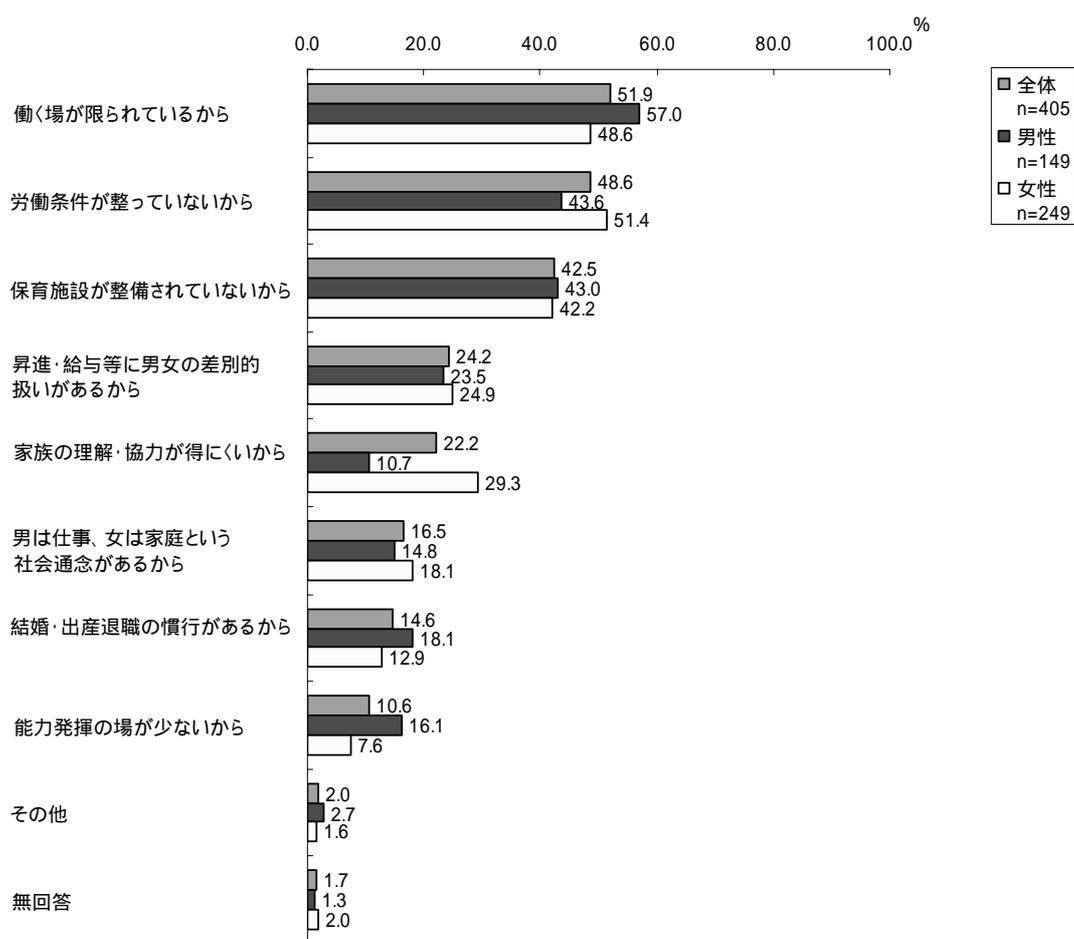
自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

(3) 働きやすい理由

問 11-1. そう思わない理由はなんですか。

- 「働く場が限られているから」が51.9%と最も高く、以下「労働条件が整っていないから」(48.6%)、「保育施設が整備されていないから」(42.5%)である。
- 性別では、男性は「働く場が限られているから」が57.0%と最も高く、女性は「労働条件が整っていないから」が51.4%と最も高い。また、「家庭の理解・協力が得にくいから」は女性が29.3%と男性(10.7%)を18.6ポイント上回る。

働きやすい理由(複数回答)

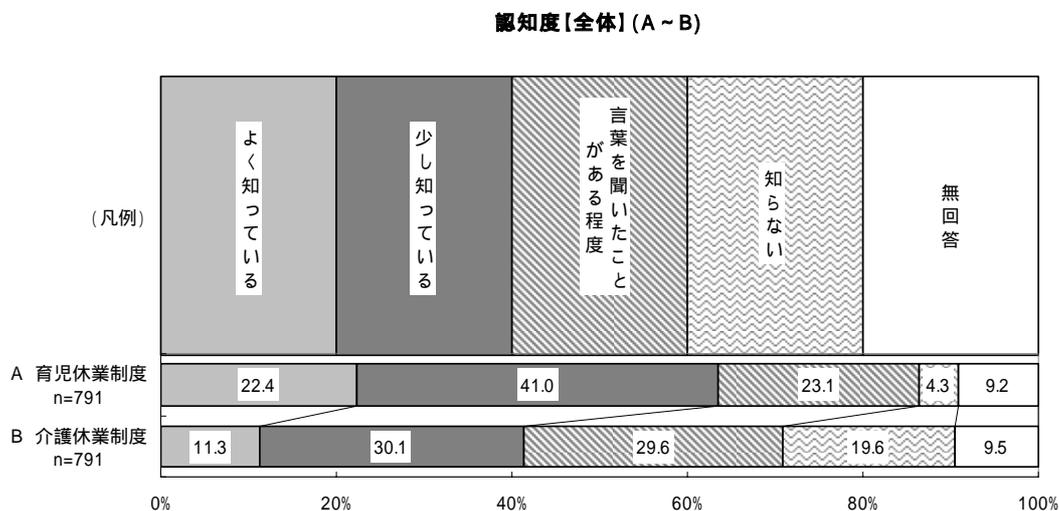


(4) 制度の認知状況及び取得状況

問12. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。

【全体】(A・B 認知度)

- 『知っている』は「A 育児休業制度」が63.4%、「B 介護休業制度」が41.4%である。

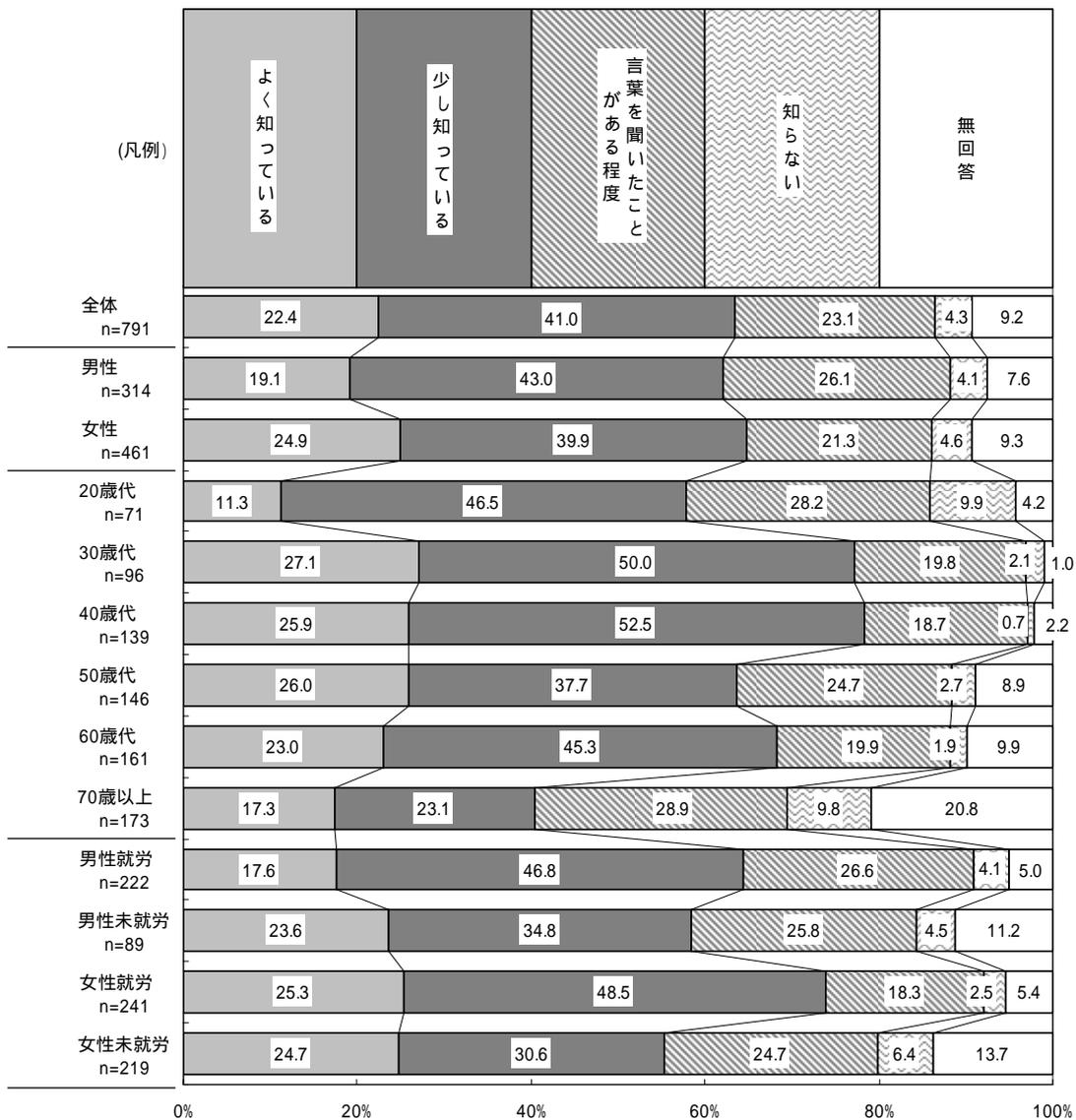


『知っている』は、本来の選択肢の「よく知っている」と「少し知っている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 育児休業制度（認知度）】

- 「少し知っている」が41.0%と最も高く、以下「言葉を聞いたことがある程度」(23.1%)、「よく知っている」(22.4%)と続く。なお、『知っている』は63.4%である。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で5割以上が『知っている』と回答している。特に、40歳代(78.4%)、30歳代(77.1%)が高い。
- 性別・就労別では、『知っている』は女性就労者が73.8%と最も高く、男女ともに就労者が未就労者に比べ高くなっている。

A 育児休業制度(認知度)

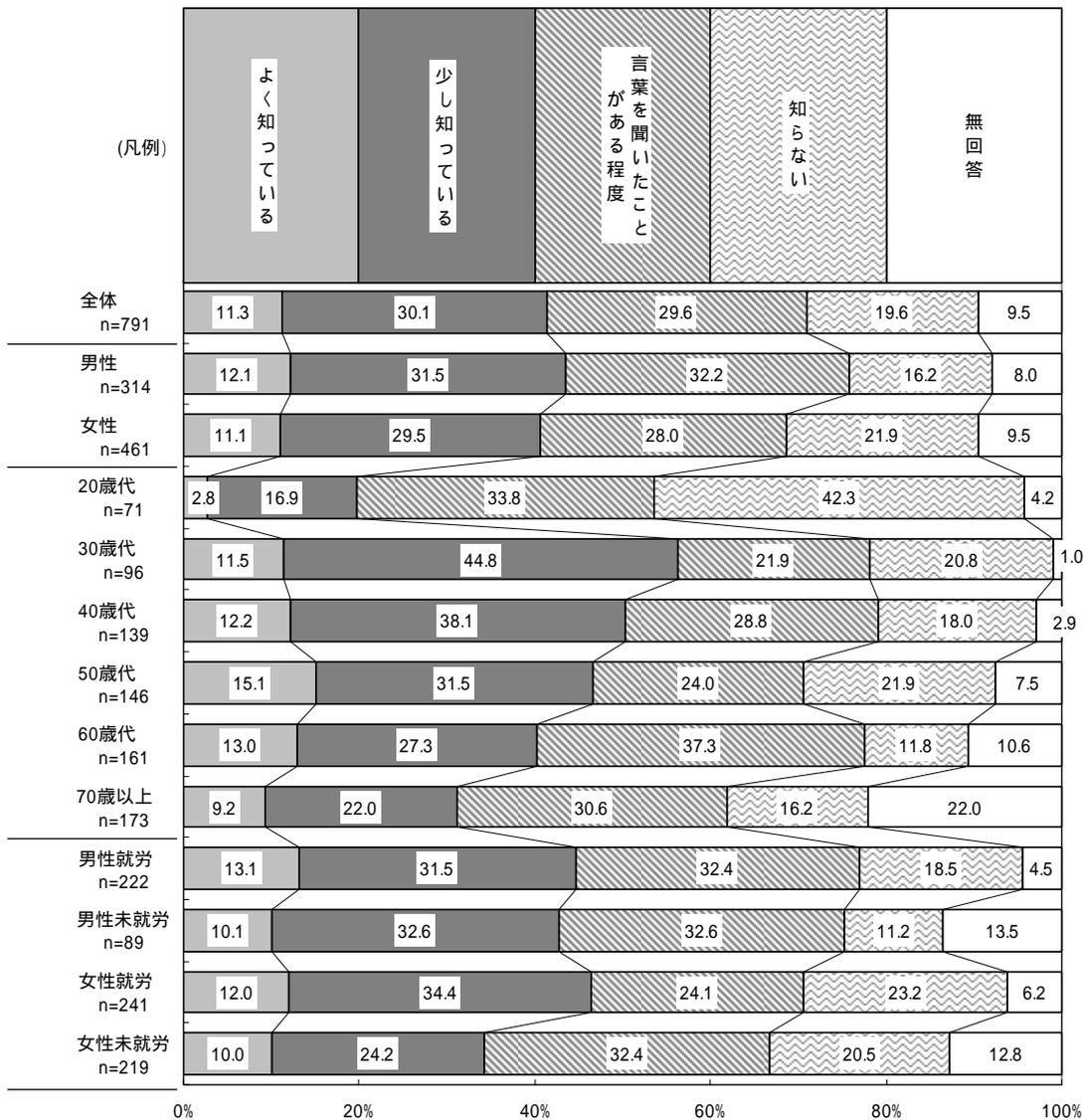


		A 育児休業制度(認知度) [%]					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	無回答
全体		791	177	324	183	34	73
		100.0	22.4	41.0	23.1	4.3	9.2
性 年 齢 別	男性計	314	60	135	82	13	24
		100.0	19.1	43.0	26.1	4.1	7.6
	20歳代	27	4	9	8	4	2
		100.0	14.8	33.3	29.6	14.8	7.4
	30歳代	35	7	19	8	1	-
		100.0	20.0	54.3	22.9	2.9	-
	40歳代	56	11	33	11	1	-
		100.0	19.6	58.9	19.6	1.8	-
	50歳代	63	14	25	18	3	3
		100.0	22.2	39.7	28.6	4.8	4.8
	60歳代	65	15	29	13	2	6
		100.0	23.1	44.6	20.0	3.1	9.2
	70歳以上	68	9	20	24	2	13
		100.0	13.2	29.4	35.3	2.9	19.1
	女性計	461	115	184	98	21	43
		100.0	24.9	39.9	21.3	4.6	9.3
	20歳代	44	4	24	12	3	1
		100.0	9.1	54.5	27.3	6.8	2.3
	30歳代	60	19	28	11	1	1
		100.0	31.7	46.7	18.3	1.7	1.7
40歳代	82	25	40	14	-	3	
	100.0	30.5	48.8	17.1	-	3.7	
50歳代	82	24	30	18	1	9	
	100.0	29.3	36.6	22.0	1.2	11.0	
60歳代	95	22	43	19	1	10	
	100.0	23.2	45.3	20.0	1.1	10.5	
70歳以上	97	21	18	24	15	19	
	100.0	21.6	18.6	24.7	15.5	19.6	

【B 介護休業制度（認知度）】

- 「少し知っている」が30.1%と最も高く、以下「言葉を聞いたことがある程度」(29.6%)、「知らない」(19.6%)、「よく知っている」(11.3%)と続く。なお、『知っている』は41.4%となっており、前述の【育児休業制度】よりも『知っている』割合が22.0ポイント低い。
- 年齢別では、30歳代は『知っている』が56.3%と高い一方、20歳代は「知らない」が42.3%と特に高い。
- 性別・就労別では、『知っている』は女性就労者が46.4%、男性就労者が44.6%となっており、就労者が未就労者を上回っている。

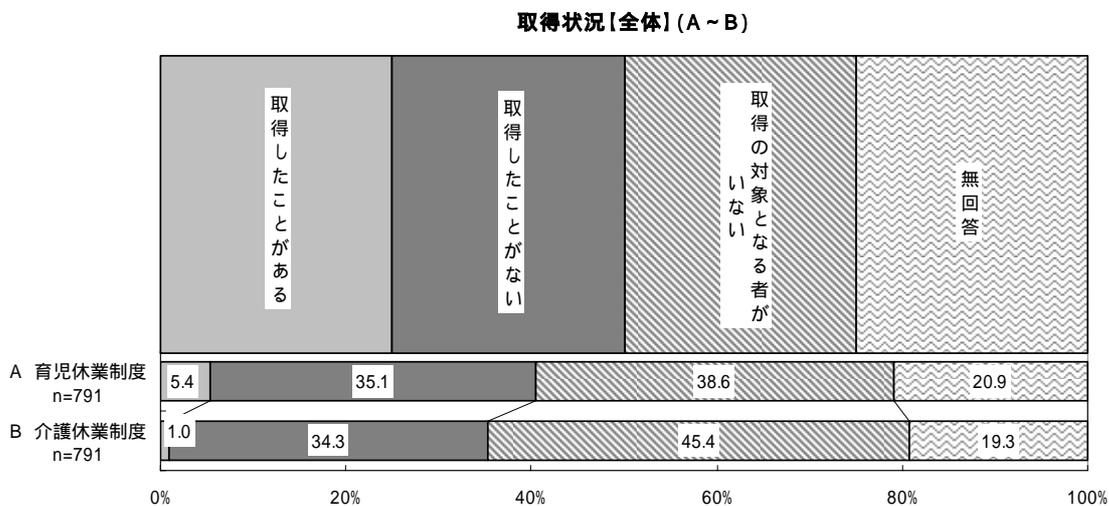
B 介護休業制度(認知度)



		B 介護休業制度(認知度) [%]					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	
全体		791	89	238	234	155	75
		100.0	11.3	30.1	29.6	19.6	9.5
性 年 齢 別	男性計	314	38	99	101	51	25
		100.0	12.1	31.5	32.2	16.2	8.0
	20歳代	27	2	4	10	9	2
		100.0	7.4	14.8	37.0	33.3	7.4
	30歳代	35	5	15	9	6	-
		100.0	14.3	42.9	25.7	17.1	-
	40歳代	56	7	24	14	10	1
		100.0	12.5	42.9	25.0	17.9	1.8
	50歳代	63	11	18	19	12	3
		100.0	17.5	28.6	30.2	19.0	4.8
	60歳代	65	9	19	25	6	6
		100.0	13.8	29.2	38.5	9.2	9.2
	70歳以上	68	4	19	24	8	13
		100.0	5.9	27.9	35.3	11.8	19.1
	女性計	461	51	136	129	101	44
		100.0	11.1	29.5	28.0	21.9	9.5
	20歳代	44	-	8	14	21	1
		100.0	-	18.2	31.8	47.7	2.3
	30歳代	60	6	28	12	13	1
		100.0	10.0	46.7	20.0	21.7	1.7
40歳代	82	10	29	25	15	3	
	100.0	12.2	35.4	30.5	18.3	3.7	
50歳代	82	11	28	16	20	7	
	100.0	13.4	34.1	19.5	24.4	8.5	
60歳代	95	12	24	35	13	11	
	100.0	12.6	25.3	36.8	13.7	11.6	
70歳以上	97	12	18	27	19	21	
	100.0	12.4	18.6	27.8	19.6	21.6	

【全体】(A・B 取得状況)

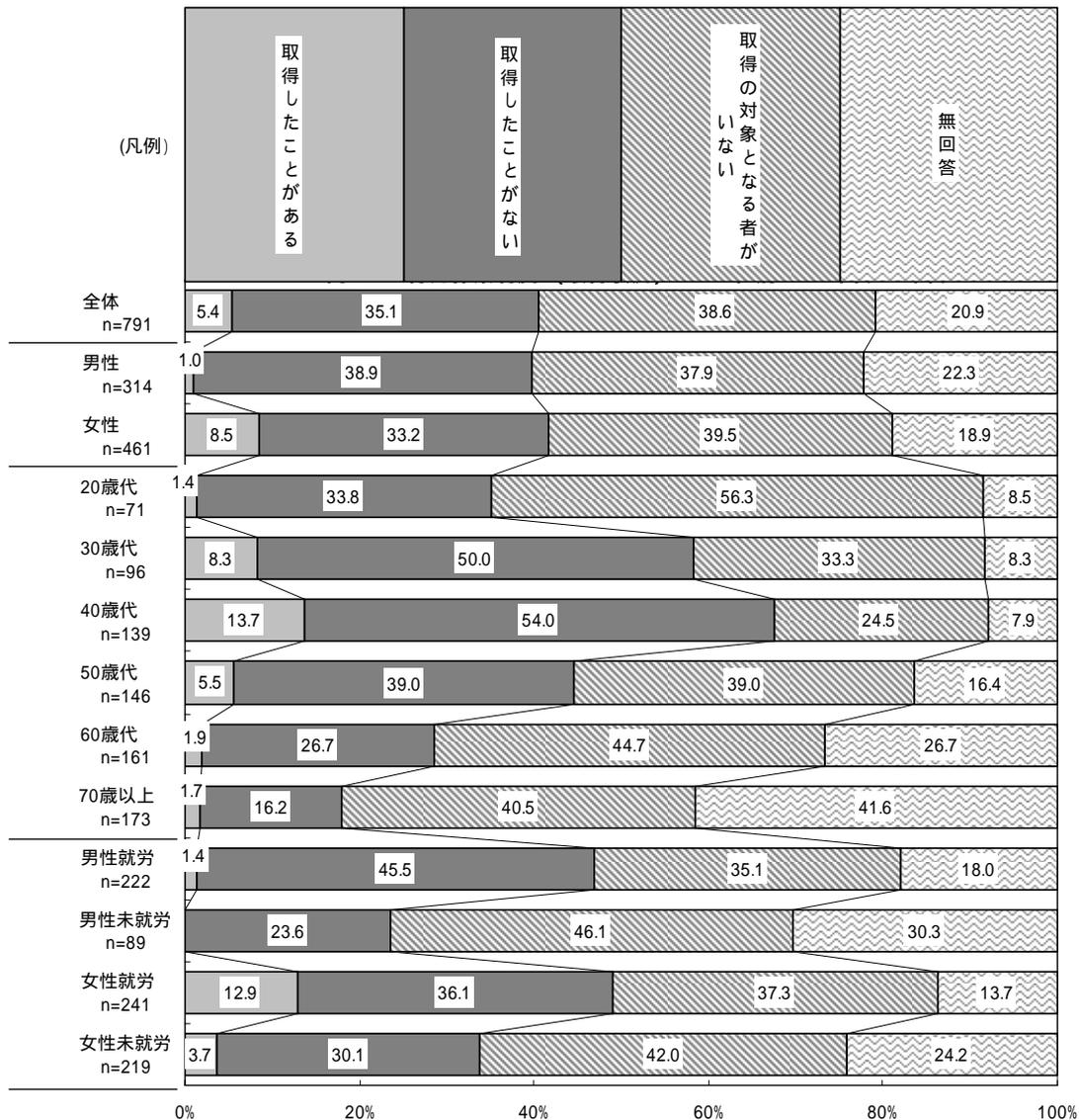
- 「取得したことがある」は、「A 育児休業制度」が5.4%、「B 介護休業制度」が1.0%であり、「取得したことがある」はいずれも非常に低い。



【A 育児休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は5.4%と低い。また、「取得の対象となる者がいない」が38.6%、「取得したことがない」が35.1%となっている。
- 性別では、「取得したことがある」は女性が8.5%、男性が1.0%である。
- 年齢別では、「取得したことがある」は40歳代が13.7%とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「取得したことがある」が12.9%と男性就労者（1.4%）を11.5ポイント上回る。

A 育児休業制度（取得状況）

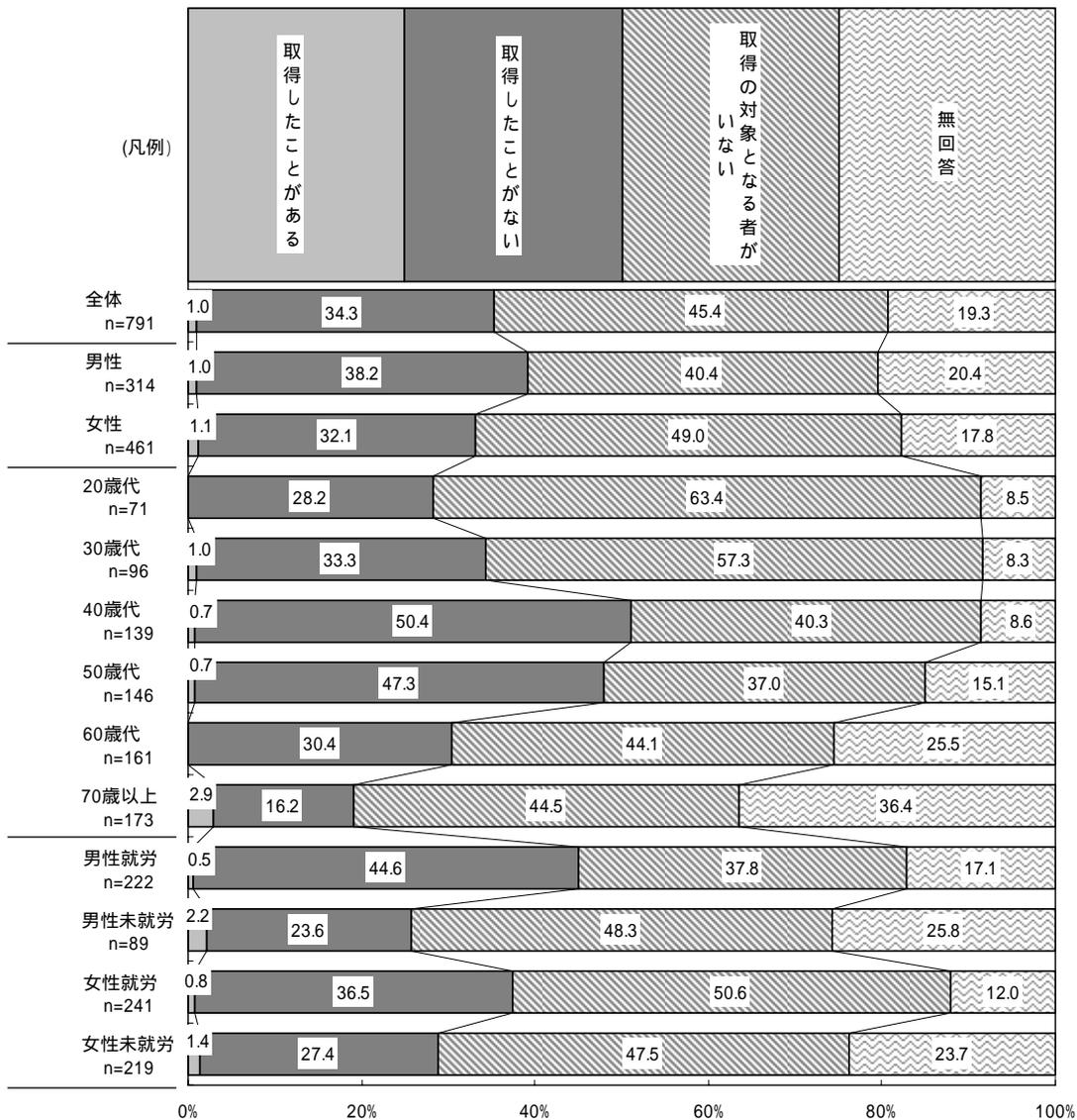


		A 育児休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		791	43	278	305	165
		100.0	5.4	35.1	38.6	20.9
性 年 齢 別	男性計	314	3	122	119	70
		100.0	1.0	38.9	37.9	22.3
	20歳代	27	-	8	17	2
		100.0	-	29.6	63.0	7.4
	30歳代	35	-	21	9	5
		100.0	-	60.0	25.7	14.3
	40歳代	56	3	40	8	5
		100.0	5.4	71.4	14.3	8.9
	50歳代	63	-	26	26	11
		100.0	-	41.3	41.3	17.5
	60歳代	65	-	17	30	18
		100.0	-	26.2	46.2	27.7
	70歳以上	68	-	10	29	29
		100.0	-	14.7	42.6	42.6
	女性計	461	39	153	182	87
		100.0	8.5	33.2	39.5	18.9
	20歳代	44	1	16	23	4
		100.0	2.3	36.4	52.3	9.1
	30歳代	60	8	27	23	2
		100.0	13.3	45.0	38.3	3.3
	40歳代	82	16	35	25	6
		100.0	19.5	42.7	30.5	7.3
	50歳代	82	8	31	31	12
		100.0	9.8	37.8	37.8	14.6
	60歳代	95	3	26	41	25
		100.0	3.2	27.4	43.2	26.3
	70歳以上	97	3	17	39	38
		100.0	3.1	17.5	40.2	39.2

【B 介護休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は1.0%と極めて低い。
- 年齢別では、「取得したことがある」は70歳以上(2.9%)、30歳代(1.0%)、40歳代(0.7%)、50歳代(0.7%)である。
- 性別・就労別では、「取得したことがある」は男性未就労者が2.2%、女性未就労者が1.4%である。また、男性就労者は「取得の対象となる者がいない」が37.8%と低い。

B 介護休業制度(取得状況)



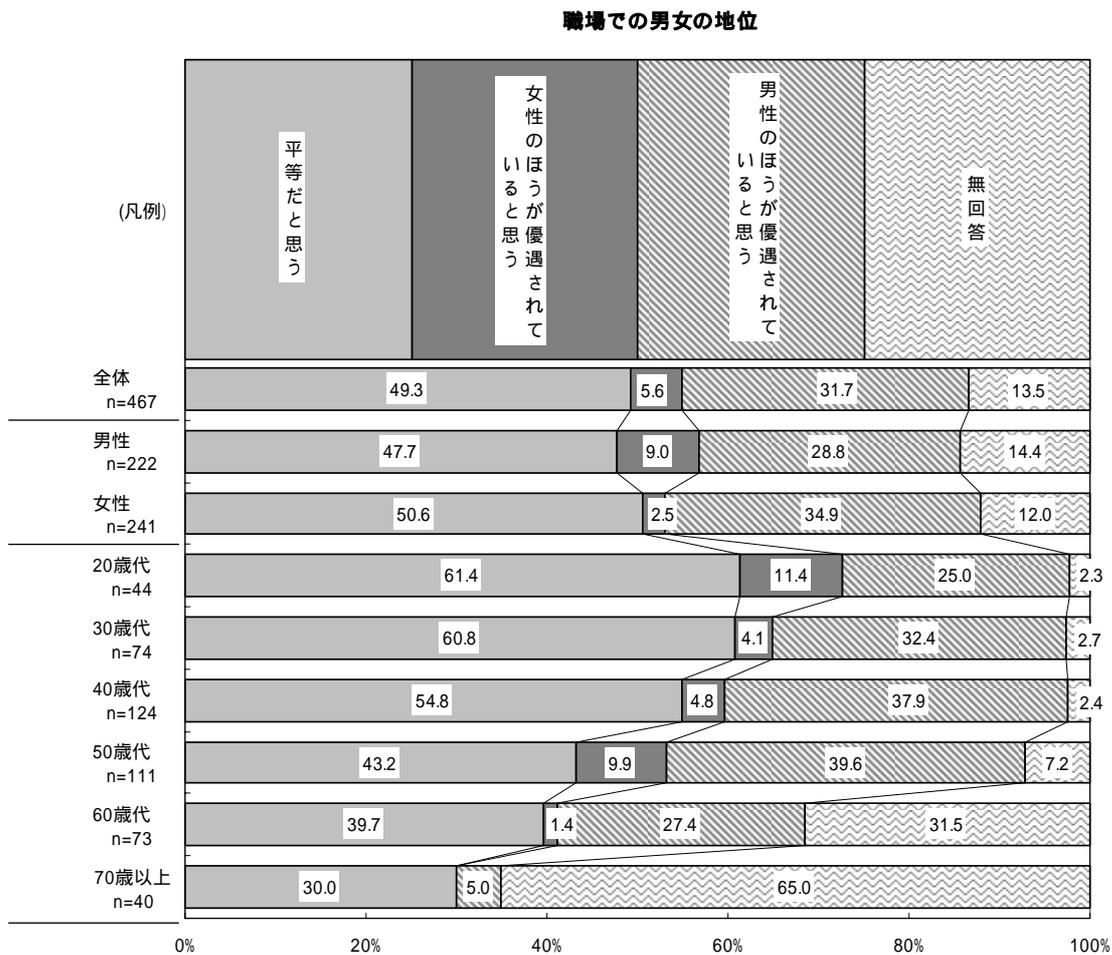
		B 介護休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		791	8	271	359	153
		100.0	1.0	34.3	45.4	19.3
性 年 齢 別	男性計	314	3	120	127	64
		100.0	1.0	38.2	40.4	20.4
	20歳代	27	-	9	16	2
		100.0	-	33.3	59.3	7.4
	30歳代	35	-	17	13	5
		100.0	-	48.6	37.1	14.3
	40歳代	56	-	36	14	6
		100.0	-	64.3	25.0	10.7
	50歳代	63	-	29	23	11
		100.0	-	46.0	36.5	17.5
	60歳代	65	-	19	28	18
		100.0	-	29.2	43.1	27.7
	70歳以上	68	3	10	33	22
		100.0	4.4	14.7	48.5	32.4
	女性計	461	5	148	226	82
		100.0	1.1	32.1	49.0	17.8
	20歳代	44	-	11	29	4
		100.0	-	25.0	65.9	9.1
	30歳代	60	1	15	42	2
		100.0	1.7	25.0	70.0	3.3
	40歳代	82	1	34	41	6
		100.0	1.2	41.5	50.0	7.3
	50歳代	82	1	40	31	10
		100.0	1.2	48.8	37.8	12.2
60歳代	95	-	30	42	23	
	100.0	-	31.6	44.2	24.2	
70歳以上	97	2	17	41	37	
	100.0	2.1	17.5	42.3	38.1	

(5) 職場での男女の地位

現在、働いている方を対象

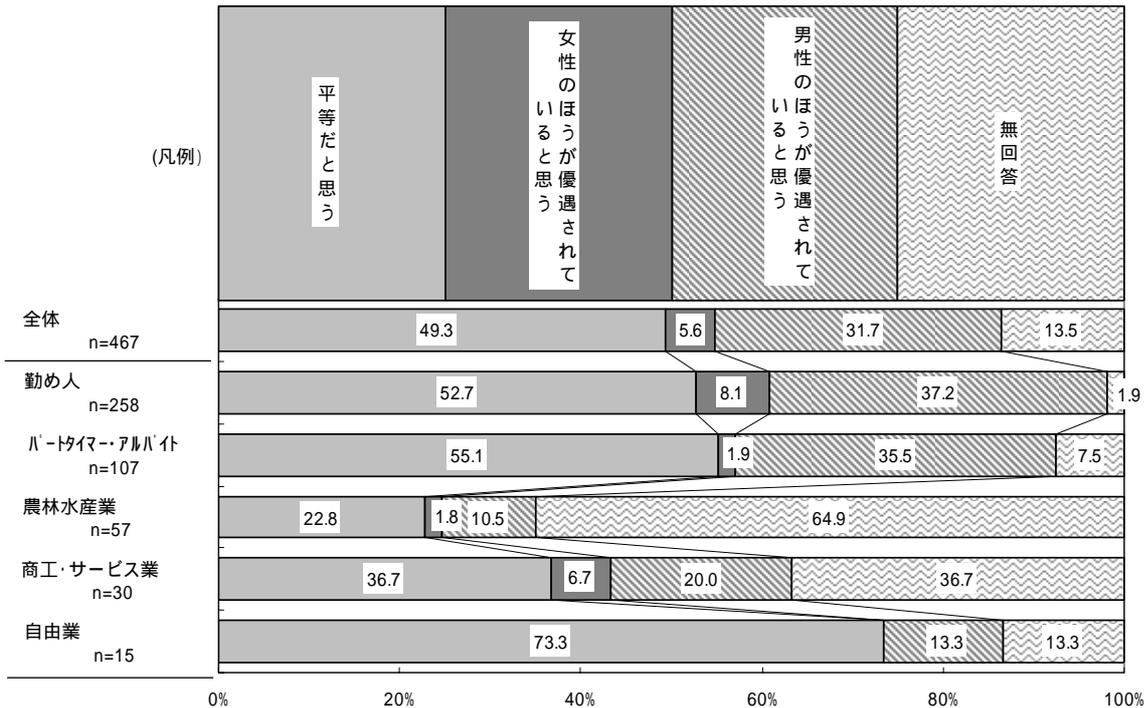
問 13. あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。

- 「平等だと思う」が 49.3%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されていると思う」が 31.7%となっている。
- 性別では、女性は「平等だと思う」が 50.6%と男性（47.7%）をやや上回る。
- 年齢別では、20歳代で「平等だと思う」が 61.4%と最も高く、年齢層が上がるほどその割合が低くなっている。
- 職業別では、勤め人、パートタイマー・アルバイトは「男性のほうが優遇されている」がそれぞれ 37.2%、35.5%と高い。



		職場での男女の地位 [%]				
		全体	平等だと思 う	女性のほう が優遇され ていると思 う	男性のほう が優遇され ていると思 う	無回答
全体		467	230	26	148	63
		100.0	49.3	5.6	31.7	13.5
性 年 齢 別	男性計	222	106	20	64	32
		100.0	47.7	9.0	28.8	14.4
	20歳代	17	11	3	3	-
		100.0	64.7	17.6	17.6	-
	30歳代	32	15	3	14	-
		100.0	46.9	9.4	43.8	-
	40歳代	52	32	3	16	1
		100.0	61.5	5.8	30.8	1.9
	50歳代	61	26	10	19	6
		100.0	42.6	16.4	31.1	9.8
	60歳代	40	19	1	10	10
		100.0	47.5	2.5	25.0	25.0
	70歳以上	20	3	-	2	15
		100.0	15.0	-	10.0	75.0
	女性計	241	122	6	84	29
		100.0	50.6	2.5	34.9	12.0
	20歳代	27	16	2	8	1
		100.0	59.3	7.4	29.6	3.7
	30歳代	41	30	-	10	1
		100.0	73.2	-	24.4	2.4
40歳代	71	35	3	31	2	
	100.0	49.3	4.2	43.7	2.8	
50歳代	50	22	1	25	2	
	100.0	44.0	2.0	50.0	4.0	
60歳代	32	10	-	10	12	
	100.0	31.3	-	31.3	37.5	
70歳以上	19	8	-	-	11	
	100.0	42.1	-	-	57.9	

職場での男女の地位



自由業の回答者は少数のため、分析から除いている。

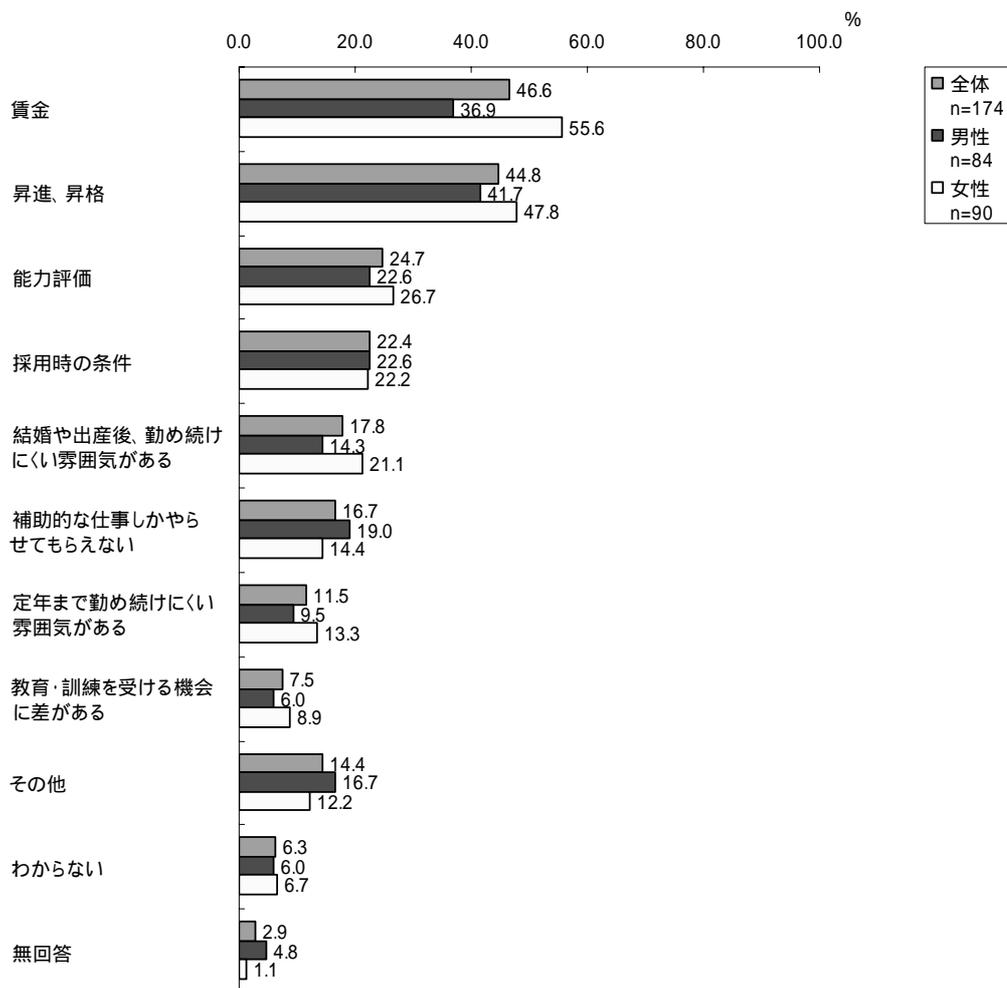
(6) 男女平等だと思わない理由

前問で「女性のほうが優遇されていると思う」若しくは「男性のほうが優遇されていると思う」と回答した方を対象

問 13 - 1. あなたの働いているところで男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。

- 「賃金」(46.6%) が最も高く、以下「昇進、昇格」(44.8%)、「能力評価」(24.7%)、「採用時の条件」(22.4%)である。
- 性別では、男性は「昇進、昇格」が41.7%と最も高く、女性は「賃金」が55.6%と最も高い。また、「賃金」は女性が男性(36.9%)を18.7ポイント上回る。

男女平等だと思わない理由(複数回答)

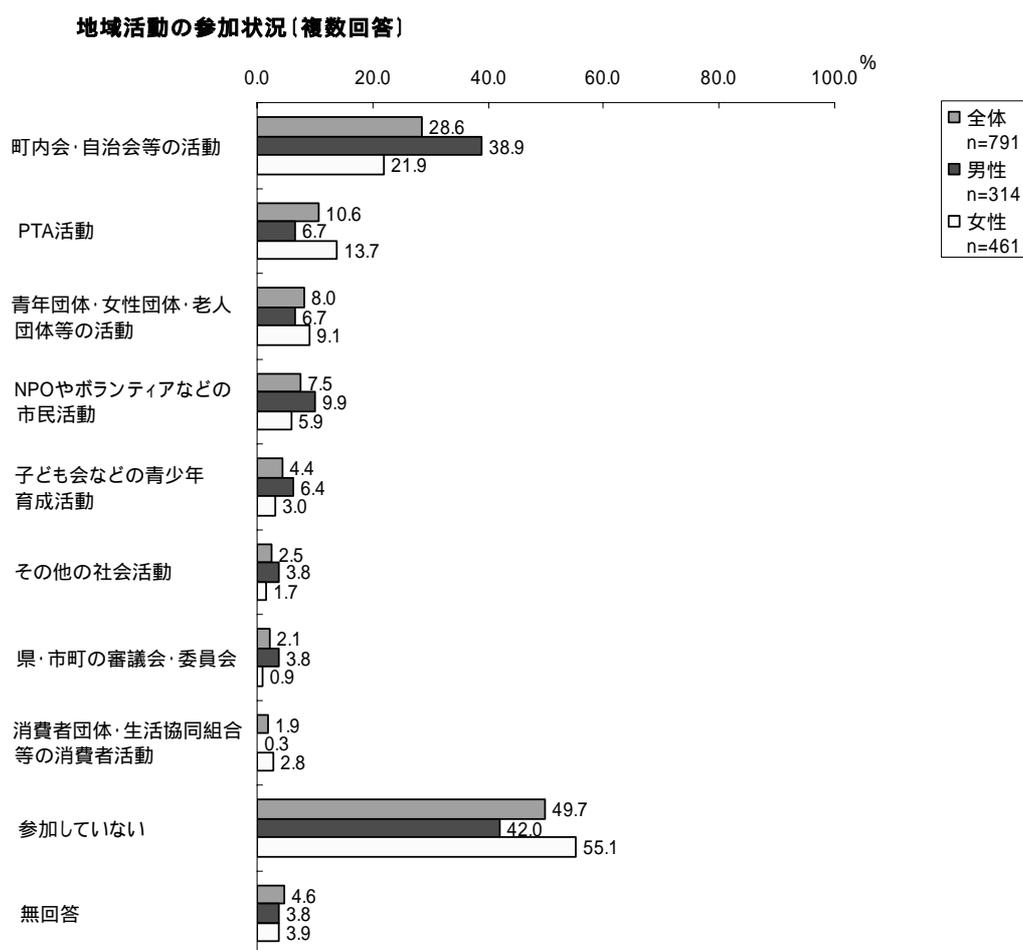


4 社会活動等について

(1) 地域活動の参加状況

問14. あなたは次のどのような活動をしていますか。

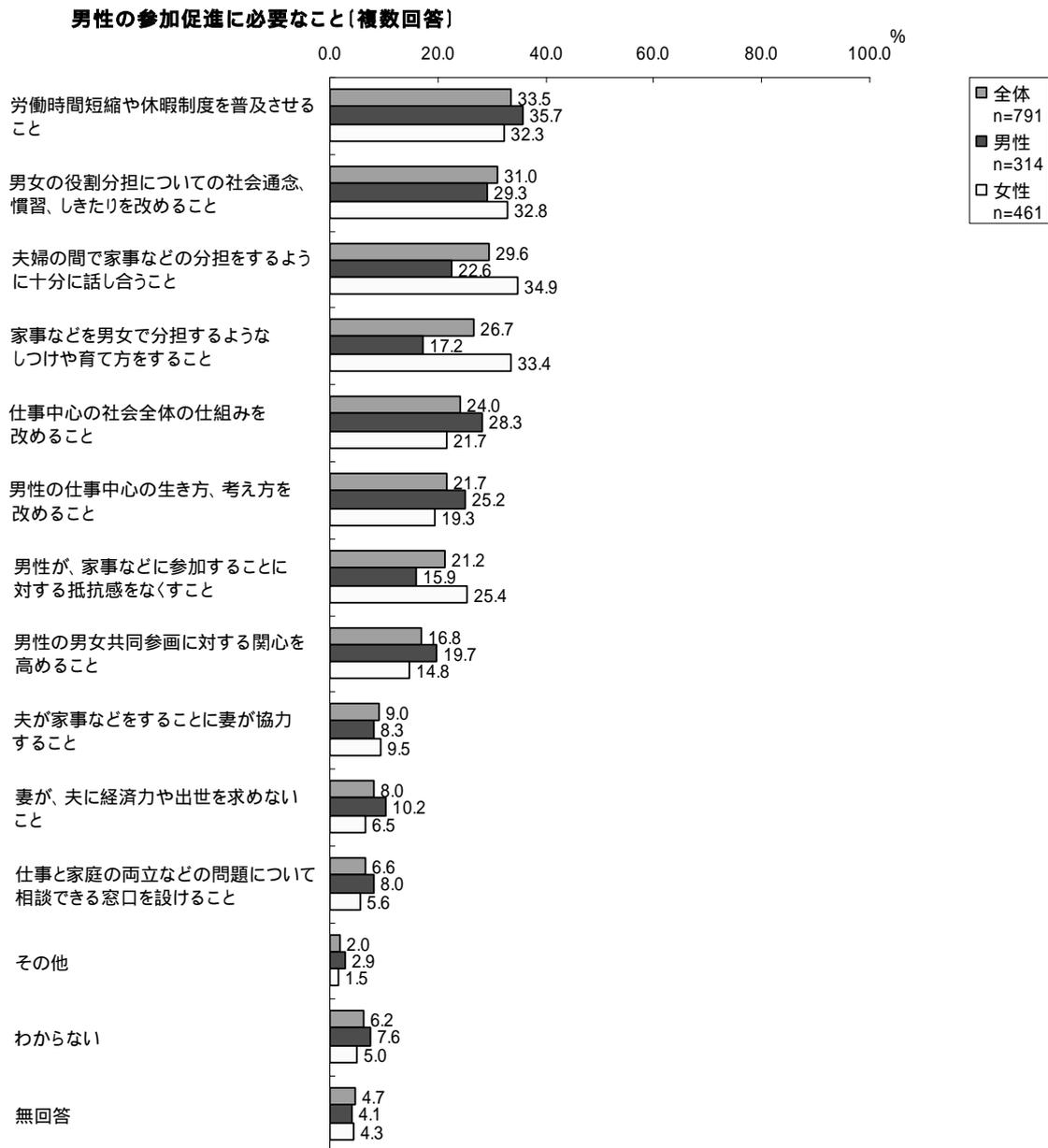
- 「参加していない」が49.7%と最も高いが、参加が多い地域活動としては、「町内会・自治会等の活動」(28.6%)、「PTA活動」(10.6%)、「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」(8.0%)、「NPOやボランティアなどの市民活動」(7.5%)である。
- 性別では、男性は「町内会・自治会等の活動」が38.9%と高く、女性(21.9%)を17.0ポイント上回る。一方、女性は「PTA活動」が13.7%と男性(6.7%)を上回る。



(2) 男性の参加促進に必要なこと

問15. 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が33.5%と最も高く、以下「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(31.0%)、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」(29.6%)、「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること」(26.7%)、「仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」(24.0%)、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」(21.7%)、「男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと」(21.2%)である。
- 性別では、男性は「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が35.7%と最も高く、女性は「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が34.9%と最も高い。また、「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること」は女性が33.4%となり、男性(17.2%)を16.2ポイント上回る。

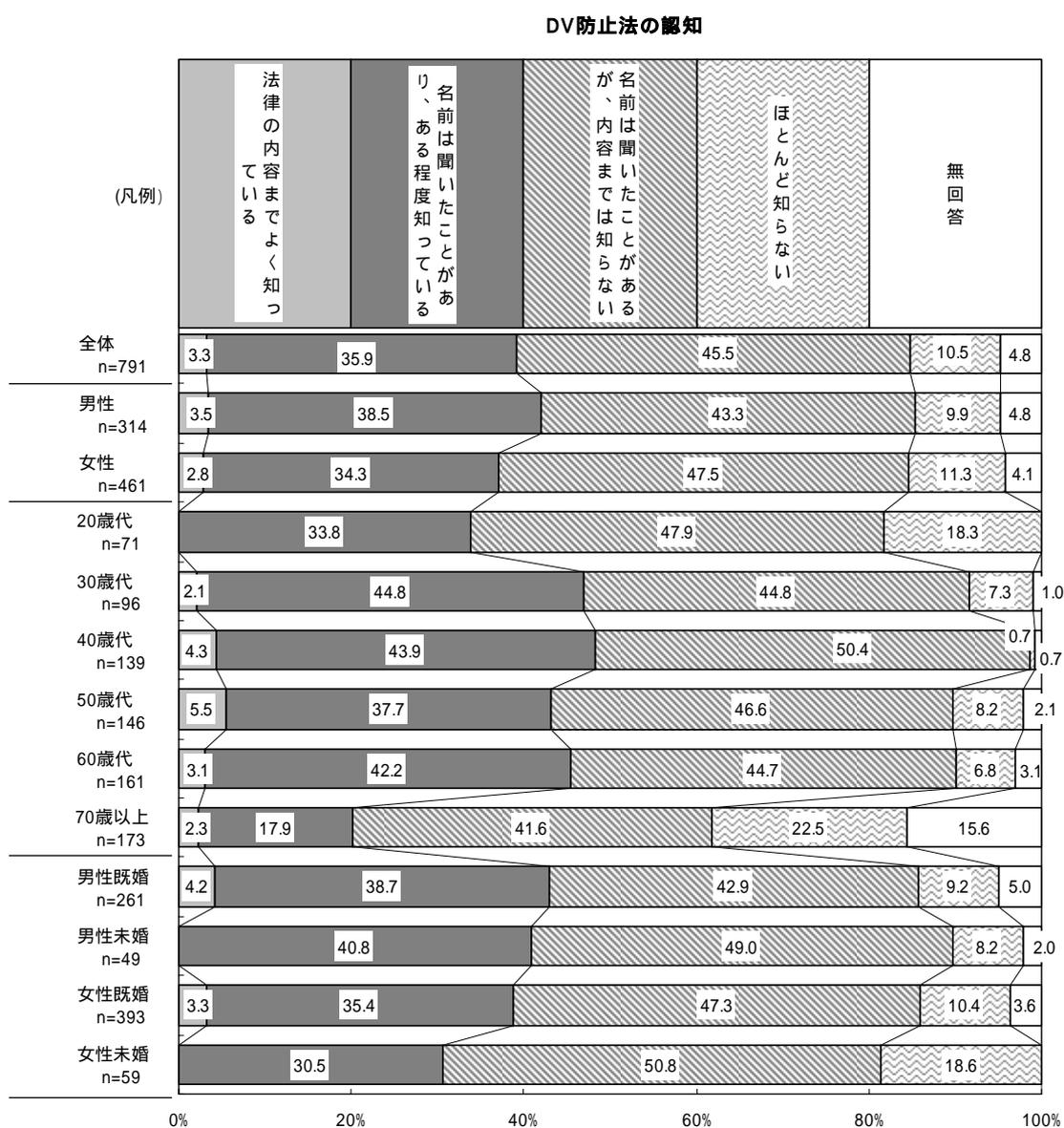


5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について

(1) DV防止法の認知

問16. あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(通称:DV防止法)をご存知ですか。

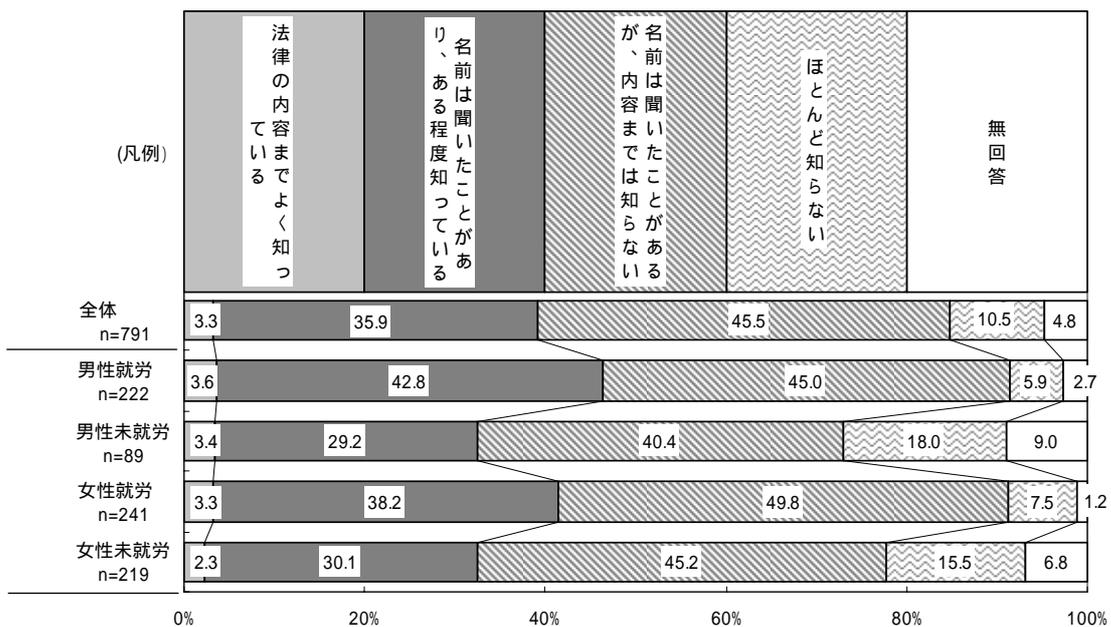
- 「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(45.5%)が最も高く、以下「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」(35.9%)、「ほとんど知らない」(10.5%)、「法律の内容までよく知っている」(3.3%)である。
- 年齢別では、『知っている』は70歳以上で20.2%にとどまるほか、20歳代も33.8%とやや低い。
- 性別・就労別では、『知っている』は男性就労者が46.4%、女性就労者が41.5%となっており、就労者が未就労者に比べ高くなっている。



『知っている』は、本来の選択肢の「法律の内容までよく知っている」と「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」の割合を合計したものである。

		DV防止法の認知 [%]					
		全体	法律の内容 までよく知っ ている	名前は聞い たことがあ り、ある程 度知っている	名前は聞い たことがあ るが、内容 までは知ら ない	ほとんど知 らない	無回答
全体		791	26	284	360	83	38
		100.0	3.3	35.9	45.5	10.5	4.8
男性計		314	11	121	136	31	15
		100.0	3.5	38.5	43.3	9.9	4.8
20歳代		27	-	13	11	3	-
		100.0	-	48.1	40.7	11.1	-
30歳代		35	1	21	11	2	-
		100.0	2.9	60.0	31.4	5.7	-
40歳代		56	3	21	30	1	1
		100.0	5.4	37.5	53.6	1.8	1.8
50歳代		63	3	22	31	6	1
		100.0	4.8	34.9	49.2	9.5	1.6
60歳代		65	2	33	25	1	4
		100.0	3.1	50.8	38.5	1.5	6.2
70歳以上		68	2	11	28	18	9
		100.0	2.9	16.2	41.2	26.5	13.2
女性計		461	13	158	219	52	19
		100.0	2.8	34.3	47.5	11.3	4.1
20歳代		44	-	11	23	10	-
		100.0	-	25.0	52.3	22.7	-
30歳代		60	1	22	32	5	-
		100.0	1.7	36.7	53.3	8.3	-
40歳代		82	3	39	40	-	-
		100.0	3.7	47.6	48.8	-	-
50歳代		82	5	33	37	6	1
		100.0	6.1	40.2	45.1	7.3	1.2
60歳代		95	3	34	47	10	1
		100.0	3.2	35.8	49.5	10.5	1.1
70歳以上		97	1	18	40	21	17
		100.0	1.0	18.6	41.2	21.6	17.5

DV防止法の認知



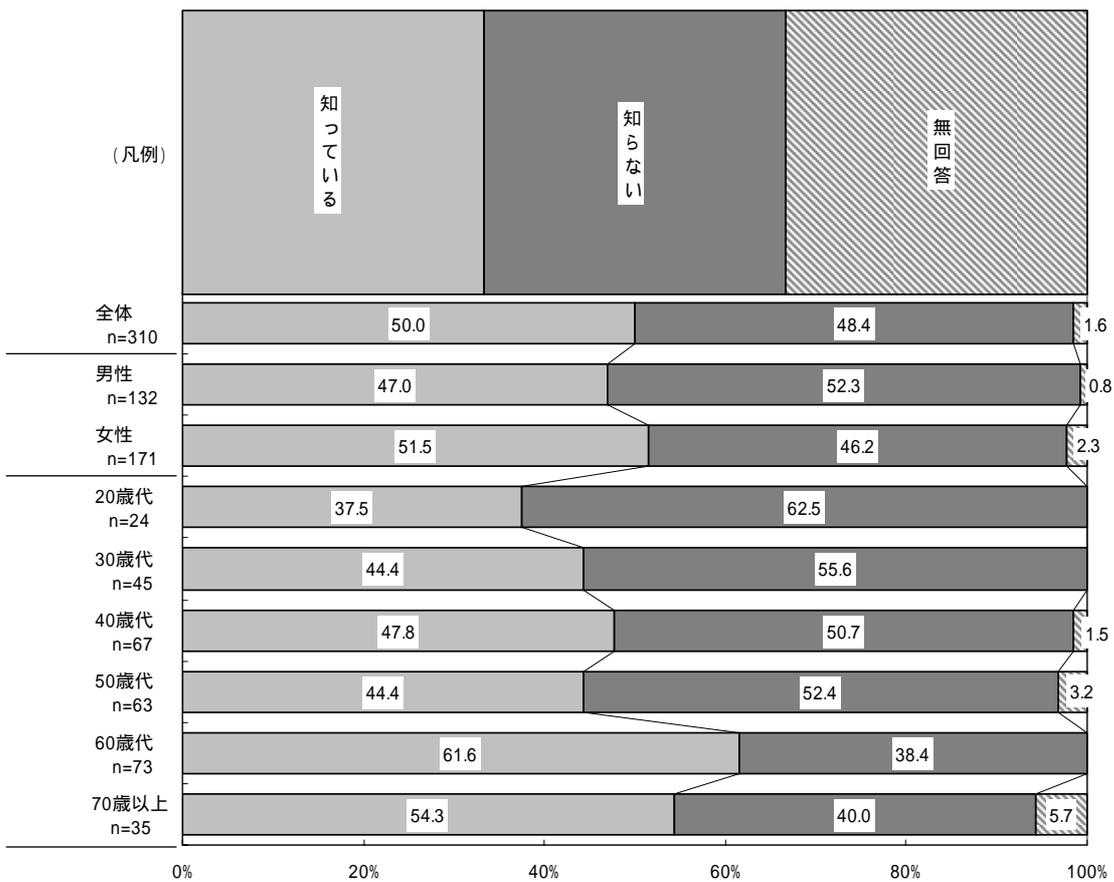
(2) 発見した際の通報の認知

前問で「法律の内容までよく知っている」若しくは「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」と回答した方を対象

問16 - 1. DV防止法では、配偶者からの暴力を受けている人を見つけた場合は配偶者暴力相談支援センター等へ通報するよう呼びかけていますが、このことをあなたはご存知ですか。

- 「知っている」が50.0%と、「知らない」(48.4%)よりもやや高い。
- 年齢別では、「知っている」は60歳代が61.6%と高く、「知らない」は20歳代が62.5%と高くなっている。

発見した際の通報の認知



		発見した際の通報の認知(%)			
		全体	知っている	知らない	無回答
全体		310	155	150	5
		100.0	50.0	48.4	1.6
性 年 齢 別	男性計	132	62	69	1
		100.0	47.0	52.3	0.8
	20歳代	13	4	9	-
		100.0	30.8	69.2	-
	30歳代	22	8	14	-
		100.0	36.4	63.6	-
	40歳代	24	11	13	-
		100.0	45.8	54.2	-
	50歳代	25	10	15	-
		100.0	40.0	60.0	-
	60歳代	35	22	13	-
		100.0	62.9	37.1	-
	70歳以上	13	7	5	1
		100.0	53.8	38.5	7.7
	女性計	171	88	79	4
		100.0	51.5	46.2	2.3
	20歳代	11	5	6	-
		100.0	45.5	54.5	-
	30歳代	23	12	11	-
		100.0	52.2	47.8	-
40歳代	42	21	20	1	
	100.0	50.0	47.6	2.4	
50歳代	38	18	18	2	
	100.0	47.4	47.4	5.3	
60歳代	37	22	15	-	
	100.0	59.5	40.5	-	
70歳以上	19	9	9	1	
	100.0	47.4	47.4	5.3	

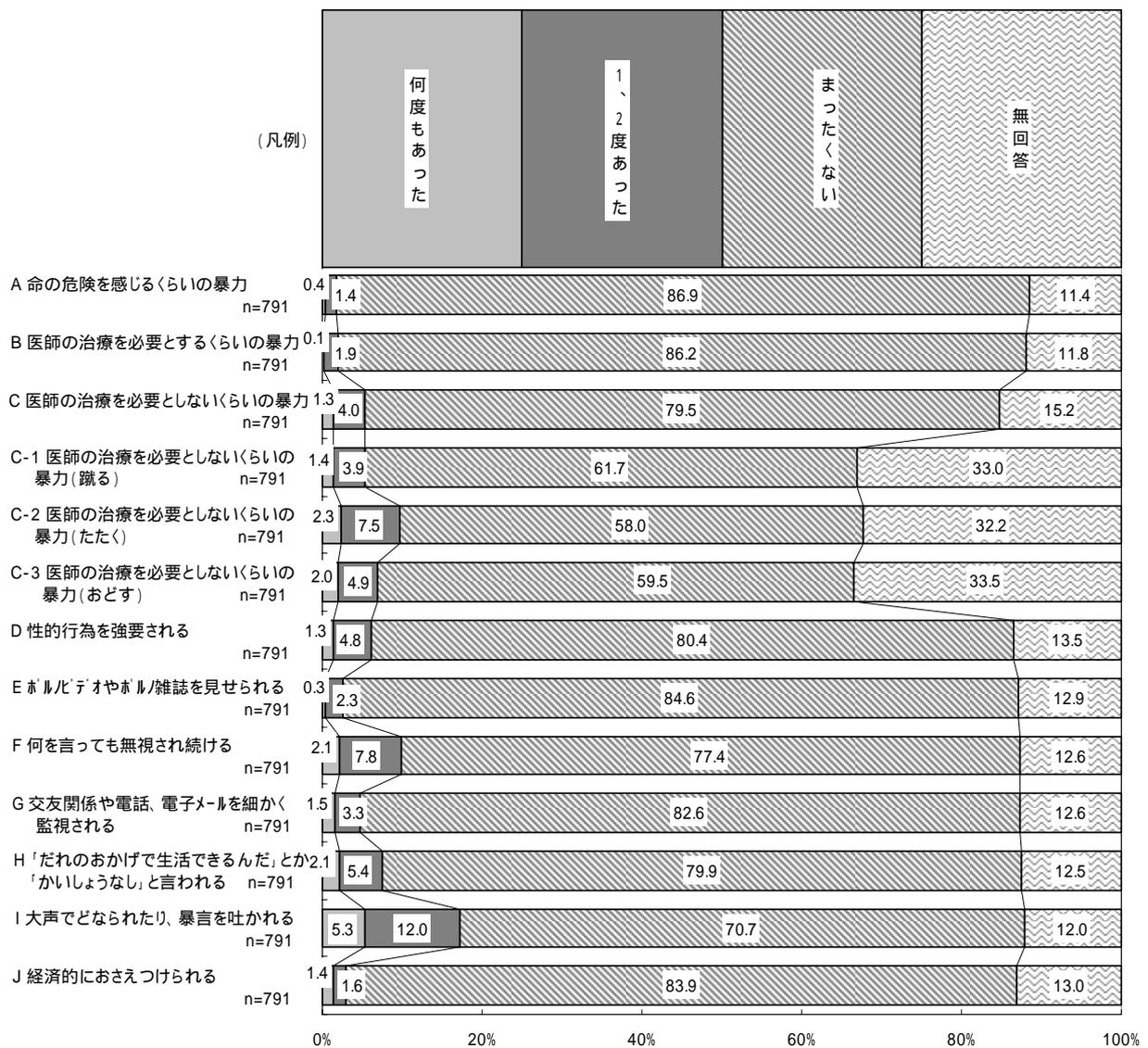
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。

【全体】(A~J)

- A~Jの項目を比較すると、「I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる」では『経験がある』と答えた人の割合が17.3%と最も高い。以下「F 何を言っても無視され続ける」(9.9%)、「C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)」(9.8%)、「H だれのおかげで生活できるんだとかかいしようなしと言われる」(7.5%)、「C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)」(6.9%)、「D 性的行為を強要される」(6.1%)と続く。また、「A 命の危険を感じるくらいの暴力」は1.8%、「B 医師の治療を必要とするくらいの暴力」は2.0%となっている。

男女間の暴力を受けた経験【全体】(A~J)

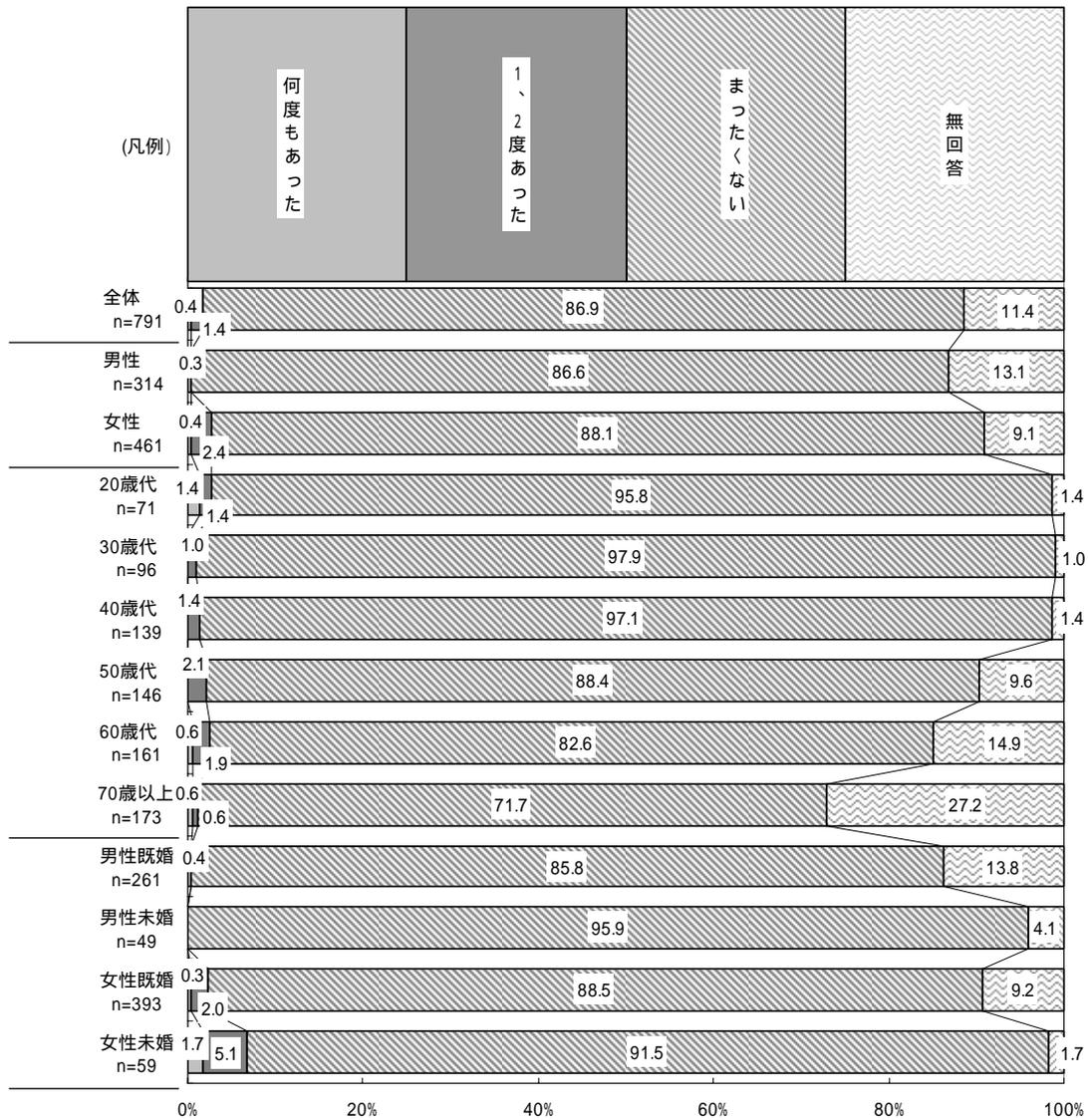


『経験がある』は本来の選択肢の「何どもあった」と「1、2度あった」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 命の危険を感じるくらいの暴力】

- 『経験がある』が1.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が2.8%、男性が0.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.4%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が6.8%、女性既婚者が2.3%である。

A 命の危険を感じるくらいの暴力

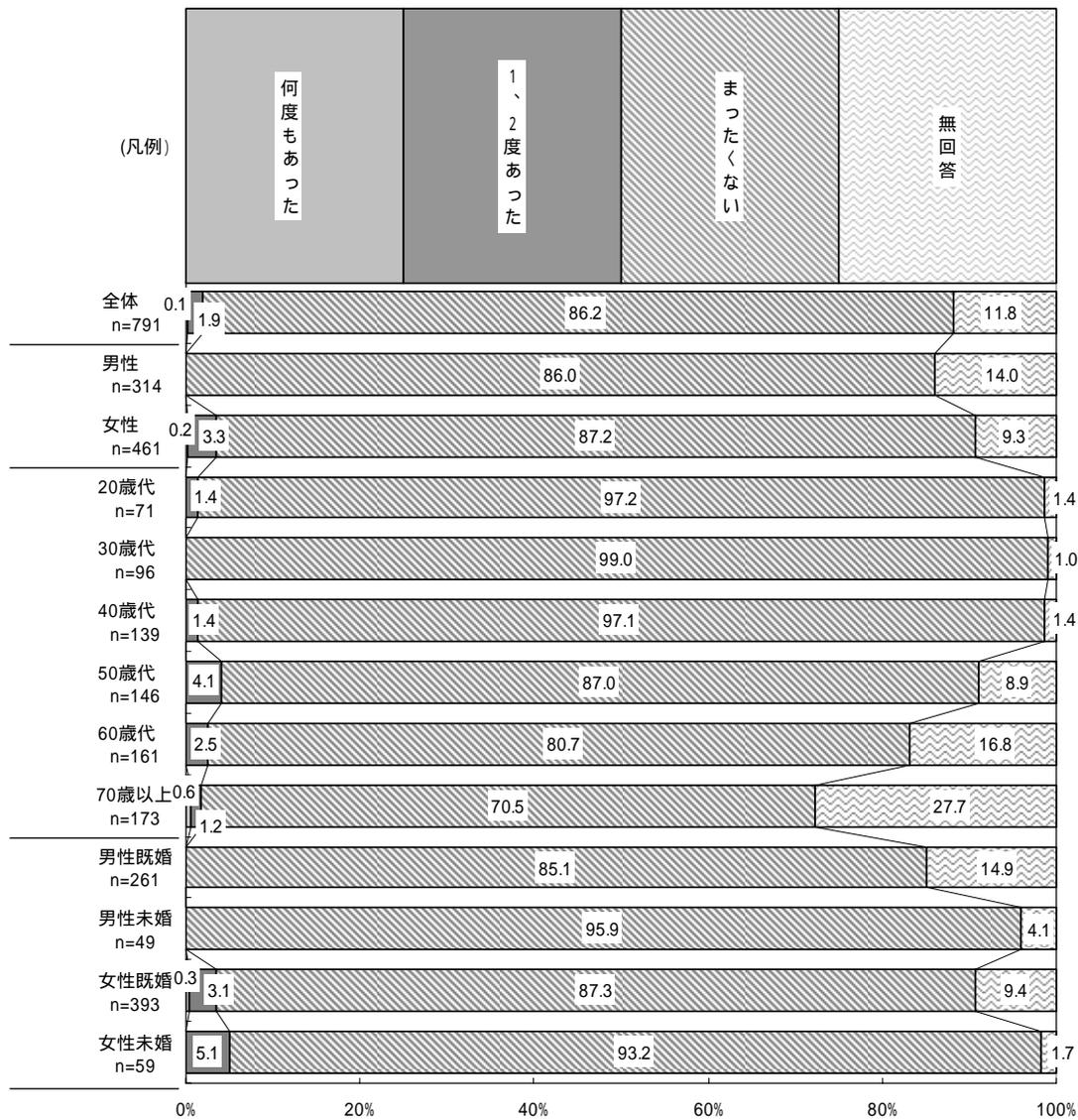


		A 命の危険を感じるくらいの暴力(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	3	11	687	90
		100.0	0.4	1.4	86.9	11.4
性 年 齢 別	男性計	314	1	-	272	41
		100.0	0.3	-	86.6	13.1
	20歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	30歳代	35	-	-	35	-
		100.0	-	-	100.0	-
	40歳代	56	-	-	54	2
		100.0	-	-	96.4	3.6
	50歳代	63	-	-	56	7
		100.0	-	-	88.9	11.1
	60歳代	65	1	-	48	16
		100.0	1.5	-	73.8	24.6
	70歳以上	68	-	-	53	15
		100.0	-	-	77.9	22.1
	女性計	461	2	11	406	42
		100.0	0.4	2.4	88.1	9.1
	20歳代	44	1	1	42	-
		100.0	2.3	2.3	95.5	-
	30歳代	60	-	1	59	-
		100.0	-	1.7	98.3	-
40歳代	82	-	2	80	-	
	100.0	-	2.4	97.6	-	
50歳代	82	-	3	73	6	
	100.0	-	3.7	89.0	7.3	
60歳代	95	-	3	84	8	
	100.0	-	3.2	88.4	8.4	
70歳以上	97	1	1	67	28	
	100.0	1.0	1.0	69.1	28.9	

【B 医師の治療を必要とするくらいの暴力】

- 『経験がある』が2.0%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.2%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が5.1%、女性既婚者が3.4%である。

B 医師の治療を必要とするくらいの暴力

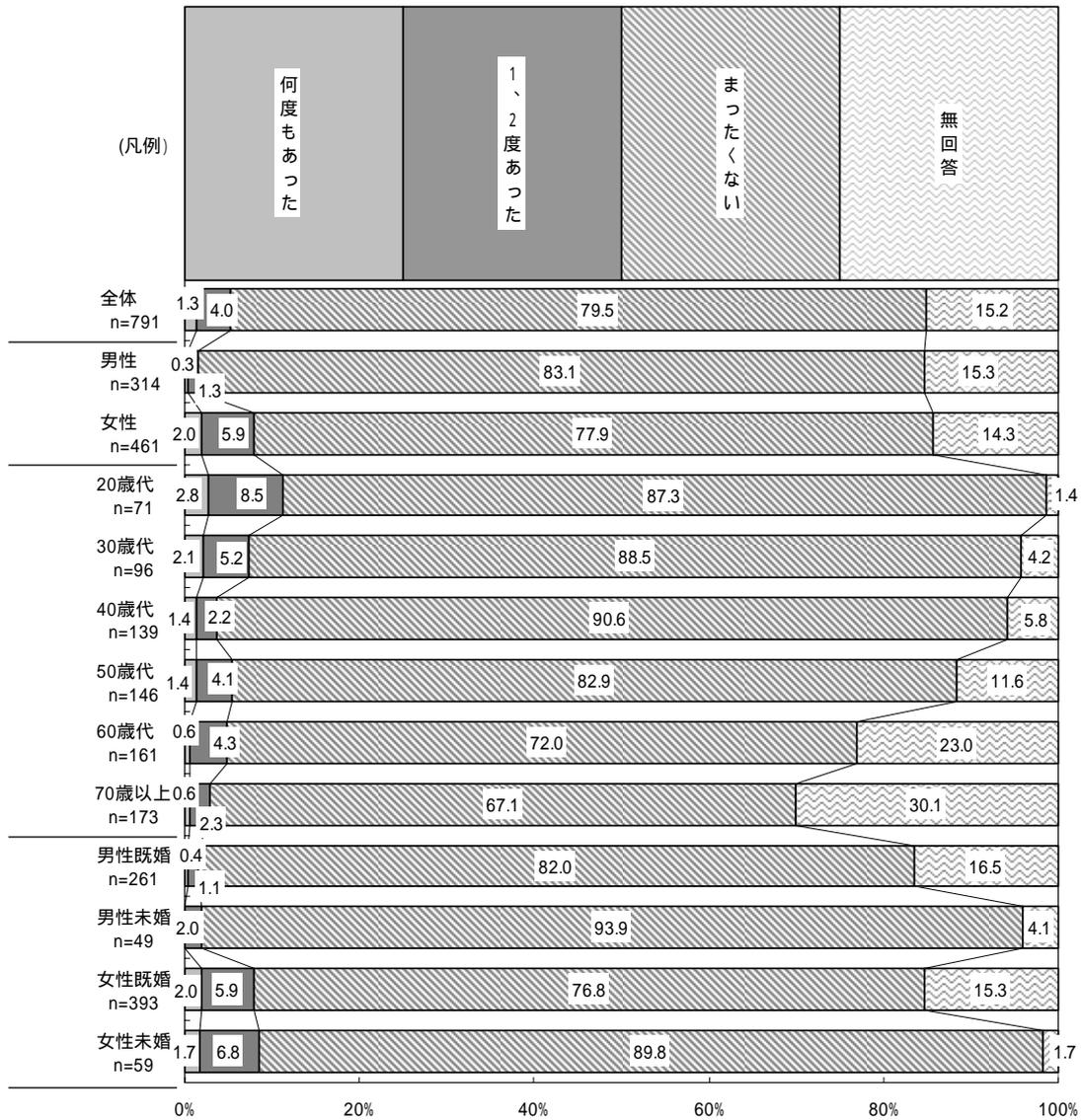


		B 医師の治療を必要とするくらいの暴力 [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	1	15	682	93
		100.0	0.1	1.9	86.2	11.8
性 年 齢 別	男性計	314	-	-	270	44
		100.0	-	-	86.0	14.0
	20歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	30歳代	35	-	-	35	-
		100.0	-	-	100.0	-
	40歳代	56	-	-	54	2
		100.0	-	-	96.4	3.6
	50歳代	63	-	-	56	7
		100.0	-	-	88.9	11.1
	60歳代	65	-	-	47	18
		100.0	-	-	72.3	27.7
	70歳以上	68	-	-	52	16
		100.0	-	-	76.5	23.5
	女性計	461	1	15	402	43
		100.0	0.2	3.3	87.2	9.3
	20歳代	44	-	1	43	-
		100.0	-	2.3	97.7	-
	30歳代	60	-	-	60	-
		100.0	-	-	100.0	-
40歳代	82	-	2	80	-	
	100.0	-	2.4	97.6	-	
50歳代	82	-	6	71	5	
	100.0	-	7.3	86.6	6.1	
60歳代	95	-	4	82	9	
	100.0	-	4.2	86.3	9.5	
70歳以上	97	1	2	65	29	
	100.0	1.0	2.1	67.0	29.9	

【C 医師の治療を必要としないくらいの暴力】

- 『経験がある』が5.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.9%、男性が1.6%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.0%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が8.5%、女性既婚者が7.9%である。また、男性においても、未婚者(2.0%)が既婚者(1.5%)をやや上回る。

C 医師の治療を必要としないくらいの暴力

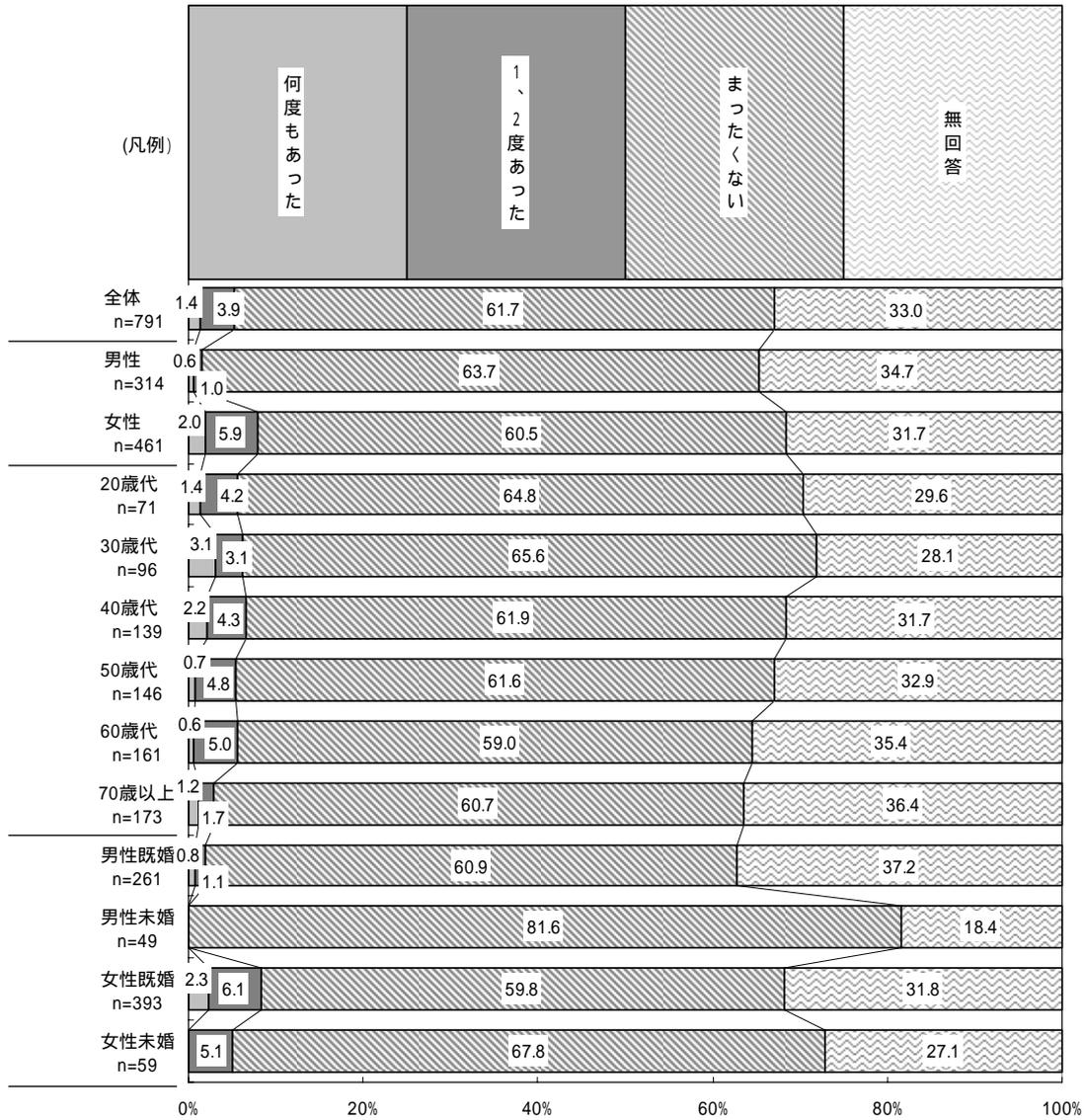


		C 医師の治療を必要としないくらいの暴力 (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	10	32	629	120
		100.0	1.3	4.0	79.5	15.2
性 年 齢 別	男性計	314	1	4	261	48
		100.0	0.3	1.3	83.1	15.3
	20歳代	27	-	1	25	1
		100.0	-	3.7	92.6	3.7
	30歳代	35	1	-	33	1
		100.0	2.9	-	94.3	2.9
	40歳代	56	-	1	52	3
		100.0	-	1.8	92.9	5.4
	50歳代	63	-	-	55	8
		100.0	-	-	87.3	12.7
	60歳代	65	-	1	46	18
		100.0	-	1.5	70.8	27.7
	70歳以上	68	-	1	50	17
		100.0	-	1.5	73.5	25.0
	女性計	461	9	27	359	66
		100.0	2.0	5.9	77.9	14.3
	20歳代	44	2	5	37	-
		100.0	4.5	11.4	84.1	-
	30歳代	60	1	5	52	2
		100.0	1.7	8.3	86.7	3.3
40歳代	82	2	2	73	5	
	100.0	2.4	2.4	89.0	6.1	
50歳代	82	2	6	66	8	
	100.0	2.4	7.3	80.5	9.8	
60歳代	95	1	6	69	19	
	100.0	1.1	6.3	72.6	20.0	
70歳以上	97	1	3	61	32	
	100.0	1.0	3.1	62.9	33.0	

【C - 1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)】

- 『経験がある』が5.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.9%、男性が1.6%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.0%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が8.4%、女性未婚者が5.1%である。

C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)

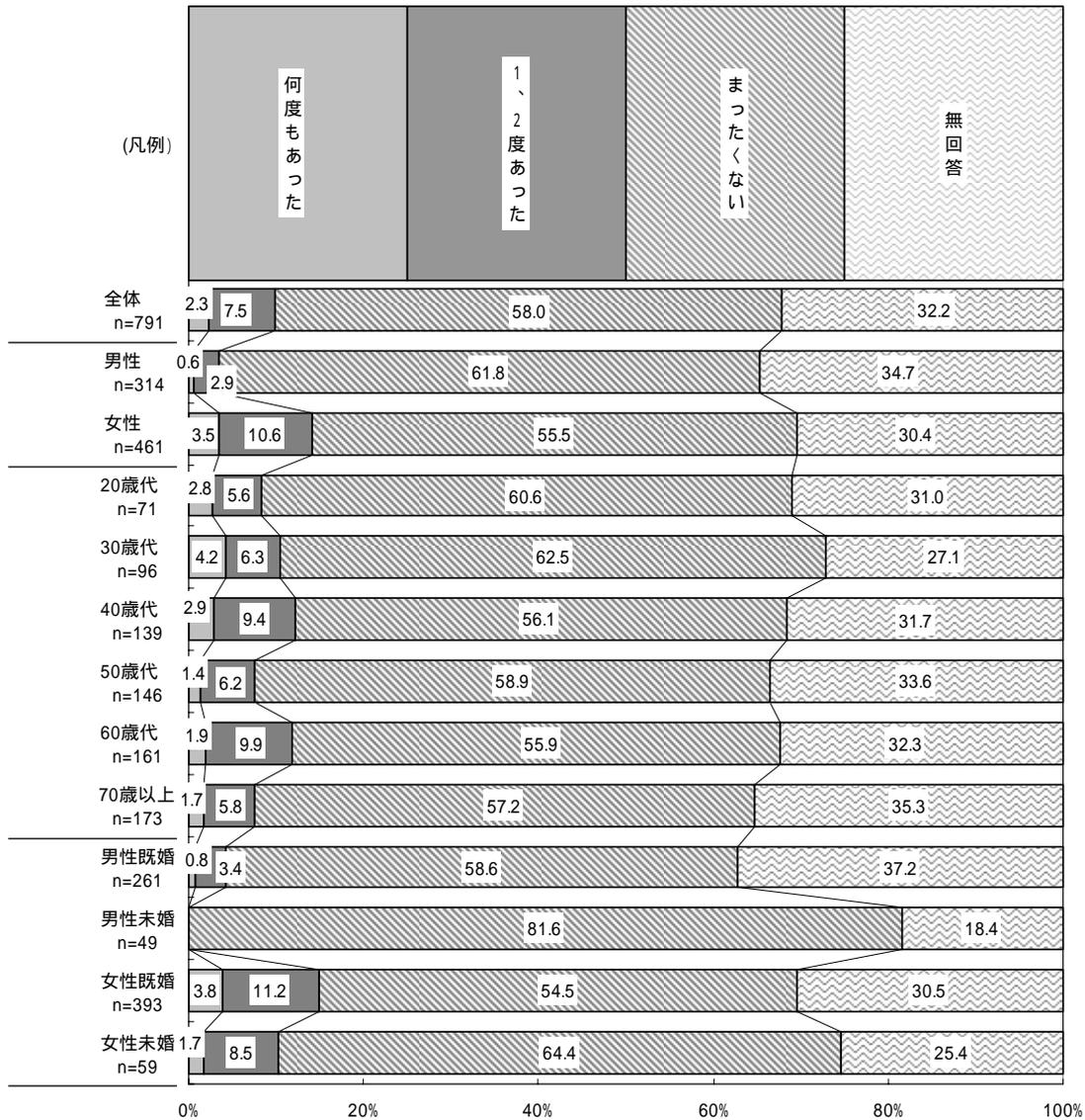


		C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	11	31	488	261
		100.0	1.4	3.9	61.7	33.0
性 年 齢 別	男性計	314	2	3	200	109
		100.0	0.6	1.0	63.7	34.7
	20歳代	27	-	-	20	7
		100.0	-	-	74.1	25.9
	30歳代	35	2	-	25	8
		100.0	5.7	-	71.4	22.9
	40歳代	56	-	2	36	18
		100.0	-	3.6	64.3	32.1
	50歳代	63	-	1	39	23
		100.0	-	1.6	61.9	36.5
	60歳代	65	-	-	35	30
		100.0	-	-	53.8	46.2
	70歳以上	68	-	-	45	23
		100.0	-	-	66.2	33.8
	女性計	461	9	27	279	146
		100.0	2.0	5.9	60.5	31.7
	20歳代	44	1	3	26	14
		100.0	2.3	6.8	59.1	31.8
	30歳代	60	1	3	38	18
		100.0	1.7	5.0	63.3	30.0
40歳代	82	3	4	49	26	
	100.0	3.7	4.9	59.8	31.7	
50歳代	82	1	6	51	24	
	100.0	1.2	7.3	62.2	29.3	
60歳代	95	1	8	59	27	
	100.0	1.1	8.4	62.1	28.4	
70歳以上	97	2	3	55	37	
	100.0	2.1	3.1	56.7	38.1	

【C - 2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)】

- 『経験がある』が9.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が14.1%と男性(3.5%)を10.6ポイント上回る。また、「何度もあった」は女性が3.5%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(15.0%)が最も高く、男性既婚者(4.2%)を10.8ポイント上回る。また、女性未婚者は10.2%である。

C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)

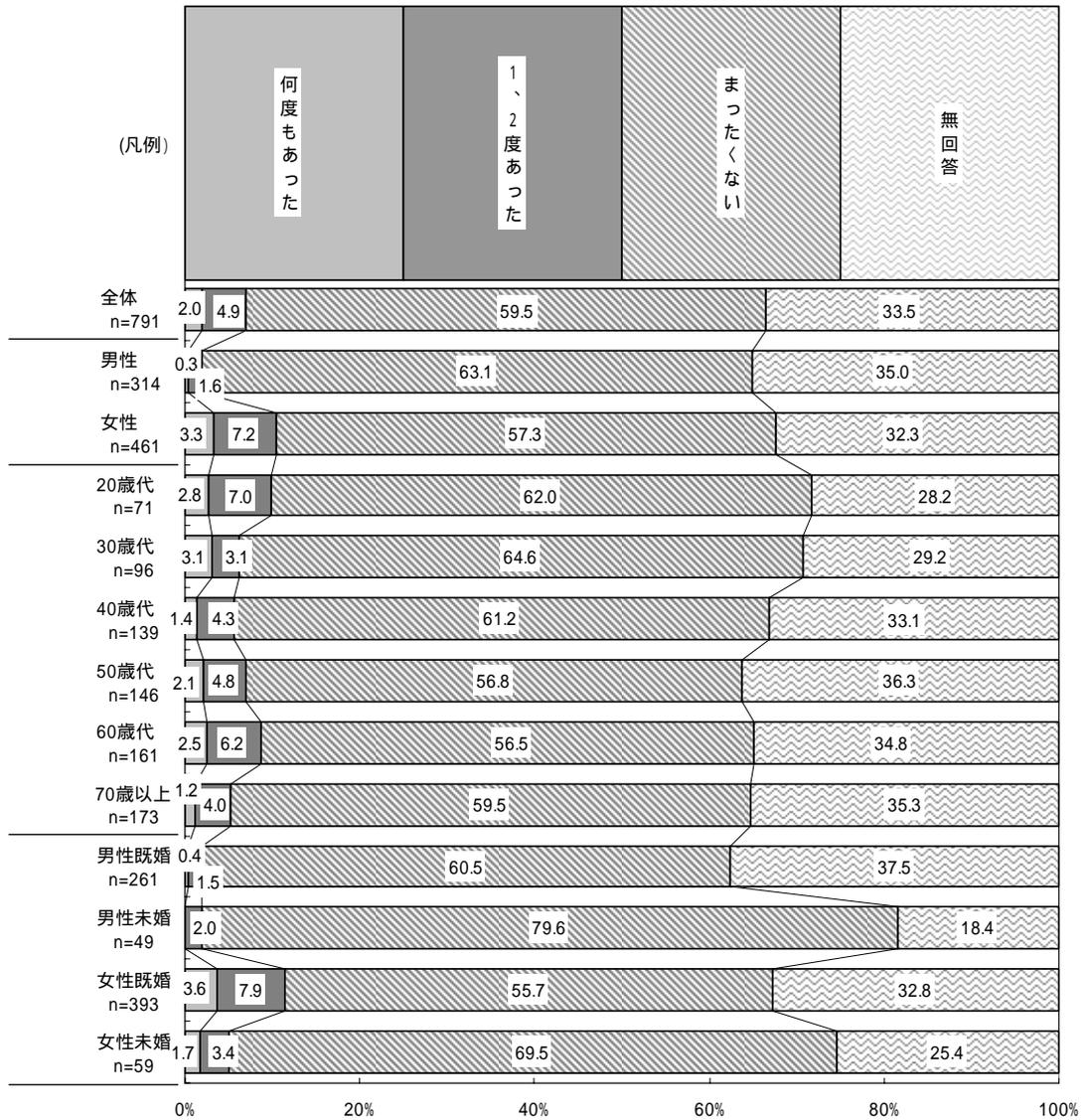


		C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	18	59	459	255
		100.0	2.3	7.5	58.0	32.2
性 年 齢 別	男性計	314	2	9	194	109
		100.0	0.6	2.9	61.8	34.7
	20歳代	27	-	-	20	7
		100.0	-	-	74.1	25.9
	30歳代	35	2	2	24	7
		100.0	5.7	5.7	68.6	20.0
	40歳代	56	-	6	32	18
		100.0	-	10.7	57.1	32.1
	50歳代	63	-	-	39	24
		100.0	-	-	61.9	38.1
	60歳代	65	-	-	35	30
		100.0	-	-	53.8	46.2
	70歳以上	68	-	1	44	23
		100.0	-	1.5	64.7	33.8
	女性計	461	16	49	256	140
		100.0	3.5	10.6	55.5	30.4
	20歳代	44	2	4	23	15
		100.0	4.5	9.1	52.3	34.1
	30歳代	60	2	4	36	18
		100.0	3.3	6.7	60.0	30.0
40歳代	82	4	7	45	26	
	100.0	4.9	8.5	54.9	31.7	
50歳代	82	2	9	47	24	
	100.0	2.4	11.0	57.3	29.3	
60歳代	95	3	16	54	22	
	100.0	3.2	16.8	56.8	23.2	
70歳以上	97	3	9	50	35	
	100.0	3.1	9.3	51.5	36.1	

【C - 3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)】

- 『経験がある』が6.9%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が10.5%、男性が1.9%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.3%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が11.5%、女性未婚者が5.1%である。

C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)

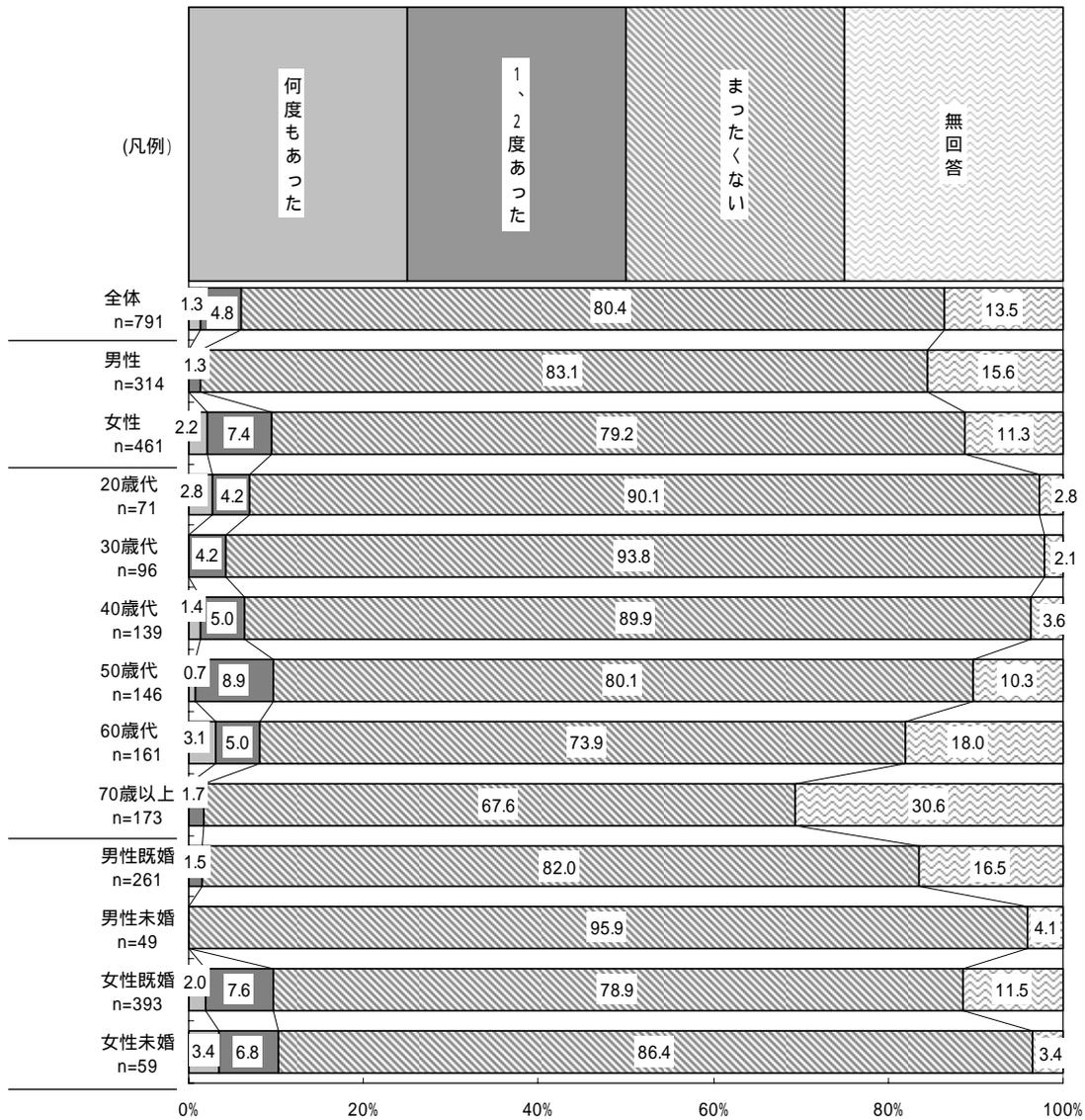


		C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす) (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	16	39	471	265
		100.0	2.0	4.9	59.5	33.5
性 年 齢 別	男性計	314	1	5	198	110
		100.0	0.3	1.6	63.1	35.0
	20歳代	27	-	1	19	7
		100.0	-	3.7	70.4	25.9
	30歳代	35	1	-	26	8
		100.0	2.9	-	74.3	22.9
	40歳代	56	-	4	34	18
		100.0	-	7.1	60.7	32.1
	50歳代	63	-	-	39	24
		100.0	-	-	61.9	38.1
	60歳代	65	-	-	35	30
		100.0	-	-	53.8	46.2
	70歳以上	68	-	-	45	23
		100.0	-	-	66.2	33.8
	女性計	461	15	33	264	149
		100.0	3.3	7.2	57.3	32.3
	20歳代	44	2	4	25	13
		100.0	4.5	9.1	56.8	29.5
	30歳代	60	2	3	36	19
		100.0	3.3	5.0	60.0	31.7
40歳代	82	2	2	50	28	
	100.0	2.4	2.4	61.0	34.1	
50歳代	82	3	7	44	28	
	100.0	3.7	8.5	53.7	34.1	
60歳代	95	4	10	55	26	
	100.0	4.2	10.5	57.9	27.4	
70歳以上	97	2	7	53	35	
	100.0	2.1	7.2	54.6	36.1	

【D 性的行為を強要される】

- 『経験がある』が6.1%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が9.6%、男性が1.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.2%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が10.2%、女性既婚者が9.6%である。

D 性的行為を強要される

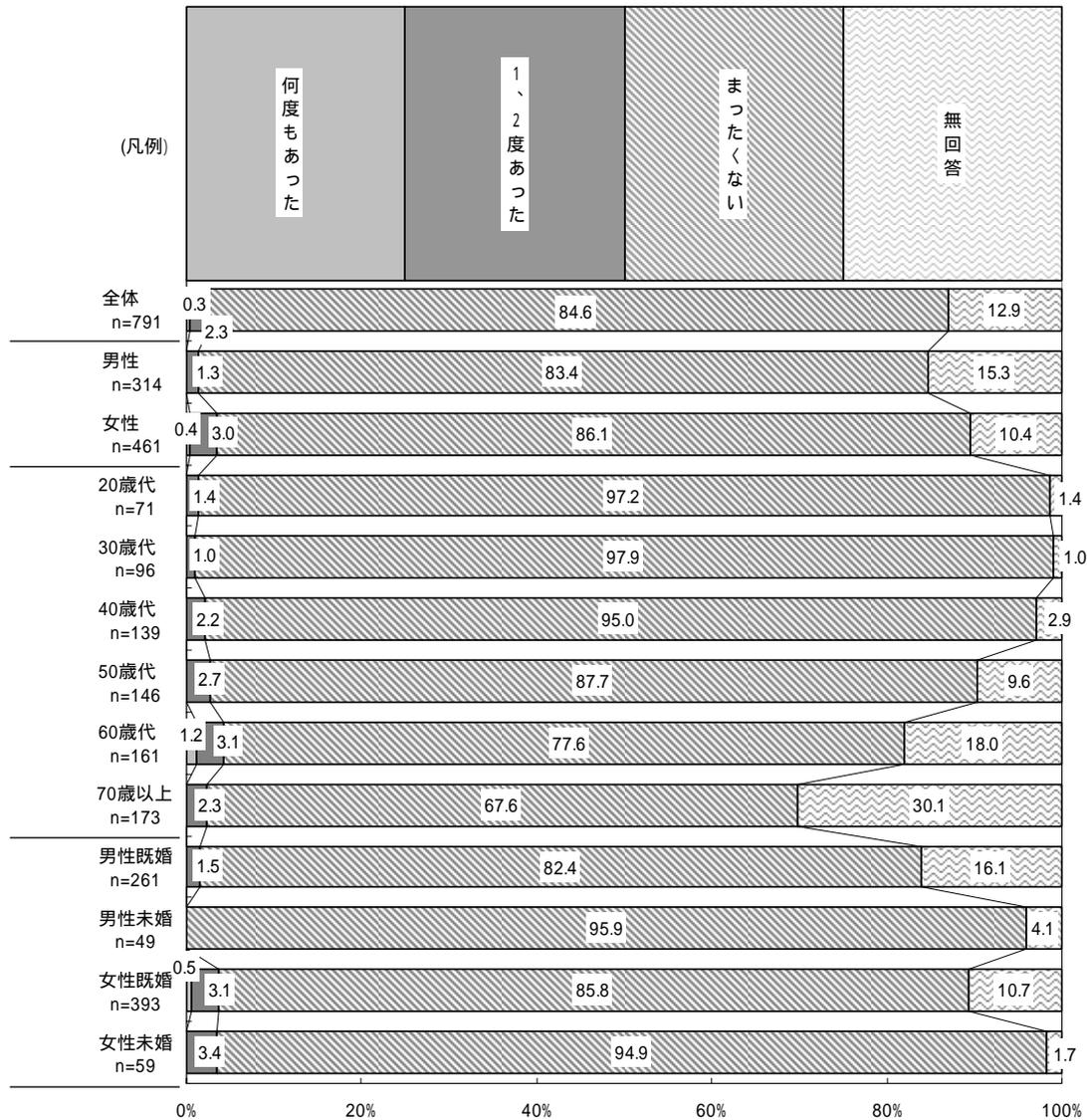


		D 性的行為を強要される(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	10	38	636	107
		100.0	1.3	4.8	80.4	13.5
性 年 齢 別	男性計	314	-	4	261	49
		100.0	-	1.3	83.1	15.6
	20歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	30歳代	35	-	-	35	-
		100.0	-	-	100.0	-
	40歳代	56	-	-	53	3
		100.0	-	-	94.6	5.4
	50歳代	63	-	2	54	7
		100.0	-	3.2	85.7	11.1
	60歳代	65	-	2	45	18
		100.0	-	3.1	69.2	27.7
	70歳以上	68	-	-	48	20
		100.0	-	-	70.6	29.4
	女性計	461	10	34	365	52
		100.0	2.2	7.4	79.2	11.3
	20歳代	44	2	3	38	1
		100.0	4.5	6.8	86.4	2.3
	30歳代	60	-	4	55	1
		100.0	-	6.7	91.7	1.7
40歳代	82	2	7	71	2	
	100.0	2.4	8.5	86.6	2.4	
50歳代	82	1	11	63	7	
	100.0	1.2	13.4	76.8	8.5	
60歳代	95	5	6	73	11	
	100.0	5.3	6.3	76.8	11.6	
70歳以上	97	-	3	64	30	
	100.0	-	3.1	66.0	30.9	

【E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる】

- 『経験がある』が2.6%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.4%、男性が1.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.4%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が3.6%、女性未婚者が3.4%である。

E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる

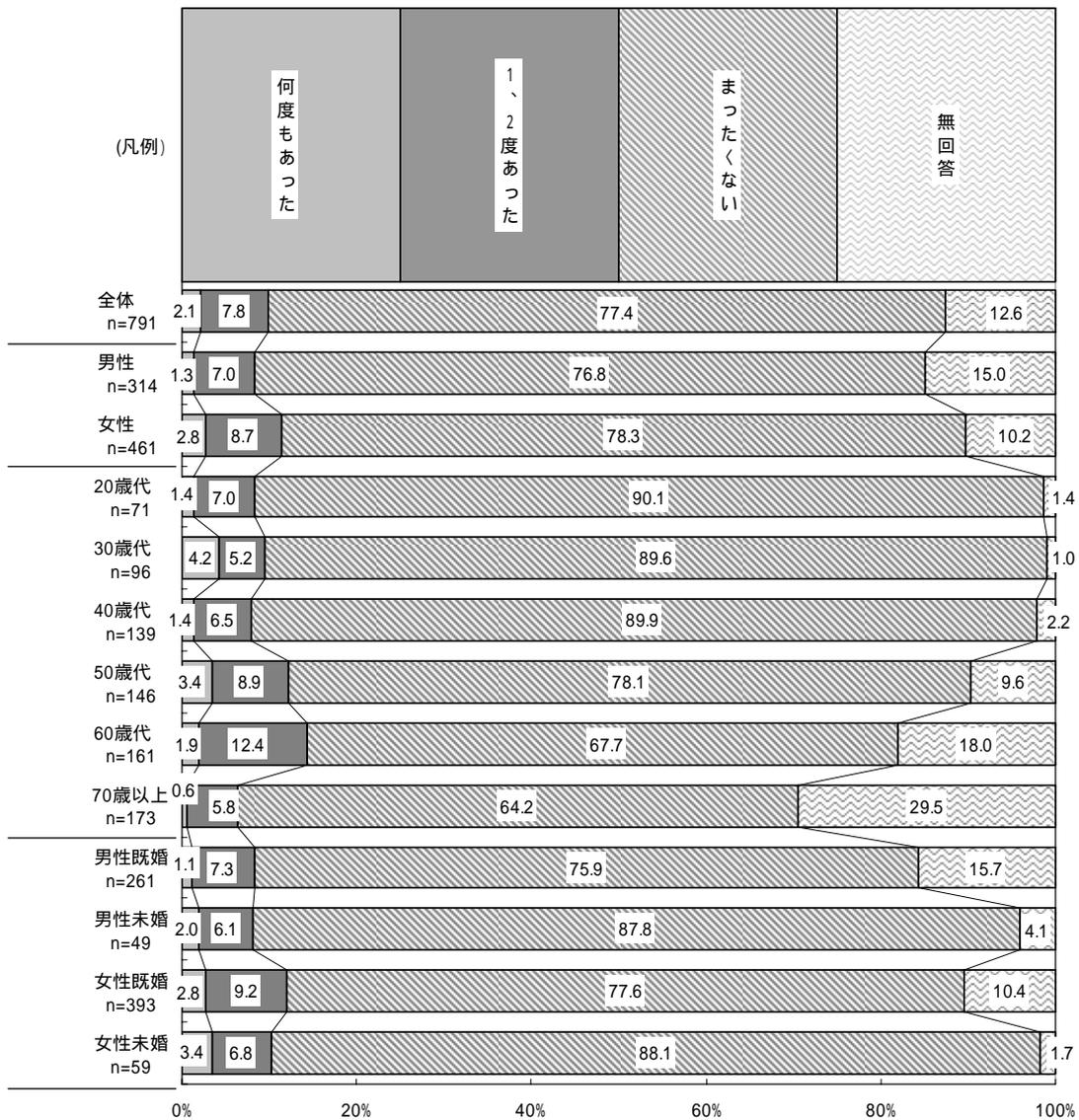


		E ホルビデオやホル雑誌を見せられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	2	18	669	102
		100.0	0.3	2.3	84.6	12.9
性 年 齢 別	男性計	314	-	4	262	48
		100.0	-	1.3	83.4	15.3
	20歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	30歳代	35	-	-	35	-
		100.0	-	-	100.0	-
	40歳代	56	-	-	54	2
		100.0	-	-	96.4	3.6
	50歳代	63	-	1	55	7
		100.0	-	1.6	87.3	11.1
	60歳代	65	-	-	47	18
		100.0	-	-	72.3	27.7
	70歳以上	68	-	3	45	20
		100.0	-	4.4	66.2	29.4
	女性計	461	2	14	397	48
		100.0	0.4	3.0	86.1	10.4
	20歳代	44	-	1	43	-
		100.0	-	2.3	97.7	-
	30歳代	60	-	1	59	-
		100.0	-	1.7	98.3	-
40歳代	82	-	3	77	2	
	100.0	-	3.7	93.9	2.4	
50歳代	82	-	3	73	6	
	100.0	-	3.7	89.0	7.3	
60歳代	95	2	5	77	11	
	100.0	2.1	5.3	81.1	11.6	
70歳以上	97	-	1	67	29	
	100.0	-	1.0	69.1	29.9	

【F 何を言っても無視され続ける】

- 『経験がある』が9.9%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が11.5%、男性が8.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.8%、男性が1.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が12.0%、女性未婚者が10.2%である。また、男性においても、既婚者（8.4%）が未婚者（8.1%）をやや上回る。

F 何を言っても無視され続ける

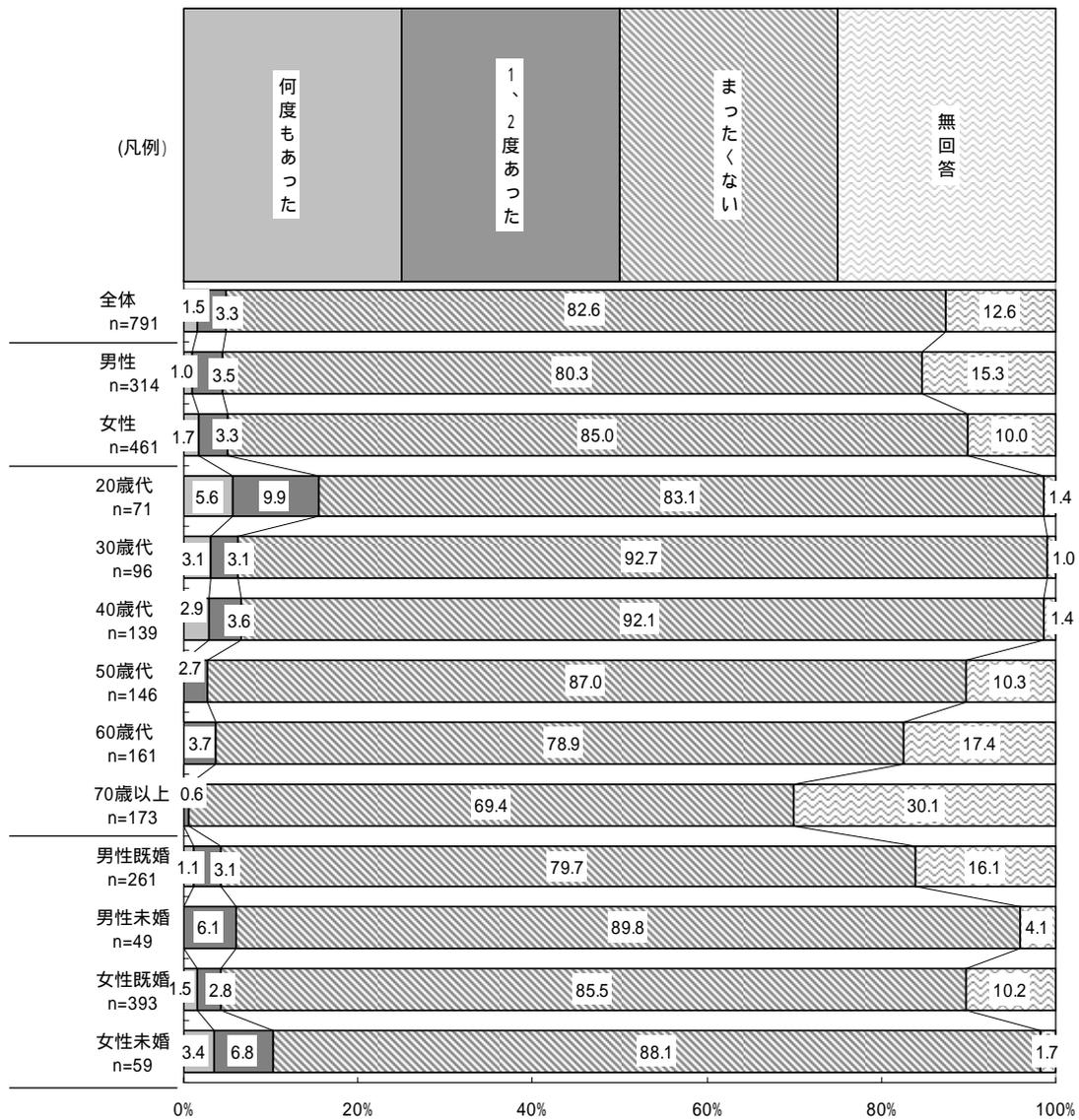


		F 何を言っても無視され続ける[%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	17	62	612	100
		100.0	2.1	7.8	77.4	12.6
性 年 齢 別	男性計	314	4	22	241	47
		100.0	1.3	7.0	76.8	15.0
	20歳代	27	-	2	24	1
		100.0	-	7.4	88.9	3.7
	30歳代	35	2	2	31	-
		100.0	5.7	5.7	88.6	-
	40歳代	56	-	4	50	2
		100.0	-	7.1	89.3	3.6
	50歳代	63	2	2	52	7
		100.0	3.2	3.2	82.5	11.1
	60歳代	65	-	8	39	18
		100.0	-	12.3	60.0	27.7
	70歳以上	68	-	4	45	19
		100.0	-	5.9	66.2	27.9
	女性計	461	13	40	361	47
		100.0	2.8	8.7	78.3	10.2
	20歳代	44	1	3	40	-
		100.0	2.3	6.8	90.9	-
	30歳代	60	2	3	55	-
		100.0	3.3	5.0	91.7	-
40歳代	82	2	5	74	1	
	100.0	2.4	6.1	90.2	1.2	
50歳代	82	3	11	62	6	
	100.0	3.7	13.4	75.6	7.3	
60歳代	95	3	12	69	11	
	100.0	3.2	12.6	72.6	11.6	
70歳以上	97	1	6	61	29	
	100.0	1.0	6.2	62.9	29.9	

【G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される】

- 『経験がある』が4.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が5.0%、男性が4.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が1.7%、男性が1.0%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が10.2%と最も高い。また、男性未婚者も6.1%となり、男女とも未婚者が既婚者を上回る。

G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される

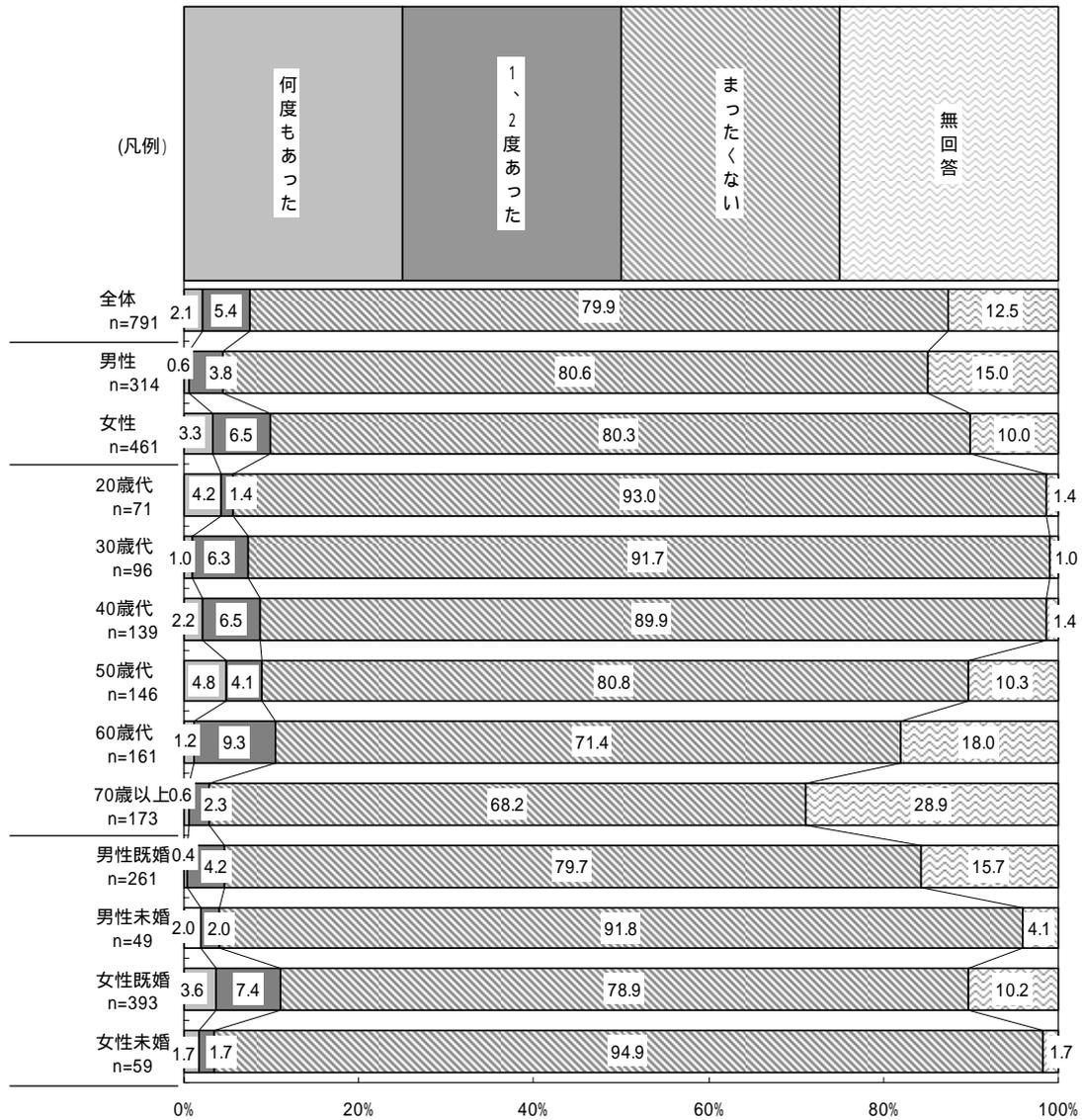


		G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	12	26	653	100
		100.0	1.5	3.3	82.6	12.6
性 年 齢 別	男性計	314	3	11	252	48
		100.0	1.0	3.5	80.3	15.3
	20歳代	27	-	2	24	1
		100.0	-	7.4	88.9	3.7
	30歳代	35	1	1	33	-
		100.0	2.9	2.9	94.3	-
	40歳代	56	2	3	49	2
		100.0	3.6	5.4	87.5	3.6
	50歳代	63	-	4	52	7
		100.0	-	6.3	82.5	11.1
	60歳代	65	-	1	46	18
		100.0	-	1.5	70.8	27.7
	70歳以上	68	-	-	48	20
		100.0	-	-	70.6	29.4
	女性計	461	8	15	392	46
		100.0	1.7	3.3	85.0	10.0
	20歳代	44	4	5	35	-
		100.0	9.1	11.4	79.5	-
	30歳代	60	2	2	56	-
		100.0	3.3	3.3	93.3	-
40歳代	82	2	2	78	-	
	100.0	2.4	2.4	95.1	-	
50歳代	82	-	-	75	7	
	100.0	-	-	91.5	8.5	
60歳代	95	-	5	80	10	
	100.0	-	5.3	84.2	10.5	
70歳以上	97	-	1	67	29	
	100.0	-	1.0	69.1	29.9	

【H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる】

- 『経験がある』が7.5%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が9.8%、男性が4.4%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.3%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(11.0%)が最も高く、そのうち「何度もあった」は3.6%となっている。

H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる

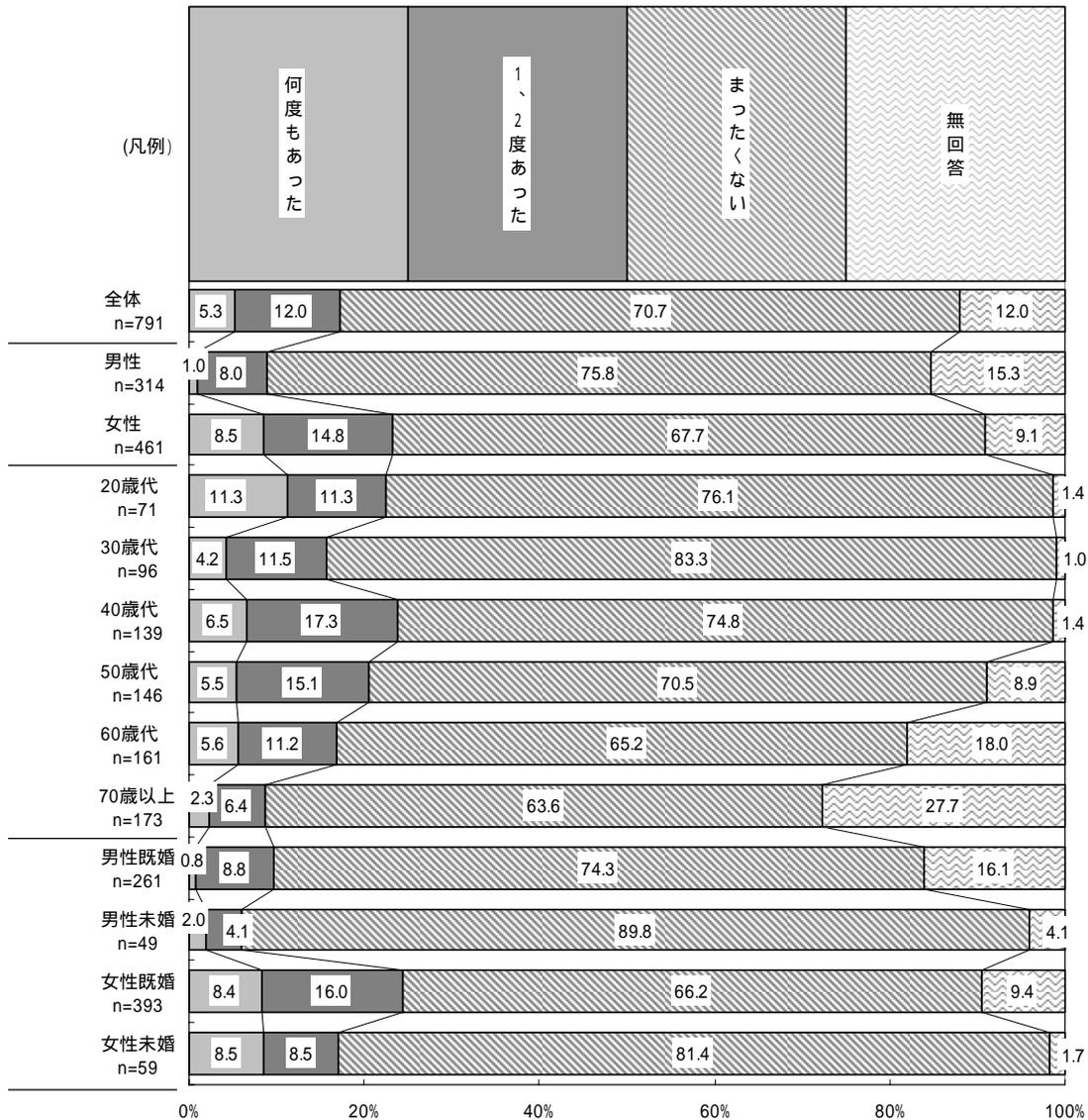


		H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか 「かいしよなし」と言われる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	17	43	632	99
		100.0	2.1	5.4	79.9	12.5
性 年 齢 別	男性計	314	2	12	253	47
		100.0	0.6	3.8	80.6	15.0
	20歳代	27	1	-	25	1
		100.0	3.7	-	92.6	3.7
	30歳代	35	-	-	35	-
		100.0	-	-	100.0	-
	40歳代	56	-	7	47	2
		100.0	-	12.5	83.9	3.6
	50歳代	63	-	1	55	7
		100.0	-	1.6	87.3	11.1
	60歳代	65	-	2	45	18
		100.0	-	3.1	69.2	27.7
	70歳以上	68	1	2	46	19
		100.0	1.5	2.9	67.6	27.9
	女性計	461	15	30	370	46
		100.0	3.3	6.5	80.3	10.0
	20歳代	44	2	1	41	-
		100.0	4.5	2.3	93.2	-
	30歳代	60	1	6	53	-
		100.0	1.7	10.0	88.3	-
40歳代	82	3	2	77	-	
	100.0	3.7	2.4	93.9	-	
50歳代	82	7	5	63	7	
	100.0	8.5	6.1	76.8	8.5	
60歳代	95	2	13	69	11	
	100.0	2.1	13.7	72.6	11.6	
70歳以上	97	-	2	67	28	
	100.0	-	2.1	69.1	28.9	

【 I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる 】

- 『経験がある』が17.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が23.3%と男性(9.0%)を14.3ポイント上回る。また、「何度もあった」は女性が8.5%、男性が1.0%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(24.4%)が最も高く、男性既婚者(9.6%)を14.8ポイント上回る。また、女性未婚者も17.0%と男性未婚者(6.1%)を10.9ポイント上回る。

I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる

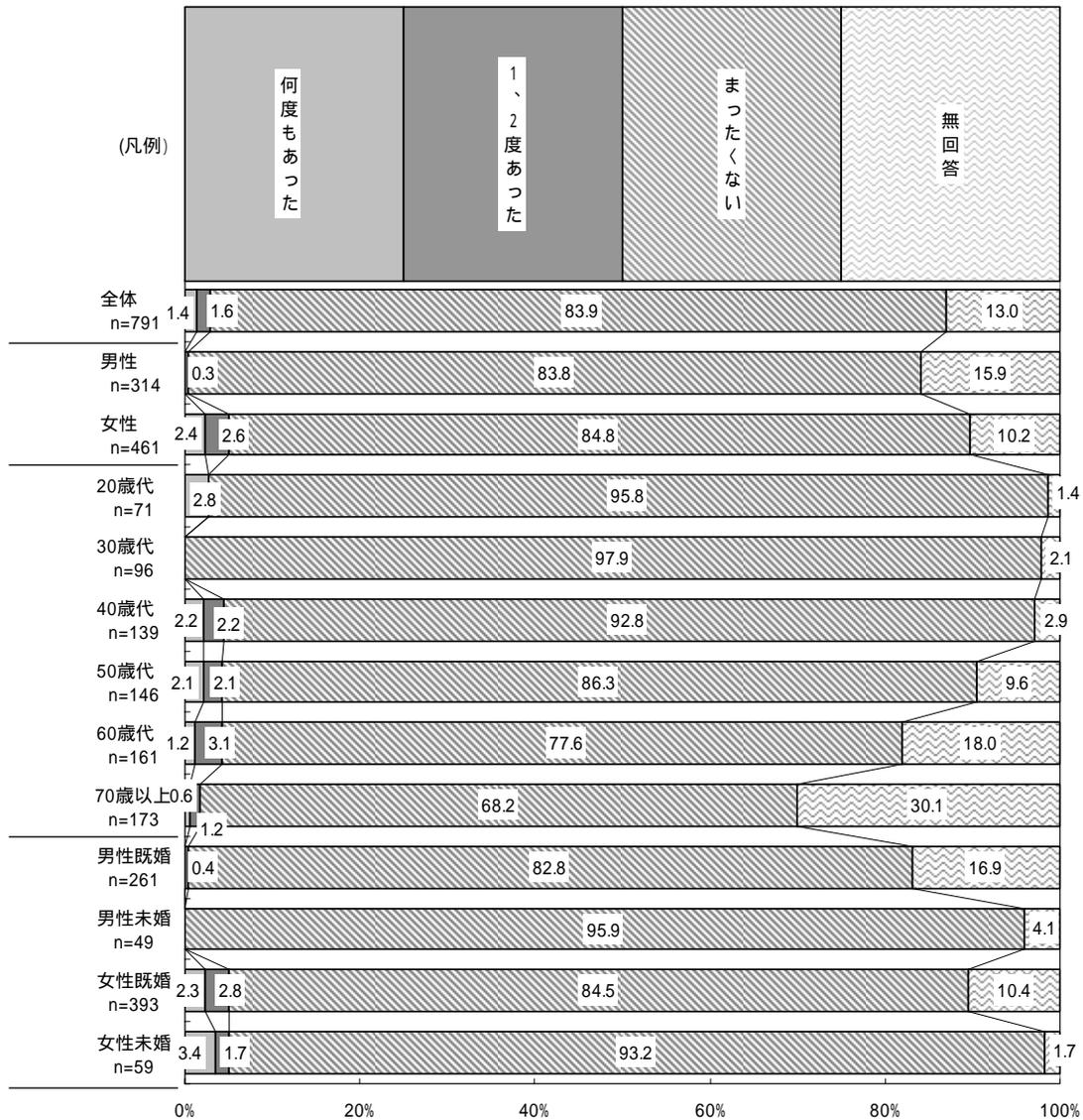


		I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる〔%〕				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	42	95	559	95
		100.0	5.3	12.0	70.7	12.0
性 年 齢 別	男性計	314	3	25	238	48
		100.0	1.0	8.0	75.8	15.3
	20歳代	27	1	1	24	1
		100.0	3.7	3.7	88.9	3.7
	30歳代	35	1	5	29	-
		100.0	2.9	14.3	82.9	-
	40歳代	56	-	8	46	2
		100.0	-	14.3	82.1	3.6
	50歳代	63	1	4	51	7
		100.0	1.6	6.3	81.0	11.1
	60歳代	65	-	4	43	18
		100.0	-	6.2	66.2	27.7
	70歳以上	68	-	3	45	20
		100.0	-	4.4	66.2	29.4
	女性計	461	39	68	312	42
		100.0	8.5	14.8	67.7	9.1
	20歳代	44	7	7	30	-
		100.0	15.9	15.9	68.2	-
	30歳代	60	3	6	51	-
		100.0	5.0	10.0	85.0	-
40歳代	82	9	16	57	-	
	100.0	11.0	19.5	69.5	-	
50歳代	82	7	18	52	5	
	100.0	8.5	22.0	63.4	6.1	
60歳代	95	9	14	61	11	
	100.0	9.5	14.7	64.2	11.6	
70歳以上	97	4	7	60	26	
	100.0	4.1	7.2	61.9	26.8	

【J 経済的におさえつけられる】

- 『経験がある』が3.0%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が5.0%、男性が0.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.4%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が5.1%、女性未婚者が5.1%である。

J 経済的におさえつけられる



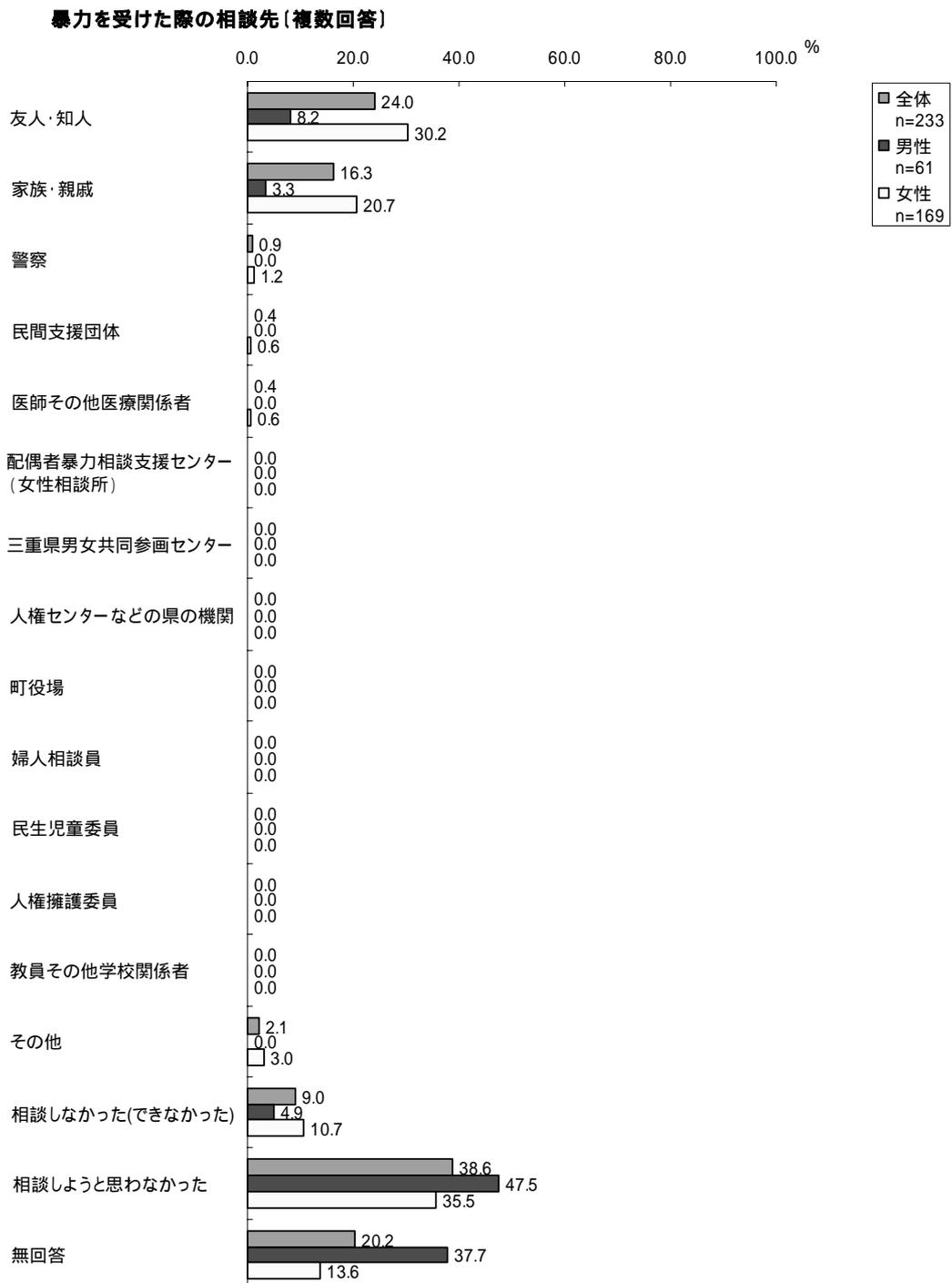
		J 経済的におさえつけられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		791	11	13	664	103
		100.0	1.4	1.6	83.9	13.0
性 年 齢 別	男性計	314	-	1	263	50
		100.0	-	0.3	83.8	15.9
	20歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	30歳代	35	-	-	34	1
		100.0	-	-	97.1	2.9
	40歳代	56	-	1	52	3
		100.0	-	1.8	92.9	5.4
	50歳代	63	-	-	56	7
		100.0	-	-	88.9	11.1
	60歳代	65	-	-	47	18
		100.0	-	-	72.3	27.7
	70歳以上	68	-	-	48	20
		100.0	-	-	70.6	29.4
	女性計	461	11	12	391	47
		100.0	2.4	2.6	84.8	10.2
	20歳代	44	2	-	42	-
		100.0	4.5	-	95.5	-
	30歳代	60	-	-	60	-
		100.0	-	-	100.0	-
40歳代	82	3	2	76	1	
	100.0	3.7	2.4	92.7	1.2	
50歳代	82	3	3	70	6	
	100.0	3.7	3.7	85.4	7.3	
60歳代	95	2	5	77	11	
	100.0	2.1	5.3	81.1	11.6	
70歳以上	97	1	2	65	29	
	100.0	1.0	2.1	67.0	29.9	

(4) 暴力を受けた際の相談先

前問で「何度もあった」若しくは「1、2度あった」と回答した方を対象

問17 - 2. あなたはこれまでに、問17であげたような配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- 「相談しようと思わなかった」が38.6%と最も高く、以下「友人・知人」(24.0%)、「家族・親戚」(16.3%)、「相談しなかった(できなかった)」(9.0%)となっている。
- 性別では、男性が「相談しようと思わなかった」が47.5%と女性(35.5%)を12.0ポイント上回っている。一方、女性は「友人・知人」(30.2%)、「家族・親戚」(20.7%)で男性を大きく上回っている。



(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由

前問で相談をしなかった方を対象

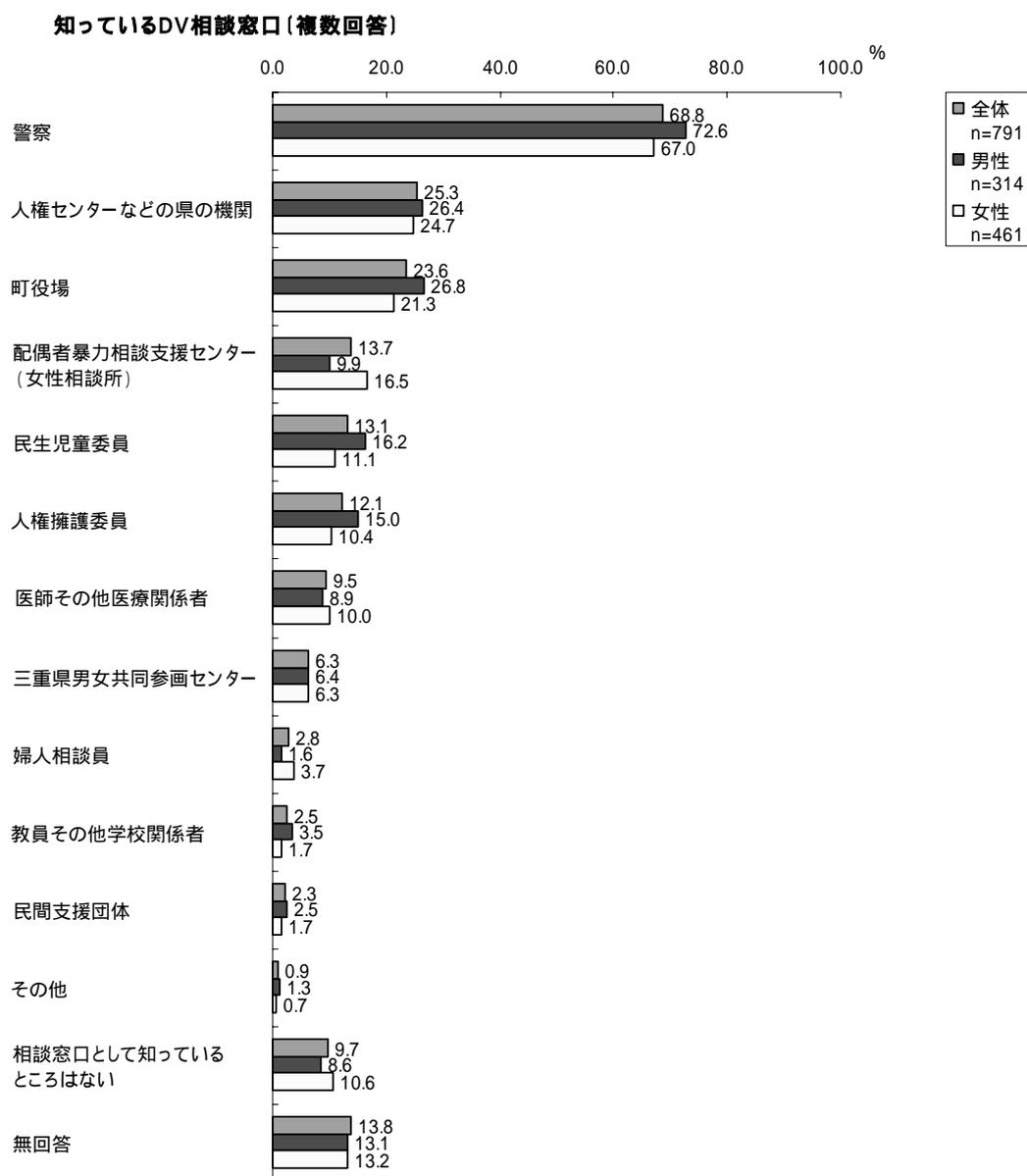
問17-3. 相談しなかった主な理由は何ですか。

	相談しなかった理由〔%〕												
	全体	誰に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しされると思ったから	相談相手の言動から不快な思いをすと思うたから	自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから	世間体が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	自分に悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
全体	108	8	12	17	4	1	14	5	12	23	64	4	3
	100.0	7.4	11.1	15.7	3.7	0.9	13.0	4.6	11.1	21.3	59.3	3.7	2.8
男性計	32	5	2	6	1	1	2	2	3	7	22	-	-
	100.0	15.6	6.3	18.8	3.1	3.1	6.3	6.3	9.4	21.9	68.8	-	-
20歳代	4	1	-	2	1	-	-	1	1	1	3	-	-
	100.0	25.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	75.0	-	-
30歳代	7	-	1	1	-	-	-	-	-	3	5	-	-
	100.0	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	42.9	71.4	-	-
40歳代	9	1	1	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-
	100.0	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	88.9	-	-
50歳代	5	2	-	1	-	1	1	1	1	1	2	-	-
	100.0	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-
60歳代	6	1	-	1	-	-	1	-	1	2	3	-	-
	100.0	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7	33.3	50.0	-	-
70歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
女性計	75	3	10	11	3	-	12	3	9	16	42	3	3
	100.0	4.0	13.3	14.7	4.0	-	16.0	4.0	12.0	21.3	56.0	4.0	4.0
20歳代	7	1	1	1	-	-	1	-	2	3	3	-	1
	100.0	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-	28.6	42.9	42.9	-	14.3
30歳代	5	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1
	100.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	60.0	-	20.0
40歳代	20	1	1	4	1	-	4	-	4	1	11	1	-
	100.0	5.0	5.0	20.0	5.0	-	20.0	-	20.0	5.0	55.0	5.0	-
50歳代	14	-	1	2	-	-	1	1	-	3	12	1	-
	100.0	-	7.1	14.3	-	-	7.1	7.1	-	21.4	85.7	7.1	-
60歳代	18	-	5	1	-	-	4	1	2	5	8	-	-
	100.0	-	27.8	5.6	-	-	22.2	5.6	11.1	27.8	44.4	-	-
70歳以上	10	1	1	2	2	-	2	1	1	3	5	-	1
	100.0	10.0	10.0	20.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0	30.0	50.0	-	10.0

(6) 知っているDV相談窓口

問18. 配偶者や恋人の間で、相手から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者のうち、知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 「警察」が68.8%と最も高く、以下「人権センターなどの県の機関」(25.3%)、「町役場」(23.6%)、「配偶者暴力相談支援センター(女性相談所)」(13.7%)、「民生児童委員」(13.1%)、「人権擁護委員」(12.1%)である。



6 自由意見

自由意見のまとめ（多かった意見の上位5位）

順位	内容	件数
1位	男女の基本的な特性の相違を認め、男女がお互いを理解し敬意をはらうことが大切	14
2位	子育て・介護支援の充実と運用改善（託児所の整備、父子家庭への支援、休暇取得しやすい雰囲気づくり、雇用側の理解など）	9
3位	男女間で基本的な特性に差があることから男女平等にはなり得ない 男女の役割を変えるべきではない	6
4位	小さい頃からの教育が重要であり、家庭、学校、社会全体等で教育することが必要	4
5位	個々人の意識改革と社会全体の改革が必要	3
5位	職場および家庭内において、男女が平等に働いたり育児や家事等を分担しあえる環境整備が必要	3
5位	女性が仕事を続け自立することが少子化や子育て放棄、離婚につながっているのではないか	3
5位	女性の地位向上や就業機会を増やすことが必要	3

- 男女共同参画に関することについて、ご意見・ご要望をお聞きしたところ、計96件(12.1%)の記入があった。